

## 2020年度（令和2年度） 情報公開資料

- ・ 事業の概要等
  - ・ 事業報告書
  - ・ I A C 報告書
- ・ 計算書類及び附属明細書
  - ・ 監事監査報告書
- ・ 独立監査人の監査報告書
  - ・ 事業計画書
- ・ 理事 監事 評議員名簿
  - ・ 役員等報酬規程

1. 法人基本情報

(1)都道府県区分 28 兵庫県	(2)市町村区分 227 宍粟市	(3)所轄庁区分 28000	(4)法人番号 7140005006897	(5)法人区分 01 一般法人	(6)活動状況 01 運営中
(7)法人の名称 社会福祉法人正久福祉会					
(8)主たる事務所の住所 兵庫県 宍粟市 一宮町福知 5 7 1					
(9)主たる事務所の電話番号 050-3612-8299	(10)主たる事務所の F A X 番号 050-3066-3842	(11)従たる事務所の有無 2 無			
(12)従たる事務所の住所					
(13)法人のホームページ http://www.shoukyu.com	(14)法人のメールアドレス madoka@shoukyu.com				
(15)法人の設立認可年月日 昭和62年3月11日	(16)法人の設立登記年月日 昭和62年3月30日				

2. 当該会計年度の初日における評議員の状況

(1)評議員の定員	7	(2)評議員の現員	7	(3-6)評議員全員の報酬等の総額(前会計年度実績) (円)	123,780
(3-1)評議員の氏名	(3-3)評議員の任期	(3-4)評議員の所轄庁からの再就職状況	(3-5)他の社会福祉法人の評議員・役員・職員との兼務状況	(3-7)前会計年度における評議員会への出席回数	
(3-2)評議員の職業					
大谷 彰 農業	H29.4.1 ~ 令和2年度に関する定時評議員会の終結の時まで	2 無	2 無	2	
段林 繁 農業	H29.4.1 ~ 令和2年度に関する定時評議員会の終結の時まで	2 無	2 無	2	
飯田 吉則 市議会議員	H29.4.1 ~ 令和2年度に関する定時評議員会の終結の時まで	2 無	2 無	2	
大谷 忠子 自営業	H29.4.1 ~ 令和2年度に関する定時評議員会の終結の時まで	2 無	2 無	2	
村上 貞治 農業	H29.4.1 ~ 令和2年度に関する定時評議員会の終結の時まで	2 無	2 無	1	
下川 洋一 農業	H30.12.26 ~ 令和2年度に関する定時評議員会の終結の時まで	2 無	2 無	1	
岡崎 耕三 農業	H29.4.1 ~ 令和2年度に関する定時評議員会の終結の時まで	2 無	2 無	2	

3. 当該会計年度の初日における理事の状況

(1)理事の定員	6	(2)理事の現員	6	(3-12)理事全員の報酬等の総額(前会計年度実績) (円)	37,814,568	2 特例無
(3-1)理事の氏名	(3-2)理事の役職(注)	(3-3)理事長への就任年月日	(3-4)理事の常勤・非常勤	(3-5)理事選任の評議員会議決年月日	(3-6)理事の職業	(3-7)理事の所轄庁からの再就職状況(3-13)前会計年度における理事会への出席回数
	(3-8)理事の任期	(3-9)理事要件の区分別該当状況		(3-10)各理事と親族等特殊関係にある者の有無	(3-11)理事報酬等の支給形態	
上田 芳史	1 理事長 R1.6.26 ~ 令和2年度に関する定時評議員会の終結の時まで	平成5年3月30日	1 常勤	令和1年6月26日 法人職員	1 有	3 職員給与のみ支給
出口 博久	3 その他理事 R1.6.26 ~ 令和2年度に関する定時評議員会の終結の時まで		1 常勤	令和1年6月26日 法人職員	2 無	3 職員給与のみ支給
山川 義光	3 その他理事 R1.6.26 ~ 令和2年度に関する定時評議員会の終結の時まで		1 常勤	令和1年6月26日 農業	2 無	3 職員給与のみ支給
出水 賢也	3 その他理事 R1.6.26 ~ 令和2年度に関する定時評議員会の終結の時まで		1 常勤	令和1年6月26日 施設長	2 無	3 職員給与のみ支給
岩崎 政己	3 その他理事 R1.6.26 ~ 令和2年度に関する定時評議員会の終結の時まで		1 常勤	令和1年6月26日 法人職員	2 無	3 職員給与のみ支給
上田 崇	2 業務執行理事 R1.6.26 ~ 令和2年度に関する定時評議員会の終結の時まで		1 常勤	令和1年6月26日 施設長	1 有	3 職員給与のみ支給

(注)「(3-2)理事の役職」のうち、「理事長」とは、社会福祉法45条の13第3項で規定する理事長(会長等の他の役職名を使用している法人がある。)である。「業務執行理事」とは、社会福祉法45条の16第2項第2号で規定する業務執行理事(常務理事等の他の役職名を使用している法人がある。)である。

4. 当該会計年度の初日における監事の状況

(1)監事の定員	2	(2)監事の現員	2	(3-6)監事全員の報酬等の総額(前会計年度実績) (円)	144,416
(3-1)監事の氏名	(3-2)①監事の職業	(3-2)②監事の所轄庁からの再就職状況	(3-3)監事選任の評議員会議決年月日		
	(3-4)監事の任期	(3-5)監事要件の区分別該当状況	(3-7)前会計年度における理事会への出席回数		
上垣 博	農業 R1.6.26 ~ 令和2年度に関する定時評議員会の終結の時まで	2 無	令和1年6月26日		
在賀 孝介	農業 R1.6.26 ~ 令和2年度に関する定時評議員会の終結の時まで	6 財務管理に識見を有する者(その他)	4		
		2 無	令和1年6月26日		
		3 社会福祉事業に識見を有する者(その他)	4		

5. 前会計年度・当会計年度における会計監査人の状況

(1-1)前会計年度の会計監査人の氏名(監査法人の場合は監査法人名)	(1-2)前会計年度の会計監査人の監査報酬額(円)	(1-3)前年度決算にかかる定時評議員会への出席の有無	(2-1)当会計年度の会計監査人の氏名(監査法人の場合は監査法人名)	(2-2)当会計年度の会計監査人の監査報酬額(円)

6. 当該会計年度の初日における職員の状況

(1)法人本部職員の人数	7	②常勤兼務者の実数	0	③非常勤者の実数	3
①常勤専従者の実数		常勤換算数	0.0	常勤換算数	2.3
(2)施設・事業所職員の人数	164	②常勤兼務者の実数	0	③非常勤者の実数	162
①常勤専従者の実数		常勤換算数	0.0	常勤換算数	95.2

7. 前会計年度に実施した評議員会の状況

(1)評議員会ごとの評議員会開催年月日	(2)評議員会ごとの評議員・理事・監事・会計監査人別の出席者数	(3)評議員会ごとの決議事項
令和2年6月24日	評議員 5 理事 5 監事 2 会計監査人 0	・決算について ・借入金連帯保証人の免除申請について

令和3年3月25日	7	6	2	0	・定款変更について ・認知症対応型通所介護（共用サービス）事業の休止について ・第一次補正予算について ・次年度事業計画について ・次年度当初予算について
-----------	---	---	---	---	---

(4)うち開催を省略した回数 0

8. 前会計年度に実施した理事会の状況

(1)理事会ごとの理事会開催年月日	(2)理事会ごとの理事・監事別の出席者数		(3)理事会ごとの決議事項
	理事	監事	
令和2年6月9日	6	2	・給与規程の改定について ・正職員勤務規程の改定について ・新型コロナウイルス等感染症特別措置内規の制定について ・神戸まどか園運営規程の改定について ・宝塚まどか園重要事項説明書の改定について ・法人内人事異動に伴う重要事項説明書・契約書の変更について ・借入金連帯保証人の免除申請について ・法人保証等に関する審査委員の選任について ・事業報告について ・決算について ・評議員会の招集及び議案について ・外国人奨学金貸与規程の制定について
令和2年9月23日	6	2	・正職員勤務規程の改定について ・経理規程の改定について ・宝塚まどか園重要事項説明書の改定について ・公用車リース契約の名義変更について ・定年延長について ・新電力の入札について
令和2年12月24日	6	2	・定款変更について ・認知症対応型通所介護（共用サービス）事業の休止について ・給与規程の改定について ・経理規程の改定について ・利用者立替金規程の改定について ・外国人奨学金貸与規程の改定について ・宗 明願寺に対する法人事務所水光熱費支払いについて
令和3年3月9日	6	2	・就業規則の改定について ・給与規程改定について ・社宅管理規程改定について ・職員寄宿舎管理規程改定について ・表彰規程の制定について ・新型コロナウイルス等感染症特別措置内規の改定について ・職員給食及び外来者の食事に係る内規の改定について ・第一次補正予算について ・次年度事業計画について ・次年度当初予算について ・施設の長他の重要な職員の選任及び解任について ・評議員会の招集及び議案について ・神戸まどか園居宅介護支援事業所の開設について

(4)うち開催を省略した回数 0

9. 前会計年度に実施した監事監査の状況

(1)監事監査を実施した監事の氏名

(2)監査報告により求められた改善すべき事項

(3)監査報告により求められた改善すべき事項に対する対応

10. 前会計年度に実施した会計監査(会計監査人による監査に準ずる監査を含む)の状況

(1)会計監査人による会計監査報告における意見の区分

11. 前会計年度における事業等の概要 - (1)社会福祉事業の実施状況

①-1拠点区分コード分類	①-2拠点区分名称	①-3事業類型コード分類	①-4実施事業名称	②事業所の名称					
		③事業所の所在地			④事業所の土地の保有状況	⑤事業所の建物の保有状況	⑥事業所単位の事業開始年月日	⑦事業所単位の定員	⑧年間(4月~3月)利用者延べ総数(人/年)
		⑨社会福祉施設等の建設等の状況(当該拠点区分における主たる事業(前年度の年間収益が最も多い事業)に計上)							
		ア 建設費	(ア) 建設年月日	(イ) 自己資金額(円)	(ウ) 補助金額(円)	(エ) 借入金額(円)	(オ) 建設費合計額(円)	ウ 延べ床面積	
		イ 大規模修繕	(ア) - 1 修繕年月日(1回目)	(ア) - 2 修繕年月日(2回目)	(ア) - 3 修繕年月日(3回目)	(ア) - 4 修繕年月日(4回目)	(ア) - 5 修繕年月日(5回目)	(イ) 修繕費合計額(円)	
001	法人本部	00000001	本部経理区分	法人本部					
		兵庫県 宍粟市	一宮町福知571番地		3 自己所有	3 自己所有	昭和62年3月30日	0	0
		ア建設費						0	
		イ大規模修繕							
020	一宮キャンパス	01030202	特別養護老人ホーム(介護福祉サービス)	特別養護老人ホームまどか園					
		兵庫県 宍粟市	一宮町福知1030番地1		3 自己所有	3 自己所有	昭和62年7月1日	70	25,626
		ア建設費						0	
		イ大規模修繕							
020	一宮キャンパス	02120401	老人短期入所事業(短期入所生活介護)	まどか園ショートステイ					
		兵庫県 宍粟市	一宮町福知1030番地1		3 自己所有	3 自己所有	昭和62年7月1日	20	5,981
		ア建設費						0	
		イ大規模修繕							
020	一宮キャンパス	02120301	老人デイサービス事業(認知症対応型)	まどか園デイサービスセンター					
		兵庫県 宍粟市	一宮町福知1030番地1		3 自己所有	3 自己所有	平成10年10月1日	6	1,000
		ア建設費						0	
		イ大規模修繕							
020	一宮キャンパス	06260301	(公益)居宅介護支援事業	まどか園在宅介護支援センター					
		兵庫県 宍粟市	一宮町福知1065番地		3 自己所有	3 自己所有	平成11年11月1日	0	0
		ア建設費						0	
		イ大規模修繕							
020	一宮キャンパス	02120901	老人介護支援センター	まどか園在宅介護支援センター					
		兵庫県 宍粟市	一宮町福知1065番地		3 自己所有	3 自己所有	平成11年4月1日	0	0
		ア建設費						0	
		イ大規模修繕							
020	一宮キャンパス	02120101	老人居宅介護等事業(訪問介護)	まどか園ヘルパーステーション					
		兵庫県 宍粟市	一宮町福知1030番地1		3 自己所有	3 自己所有	平成11年4月1日	0	0
		ア建設費						0	
		イ大規模修繕							
020	一宮キャンパス	02120601	認知症対応型老人共同生活援助事業	グループホームまどか園					
		兵庫県 宍粟市	一宮町福知1029番地		3 自己所有	3 自己所有	平成18年7月1日	18	6,503
		ア建設費						0	
		イ大規模修繕							
030	宝塚キャンパス	01030202	特別養護老人ホーム(介護福祉サービス)	特別養護老人ホーム宝塚まどか園					
		兵庫県 宝塚市	美座2丁目22番2号		3 自己所有	3 自己所有	平成16年9月1日	100	35,876
		ア建設費						0	
		イ大規模修繕							
030	宝塚キャンパス	02120401	老人短期入所事業(短期入所生活介護)	宝塚まどか園ショートステイ					
		兵庫県 宝塚市	美座2丁目22番2号		3 自己所有	3 自己所有	平成16年9月1日	18	5,160
		ア建設費						0	
		イ大規模修繕							

030	宝塚キャンパス	02120101	老人居宅介護等事業（訪問介護）		宝塚まどか園ヘルパーステーション							
		兵庫県	宝塚市	美座2丁目22番2号	3 自己所有	3 自己所有	平成16年9月1日	0	0	0		
		ア建設費						0				
030	宝塚キャンパス	06260301	(公益)居宅介護支援事業		宝塚まどか園居宅介護支援事業所							
		兵庫県	宝塚市	美座2丁目22番2号	3 自己所有	3 自己所有	平成23年3月1日	0	0	0		
		ア建設費						0				
040	神戸キャンパス	01030202	特別養護老人ホーム（介護福祉サービス）		特別養護老人ホーム神戸まどか園							
		兵庫県	神戸市長田区	大丸町1丁目5番1号	3 自己所有	3 自己所有	平成28年4月1日	80	29,031	0		
		ア建設費						0				
040	神戸キャンパス	02120401	老人短期入所事業（短期入所生活介護）		神戸まどか園ショートステイ							
		兵庫県	神戸市長田区	神戸市長田区大丸町1丁目5番1号	3 自己所有	3 自己所有	平成31年2月1日	18	5,002	0		
		ア建設費						0				

1 1. 前会計年度における事業等の概要 - (2)公益事業

①-1拠点区分コード分類	①-2拠点区分名称	①-3事業類型コード分類	①-4実施事業名称				②事業所の名称						
		③事業所の所在地						④事業所の土地の保有状況	⑤事業所の建物の保有状況	⑥事業所単位での事業開始年月日	⑦事業所単位での定員	⑧年間(4月～3月)利用者延べ総数(人/年)	
		⑨社会福祉施設等の建設等の状況(当該拠点区分における主たる事業(前年度の年間収益が最も多い事業)に計上)											
		ア 建設費	(ア) 建設年月日	(イ) 自己資金額(円)	(ウ) 補助金額(円)	(エ) 借入金額(円)	(オ) 建設費合計額(円)	ウ 延べ床面積					
イ 大規模修繕	(ア) - 1 修繕年月日(1回目)	(ア) - 2 修繕年月日(2回目)	(ア) - 3 修繕年月日(3回目)	(ア) - 4 修繕年月日(4回目)	(ア) - 5 修繕年月日(5回目)	(イ) 修繕費合計額(円)							

1 1. 前会計年度における事業等の概要 - (3)収益事業

①-1拠点区分コード分類	①-2拠点区分名称	①-3事業類型コード分類	①-4実施事業名称				②事業所の名称						
		③事業所の所在地						④事業所の土地の保有状況	⑤事業所の建物の保有状況	⑥事業所単位での事業開始年月日	⑦事業所単位での定員	⑧年間(4月～3月)利用者延べ総数(人/年)	
		⑨社会福祉施設等の建設等の状況(当該拠点区分における主たる事業(前年度の年間収益が最も多い事業)に計上)											
		ア 建設費	(ア) 建設年月日	(イ) 自己資金額(円)	(ウ) 補助金額(円)	(エ) 借入金額(円)	(オ) 建設費合計額(円)	ウ 延べ床面積					
イ 大規模修繕	(ア) - 1 修繕年月日(1回目)	(ア) - 2 修繕年月日(2回目)	(ア) - 3 修繕年月日(3回目)	(ア) - 4 修繕年月日(4回目)	(ア) - 5 修繕年月日(5回目)	(イ) 修繕費合計額(円)							

1 1. 前会計年度における事業等の概要 - (4)備考

--

11-2. 地域における公益的な取組(地域公益事業(再掲)含む)

①取組類型コード分類	②取組の名称	③取組の実施場所(区域)
	④取組内容	
地域における公益的な取組⑧(地域の関係者とのネットワークづくり)	宝塚まどか園おもちゃライブラリー おもちゃライブラリー事業	兵庫県宝塚市
地域における公益的な取組⑧(地域の関係者とのネットワークづくり)	宝塚まどか園ほっと広場 子ども食堂	兵庫県宝塚市
地域における公益的な取組⑤(既存事業の利用料の減額・免除)	利用者負担軽減 利用料の法人独自の減免	兵庫県宍粟市・宝塚市・神戸市
地域における公益的な取組⑧(地域の関係者とのネットワークづくり)	ホ和トフェスティバル 施設開放による地域との交流	兵庫県宍粟市
地域における公益的な取組⑧(地域の関係者とのネットワークづくり)	スマイルフェスティバル 施設開放による地域との交流	兵庫県宝塚市
地域における公益的な取組⑧(地域の関係者とのネットワークづくり)	秋祭り 施設開放による地域との交流	兵庫県神戸市
地域における公益的な取組⑦(地域住民に対する福祉教育)	認知症サポーター養成講座 認知症サポーター養成講座の講師	兵庫県宍粟市
地域における公益的な取組⑦(地域住民に対する福祉教育)	介護技術講習会 介護技術講習会の講師	兵庫県宝塚市
地域における公益的な取組⑧(地域の関係者とのネットワークづくり)	一七市拡大版 「あの日、1・17の思いやりの心を忘れぬために」をテーマに開催され、区社福連協として出店	兵庫県神戸市

1 2. 社会福祉充実残額及び社会福祉充実計画の策定の状況

(社会福祉充実残額算定シートを作成するまで編集することはできません)

(1) 社会福祉充実残額等の総額(円)	0
(2) 社会福祉充実計画における計画額(計画期間中の総額)	0
①社会福祉事業又は公益事業(社会福祉事業に類する小規模事業)(円)	0
②地域公益事業(円)	0



③公益事業（円）		0
④合計額（①+②+③）（円）		0
(3) 社会福祉充実残額の前年度の投資実績額		
①社会福祉事業又は公益事業（社会福祉事業に類する小規模事業）（円）		0
②地域公益事業（円）		0
③公益事業（円）		0
④合計額（①+②+③）（円）		0
(4) 社会福祉充実計画の実施期間		～

1 3. 透明性の確保に向けた取組状況

(1) 積極的な情報公表への取組

① 任意事項の公表の有無

㊦ 事業報告	1 有
㊧ 財産目録	1 有
㊨ 事業計画書	1 有
㊩ 第三者評価結果	3 該当なし
㊪ 苦情処理結果	1 有
㊫ 監事監査結果	1 有
㊬ 附属明細書	1 有

(2) 前会計年度の報酬・補助金等の公費の状況

① 事業運営に係る公費（円）	1,253,204,064
② 施設・設備に係る公費（円）	4,526,388
③ 国庫補助金等特別積立金取崩累計額（円）	669,584,070

(3) 福祉サービスの第三者評価の受審施設・事業所について

施設名	直近の受審年度
-----	---------

1 4. ガバナンスの強化・財務規律の確立に向けた取組状況

(1) 会計監査人非設置法人における会計に関する専門家の活用状況

① 実施者の区分	02 監査法人
② 実施者の氏名（法人の場合は法人名）	R S M清和監査法人
③ 業務内容	ア 公認会計士又は監査法人による、社会福祉法に準じた会計監査
④ 費用〔年額〕（円）	4,500,000

(2) 法人所轄庁からの報告徴収・検査への対応状況

① 所轄庁から求められた改善事項	
② 実施した改善内容	

1 5. その他

退職手当制度の加入状況等（複数回答可）

① 社会福祉施設職員等退職手当共済制度（(独)福祉医療機構）に加入	1 有
② 中小企業退職金共済制度（(独)勤労者退職金共済機構）に加入	2 無
③ 特定退職金共済制度（商工会議所）に加入	2 無
④ 都道府県社会福祉協議会や都道府県民間社会福祉事業職員共済会等が行う民間の社会福祉事業・施設の職員を対象とした退職手当制度に加入	1 有
⑤ その他の退職手当制度に加入（具体的に：●●●）	
⑥ 法人独自で退職手当制度を整備	2 無
⑦ 退職手当制度には加入せず、退職給付引当金の積立も行っていない	2 無

## 2020年度（令和2年度）事業報告

部門			
部会名	メンバー ☆：部会長	開催日	検討内容
事務部会	仁尾 琢磨☆ 平山 弘美 高村 昌子 古川千恵子	R2. 6. 16 R2. 7. 16 R2. 8. 16 R2. 9. 16 R2. 10. 16 R2. 11. 16 R2. 12. 16 R3. 1. 16 R3. 2. 16 R3. 3. 16 計10回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務処理体制の統一（標準化）をすることにより各キャンパス及び本部間で応援体制の確立した。</li> <li>・事務職員間の情報共有を図ることにより最新の例規やルール等を全事務職員が漏れなく把握し、事務処理の正確性を上げた。</li> <li>・事務の省力化、効率化等事務全般について法令遵守係と連携を取って協議、改善を図った。</li> </ul>
介護部会	藤川 久美子☆ 栢橋 英男 津川 一樹	R2. 12. 11 R3. 1. 11 R3. 3. 16 計3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔合わせ、部会長決定</li> <li>・各キャンパス間の情報共有</li> <li>・介護に対する認識について等、意見交換</li> </ul>
相談員部会	北野 沙織☆ 真砂 力也 中島 真貴	R2. 12. 17 R3. 1. 7 R3. 2. 16 R3. 3. 16 計4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔合わせ、部会長決定</li> <li>・各キャンパス間の情報共有。課題解決</li> <li>・介護報酬改定に関する情報共有、意見交換</li> <li>・重要事項説明書・契約書の全面改訂に関する確認</li> </ul>
ケアマネ部会	宇都 和子☆ 岩崎 政己 沼本 竜子	R2. 12. 21 R3. 1. 11 R3. 2. 16 R3. 3. 16 計4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔合わせ、部会長決定</li> <li>・各キャンパス間の情報共有。課題解決</li> <li>・介護報酬改定に関する情報共有、意見交換</li> <li>・各キャンパスの記録に関する現状確認</li> </ul>
看護部会	中岡 エリカ☆ 山下 フヂ子 森上 弥生	R2. 12. 22 R3. 1. 11 R3. 3. 16 計3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔合わせ、部会長決定</li> <li>・各キャンパス間の情報共有。課題解決</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策に関する情報共有</li> </ul>
給食部会	植村 美香☆ 船積 千恵 深蔵 弥生	R2. 12. 15 R3. 1. 28 R3. 2. 16 R3. 3. 16 計4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔合わせ、部会長決定</li> <li>・各キャンパス間の情報共有。課題解決</li> <li>・給食費の検討</li> <li>・介護報酬改定に関する情報共有、意見交換</li> </ul>

## 2020年度（令和2年度）事業報告

部門	法人本部	
所在地	兵庫県宍粟市一宮町福知571	
会議・委員会の種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員会 ・評議員選任解任委員会 ・理事会 ・取締役会</li> <li>・幹部会 ・キャンパス長会議 ・業績評価委員会 ・育成評価委員会</li> <li>・各専門部会（ケアマネ・相談・介護・給食・看護・事務）</li> </ul>	
基本事業	独自実施事業	
財務の視点	財政再建への対応	<p>再建経営部直下のキャンパス長会議内で、直近3年間の経営分析指標を取り入れ、さまざまな事業展開における基準値と評価方法を確認し、各施設長への研修を行った上で他の幹部職員への意識付けを目的とした幹部会での経営指標導入を行った。</p> <p>また、各キャンパスによる必要人員配置を確認した上で今後の採用計画を作成し、法人内での調整による人材確保を図り、資金収支状況の安定化と人件費削減を図った。</p> <p>その他、フロン法改正における法定点検や電子錠改修において、キャンパス間の調整をとり、費用の一括見積りや備品の再利用を行い、削減を行った。</p>
	中長期的な目標見直し	<p>中長期計画策定の一環で2021年度以降の法人体制について検討を行った。</p>
	次期介護報酬改定に向けた取り組み	<p>介護保険最新情報や特定処遇改善加算の取得・手当、介護職員慰労金含め兵庫県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（介護分）の申請手続準備等について、各キャンパス代表者と打合せ・共有を図り、申請を行い、交付された。</p> <p>厚労省や、全国老協等のホームページを日々確認し、2021年度介護報酬改定情報を早い段階で確認し、順次情報共有を行った。また、臨時に各キャンパス代表者に参加募りZOOMによる検討会を開催し、各キャンパスの対応状況・方針共有を図った。</p>
顧客の視点	重要事項説明書・契約書の見直し	<p>2021年度介護報酬改定に伴い、運営規程・重要事項説明書・契約書の修正が必要となったため、全事業所分を集約して、修正作業を行った。</p> <p>全面的な改定については、相談員部会で継続して取り組んでいく。</p>
業務プロセスの視点	事務効率化支援	<p>事務部会を立ち上げ、全キャンパス事務処理体制の統一及び随時見直しを実施した。</p>
	人事考課制度（業務評価部分）の再構築	<p>業績評価委員会は、7月の立ち上げ以降、毎月第4火曜日の13時から1時間、定期開催を行った。課業カードに沿って、業績評価の具体的なイメージを明らかにするために、①職種毎の業績評価指標データベースの作成、②業績評価目標設定シートの新様式の作成を行った。また、従来の設定目標に対する評価以外に、コンピテンシー評価や法人貢献度評価についての検討も行った。</p>
学習と成長の視点	法令改定等への対応	<p>法令に対応した内容で就業規則の改定を行った。</p>
	職員の育成並びに実績の評価	<p>業績評価委員会及び育成評価委員会を立ち上げ見直しの検討を行った。</p>

経営報告(2020年4月～2021年3月末)  
法人本部

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
財務の視点	財政再建に向けた取り組み	毎月1回の財政再建進捗ヒアリングを実施し、予算達成に向けた支援をする。予算と実績との乖離が大きい時は、必要に応じて実行予算へと繋げ、収支予測の精度を上げる。	8回	経営分析指標を取り入れ、さまざまな事業展開における基準値と評価方法を確認し、各施設長への研修を行った上で他の幹部職員への意識付けを目的とした幹部会で4回、取締役会で4回、場を設けた。会議未実施月においても経営分析指標を作成し、マネージメントできる体制を構築した。
	実行予算と補正予算策定	より実績・実態に即した形で収支予測をするために、実行予算と補正予算について、各年1回以上の策定支援を行う。また、策定時はヒアリングを実施し、予算精度を上げる。	3回	実行予算と補正予算作成時に事業所毎にヒアリングを行った。
	中期事業計画策定	全事業所の中期事業計画を策定する。	0	策定はできなかったが、2021年度に向けて法人本部体制の再構築検討を行った。
	中期予算見直し	全事業所の中期予算の見直しを行う。	0	見直しはできなかったが、2021年度に向けて法人本部体制の再構築検討を行った。
	次期介護報酬改定に向けた取り組み	情報収集・各担当者へタイムリーな情報提供と調整・特定処遇改善加算の継続検証。	通年	介護保険最新情報や特定処遇改善加算の取得・手当、介護職員慰労金含め兵庫県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(介護分)の申請手続準備等について、各キャンパス代表者と打合せ・共有を図り、申請を行い、交付された。厚労省や、全国老協等のホームページを日々確認し、2021年度介護報酬改定情報を早い段階で確認し、順次情報共有を図った。また、臨時に各キャンパス代表者に参加募りZOOMによる検討会を開催し、各キャンパスの対応状況・方針共有図った。また、下期に発足した各職種部会において、介護報酬改定情報を提供し、情報共有を行った。
顧客の視点	重要事項説明書・契約書の見直し	各事業の重要事項説明書・契約書について、3キャンパス統一様式で見直しを行う。	通年	2021年度介護報酬改定に伴い、運営規程・重要事項説明書・契約書の修正が必要となったため、改正民法の改定と併せて、法人内全事業所分を集約して、修正を行い、各管理者に確認いただき、修正作業を行った。今回の改定は部分的な改定であり、これまでも、部分改定を積み重ねてきており、全面的な改定が必要な為、相談員部会において、検討・案作成を継続して取り組んでいく。
業務プロセスの視点	事務処理体制統一	事務員体制の変更	10回	事務部会を6月に立ち上げ事務員の意識統一を行った。
	勤怠管理見直し	勤怠管理業務の見直し	10回	6月に立ち上げた事務部会で随時業務見直し及び意見交換を行った。
	人事考課制度(業務評価部分)の再構築	業務評価制度の見直し	業績評価委員会 開催回数:9回	業績評価委員会は、7月の立ち上げ以降、毎月第4火曜日の13時から1時間、定期開催を行った。(計9回開催) 課業カードに沿って、業績評価の具体的なイメージを明らかにするために、①職種毎の業績評価指標データベースの作成、②業績評価目標設定シートの新様式の作成を行った。また、従来の設定目標に対する評価以外に、コンピテンシー評価や法人貢献度評価についての検討も行った。業績評価指標と評価尺度を使つてのシミュレーションの実施と評価の重み付けについてのレベル指針と配点の検討も進めていたが、委員間で理解度に差が生じたため、一旦中断して、委員間の歩調を合わせることを優先した。そのため、業務評価制度の完全な見直しまでには至らなかった。なお、業績評価委員会を進める中で、現行の人事考課システムの検証も行ったが、システム自体に大きな問題があるのではなく、①更新されなかったための資料の陳腐化、②評価者の評価能力、目標設定指導能力不足に大きな問題があることが分かった。
学習の視点と成長	働き方改革への対応	働き方改革(同一労働同一賃金等)への対応を検討する。	8回	7月以降毎月一回顧問社労士を交えて働き方改革に対応した就業規則の見直しを行い、3月理事会に上程を行った。
	例規類の見直し	給与規程及び就業規則に付随した例規類の見直し		

## 2020年度（令和2年度）事業報告

部門		法人本部（人事部）
所在地		兵庫県宍粟市一宮町福知571
会議・委員会の種類		・人事部会　・育成会議（外国人、学卒・中途採用）
基本事業		独自実施事業
地域貢献の視点	福祉人材の育成	中学校、高等学校、大学等からの施設体験者の受け入れは無かったが、地域の高等学校や神戸の短期大学の学生に福祉教育は実施できた。
	福祉人材のグローバル化	<p>多国籍の外国人労働者を幅広く受け入れる活動の1つとして社会福祉法人が設立する登録支援機関と提携できるように交友関係を深める活動を行った。</p> <p>新しく社会福祉法人が設立する登録支援機関と提携することで、ネパール連邦民主共和国、ミャンマー連邦共和国からの特定技能1号（介護）の採用ルートが確保できた。</p>
財務の視点	人材の適正管理	人材紹介会社、派遣業者の適正な活用の検証を行い整理ができた。
顧客の視点	介護の質の担保	高齢者虐待の5つの定義を中心にした人権擁護の視点に重点をおいて人材育成を行った。
		技能実習生の基礎的な技術・知識の習得状況を確認する意味で、法人独自に実習補助日誌に記入させることで一定の成果をあげたと評価している。
業務プロセスの視点	人材育成可視化	新人職員育成のツールとして検証を重ねてきた「グローイングまどか」が、3か月6か月10か月の成長過程を可視化できるツールとなった。
	人材育成体制の組織強化	人事部育成係とキャンパス指導者の連携と意見交換を積み重ねることで、新人職員の育成計画の作成と連携体制の強化に向けて新たな組織構築に繋がった。
学習と成長の視点	スキルアップ支援	介護福祉士の国家試験対策として、6月から適宜過去に出た問題や模擬試験資料を配布して合格者の支援ができた。
		法人内の職員データを整理して研修の受講可能者の把握を行い施設担当者との情報共有ができた。
		中堅職員となる手前の中堅ジュニアの育成支援に関しては育成支援の重要性と今後の対応に関する意見交換に留まった。

経営報告(2020年4月～2021年3月末)  
法人本部(人事部)

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
地域の 視点 貢献	福祉教育	中学校のトライやるウィークの受入れや高等専門学校及び大学等と連携して福祉教育に携わる。	通年	新型コロナウイルスの感染状況の拡大から、トライやるウィークの施設体験はなかったが、兵庫大学からの実習生1名を受け入れた。また福祉教育においては予定通り、山崎高等学校と神戸女子短期大学での活動は行った。
	福祉人材確保とグローバル活動	ベトナム共和国をはじめ近隣国の送り出し機関と良好な関係づくりを行い、独自の募集活動と日本の福祉の啓蒙について要請に応える準備をする。	9月から毎月開催	新型コロナウイルスの影響で技能実習2期生の配属が大幅に遅れたが、年度内に8名の実習生を配属することができた。入国が遅れたことで日本の介護技術の習得に向けてモチベーションが低下しないように、ベトナムの送り出し機関と連携して月2回の介護現場で使う日本語教育等をオンラインを使って実施した。
		外国人労働者の受け入れ制度体制の研究を行う。ネパール、中国、フィリピン等を中心に現状視察を含めた調査活動を行う。	下半期(6回)	外国人労働者の新しい制度である特定技能1号(介護)において、交友関係の深い社会福祉法人が設立した登録支援機関に協力法人として提携することで、ベトナム以外の東南アジア諸国(ネパール・ミャンマー)からの受入れルートの確保ができた。
財務の 視点	紹介会社・派遣会社の厳選	法人として契約業者の把握と分析	随時	以前から整理を進めていた契約業者一覧表に不足分を追加して実態の把握を行った。また、集約を行った事業者の中から、法人にとって有益と判断できる事業者へのアプローチや訪問を行った。
		紹介・派遣会社の有効活用に関する提言	期末	上記の実態把握と有益性の分析を踏まえて、紹介会社や派遣会社においても現状を整理することや、法人独自の人材評価等を行い「質の高い介護人材」を紹介・派遣してくれる会社の絞り込みの必要性を提言したい。
顧客の 視点	介護の原点の追求	介護の質の担保のために、介護の原点を育成計画に反映する。	月1回の定例会	当初計画予定の介護職員(新人職員)の育成計画は、新型コロナウイルスの蔓延により「施設間の移動制限」が発令されたことで大幅に計画の変更を迫られた。しかし、コロナ禍でできる体制整備として7月からオンライン研修を取り入れる形で計画変更して実施した。
			月1回の定例会	技能実習生の介護職員としての育成に関しては、新人職員と同様の「グローイングまどか」の活用や実習補助日誌が能力の習得に効果を発揮したと評価している。
業務の プロセス 視点	人材育成と体制づくり	「グローイングまどか」の運用	月1回の定例会	法人としての標準的な介護技術、知識を指導するコミュニケーションツールとして、新人職員育成に活用しながら検証を進めた結果、法人の求める標準値の抽出、3か月、6か月、10か月と期間に習得状況が把握できることでスモールステップでの育成評価ツールが誕生した。
		育成体制の組織化	通年の活動	人事部の育成係が担当した新人職員育成チーム、技能実習生技術指導員チーム、技能実習生生活指導員チームの構成を各キャンパスから選出し、情報を共有しながら法人としての統一的指導とキャンパス特性を生かした独自性に関する認識が委員会活動から芽生え、次年度の組織体制の構築に向けた礎となった。
学習と 視点 成長	資格取得支援	初任者・実務者研修の受講援助	上半期	初任者研修・実務者研修の受講状況を各キャンパスと調整して受講者支援を行った。
		学習の支援(過去問等の準備・配布)	7月～1月(月1回)	介護福祉士受験希望者に対して、過去問題等を準備して予定10回の資料配布と個別分析資料を受験者に提供した。
		中堅ジュニアの育成	下半期後半2回	中堅ジュニアの育成研修は重要な課題ではあるが、新人職員育成チームの会議体で意見交換を行う程度に留まった。



2020年度（令和2年度）事業報告		
部門	特別養護老人ホームまどか園 まどか園ショートステイ	
所在地	兵庫県宍粟市一宮町福知1030番地1	
会議・委員会の種類	運営委員会、接遇向上委員会、苦情解決委員会、個人情報保護委員会、感染症対策、衛生委員会、フェスティバル実行委員会、広報委員会、特養主任会議、リーダー会議、給食会議、身体拘束適正化委員会、褥創対策委員会、事故防止検討委員会、口腔ケア委員会、入所計画委員会、サービス担当者会議	
基本事業	独自実施事業	
地域貢献の視点	地域研修実施事業	高校への講師派遣は法人として行えた。 介護技術講習会、認知症勉強会の開催・講師派遣（コロナ感染予防により中止） 介護事業説明会の地域開催（コロナ感染予防により中止） 介護業務イメージアップ推進事業の推進（コロナ感染予防により中止）
	福祉避難所としての役割の遂行	大雨・台風発生時、随時対応、一宮キャンパス事業継続計画を策定完了。
	地域交流行事の開催	コロナ禍での地域交流行事としての盆踊り大会は中止とし、ご利用者と職員のための盆踊り大会とした。
財務の視点	財政再建への対応	事業継続計画策定段階で現場職員による最低限の職員数割出し完了。ただし人件費の削減に意図的につなげる事はできなかった。
		コロナ禍でありながら、97.5%の稼働率を達成する事が出来た。
		一宮キャンパスとして介護福祉士の特養異動、介護福祉士国家試験合格により8月から日常生活継続支援加算の取得ができた。
		工事、物品購入（手袋に1枚に至るまで）1円でも安い業者の選定に事務所、介護現場一丸となって努力できた。
		アトレイを廃車する。デイ事業休止により結果デイの公用車を本年度車検まで特養所有となる。ミニデイ、ヘルパーの安定稼働の為、車検以降支援、ヘルパーが判断。
顧客の視点	行事の再検討	コロナ禍で行事開催が難しいなかで「やりがい」と「生きがい」造りの追求ができなかった。唯一外での農園の活用はできたと思う。
	居室担当者の充実	居室担当者の役割として購買に係る、利用者の思いの聞き取りの形と担当者会議でのご利用者の声の代弁の形だけになった。
	余暇活動の充実	9月からデイ経験者が特養に異動してくれた事によりすこしづつ新館からリハビリ体操、機能維持訓練（立ち上がり）ができるようになってきた。
業務プロセスの視点	計画的の休暇の取得	一日の最低必要人数を割り出す事はできた。技能実習生の受入れにより日勤帯の余剰人員を作る事ができた。後は長期休暇取得に向けた現場のルール作りを行いたい。
	最低必要人員の洗い出し	現場職員による最低限の職員数割出し完了したもの、職員の退職、体調不良により勤務変更により余剰人員を作りだしての行事委員会の開催には至らなかった。
	リフレの指導の上でのパットの見直し	2人づつ2回リフレのオンライン研修に参加してもらえた。ただサブリーダーに参加してもらえなかった。

学習と成長 の視点	高齢者虐待防止法・個人情報保護法の法令遵守の徹底	園内研修の実施、中途採用者のビデオ学習による啓発活動を行った。
	レクリエーション担当者の育成	従来レクリエーション担当者として育成を目指したサブリーダーの育成は健康上の問題で達成できず。下半期から異動してくれた職員による充実が図れた。
	役職別の遂行業務の明確化	特定処遇の配分により、サブリーダー主任クラスの職員の意識改革につながった。事業計画も役割を持って行えた。
	技能実習生の育成	技能実習技術指導者も新たに2名追加でき、チーフの退職を伴う引継ぎも行えた。また生活指導員の1名同性の職員で作る事ができた。
	介護福祉の国家資格取得援助	旧運営支援部の協力のもと3名の職員が介護福祉士に合格してくれた。

経営報告(2020年4月～2021年3月末)  
特別養護老人ホームまどか園・まどか園ショートステイ

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
地域の 視点 貢献	地域研修実施事業	介護技術及び認知症予防教室・介護サービス説明会等の開催	1月4日	高校への講師派遣は法人として行えた。 介護技術講習会、認知症勉強会の開催・講師派遣(コロナ感染予防により中止) 介護事業説明会の地域開催(コロナ感染予防により中止) 介護業務イメージアップ推進事業の推進(コロナ感染予防により中止)
	福祉避難所としての役割の遂行	宍粟市と協議の上、災害時の避難体制の確立	継続計画完成	大雨・台風発生時、随時対応、一宮キャンパス事業継続計画を策定完了。
	地域交流行事の開催	地域交流行事として盆踊り大会の開催	1回	コロナ禍での地域交流行事としての盆踊り大会は中止とし、ご利用者と職員のための盆踊り大会とした。
財務 の 視点	財政再建への対応	必要最低限の職員の割り出し(人件費の抑制)		事業継続計画策定段階で現場職員による最低限の職員数割出し完了 ただし人件費の削減に意図的につなげる事はできなかった。
		収入安定の為の稼働率維持	97.5	コロナ禍でありながら、97.5%の稼働率を達成する事が出来た。
		日常生活継続支援加算取得	加算算定終了	一宮キャンパスとして介護福祉士の特養異動、介護福祉士国家試験合格により8月から日常生活継続支援加算の取得ができた。
		支出見直し	随時	工事、物品購入(手袋に1枚に至るまで)1円でも安い業者の選定に事務所、介護現場一丸となって努力できた。特に新館空調は350万の予算を280万で修繕する事ができた。
		公用車の見直し	随時	アトレイを廃車する。デイ事業休止により結果デイの公用車を本年度車検まで特養所有となる。ミニデイ、ヘルパーの安定稼働の為、車検以降支援、ヘルパーが判断。
顧客 の 視点	行事の再検討	行事立案時の達成目標を明確化する	3回	コロナ禍で行事開催が難しいなかで「やりがい」と「生きがい」造りの追求ができなかった。唯一外での農園の活用はできたと思う。
	居室担当者の充実	居室担当者による定期面接の開催(傾聴)	月1回	居室担当者の役割として購買に関する、利用者の思いの聞き取りの形と担当者会議でのご利用者の声の代弁の形だけになった。
	余暇活動の充実	レクリエーションの充実	週1回程度	9月からデイ経験者が特養に異動してくれた事により、すこしづつ新館からリハビリ体操、機能維持訓練(立ち上がり)ができるようになってきた。
業務 プ ロ セ ス の 視	計画的の休暇の取得	リフレッシュ休暇の実現	年間最低5日完了	一日の最低必要人数を割り出す事はできた。技能実習生の受入れにより日勤帯の余剰人員を作る事ができた。後は長期休暇取得に向けた現場のルール作りを行いたい。
	最低必要人員の洗い出し	最低必要ラインの人員を確立し、プラス業務の遂行(行事・委員会)	最低必要人員明確化	現場職員による最低限の職員数割出し完了したもの、職員の退職、体調不良により勤務変更により余剰人員を作りだしての行事委員会の開催には至らなかった。
	リフレの指導の上でのパットの見直し	パットの適正な使用方法の確定	2回	2人づつ2回リフレのオンライン研修に参加してもらえた。ただサブリーダーに参加してもらえなかった。

経営報告(2020年4月～2021年3月末)  
特別養護老人ホームまどか園・まどか園ショートステイ

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
学習 の 視 と 成 長 点	高齢者虐待防止法・個人情報保護法の法令遵守の徹底	高齢者虐待・個人情報保護に関する研修の徹底 施設内における携帯保管場所の徹底	2回/年	園内研修の実施、中途採用者のビデオ学習による啓発活動を行った。
	レクリエーション担当者の育成	レクリエーション担当者の育成	2名	従来レクリエーション担当者として育成を目指したサブリーダーの育成は健康の問題で達成できず。下半期から異動してくれた職員による充実が図れた。
	役職別の遂行業務の明確化	特定処遇加算の関係から役職別の必須業務の明確化	権限移譲未完了	特定処遇の配分により、サブリーダー主任クラスの職員の意識改革につながった。事業計画も役割を持って行えた。
	技能実習生の育成	技能実習生の育成体制・サポート体制の確立	技術指者2名 生活指導2名	技能実習技術指導者も新たに2名追加でき、チーフの退職に伴う引継ぎも行えた。また生活指導員の1名同性で作る事ができた。
	介護福祉の国家資格取得援助	介護福祉士取得者の増員	新規合格3名	旧運営支援部の協力のもと3名の職員が介護福祉士に合格してくれた。

## 2020年度（令和2年度）事業報告

部門		まどか園在宅介護支援センター
所在地		兵庫県宍粟市一宮町福知1065番地
会議・委員会の種類		居宅事業所会議・感染症委員会・運営委員会・経営者会議・フェスティバル委員会・地域包括ケア会議・介護支援専門員部会・一宮ケアマネ連絡会・宍粟市ケアマネ連絡会
基本事業		独自実施事業
地域貢献の視点	住み慣れた地域で生活していただける支援体制の構築	令和2年11月宍粟市内感染症拡大により12月ミニデイ休止、1月よりミニデイサービス再開しましたが自己自粛により利用者は減りましたが暖かくなり利用者数は少しずつ戻りつつあります。感染症の影響で介護保険新規申請者が減少もしましたが、ミニデイ利用者や要支援者が介護申請に繋がるケースもあり、様々なサービス調整により住み慣れた家や地域で生活できるようにし、ケアマネ常勤換算2.6人に対し97.3人（月平均）要介護支援者数となりました。
財務の視点	財政再建への対応	公平中立性の確保を図りながらも、まどか園事業所の紹介も行い訪問介護85.4%、ショートステイ92.5%（訪問介護・ショートステイ計画数に対する利用割合）とまどか園事業所利用に繋がっています。在宅生活継続困難な方は特養入所や独居の方のグループホーム入所にも繋がっています。
	支出削減	事業費支出削減、コロナウイルス感染症交付金活用などにより、ほぼ活動収入内での支出となりました。
顧客の視点	信頼関係の構築	感染症予防をしながらモニタリング訪問や電話や書面などでご利用者・ご家族の意向確認や状態確認、事業所とのやり取りを行い密にならないよう人数調整しつつ担当者会議を開催し、目標の確認やサービス調整を行いました。
業務プロセスの視点	ご利用者を理解し、総合的な支援をする	個人情報取扱に関する法令および法人の諸規程を遵守しながら他事業所との情報共有を行い、活用できる社会資源を含むサービス調整を行いました。感染症予防のため自治会などの交流の場がもてない中で介護保険サービス調整により閉じこもりを予防するなど調整を行いました。
学習と成長の視点	技術や知識の向上心を持ち続ける	感染拡大予防のため園外研修参加が2回のみでした。他事業所との連携は直接・集まってすることは難しい状況でしたが、人数調整や電話・書面などで意見交換などしました。

経営報告(2020年4月～2021年3月末)  
まどか園在宅介護支援センター

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
地域の 視点 貢献	住み慣れた地域で生活していた だけの支援体制が築けるよう関係 づくり	できる限り自立した生活ができ、住み慣れた地域で適切 な介護サービスが受けられるようにプラン作成	新規、適宜	毎月の実績で新規受入の方を確認し、支援困難利用者に対し事業所内で情報共有や相談を行いました。
		地域行事や園行事に参加し、地域住民やボランティア の方と交流し、相談しやすい関係づくり	なし	感染症予防のため地域行事参加中止、園内行事中止、老人会参加なし、事業所ボランティア受入なく交流の場がもてませんでした。
		短時間通所サービスを実施し、介護予防ができる場を 提供	月4回	12月のみ市内感染症拡大のため休止、年44回短時間通所サービス提供を行いました。
財務 の 視点	財務再建に向けて対応	アセスメント・課題分析を行い、適切なサービスの提案 ができる	新規、更新、区分変更 毎	新規、更新、区分変更毎にアセスメント、課題分析を行いました。初回加算53回/年、介護97.33件/月、要支援16.5件/月となっています。
		まどか園の事業所の利用に繋げる	年2回	訪問介護・通所介護・ショートステイ計画数に対するまどか園事業所利用率:訪問介護85.4%、通所介護(通常規模、共用型、地域密着通所介護)9.3%、ショートステイ92.5%。まどか園通所介護は新規受入なし、年度末休止のため利用者数を増やすことができませんでした。
	支出削減	事業費の精査	年3回予算書確認	修繕費見積もり比較、消耗品価格比較、交付金の活用により事業収入内での支出となり、ほぼ収入内の運営ができました。
顧客 の 視点	ご利用者の思いの傾聴をし、ご 利用者を理解し、プランを作成す ることで信頼関係を築く	意向確認、プラン作成、目標設定、実行、評価	新規、更新、区分変更 毎	市内感染症拡大時期は必要なケースのみの担当者会議開催とし、書面照会や電話照会に対応できるケースは書面や電話で対応しました。市内感染症が落ち着いてからも照会などで人数調整をしながら担当者会議開催しています。
		フットワークを軽くし、できるだけ直接会って状態確認や 相談ができるように努める	月1回以上のモニタリ ング訪問	11月・12月は宍粟市内感染症拡大により電話や書面にてモニタリングを実施しました。他の月は感染症対策をしながら月1回以上のモニタリング訪問を行いました。感染症予防のため直接会う機会を減らし電話や書面等で対応し、必要に応じて訪問するように変更しました。
業務 プ ロ セ ス の 視	ご利用者を様々な視点で理解 し、総合的な支援ができる	様々な視点でご利用者を理解し、できる限り自立した生 活ができるようプラン作成	新規、更新、区分変更 毎	アセスメントシート、課題総括表活用しプラン作成をしています。
		介護保険サービス以外の地域資源や社会資源、制度 の理解や情報収集	新規、更新、区分変更 毎	配食サービス実施状況(感染症予防のため休止の時期あり)、活用できそうな社会資源の情報収集を行いました。感染症予防のため地域行事中止や住民同士の協力などは調整が難しい状況となっています。
		法人の個人情報取扱いの諸規程、取扱マニュアルの遵 守	情報提供などの際	業務の範囲内で主治医との連携や事業所へ情報提供を行いました。ご近所の協力を得る場合は、できる限りご家族から依頼していただくなどし、個人情報を適切に取り扱いました。
学 習 と 成 長 の 視 点	専門的技術や知識の学習に努 める	研修参加	7回	地域包括支援センター主催の「防災と福祉の連携による個別支援計画作成研修」、市主催「コロナウイルス感染(疑い)者発生時の報告・情報共有、感染症対策(防護服着脱方法実技など)研修」、厚労省主催(オンライン)「介護報酬改定研修」参加。園内研修4回参加・感染症対策のため資料確認。
		地域包括、居宅介護支援事業所、通所・訪問看護・訪 問介護・短期入所等の事業所との相談・連携・意見交 換	担当者会議、連絡、研 修後など	担当者会議、日頃の情報共有の際などの連絡時、研修参加後など地域包括や他事業所との相談や意見交換などを行いました。



## 2020年度（令和2年度）事業報告

部門		まどか園ヘルパーステーション
所在地		兵庫県宍粟市一宮町福知1030番地1
会議・委員会の種類		幹部会・部署長会議・運営委員会・衛生委員会・感染症対策委員会・フェスティバル委員会（盆会）
基本事業		独自実施事業
地域貢献の視点	施設行事で地域交流を図る	感染予防の為に行事が中止となり参加できなかった。
	防災訓練への参加	地域の清掃作業も中止となり参加できなかった。
財務の視点	財政再建への対応	対応できる職員が、少し増え訪問件数増加につながれた。
	他部署への応援	感染予防の為、特養応援はできなかった。
	公用車の有効活用	他部署からの依頼なく、出来る限りの利用を行った。
顧客の視点	利用者希望に柔軟に対応	対応出来る職員がまだ少ない状態で少しずつ増やす事ができた。
	看取り介護への理解	研修を行えたが、訪問には繋がらず理解する事が難しかった。
業務プロセスの視点	計画的な有給消化	職員から聞き取りを行い取得する事ができた。
	公用車使用時の配慮	年2回点検を行った事で大きな修理にはならなかった。
学習と成長の視点	高齢者虐待防止法・個人情報保護法の法令遵守の徹底	園内研修に参加し虐待防止と個人情報法令遵守の徹底を行った。
	研修内容の充実	内部での振り返り研修を行う事ができた。
	外部研修を受ける	外部での研修は参加出来なかったが、内部での研修を行う事で基礎的な事も振り返りながら研修する事ができた。

経営報告(2020年4月～2021年3月末)  
まどか園ヘルパーステーション

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
地域の視 点 の 視 点 の 視 点	施設行事で地域交流を図る	職員全員参加を目指し勤務を調整	参加なし	感染予防の為、フェスティバル、盆会など中止になり参加する事ができませんでした。
	防災訓練への参加	防火訓練での地域清掃に参加	参加なし	周辺の清掃作業も、感染予防の為中止されましたので、参加できませんでした。
財務の視 点 の 視 点 の 視 点	財政再建への対応	デイ送り出し、夕方訪問に対応する	月30件増	夕方訪問対応できる職員を不定期ですが1名確保できました。また、デイ送り出し訪問は、多い時で週3名の利用者へ訪問できました。件数増加に繋がれた。
	他部署への応援	職員の空き時間を利用し他部署の応援を行う	応援なし	感染予防の為、施設内への応援はできませんでした。職員は、記録の入力作業や公用車で待機するなどヘルパー同士接触を避け待機してもらった。
	公用車の有効活用	他部署からの希望があれば使用できる状態にする	実績なし	公用車空き時間は把握できていたが、他部署からの依頼がなかった。また、もうしばらくは感染予防の為にも、なるべくなら避ける様にしていきたい。
顧客の視 点 の 視 点 の 視 点	利用者希望に柔軟に対応	対応可能な職員を増やす	1名増	デイ送り出し最大4名まで何とか対応可能、夕方の食事準備に対応できる職員は不定期ではあるが1名確保でき利用者の意向に少し近づけた。
	看取り介護への理解	研修を増やし看取り介護に対応していく	1回	ヘルパー研修として、感染予防に配慮しながら研修を行った。訪問では、看取りとしての訪問はなく理解する事に難しさがあった。
業務の視 点 の 視 点 の 視 点	計画的な有給消化	季節等考慮し計画的な取得を目指す	取得済み	勤務表作成時、確実に5日以上取得できるよう希望を聞き消化をすすめた。残数が30日以上と多い職員の取得が今後の課題となった。
	公用車使用時の配慮	車検以外の定期的な点検を行う	3台分	タイヤ交換時に設備職員へ依頼し点検してもらった。また、職員からの依頼があれば簡単な修理を行ってもらえた事で高額な修理はなかった。
学習の視 点 と 成 長 の 視 点 の 視 点	高齢者虐待防止法・個人情報保護法の法令遵守の徹底	高齢者虐待・個人情報保護に関する研修に参加する	全員研修済	園内研修に参加し高齢者虐待防止と個人情報の法令遵守について再度学び直すことができた。
	研修内容の充実	看取り介護に関する研修を計画する	全員研修済	外部講師は、感染面で難しく実行できませんでした。内部だけで、以前研修を受けた内容を振り返りながら、再度研修をおこなった。
	外部研修を受ける	外部研修に多数参加する	12回	感染予防としてガウンテクニックの練習を行う研修に変更した事があり、実際の訪問に役立てれた。全員参加出来る様、利用者へ訪問調整を依頼した。無理な月は、日を変えて小人数で行った。全員での研修は次年度の計画とした。

## 2020年度（令和2年度）事業報告

部門	グループホームまどか園 まどか園デイサービスセンター	
所在地	兵庫県宍粟市一宮町福知1029番地	
会議・委員会の種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西担当者会議    ・東担当者会議</li> <li>・運営推進会議（身体拘束適正化委員会）</li> <li>・運営委員会    ・衛生委員会    ・感染症対策委員会</li> </ul>	
基本事業	独自実施事業	
地域貢献の 視点	効率的なサービス利用促進	今年度の6名の入居者の中で、特養への入所が4名あり、特養担当者と調整を行った。
	地域交流の促進	新型コロナウイルスの影響が続き、地域での行事も中止となり、地域交流を含めた外出行事等が行えなかった。
	サービス利用の情報提供	新型コロナウイルスの影響で、参加を見合わせている。
財務の視点	財政再建への対応	地域で緊急にGHの利用が望ましいとの状況になった時は、GHの利用者を速やかに特養に空白日を作ることなく異動が行えており、この場合の稼働率は100%を維持できている。
		共用型デイでは、利用対象者が少なく、入院やショート利用、入居などで増々減少傾向であったため、今年度末をもって休止とした。
		ハローワークや人材紹介会社等を利用しながら、求人募集を行ったが、採用には至らなかった。
顧客の視点	4DASの促進	新型コロナウイルスの影響で、現在の情報にて、実施を行っている。
	GHに最適な対象者への情報提供	連絡はあるものの、待機者の確保までは結びついていない。
	キャンパス内の情報共有	GHの待機者の状況を伝え、ショート担当者及び内部ケアマネより紹介を受けて、入居に結び付けている。
業務プロセスの視点	緊急時対応の整備	デイ勤務のシフトも作成したが、利用者の減少もあり、協力体制が作れずに別々の動きとなってしまった。
	計画作成担当者の育成	シフト表上では、一括管理が出来た。
	DSとの連携	デイの利用者の利用の増減が多々あり、現状のDSスタッフによるデイの運営になってしまった。
学習と成長の視点	認知症研修の継続実施	6月より認知症ケア加算Ⅰの加算要件を満たさないため、研修ができない状況になってしまった。
	介護福祉士の養成	本部の人事部の協力を得て、1名が受験し、合格した。
	外部の認知症研修への参加	新型コロナウイルスの影響により、外部の研修が中止となり、参加できていない。

経営報告(2020年4月～2021年3月末)  
グループホームまどか園・まどか園デイサービスセンター

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
地域の視 点 の 視 点 の 視 点	効率的なサービス利用促進	特養待機者やロングショート利用者へのグループホーム入所促進と重度利用者の特養への移動。	4回	今年度、6名の退去者、6名の入居者の中で、特養担当者と調整を行い、移動による空白日を設けずに、4名の入居者が特養への入所を行った。他の2名は、入院と死亡による退居であった。
	地域交流の促進	施設行事・担当利用者行事単位で地域行事に積極的に参加する。	0回	新型コロナウイルスの影響が続き、地域での行事も中止となり、地域交流を含めた外出行事等が行えなかった。
	サービス利用の情報提供	認知症サポーター養成講座への参加と地域ケアマネへの共用型デイの情報提供。	0回	新型コロナウイルスの影響で、参加を見合わせている。
財務の視 点 の 視 点 の 視 点	財政再建への対応	稼働率を安定させるため、待機者確保と特養との連携移動を積極的に実施する。	99.00%	退居及び入居時の空白日数は、8日であったが、入院が55日もあり、稼働率が伸びなかった。
		共用型デイを実施し、上期中に健全な運営となるように対策をとる。	3.1人	上期は、利用者も1日平均4名来ていたため、職員の配置になったが、下期は、利用者の利用日数の減少により、2.5人以下を下回る日が多くなった。
		夜勤専従職員の確保。	0人	夜勤専従の職員を採用したかったが、採用できなかった。
		56.50%	上期は、目標の70%代を維持していたが、利用者の減少による利用日数の減少のため、稼働率の低下が見られた。	
顧客の視 点 の 視 点 の 視 点	4DASの促進	4DASの視点を活かし、興味、関心、愛着を探り「その人を知る」事に注力する。	現状維持	新型コロナウイルスの影響で、現在の情報にて、実施を行っている。
	GHに最適な対象者への情報提供	地域のケアマネへの定期訪問と4DAS説明。	0回	連絡はあるものの、待機者の確保までは結びついていない。
	キャンパス内の情報共有	入所待機者・潜在利用者情報をキャンパス内で情報共有し、サービスの有効活用につなげる。	1～2名	常時2名の有効待機者の確保とはいかなかったが、特養への異動に対しては、スムーズに行えた。
業務プロ セスの視 点 の 視 点 の 視 点	グループホームによる共用型デイの運営	デイ勤務のシフトを作り、グループホーム職員が毎日一人デイサービスで勤務する。	0.5名	デイ勤務のシフトも作成したが、利用者の減少もあり、協力体制が作れずに別々の動きとなってしまった。
		グループホームとデイサービスの全職員の勤務表を一括管理する。	4～3月	4月から一括管理ができるシフト表の作成が出来た。
		非常勤を中心としたデイ専属の職員による運営。	12月～	デイの利用者の利用の増減が多々あり、現状のDSスタッフによるデイの運営になってしまった。
学習と成 長の視 点 の 視 点 の 視 点	認知症研修の継続実施	GH内での認知症勉強会を毎月開催。	2回	6月より認知症ケア加算Ⅰの加算要件を満たさないため、研修ができない状況になってしまった。
	介護福祉士の養成	介護福祉士実務者研修へ参加。	1名	本部の人事部の協力を得て、1名が受験し、合格した。
	高齢者虐待・個人情報保護の研修	研修部が行う高齢者虐待・個人情報保護関連の研修に全員が年2回以上参加。	0回	新型コロナウイルスの影響により、外部の研修が中止となり、参加できていない。

2020年度（令和2年度）事業報告

部門		特別養護老人ホーム宝塚まどか園 宝塚まどか園ショートステイ
所在地		兵庫県宝塚市美座2丁目22番2号
会議・委員会の種類		<ul style="list-style-type: none"> <li>●会議 幹部会、運営委員会、主任会議、リーダー会議</li> <li>●委員会 入居計画委員会、感染症対策委員会、事故防止委員会、身体的拘束適正化推進委員会、高齢者虐待防止委員会、安全対策委員会、給食会議、排泄委員会、褥瘡対策委員会、広報委員会</li> <li>●外部 県老協（阪神ブロック）、宝塚市介護保険事業者協会、社会福祉法人連絡協議会、ボランティアセンター（社会福祉協議会）、美座コミュニティ運営委員会、防災対策委員会（コミュニティ美座）、ネットワーク会議、福祉避難所連絡協議会</li> </ul>
基本事業		独自実施事業
地域貢献の視点	まどかブランドの構築	①安心ほっとステーションとしての機能充実。②各種団体（自治会・コミュニティ・学校・老人会・子ども会）との連携を深める。 ③多世代（高齢者と子ども）間の交流を図るについて、コロナウイルスの影響により、施設に来訪していただくことをすべて休止となりました。コロナウイルス収束を待ち、再度、取り組んでいきます。
	社会福祉法人としての使命の実践＝地域包括ケアへの取り組み	①災害時の福祉避難所としての役割強化の検討及び②地域福祉ニーズに応えるサービスを提供するについては、コロナウイルスの影響により、地域関連の取組はすべて休止しました。 ③福祉を志す人材の育成については、今年度は、介護福祉士実習生9月2名、1月3名、看護実習生11月9名12月1名の受入れを行いました。
	住民の居場所作り	①こども食堂、②いきいき百歳体操、③トライやるウィークの受入れについて、コロナウイルスの影響により、施設に来訪していただくことはすべて休止となりました。
財務の視点	財政再建への対応	介護報酬の収入増は、4月5月と新型コロナウイルスの感染予防対策としてショートステイユニットの利用制限を行い当初予定より利用減となりましたが、その後、ショート利用の回復に努め年間95.28%まで回復することができました。年間収支として黒字で終えることができました。 事業費支出削減については、毎月運営委員会にて介護用品等の使用状況を確認し、使用状況について精査を行うことにより、支出の削減に努めました。また、新型コロナ包括支援助成金の申請や、修繕を抑えるなどし、予算収支の差額の減少に努め、本年度、約1,800万円の黒字の収支で終えることができました。
	稼働率の安定化	新規利用獲得に向けて、居宅介護支援事業所に連絡を入れるなど行い、度累計として、特養新規利用者19名、ショート新規利用者49名の受入れを行った。また、緊急利用の受入れにも努めた。コロナウイルス流行の措置としてショート利用者には緊急利用加算をつけて算定を継続しました。
	収支差額の管理＝収益の確保	運営委員会において、日用品の使用頻度を確認し、当該担当者へ使用頻度の確認等実施した。

顧客の視点	ケアプランの充実	年間の計画に沿って、ケアプランの作成を行い年間2回の更新について、すべての利用者の実施できました。また、看取りについては、年間15名の看取りを実施し、週1回の検討を行い必要に応じて見直しを実施しました。
	家族の施設運営への参画	コロナウイルスの影響により、施設に来訪していただくことができず家族会を開催することができませんでした。
	介護記録の充実・発展	必要な記録の漏れがないか、各専門職が都度確認を実施した。月末ご家族に郵送する前に、介護リーダーが確認し、相談部門が見直しを行い修正を行いました。
業務プロセスの視点	業務の標準化	事務部会を中心に、法人での事務業務の整理を進めました。他の部会については、顔合わせを行った段階で、次年度以降開催にて、業務整理を進めていきます。
	外国人労働者の受入	令和3年2月に技能実習生2期生が就職し、技能実習生6名すべて就業することができました。1期生、1.5期生は、概ねの介護を行うことができるようになりました。 留学生1期・2期生合わせて5名の受入れをしました。 在留外国人として1名採用を行い、合計12名の外国人労働者の受入れを行いました。介護職員に占める割合は年度当初の9%から17%まで増加しており、今後は、日本人とのバランスを考えながら受入れを調整していきます。
	ノーリフトケアの導入	3階フロアにリフト2台導入しました。それぞれ8枚のリフト用シートを購入し16名まで対応できるようになりました。研修を重ねて3階の職員・パート職員がリフト操作を行えるようになりました。
学習と成長の視点	介護基礎知識の習熟	法人人事部と連携しながら、4名の新人教育を行い9月には4名全員が独り立ちをしました。入職職員に対し、OJTチェックリストを使用し、OJTの教える項目に漏れがないかチェックを行いました。次年度に向けて重大事故予防のチェックシートを作成し、運用をすすめていきます。また、Eラーニングについて検討を行い来年度の実施に向けて調整を行うことができました。
	摂食・嚥下についての理解	入所や退院のタイミングで食事提供の変更の必要性を確認するためチェックシートを導入することができました。
	資格取得者の増加	今年度は、介護福祉士の受験を3名が行い2名が合格しました。育児休暇復帰職員2名を加えて令和3年度は介護職員80名中37名が介護福祉士を保有している状態になります。 次年度に、向けて実務者研修受講5名希望あり、受講を開始しています。



経営報告(2020年4月～2021年3月末)  
特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
地域 の 視 点 の 貢 献	まどかブランドの構築	①安心ほっとステーションとしての機能充実。 ②各種団体(自治会・コミュニティ・学校・老人会・子ども会)との連携を深める。 ③多世代(高齢者と子ども)間の交流を図る。	未実施	①②③コロナウイルスの影響により、施設に来訪していただくことをすべて休止となりました。コロナウイルス収束を待ち、再度、取り組んでいきます。
	社会福祉法人としての使命の実践	①災害時の福祉避難所としての役割強化の検討。 ②地域福祉ニーズに応えるサービスを提供する。 ③福祉を志す人材の育成。	①②未実施 ③15名受入	①②コロナウイルスの影響により、地域関連の取組はすべて休止しました。 ③今年度は、介護福祉士実習生9月2名、1月3名、看護実習生11月9名12月1名の受入れを行いました。
	地域住民の居場所作り	①こども食堂 ②いきいき百歳体操 ③トライやるウィーク	未実施	①②③コロナウイルスの影響により、施設に来訪していただくことはすべて休止となりました。
財務 の 視 点	財政再建への対応	①介護報酬の収入増 ②事業費支出の削減 ③予算との差額の減少	資金収支差額+1,800万円	①4月5月と新型コロナウイルスの感染予防対策としてショートステイユニットの利用制限を行い当初予定より利用減となりましたが、その後、ショート利用の回復に努め年間95.28%まで回復することができました。年間収支として黒字で終えることができました。 ②毎月運営委員会にて介護用品等の使用状況を確認し、使用状況について精査を行うことにより、支出の削減に努めました。 ③新型コロナ包括支援助成金の申請を行う、修繕を抑えるなどし、予算収支の差額の減少に努め、本年度黒字の収支で終えることができました。
	稼働率の安定化	新規顧客の開拓 緊急ショート受け入れへの整備	稼働率95.28%	新規利用獲得に向けて、居宅介護支援事業所に連絡を入れるなど行い、度累計として、特養新規利用者19名、ショート新規利用者49名の受入れを行った。また、緊急利用の受入れにも努めた。コロナウイルス流行の措置としてショート利用者には緊急利用加算をつけて算定を継続しました。
		現場職員への医療的ケアについて教育を行う。	入院者数年間1,200人	コロナの影響で、朝の勉強会が休止となり、代替として、介護リーダーより新人を中心として小問題を毎週実施した。医務室では、主治医と連携し、入院の事由について検討し、介護職員に個別に説明を行うことにより入院の改善に努めた。
	職員の安定的確保	①人事部と連携し、高校との関係を強化する。 ②紹介・派遣会社と定期的に連絡をとる。 ③地域とのかかわりの中で採用情報を共有する。	年3回高校訪問実施	①人事部と連携し、指定校等の訪問を定期的に行いました。令和3年度入職希望4名の確保を行うことができました。 ②紹介会社、派遣会社と毎月連絡をとり、宝塚まどか園の状況を伝え看護職員、介護職員の確保を行うことができました。 ③新型コロナウイルスの影響で、地域との連携をとることはできなかった。
経費の節減	介護用品、日用品、事務消耗品の管理方法の見直しを行いコスト削減に取り組む。	毎月検討会を実施	運営委員会において、日用品の使用頻度を確認し、当該担当者へ使用頻度の確認等実施した。	
顧客 の 視 点	ケアプランの充実	「ほのぼの」の活用による自律支援に向けたケアプランの充実。	年2回の計画作成実施 看取り	年間の計画に沿って、ケアプランの作成を行い年間2回の更新について、すべての利用者の実施できました。また、看取りについては、年間15名の看取りを実施し、週1回の検討を行い必要に応じて見直しを実施しました。
	家族の施設運営への参画	家族交流会のあり方を家族代表者と検討し、交流会のあり方を定めていく。 家族との連携を強化する。	未実施	コロナウイルスの影響により、施設に来訪していただくことができず家族会を開催することができませんでした。
	介護記録の充実・発展	介護記録として暮らしのご様子を見直しを行う。	毎月見直し実施	必要な記録の漏れがないか、各専門職が都度確認を実施した。 月末ご家族に郵送する前に、介護リーダーが確認し、相談部門が見直しを行い修正を行いました。
業務 プ ロ セ ス の 視 点	業務の標準化	法人で開催される専門部会での検討内容をキャンパスでの業務標準化に役立てる。	実施	事務部会を中心に、法人での事務業務の整理を進めました。他の部会については、顔合わせを行った段階で、次年度以降開催にて、業務整理を進めていきます。
	ベトナム人技能実習生等の受入指導	6人の受け入れによる介護業務の整理の実施。夜勤開始に伴う体制等の調整の実施。	受入れ外国人 技能実習生6名 留学生5名 在留外国人1名	2月に技能実習生2期生が就職し、予定していた技能実習生6名すべて就業することができました。1期生については、日常の介護を判断しながら行うことができるようになりました。1.5期生も一人での介護ができるようになりました。2期生は来日したばかりで、日本語の習得をしながら介護業務を覚え始めている状況です。 留学生1期生3名は介護福祉士養成校で学び介護業務も一人で行えるようになりました。留学生2期生は日本語習得を行いながら生活援助を中心に業務が行えるようになっていきます。
	ノーリフティングケアの導入	リフト導入に向けて、プロジェクトを立上げ、導入を実施する。	リフト2台導入	リフト導入した月組は、5月にリフト用シートを4枚追加し8名対応できるようになりました。11月に新たなリフトを購入し、華組に導入しました。研修を重ねて2月には定着するようになりました。

経営報告(2020年4月～2021年3月末)  
特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
学習と成長の視点	介護基礎知識の習熟	OJTトレーナー研修を実施し、OJTトレーナーの育成を図る。 人事考課・楽ちゃんを使用しながら介護基礎力をあげる。	4名OJTトレーナー研修実施	法人人事部と連携しながら、4名の新人教育を行い9月には4名全員が独り立ちをしました。入職職員に対し、OJTチェックリストを使用し、OJTの教える項目に漏れがないかチェックを行いました。次年度に向けて重大事故予防のチェックシートを作成し、運用をすすめていきます。また、Eラーニングについて検討を行い来年度の実施に向けて調整を行うことができました。
	摂食・嚥下についての理解	摂食・嚥下チェックシートの導入	チェックシート導入実施	入所や退院のタイミングで食事提供の変更の必要性を確認するためチェックシートを導入することができました。
	資格取得者の増加	キャリアアップにつながる資格取得を推進する。 (介護福祉士・介護支援専門員・ユニットリーダー研修・初任者研修・介護実務者研修・たんの吸引研修等)	介護福祉士保持者 介護職員45%	今年度は、介護福祉士の受験を3名が行い2名が合格しました。 育児休暇復帰職員2名を加えて令和3年度当初は介護職員80名中37名が介護福祉士を保有しています。 次年度に、向けて実務者研修受講5名希望あり、受講を開始しています。

2020年度（令和2年度）事業報告		
部門	宝塚まどか園居宅介護支援事業所	
所在地	兵庫県宝塚市美座2丁目22番2号	
会議・委員会の種類	幹部会議、運営委員会、衛生委員会、宝塚市介護認定審査会、宝塚市介護保険事業者協会居宅部会	
基本事業	独自実施事業	
地域貢献の視点	介護技術講習会の開催	2020年度はコロナウイルスの影響により開催できませんでした。終息後には開催していきたいと思います。
	地域に開かれた場所作り	2020年度はコロナウイルスの影響により開催できませんでした。終息後には開催していきたいと思います。
	地域のNPO法人等との連携	2020年度はコロナウイルスの影響により開催できませんでした。地域で開催される時には連携を図っていきたいと思います。
財務の視点	財政再建への対応	特定事業所加算に必要な主任介護支援専門員研修に1月から受講し、3月に取得しました。実習施設としての認定の届出を来年度早々に行い、手続き完了後速やかに特定事業所加算の算定を行います。
	介護保険以外の収入の獲得	前任者より認定審査会の委員を引継ぎ月1～2回参加しました。コロナウイルスの影響により審査会の開催が難しいこともありましたが、2020年度は17回出席しました。コロナの影響もあり、認定期間延長の影響もあり、他市からの依頼での認定調査は13件の実施となりました。
	法令遵守を意識する	2020年3月17日に実施された宝塚市介護保険課のケアプランチェックを元に作成日、具体的な目標設定、記入漏れなどがなければ個々にケアプランを見直しを行い、月1回整理状況の確認を行いました。
顧客の視点	居宅サービス計画書の見直し	居宅サービス計画を見直すにあたり、各サービス事業所が算定している加算が漏れなく記載されているか、また自立支援に向けて達成可能な短期目標になっているか適正な運営基準に合わせた帳票づくり、管理を行いました。
	サービス事業所、各包括支援センターとの関係強化	包括支援センターからの依頼は断ることなく受けるようにし、また困難事例や虐待を疑われるようなときは報告、相談をするようにしました。
	行政との関係の構築	記載間違いのない書類、見やすく読みやすいこと資料作成を心掛けとともに提出期限を厳守し信頼を得られるように努めました。
業務プロセスの視点	ほのぼのをより有効に活用する	毎月7日までに給付管理を行い事前チェックを受けるようにしました。その結果、事前チェックエラーに関しては国保連に問い合わせ確認をすることで未然に修正、返戻を防いできました。
	安全体制の見直し	交通安全の研修は行えていませんが、運転前にはアルコールチェックをすることで、体調に気を配り事故を起こさない起こされないよう運転に努めるようにしました。
	書庫の整理を行い、帳票等の確認	過去5年の終了した利用者のファイル整理に取り掛かっております。書類に不備がないか確認を進め保管や必要のないものは処分しました。
学習と成長の視点	理念、情報の共有	週1回ミーティングを行い個々のケアマネの状況や研修情報を共有しました。担当以外の利用者の情報を共有することで、担当者不在時にも対応ができるように取り組んでいるところです。
	介護支援専門員としてスキルの強化	2020年4月から介護支援専門員の更新研修を1名受ける予定でしたがコロナウイルスの影響により1年延長になりました。2021年4月から受講しています。
	介護支援専門員更新研修等の受講	2021年1月から3月にかけて1名主任ケアマネ研修を受講し取得しております。主任ケアマネを中心に介護支援専門員としてのキャリアアップを進めているところです。

経営報告(2020年4月～2021年3月末)  
宝塚まどか園居宅介護支援事業所

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
地域の視 点 の 地 域 貢 献	介護技術講習会の開催	訪問介護事業所と合同で介護技術講習会を年2回開催します	0回	2020年度はコロナウイルスの影響により開催できませんでした。終息後には開催していきたいと思います。
	地域に開かれた場所作り	オレンジカフェ、こども食堂を開催します	0回	2020年度はコロナウイルスの影響により開催できませんでした。終息後には開催していきたいと思います。
	地域のNPO法人等との連携	美座っ子祭り、花の道自治会祭りで介護相談ブースを開催し、ルリアン等の活動を支援します	0回	2020年度はコロナウイルスの影響により開催できませんでした。地域で開催されるときには連携を図っていきたいと思います。
財務の視 点	財政再建への対応	特定事業所加算の体制を整えます	研修受講1名	特定事業所加算に必要な主任介護支援専門員研修に1月から受講し、3月に取得しました。実習施設としての認定の届出を来年度早々に行い、手続き完了後速やかに特定事業所加算の算定を行います。
	介護保険以外での収入獲得	月/2回介護認定審査会、各市町村の認定調査を実施します	審査会年17回 認定調査13件	前任者より認定審査会の委員を引き継ぎ月1～2回参加しました。コロナウイルスの影響により審査会の開催が難しいこともありましたが、2020年度は17回出席しました。コロナの影響もあり、認定期間延長の影響もあり、他市からの依頼での認定調査は13件の実施となりました。
	法令順守を意識する	宝塚市介護保険課の見解を元に帳票等の整理を行います	年12回	2020年3月17日に実施された宝塚市介護保険課のケアプランチェックを元に作成日、具体的な目標設定、記入漏れなどがないか個々にケアプランを見直しを行い、月1回整理状況の確認を行いました。
顧客の視 点	居宅サービス計画書の見直し	居宅サービス計画書を見直し、運営基準に合わせた帳票の管理を行います	実施	居宅サービス計画を見直すにあたり、各サービス事業所が算定している加算が漏れなく記載されているか、また自立支援に向けて達成可能な短期目標になっているか適正な運営基準に合わせた帳票づくり、管理を行いました。
	サービス事業所、各包括支援センターとの関係の強化	サービス事業所、各包括支援センターとの連携を強化します	達成	包括支援センターからの依頼は断ることなく受けるようにし、また困難事例や虐待を疑われるようなときは報告、相談をするようにしました。
	行政との関係の構築	宝塚市介護保険課との関係を構築します	実施	記載間違いのない書類、見やすく読みやすいこと資料作成を心掛けとともに提出期限を厳守し信頼を得られるように努めました。
業務プロセスの視 点	ほのぼのをより有効活用	給付管理を毎月7日までに提出をします	実施	毎月7日までに給付管理を行い事前チェックを受けるようにしました。その結果、事前チェックエラーに関しては国保連に問い合わせ確認をすることで未然に修正、返戻を防いでできました。
	安全体制の見直し	交通安全について研修を行います	未達成	交通安全の研修は行えていませんが、運転前にはアルコールチェックをすることで、体調に気を配り事故を起こさない起こされないよう運転に努めるようにしました。
	書庫の整理を行い、帳票等の確認	帳票を整理し、保管の必要のないものを確認し、処分を行います	実施	過去5年の終了した利用者のファイル整理に取り掛かっております。書類に不備がないか確認を進め保管や必要のないものは処分しました。
学習の視 点 と 成 長	理念、情報の共有	介護支援専門員としての資質の向上に努めます	実施	週1回ミーティングを行い個々のケアマネの状況や研修情報を共有しました。担当以外の利用者の情報を共有することで、担当者不在時にも対応ができるように取り組んでいるところです。
	介護支援専門員としてスキルの強化	介護支援専門員としての基礎的な研修を受けます	0回	2020年4月から介護支援専門員の更新研修を1名受ける予定でしたがコロナウイルスの影響により1年延長になりました。2021年4月から受講しています。
	介護支援専門員更新研修等の受講	介護支援専門員更新研修、主任介護支援専門員研修を受講します	1回	2021年1月から3月にかけて1名主任ケアマネ研修を受講し取得しております。主任ケアマネを中心に介護支援専門員としてのキャリアアップを進めているところです。

## 2020年度（令和2年度）事業報告

部門		宝塚まどか園ヘルパーステーション
所在地		兵庫県宝塚市美座2丁目2番2号
会議・委員会の種類		運営委員会、衛生委員会、介護技術講習会、ヘルパー職員会議
基本事業		独自実施事業
地域貢献の視点	介護技術講習会の開催	2020年度はコロナウイルスの影響により開催できませんでした。終息後には開催したいと思います。
	地域ニーズの把握	2020年度はコロナウイルスの影響により開催できませんでした。終息後には開催したいと思います。
財務の視点	財政再建への対応	利用実績者数は要介護18件、総合事業10件の28件です。入所によるサービス終了と、新規利用がほぼ同数で総数を増やすことが出来ず、サービス提供責任者を2名体制にするには至りませんでした。
	介護保険外事業の推進	継続して利用している方は1名で、単発での利用が延べ9名ありました。年間売り上げは約61万円です。
	介護用品の管理の見直し	事務用品や介護用品の在庫の見直しを行い費用の削減に努めました。また、マスクや手袋等の介護用品は新型コロナウイルスの助成金を活用し購入いたしました。
顧客の視点	定期的かつ迅速にサービスの見直しと対応	サービス提供責任者による訪問やサービス担当者への聞き取りなどで、ニーズの確認を行いました。訪問介護計画書の見直しに繋げ、居宅事業所・利用者・ご家族・サービス事業所へ提案を行いました。
	安定したサービスの提供	新たな登録ヘルパーの獲得はありませんでした。休眠ヘルパーが1名、12月より復帰しました。パート事務員を1名雇用しました。
業務プロセスの視点	情報の共有化	毎月事業所内会議を開催致し、職員間の情報を共有し、サービス内容を見直し、サービスの向上につながるよう努力しました。
	職員の働きやすい環境作り	同じ地区を続けて訪問できるように工夫し、効率的な勤務体制をとれるよう、シフトの見直しを行いました。
	業務省力化への対応	日々の支援経過を効率よく入力できるよう、フォーマットを整え、業務の省力化を図りました。
学習と成長の視点	安全研修の実施	ヘルパー研修で、「訪問介護に多い事故ケース」について学びました。また車両運転中は細心の注意を払うよう日々心がけています。
	サービス提供責任者の力量をアップ	訪問介護事業部会はコロナウイルスの影響により開催が少なかったのですが、2回参加しました。

経営報告（2020年4月～2021年3月末）  
宝塚まどか園ヘルパーステーション

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
地域の 視点 貢献	介護技術講習会の開催	居宅事業所と共同し、介護技術講習会を年2回開催する。	0回	2020年度はコロナウイルスの影響により開催できませんでした。終息後には開催したいと思います。
	地域のニーズの把握	美座っ子祭り、花の道自治会祭り等の地域行事に積極的に参加し、地域のニーズを把握する。	0回	2020年度はコロナウイルスの影響により開催できませんでした。終息後には開催したいと思います。
財務 の 視点	財政再建への対応	サービス提供責任者を2名体制にすることで、要介護30名・総合事業10名（自費3名を含む）合計40名の利用者を獲得し、総合的に収益が出る体制を作る。	18件	利用実績者数は要介護18件、総合事業10件の28件です。入所によるサービス終了と、新規利用がほぼ同数で総数を増やすことが出来ず、サービス提供責任者を2名体制にするには至りませんでした。
	介護保険外事業の推進	自費契約（有料サービス）を必要とする利用者を獲得する。	21件	継続して利用している方は1名で、単発での利用が延べ9名ありました。年間売り上げは約61万円です。
	介護用品の管理の見直し	少量を適正価格を購入し、介護用品の管理を見直す。	0回	事務用品や介護用品の在庫の見直しを行い費用の削減に努めました。また、マスクや手袋等の介護用品は新型コロナウイルスの助成金を活用し購入いたしました。
顧客 の 視点	定期的かつ迅速にサービスの見直しと対応	定期的にモニタリングを行うことで、訪問介護計画書の見直しに繋げ、居宅事業所・利用者・ご家族・サービス事業所へ提案を行う。	24件	サービス提供責任者による訪問やサービス担当者への聞き取りなどで、ニーズの確認を行いました。訪問介護計画書の見直しに繋げ、居宅事業所・利用者・ご家族・サービス事業所へ提案を行いました。
	安定したサービスの提供	新規登録ヘルパーの獲得、もしくは休眠ヘルパーの再開に向けた取り組みを行い、安定したサービスの提供を行う。	1件	新たな登録ヘルパーの獲得はありませんでした。休眠ヘルパーが1名、12月より復帰しました。パート事務員を1名雇用しました。
業務 プ ロ セ ス の 視点	情報の共有化	事業所内会議を定期的に行い、職員間の情報を共有する。	12回	毎月事業所内会議を開催し、職員間の情報を共有し、サービス内容を見直し、サービスの向上につながるよう努力しました。
	職員の働きやすい環境作り	働き方や勤務の見直しを定期的に行う。	実施	同じ地区を続けて訪問できるように工夫し、効率的な勤務体制をとれるよう、シフトの見直しを行いました。
	業務省力化への対応	支援経過機能を活用し、業務の省力化を図る。	実施	日々の支援経過を効率よく入力できるよう、フォーマットを整え、業務の省力化を図りました。
学 習 と 成 長 の 視点	安全研修の実施	安全に関する研修を実施する。	実施	ヘルパー研修で、「訪問介護に多い事故ケース」について学びました。また車両運転中は細心の注意を払うよう日々心がけています。
	サービス提供責任者の力量をアップ	サービス提供責任者の力量を上げ、知識や情報を習得し、業務に生かす。	2回	訪問介護事業部会はコロナウイルスの影響により開催が少なかったのですが、2回参加しました。



## 2020年度（令和2年度）事業報告

部門	特別養護老人ホーム神戸まどか園 神戸まどか園ショートステイ	
所在地	兵庫県神戸市長田区大丸町1丁目5番1号	
会議・委員会の種類	会 議	・運営・リーダー・ユニット
	委員会	・身体拘束廃止・高齢者虐待・感染症対策 ・研修・リスクマネジメント・入所検討 ・食事・口腔ケア
基本事業		独自実施事業
地域貢献の 視点	・介護サービス事業の実施	特養は満床には至らなかったが、通年で96.43%となっている。短期入所は、コロナ禍の影響を受ける月もあり、新規の依頼に対応出来ない場合もあったが、通年で76.24%を維持することが出来、昨年度より大幅にアップすることが出来た。しかし通所介護の開所までには至らなかった。
	・地域の福祉拠点	長田区での取り組みに5月まで参加できたが、以降はコロナ禍の影響で開催がなかった。福祉教育やボランティアの受け入れは、コロナ禍の影響もあり出来なかった。
財務の視点	・財政再建への対応	コロナ禍の影響を受け、特養、短期入所の合算稼働率が92.62%となり、予定通り出来なかった。来年度につながるように居宅、老健等の関係は構築出来ている。来年度の介護保険改正に備え、人員の確保を行った。介護人材確保定着事業9名、キャリアアップ助成金制度3名、住宅手当補助（神戸市）3名や新型コロナ包括支援情勢金等の様々な補助金を活用する事が出来た。
	・稼働率の向上	特養は通年で96.43%、短期入所は76.24%、合算92.62%となった。特養との連携を密にし、コロナ禍の状況下であったが昨年度通年合算82.01%より増加することが出来た。
顧客の視点	・ユニットケアの実践	介護支援専門員を中心に、介護計画書の見直し、モニタリングの充実が図られた。24hシートの活用までは出来ていないが、少しずつユニットリーダーを中心に作成が出来てきている。
	・職員の採用	法人人事部と連携し、ハローワークで就職相談会や就職フェアに参加し、人材の充実を図った。人材紹介より派遣の方が費用対効果は高かった。
	・住環境の整備及び美化	コロナ禍でもあり、有効な活用までには至らなかったが、利用者様のくつろげる空間は出来ている。
業務プロセスの視点	・ユニットケアの理解	ユニットリーダー研修に2名出席し、ユニットケアの考えが少しずつ出来てきた。
	・職員組織体制の見直し	介護、看護職員の採用により、特養：日常生活継続支援加算、SS：看護体制加算Ⅲ、Ⅳ（来年度より）が取得出来る体制を構築出来ている。
	・業務の見直し	事務業務、ケアマネ業務の整理を行い、来年度の実施準備を行った。介護業務については出来ていない。
	・技能実習生の受入体制	2期生として3名の受け入れが出来、法人人事部と協力しながら、しっかりと実習環境及び住環境の整備を行った。
学習と成長の視点	・理念、運営方針の周知・徹底を図る	4月に事業説明会を実施し、運営方針の説明を実施した。10月に新人職員の入職式を行い法人理念を周知することが出来た。
	・人材育成のための研修	法人人事部と連携し、7月～1月まで7回研修を実施し新人職員の育成を行った。
	・楽ワザ介護技術の習得	RX組青山氏を講師とした講習会を5月26日に実施した。14名出席し、介護技術を学ぶことが出来た。神戸セミナー研修の参加は出来なかった。

経営報告(2020年4月～2021年3月末)  
特別養護老人ホーム神戸まどか園・神戸まどか園ショートステイ

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
地域の 視 点 の 貢 献	特別養護老人ホームの満床の維持及び継続	退居後の空床日数をなくす。	12月	4月から5月までの稼働率97.12%6月から3月までの稼働率95.74%通年96.43%と後半にコロナの影響を強く受けたが、短期入所部門との連携や各居宅介護支援事業所、老人保険施設等との連携が出来ており、退去後のスムーズな対応が出来て来ている。
	短期入所事業の稼働率95%の実現	短期入所の幅広い受入れを行うと共に、ロングショートを受入を積極的に行う。	12月	4月.5月の稼働率54.76%6月から12月まで85.25%で推移してきたが、緊急事態宣言の発令や長田区内の施設や医療機関の状況等から受け入れ困難なケースも多くなり、1月から3月まで69.55%となり、通年で76.24%となった。居宅介護支援事業所からの要望や依頼も多くあったが、特に今年になってコロナの影響を受けてしまった。
	通所介護事業の開所の準備	デイサービスの開所に向けた準備を行う。	未実施	開所の準備までは至らなかったが、職員の採用や資格取得の奨励を行うなどの準備を行った。
	長田区社会福祉法人連絡協議会に参加	長田区社会福祉法人連絡協議会に参加する。	2回	4月、5月は開催をされ、出席が出来た。以降はコロナの影響もあり、開催が中止になることが多くなり、出席することは出来なかった。
	神戸市老施連とタイアップ	「福祉教育」などの取組に参加する。	未実施	コロナの影響のために福祉体験や介護実習の受け入れが出来なかった。
	ボランティアなどの受入	地域等のボランティアを積極的に受入る。	未実施	コロナの影響のために地域に開放した秋祭り等が開催することが出来ずボランティアの受け入れをすることが出来なかった。
財務 の 視 点	財政再建への対応	特別養護老人ホームの満床の維持及び継続をする。	96.43%	入居に向けて医務・事務・介護部門との連携を細かく実施することにより、特養への入居がスムーズに出来、通年でコロナの影響を受けたが。通年で96.43%となった。
		短期入所事業の稼働率92%以上を実現する。	76.24%	4月.5月の稼働率54.76%、6月から12月まで85.25%、1月から3月まで69.55%となり、通年で76.24%となった。今年に入り、コロナ禍の影響と強く受けた結果となった。
		人員に応じた介護報酬の適切な加算の取得を行う。	実施	昨年度より特養:日常生活継続支援加算Ⅱを算定できる適切な人員配置が出来ており、短期入所:看護体制加算ⅢⅣが算定出来る看護師の採用も行うことが出来た。
		各種の補助金、助成金などの活用する。	実施	介護人材確保事業9名、キャリアアップ助成金制度3名、住宅手当補助金(神戸市)3名の補助金及び新型コロナ包括支援助成金を活用した。
	入居稼働率の向上	日用品、介護用品、電気・水道代等の経費の削減に努める。	実施	具体的な数字としての経費節減については、指示することはなかったが、毎月の運営会議に置いて重点項目の一つとして職員への注意喚気を実施した。
		特別養護老人ホームの稼働率97%以上を実現する。	96.43%	短期入所部門、居宅介護支援事業所、老人保健施設等また施設内での各部署との連携を密に行い、協力体制がきちんと出来て来ている。その結果として通年96.43%となった。
顧客 の 視 点	ユニットケアの実践	担当者会議・カンファレンスの充実、個別処遇の確立とユニットケアの実践を行う。	毎月	毎月カンファレンスを実施し、入居者のケアプランの見直しを実施し、一人一人のケアの確認を実施出来た。毎月のモニタリングを充実させ、各ユニット職員からの情報を集約することが出来て来ている。
	職員の採用	法人人事部と連携した求人採用やハローワークや人材紹介、派遣を使っての人材確保する。	2回	法人本部と共同し、就職フェアに参加し、求人活動を実施した。また神戸ハローワークにて就職相談会を実施し、2名の非常勤職員の採用が出来た。また新卒者を4名採用することが出来た。
	住環境の整備と美化	入居者の居場所創りの実施と美化に努める。	実施	各ユニットごとに季節の行事を実施し、ユニットの設え工夫し、季節感を演出することが出来た。

経営報告(2020年4月～2021年3月末)  
特別養護老人ホーム神戸まどか園・神戸まどか園ショートステイ

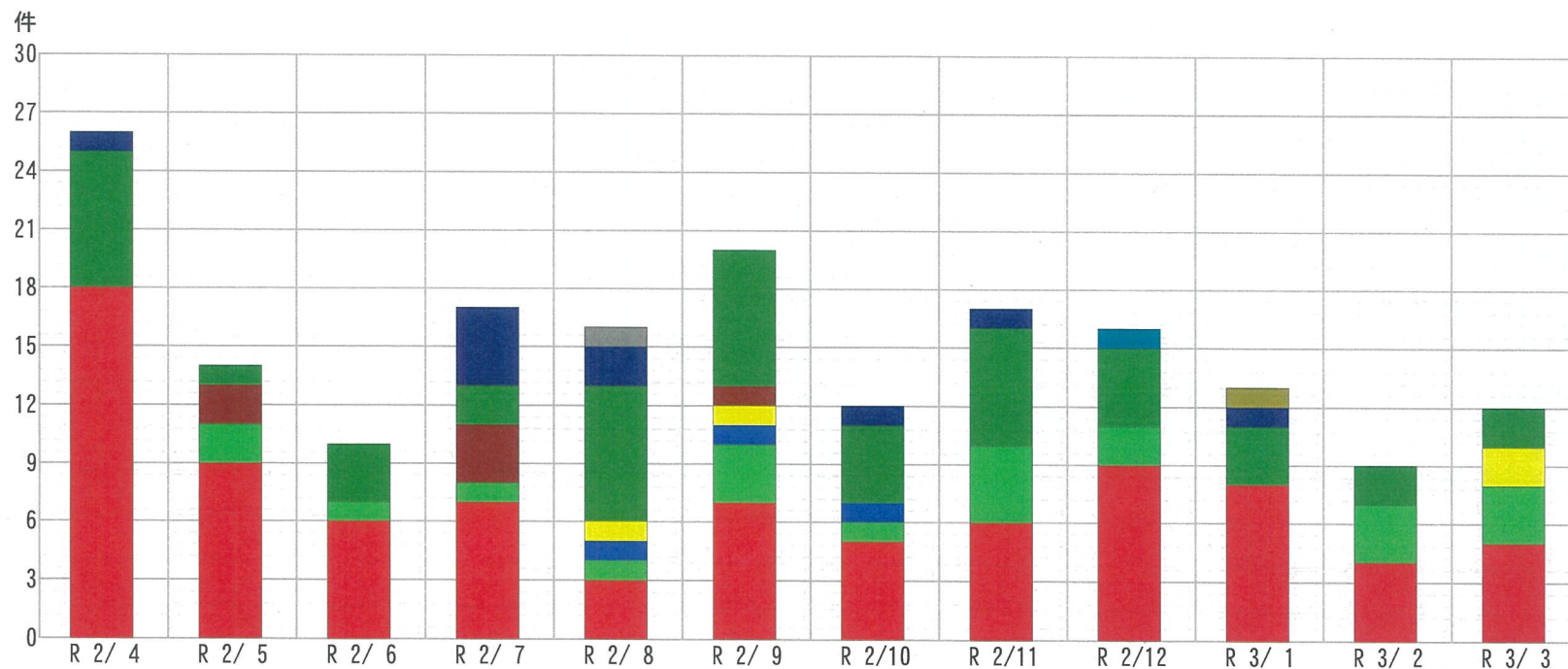
分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
業務プロセスの視点	ユニットケアの理解	ユニットケアリーダー研修を受講し、ユニットケアの理解と実践を行う。	2人	ユニットリーダー研修を2名受講し、ユニットケアについて学ぶことが出来、ユニット運営に生かすことが出来ている。
	職員組織体制の見直し	現状に即した組織体制の見直しを行う。	実施	短期入所ユニット(糸ユニット)の職員配置を確実に実施することにより、継続的に運営出来る体制を構築することが出来、5ユニット毎にそれぞれに特徴を持ち、運営が出来た。
	業務の見直し	現場及び事務業務の標準化を行う。	実施	事務、介護支援専門員部門では業務の整理や標準化を開始している。その他の部門はまだ出来ていない。
	技能実習生の受入体制	技能実習生の受入体制を構築し、安心できる実習環境及び住生活の提供する。	3名	技能実習生を3名受け入れを行い、昨年度の3名と合わせて6名の技能実習生を受け入れが出来た。技能実習指導員講習を受講し、2名の資格取得が出来た。また生活指導員講習を1名受講し、安心出来る職場や住環境の提供が出来た。
学習の視点と成長	理念・運営方針の周知徹底	法人人事部と呼応した定期的な研修会を実施する。	8回	園内研修として、食中毒・看取り・リスクマネジメント・高齢者虐待、身体拘束ゼロ・感染症予防研修等を実施し、職員のレベル向上を図った。
	人材育成のための研修	法人人事部と呼応した定期的な園内研修会を実施する。	6回	法人本部と連携し、7月～1月までに7回研修を実施し、新人研修の育成を行った。また入職式の時に法人理念の研修を実施することが出来た。
	楽ワザ介護技術の習得	楽ワザ介護技術講習会の実施及び神戸セミナー研修に参加する。	1回	RX組青山氏を講師として講習会を実施し、職員の介護技術向上を図った。14名の参加があり、楽技介護技術の基礎を学ぶことが出来た。

## 2020年度 I A C 集計表

事業所名		報告件数			合計
		ヒヤリ・ハット	事故	苦情	
一宮	特別養護老人ホームまどか園	148	5	0	154
	まどか園デイサービスセンター	1	0	0	1
	まどか園在宅介護支援センター	0	0	0	0
	まどか園ヘルパーステーション	6	0	0	6
	グループホームまどか園	30	1	0	31
小計		185	6	0	191
宝塚	特別養護老人ホーム宝塚まどか園	301	29	22	352
	宝塚まどか園ヘルパーステーション	0	0	0	0
	宝塚まどか園居宅介護支援事業所	0	0	0	0
小計		301	29	22	352
神戸	特別養護老人ホーム神戸まどか園	205	4	1	210
	小計	205	4	1	210
合計		691	39	23	753

## 事故分析













処理日：令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日 利用者：全  
集計対象：全



	R 2/ 4	R 2/ 5	R 2/ 6	R 2/ 7	R 2/ 8	R 2/ 9	R 2/10	R 2/11	R 2/12	R 3/ 1	R 3/ 2	R 3/ 3
転倒・転落	18	9	6	7	3	7	5	6	9	8	4	5
外傷		2	1	1	1	3	1	4	2		3	3
誤嚥・誤飲					1	1	1					
薬剤 (誤薬等)					1	1						2
チューブトラブル												
接遇												
その他		2		3		1						
ざり落ち	7	1	3	2	7	7	4	6	4	3	2	2

## 事故分析

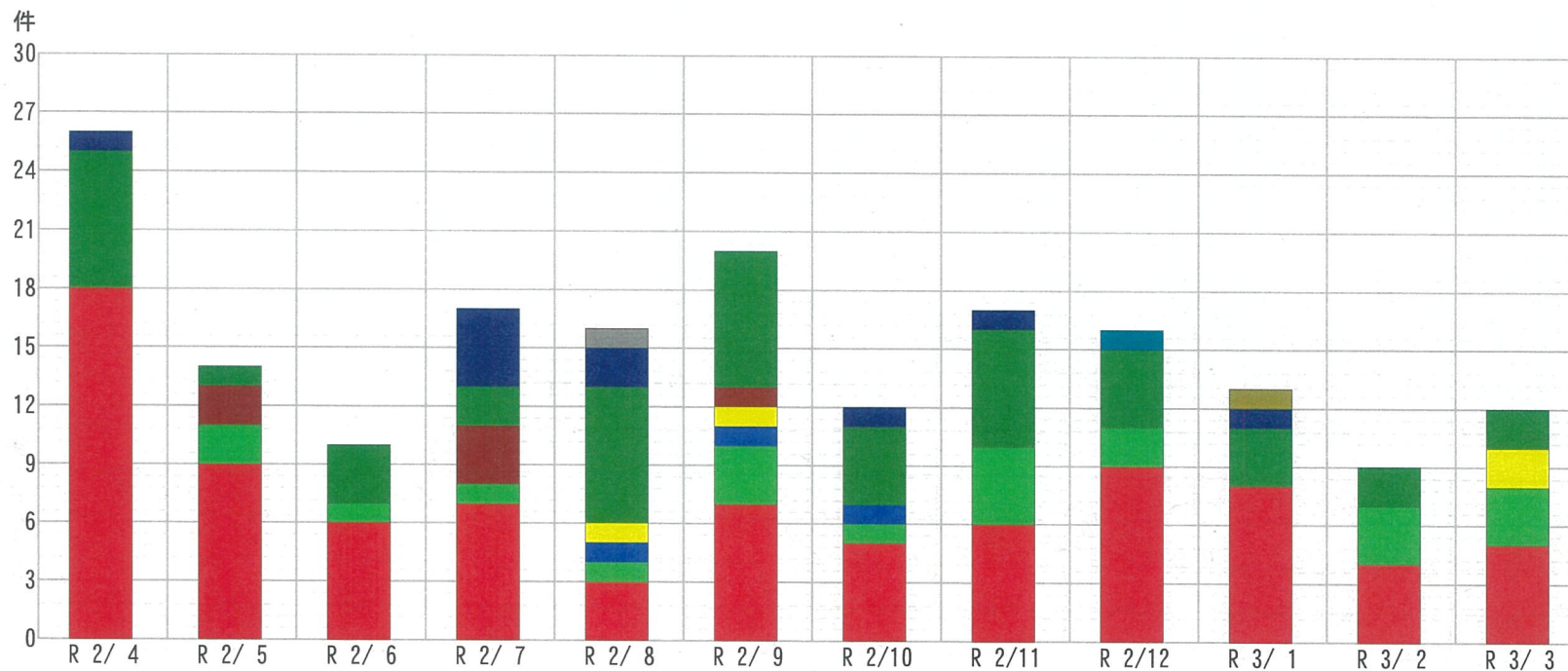
処理日：令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日 利用者：全  
集計対象：全

	R 2/ 4	R 2/ 5	R 2/ 6	R 2/ 7	R 2/ 8	R 2/ 9	R 2/10	R 2/11	R 2/12	R 3/ 1	R 3/ 2	R 3/ 3
異食 	1			4	2		1	1		1		
破損 										1		
紛失 									1			
施錠忘れ 												
交通事故 												
利用者間のトラブル 					1							
施設原因のトラブル 												
守秘義務違反 												
人権侵害 												
拘束 												
サービス内容のクレーム 												
説明内容のクレーム 												



特別養護老人ホームまどか園、まどか園ショートステイ、予防まどか園ショートステイ  
**事故分析**

処理日：令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日 利用者：全  
 集計対象：全



	R 2/ 4	R 2/ 5	R 2/ 6	R 2/ 7	R 2/ 8	R 2/ 9	R 2/10	R 2/11	R 2/12	R 3/ 1	R 3/ 2	R 3/ 3
転倒・転落	18	9	6	7	3	7	5	6	9	8	4	5
外傷		2	1	1	1	3	1	4	2		3	3
誤嚥・誤飲					1	1	1					
薬剤 (誤薬等)					1	1						2
チューブトラブル												
接遇												
その他		2		3		1						
ずり落ち	7	1	3	2	7	7	4	6	4	3	2	2

特別養護老人ホームまどか園、まどか園ショートステイ、予防まどか園ショートステイ

# 事故分析

処理日：令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日 利用者：全

集計対象：全

	R 2/ 4	R 2/ 5	R 2/ 6	R 2/ 7	R 2/ 8	R 2/ 9	R 2/10	R 2/11	R 2/12	R 3/ 1	R 3/ 2	R 3/ 3
異食 <span style="color:blue">■</span>	1			4	2		1	1		1		
破損 <span style="color:olive">■</span>										1		
紛失 <span style="color:teal">■</span>									1			
施錠忘れ <span style="color:purple">■</span>												
交通事故 <span style="color:magenta">■</span>												
利用者間のトラブル <span style="color:gray">■</span>					1							
施設原因のトラブル <span style="color:red">■</span>												
守秘義務違反 <span style="color:green">■</span>												
人権侵害 <span style="color:blue">■</span>												
拘束 <span style="color:olive">■</span>												
サービス内容のクレーム <span style="color:teal">■</span>												
説明内容のクレーム <span style="color:gray">■</span>												



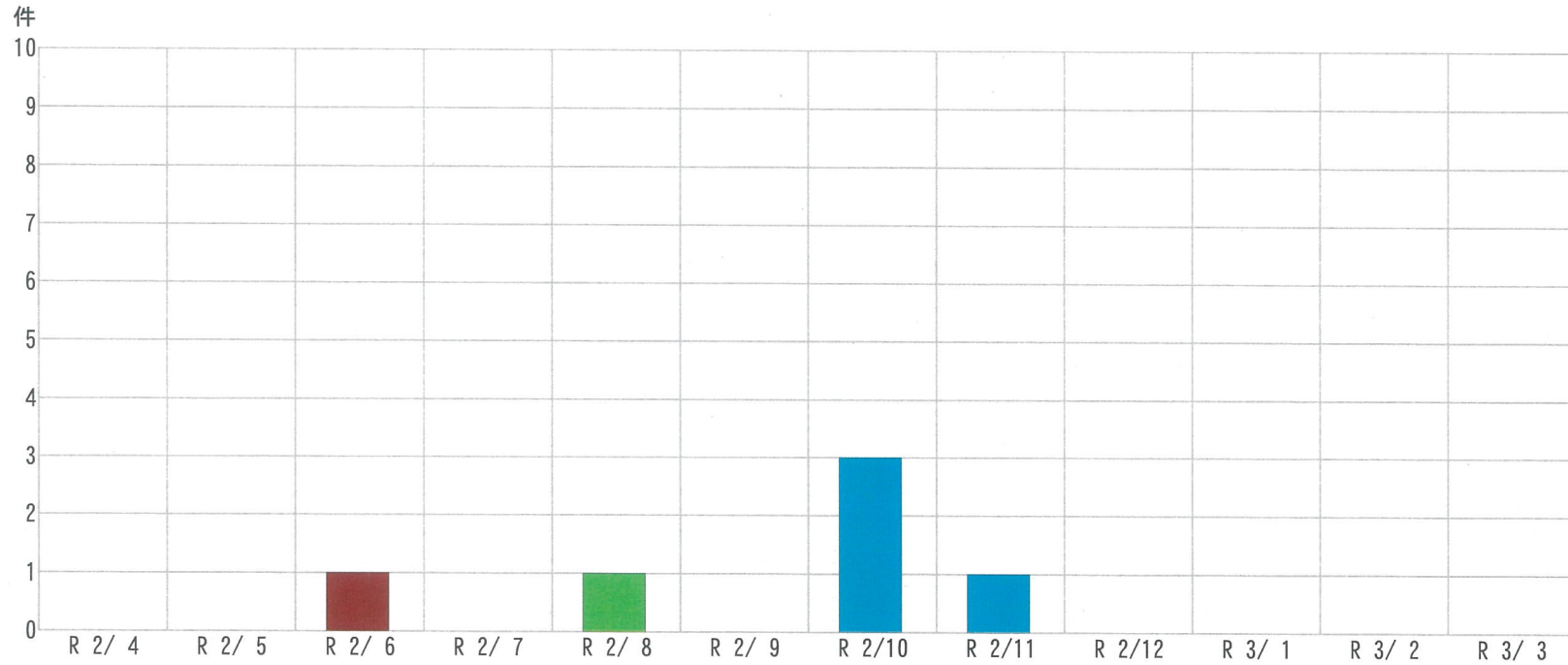
## 2020年度（令和2年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホームまどか園・まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
4月4日	食堂にて右側臥位に転倒されているのを発見する。転倒時は痛みや外傷はなかったが、夜間より痛みの訴えが出る。	転倒時は痛みや外傷がなかったが、夜間に痛みを訴えられるようになり、トイレでの立位も困難になる。介護員より看護師に連絡する。経過観察して翌日朝に主治医に連絡することとなる。主治医に確認後、家族にも連絡し、救急搬送される。病院に確認をすると、右大腿骨骨折にて入院となったとのこと。ショート終了となる。	トイレに行きたくなり動かされたと思われるため、トイレ誘導や見守りの徹底をする。 ショート終了とさせていただき、退院後はまどか園受け入れの方向で、ケアマネと調整を行う。
6月18日	ご本人が「さっき転んだんや」と頭をさすりながらステーションに来られる。朝になり診療所が確認すると、手の甲も腫れており押すと痛みがある。	バイタル測定し、アイスノンを患部へ当て、居室で休んでいただく。当日は特変なかったが、ショート終了後にご家族より通院された際に、左第3中手骨骨折と診断され、ギプス固定となる。	巡回時に休まれているか確認を行い、休まれている時は声掛けを行う。
6月22日	転倒され、当初は外傷もなく、微熱（37.4℃）はあるものの痛みも弱い様子だったが、翌日には痛みや熱（37.9℃）が上昇し、患部の腫れが出てきたため通院すると、左大腿骨頸部骨折の診断を受け、入院することとなる。	廊下より音が聞こえたため確認すると転倒されている。自分で立って歩けると訴えられたため、見守りの元、歩行器で居室へ戻られる。外傷はなく、痛みも弱い。KT=37.4℃と微熱があるためクーリングを行う。足も動き、大きな異常が見られなかったため、翌日まで様子を見ることとする。翌日朝にKT=37.9℃まで上昇。患部の痛みも強くなり、患部の軽度腫脹を確認したため通院すると、左大腿骨頸部骨折との診断を受け、救急搬送され入院される。	しっかり歩行されている方でも、リスクを意識して見守りを行う。
7月31日	入所検診時心電図をとるためベッドへ移乗時、右上腕骨の痛みを訴えられる。	右上腕の痛みは強いが・腫脹や内出血なし。右腋窩周囲の腫脹あるため通院し、X-P撮影行うが、明らかな骨折はなし。念のために精査するように指示があり、総合病院通院し、X-P撮影行うと、右上腕近位端骨折と診断される。三角巾、バスタバンドで保護し、通院加療を行う。	入所者検診など、普段関わりのないご利用者の介助をする際は注意点をあらかじめ担当フロアの職員に確認しておく。その上で対応が困難な場合は、担当フロアの職員に介助を依頼する。
3月5日	15時服用の内服薬を20分間隔で重複して服用介助を行った。	主治医に連絡し、指示通り、水を多めに飲み、様子観察を行い、問題はなかった。	薬の保管方法を変更し、看護師間の声掛けを徹底する。

# 事故分析

処理日：令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日 利用者：全

集計対象：全















	R 2/ 4	R 2/ 5	R 2/ 6	R 2/ 7	R 2/ 8	R 2/ 9	R 2/ 10	R 2/ 11	R 2/ 12	R 3/ 1	R 3/ 2	R 3/ 3
転倒・転落												
外傷					1							
誤嚥・誤飲												
薬剤（誤薬等）												
チューブトラブル												
接遇												
その他			1									
ずり落ち												

## 事故分析

処理日：令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日 利用者：全

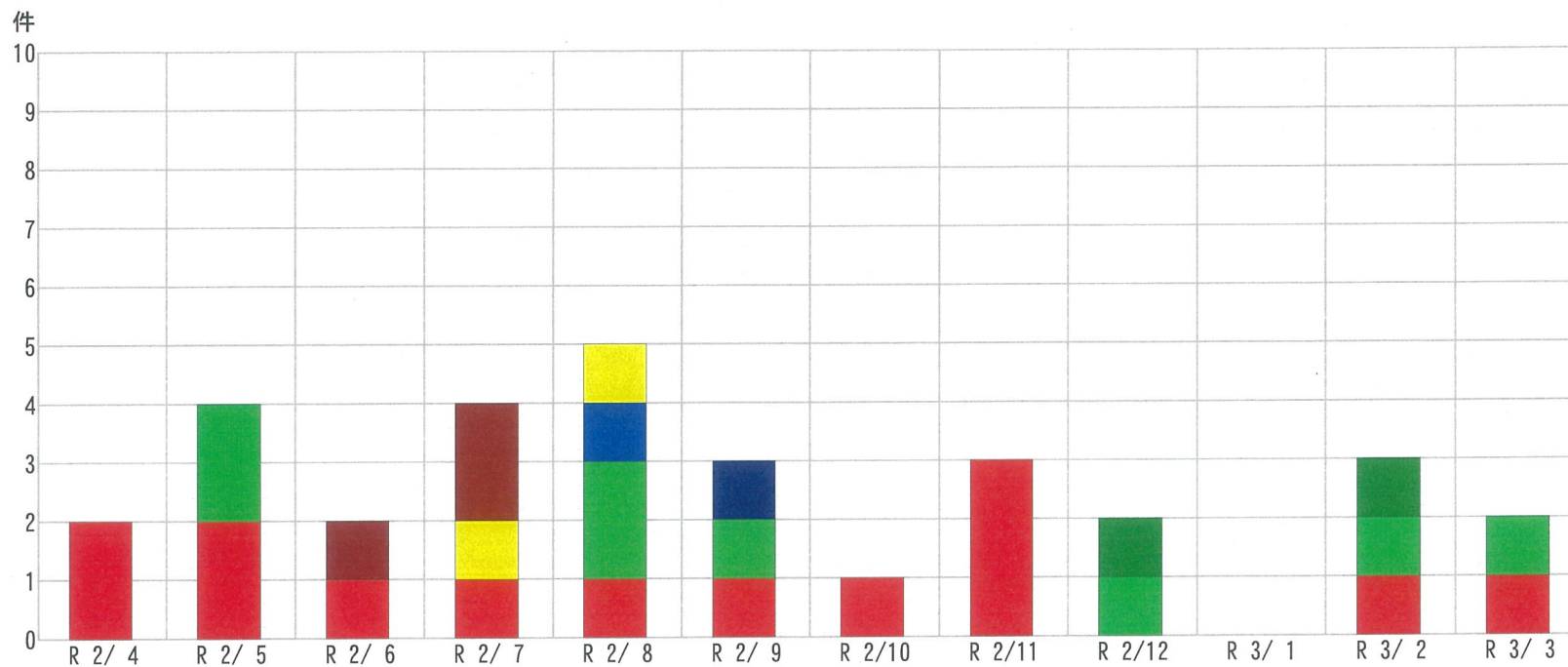
集計対象：全

	R 2/ 4	R 2/ 5	R 2/ 6	R 2/ 7	R 2/ 8	R 2/ 9	R 2/10	R 2/11	R 2/12	R 3/ 1	R 3/ 2	R 3/ 3
異食 												
破損 												
紛失 												
施錠忘れ 												
交通事故 												
利用者間のトラブル 												
施設原因のトラブル 												
守秘義務違反 												
人権侵害 												
拘束 												
サービス内容のクレーム 							3	1				
説明内容のクレーム 												

## 事故分析

処理日：令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日 利用者：全

集計対象：全















	R 2/ 4	R 2/ 5	R 2/ 6	R 2/ 7	R 2/ 8	R 2/ 9	R 2/10	R 2/11	R 2/12	R 3/ 1	R 3/ 2	R 3/ 3
転倒・転落	2	2	1	1	1	1	1	3			1	1
外傷		2			2	1			1		1	1
誤嚥・誤飲					1							
薬剤 (誤薬等)				1	1							
チューブトラブル												
接遇												
その他			1	2								
ずり落ち									1		1	

## 事故分析

処理日：令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日 利用者：全

集計対象：全

	R 2/ 4	R 2/ 5	R 2/ 6	R 2/ 7	R 2/ 8	R 2/ 9	R 2/10	R 2/11	R 2/12	R 3/ 1	R 3/ 2	R 3/ 3
異食 						1						
破損 												
紛失 												
施錠忘れ 												
交通事故 												
利用者間のトラブル 												
施設原因のトラブル 												
守秘義務違反 												
人権侵害 												
拘束 												
サービス内容のクレーム 												
説明内容のクレーム 												

## 2020年度（令和2年度）事故受付処理報告（グループホームまどか園）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
9月19日	トイレに起きてこられ、居室の入口まで杖を突きながら来られたが、扉付近で杖が右足に引っかかり、杖を下にして転倒される。	足音が聞こえ、注意していたが、間に合わず、駆け寄り、痛みの確認し、抱き寄せて椅子に座っていただく。外傷や腫れ、打ち身の跡は見られなかったが、右足の付け根内側に痛みあり、踏ん張りが効かない状態のため車椅子に移譲し、ベッド上で安静にし、様子観察を行う。主治医に連絡し、通院、右頸部転子間骨折のため、協力医療機関である田中病院に入院となる。	以前、左大腿骨骨折の病歴あり、見守りが必要な方ではあるが、認知症状もあり、杖を使用していただくことでリスクを少しでも回避していたが、常時の見守りは難しい。退院後は、状態にもよるが、居室の変更やセンサーマットの使用も検討し、本人の退院後の状態に合わせた対応を行う。

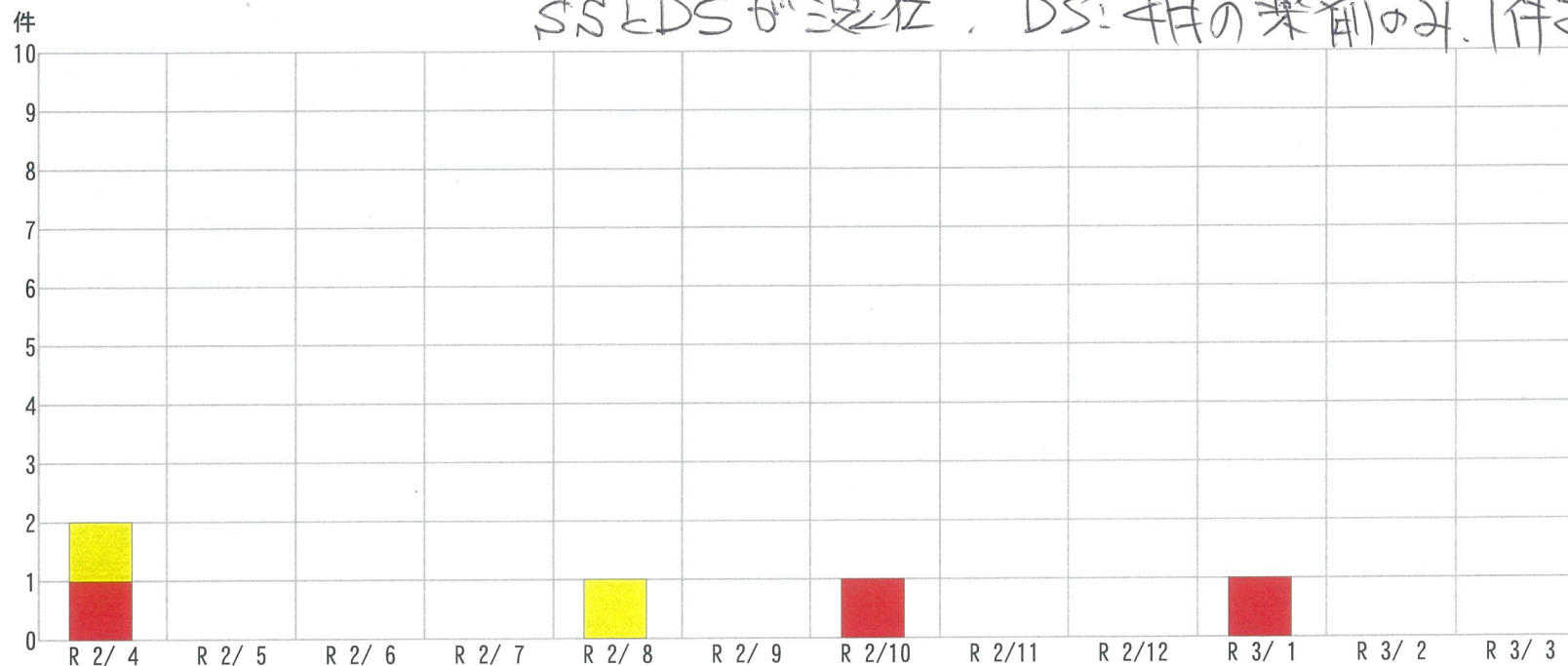


## 事故分析

処理日：令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日 利用者：全

集計対象：全

SSとDSが混在、DSは4月の薬育のみ、1件のみ。















	R 2/ 4	R 2/ 5	R 2/ 6	R 2/ 7	R 2/ 8	R 2/ 9	R 2/ 10	R 2/ 11	R 2/ 12	R 3/ 1	R 3/ 2	R 3/ 3
転倒・転落 <span style="color:red">■</span>	1						1			1		
外傷 <span style="color:green">■</span>												
誤嚥・誤飲 <span style="color:blue">■</span>												
薬剤 (誤薬等) <span style="color:yellow">■</span>	1				1							
チューブトラブル <span style="color:cyan">■</span>												
接遇 <span style="color:magenta">■</span>												
その他 <span style="color:darkred">■</span>												
ずり落ち <span style="color:darkgreen">■</span>												

## 事故分析

処理日：令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日 利用者：全

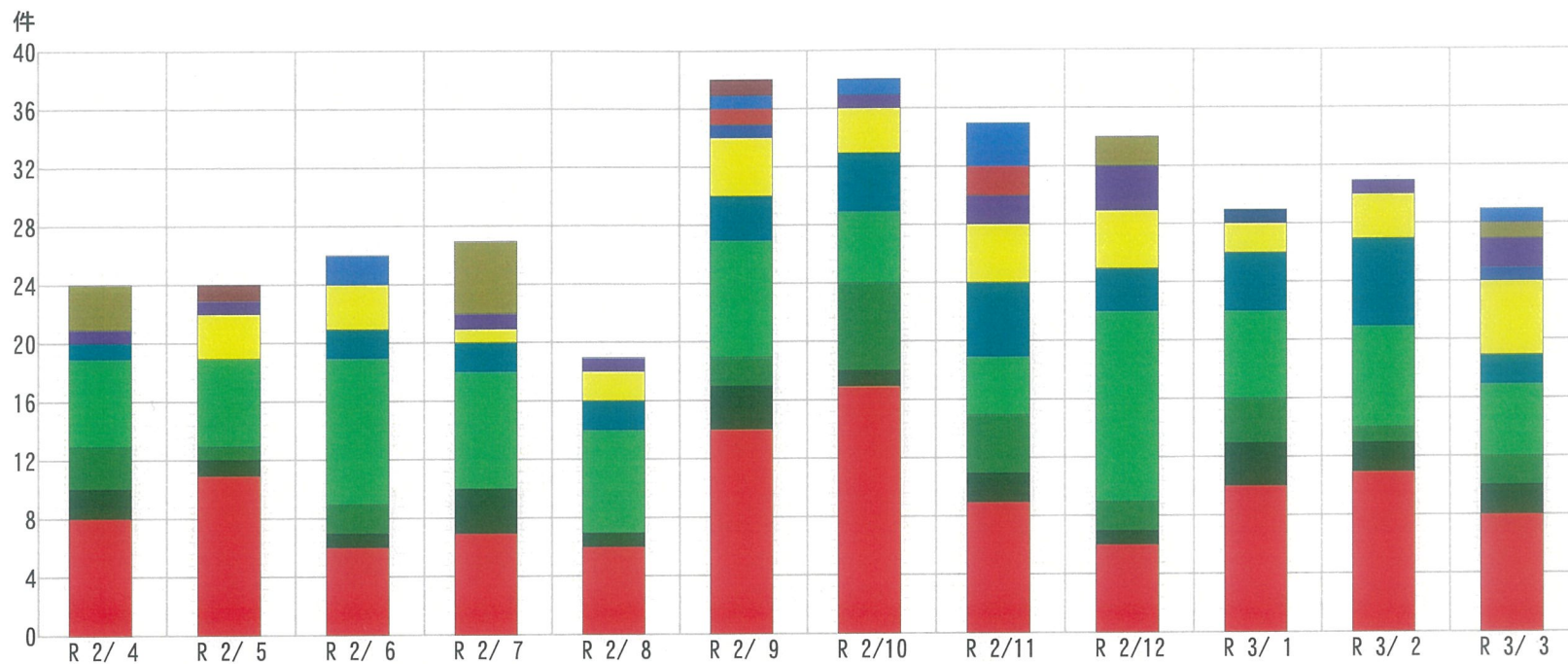
集計対象：全

	R 2/ 4	R 2/ 5	R 2/ 6	R 2/ 7	R 2/ 8	R 2/ 9	R 2/10	R 2/11	R 2/12	R 3/ 1	R 3/ 2	R 3/ 3
異食 												
破損 												
紛失 												
施錠忘れ 												
交通事故 												
利用者間のトラブル 												
施設原因のトラブル 												
守秘義務違反 												
人権侵害 												
拘束 												
サービス内容のクレーム 												
説明内容のクレーム 												



特別養護老人ホーム宝塚まどか園、宝塚まどか園ショートステイ、「介護予防」宝塚まどか園ショートステイ  
**事故分析**

処理日：令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日 利用者：全  
 集計対象：全



- 転倒・転落
- すり落ち
- 外傷
- 外傷(内出血)
- 外傷(表皮剥離)
- 薬剤(誤薬など)
- 誤嚥・誤飲
- 異食
- 介護や健康管理上の不
- 破損・紛失
- トラブル
- 守秘義務違反
- プライバシー・人権の
- 抑制・拘束
- 訪問/送迎時間/予定の
- クレーム
- 無断外出・離園・施設
- 交通事故
- 感染
- その他

特別養護老人ホーム宝塚まどか園、宝塚まどか園ショートステイ、「介護予防」宝塚まどか園ショートステイ  
**事故分析**

処理日：令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日 利用者：全  
 集計対象：全

	R 2/ 4	R 2/ 5	R 2/ 6	R 2/ 7	R 2/ 8	R 2/ 9	R 2/10	R 2/11	R 2/12	R 3/ 1	R 3/ 2	R 3/ 3
転倒・転落	8	11	6	7	6	14	17	9	6	10	11	8
ずり落ち	2	1	1	3	1	3	1	2	1	3	2	2
外傷	3	1	2			2	6	4	2	3	1	2
外傷（内出血）	6	6	10	8	7	8	5	4	13	6	7	5
外傷（表皮剥離）	1		2	2	2	3	4	5	3	4	6	2
薬剤（誤薬など）		3	3	1	2	4	3	4	4	2	3	5
誤嚥・誤飲						1						1
異食										1		
介護や健康管理上の不	1	1		1	1		1	2	3		1	2
破損・紛失	3			5					2			1
トラブル												
守秘義務違反												
プライバシー・人権の												
抑制・拘束												
訪問/送迎時間/予定の						1		2				
クレーム			2			1	1	3				1
無断外出・離園・施錠												
交通事故												
感染												
その他		1				1						

## 2020年度（令和2年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
4月22日	共同室から大きな音がした為駆けつける。共同室のパソコンの前で右側臥位で倒れており頭部から出血していた。	右側頭部から出血があり看護職員に連絡する。 ガーゼで出血部位を止血する。 血圧126/95、脈75。 右膝に6.5cm×5cm、右手の甲に5.5×2.5cmの赤みを確認する。痛みはなし。 看護職員よりご家族様に連絡をする。 宝塚市立病院受診し、患部を縫合する。 毎日、洗浄とゲンタシン塗布。5日後に再診し抜糸。	パソコン前にあった椅子につまづいて転倒されたと思われる為、共同室ではご利用様が通る可能性がある場所にもものを置かない。
5月3日	センサーマット反応があり訪室する。居室内トイレ付近の壁側に置いている車椅子の前で座り込んでいるのを発見した。	頭部打撲等の形跡はないが、左股関節の痛みの訴えが非常に強くある。夜間待機看護職員にオンコールする。 体温36.3℃、血圧81/48、脈拍67。 身体チェックを行うが、痛みが強く実施できず。左大転子部に4cm程の内出血を確認する。 看護職員より、臥床し患部クーリング、血圧が低下時には再度オンコールの指示を受ける。 7:30看護職員にて身体チェックを行い、左膝屈曲時に左大腿付け根の痛みがある。右足の痛みはなし。右膝に4.5cm×3.5cmの内出血、左大転子部上方に7cm×6cmの内出血を確認する。看護職員よりご家族様へ連絡する。事故報告、受診必要性を説明する。 9:10発で宝塚病院へご家族様も一緒に受診する。 左大腿骨骨折にて入院となる。	ベッドからトイレまでの距離が短くなるよう、ベッドや家具の配置を変更する。転倒時に車いすのブレーキが片方外れており、ご本人様より「一回転してこけた」との話もある。車いす付近で倒れていたことから、ふらついた際に車いすを掴んだがブレーキも外れてしまい転倒したと考えられる。移動距離が長い時に使用する車いすは居室に置かないようにする。
5月16日	巡視時に、窓側を頭にして床で仰臥位で倒れているのを発見する。	すぐに意識、痛みの有無を確認する。返答はしっかりとされ、頭部打撲がない事を確認する。 ベッドへ移乗時に、痛みがある。興奮され、身体チェックできず。数分後様子を見に行くと熟睡していた為、経過観察する。 2:45 血圧129/73、脈60、体温36.7 6:30 身体チェックを行い外傷はなし。 7:30 機嫌もよく、歩行問題なし。 8:15 看護職員へ報告する。日中は歩行も安定しており、痛みはなし。 《5/17の様子》 7:50 自力でベッドからの起き上がりが出来ず、右側腹部の痛みがある。車いすにて移動し、朝食摂取すると腰痛もある。 10:30 体温37.3℃ ソファで過ごされ、痛みはなし。歩行は片手に杖を持ち、手引き歩行するも歩行状態は不安定。車いすでの移動に対応するが、本人より拒否がある。 18:00 体温37.9℃ 夜間はクーリング対応する。体温は36.8℃～37.0℃ 《5/18》 7:45 ベッド上で介助すると「腰が痛い」と訴えがあり抵抗がある。 9:00 ベッド上にて食事提供するが、痛みが強く拒否がある。ご家族に状況報告し、第一病院受診となる。 11:30 レントゲン結果よりMR Iにて精密検査となる。予約時間まで一旦帰園。 15:00 MR I結果にて、第2腰椎圧迫骨折の診断。痛みのコントロールが施設ではできないため入院となる。	23時の巡視時に足をベッドから下ろしており、足を上げようとするも痛みの訴えがあった事から、ベッドから立ち上がった際、またはベッド上へ上がった際に痛みで力が入らずにベッドから落ちた可能性がある。足がベッドから落ちていたらベッド上に上げる。（抵抗が強い場合は、30分毎に確認し実施する） 認知症状もあり、杖を忘れて歩行される為、夜間は1時間毎に巡視をする。

## 2020年度（令和2年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
5月17日	他居室のトイレ前で扉を頭に左側臥位で転倒しているのを発見する。	意識明瞭を確認し、看護職員に報告する。 血圧125/81、脈拍84、体温36.4℃ 身体チェックするも特に赤みや腫れはなし。 立ち上がり介助時に強い痛みの訴えがある。二人介助にて車いすに移乗する。身体チェックの為、ベッドへ移乗するも右大腿骨から大転子にかけて広い範囲に強い痛みがあり、ベッド上での身動きが取れない為、宝塚市立病院へ受診する。看護職員よりご家族様に事故報告、受診の連絡をする。病院指示で救急搬送となる。右大転子部骨折の診断があり入院となる。	認知症状があり、他居室を自身の居室と認識しており、以前から何度も間違えてしまう事があった。今回の発見時の居室は、本人の居室トイレの扉と違い、カーテンを使用しているため、扉と思い込んでバランスを崩したり、絡まって転倒した可能性もある。また、夜間不眠であり、午前中は傾眠しており、寝起きで動いたことによりバランスを崩して転倒した可能性もある。日中に活動し、夜間に休んで頂くよう努め、睡眠時間が少ないので、医師に相談し眠前薬も検討する。寝起き時のフラツキもあるので、センサーマットを使用する。
5月17日	独歩で居室から出てこられた時に、額に打撲による腫れを確認する。	血圧144/96、脈94、体温36.5℃ 全身観察し、早出看護職員に報告する。再度身体チェックをする。右膝に痛みがある。7cm×5cmの腫脹あり。湿布塗布し、車いすにて対応する。朝食は問題なく召し上がる。 10時頃にベッドで再度身体チェックする。左前額部にうっすらと内出血があるが痛みなし。右膝全体に腫脹、発赤、熱感があるが痛みなし。右手首第5指1.5cm×1cm、左膝4cm×3cmの内出血がある。看護職員より、頭部クーリング、移動は車いす使用、食後はベッドで臥床するように指示がある。 15:30 体温37.2℃ 右膝の状態悪化しており、触れると痛みがある。 16:00にご家族様へ再度経過報告し、翌日に整形受診となる。 <<5/18>> 9:00 看護職員付き添いにて双愛整形外科受診。 レントゲン結果にて、右膝に縦に骨折あり。ニープレス終日固定にて経過観察となる。腫脹はpunk（水抜き）する。通院対応となる。	ベッド横にセンサーマットを設置する。ニープレス固定中は車いす対応し、排泄はベッド上で二人介助で行う。
5月22日	訪室すると、ベッドの横に右側臥位で倒れているのを発見する。	看護職員と共に身体チェックを行う。左肩に痛みがあり、腫れが徐々に腫脹してきている。内出血痕はなし。左上肢の挙上不可。左手指を動かす事は可能。三角巾固定する。右頭頂部に0.4cm×2cmの発赤があり、うち2cm切創、極少量の出血がある。頭頂部の傷はガーゼ保護を行う。第一病院に内科受診の予定であった為、脳外科、整形の受診を合わせてする。 頭部CT結果にて、脳外科医師より頭部骨折、脳出血はなし。 整形外科医師より、左肩関節骨折と診断。内科医師よりの精密検査の為、検査入院が必要との診断がある。骨折については心不全があり、すぐには手術せず、内科の様子をみながら治療するとの説明があり入院となる。	前日から手足の浮腫が著名で、立位が不安定であった。発見時は、服を全て脱いだ状態で倒れており、便失禁があった。ご本人様より「滑ってコケたんや」との話があり、車イスからベッドへの移乗時にバランスを崩し転倒したと考えられる。 今後は、ご利用者様の状態が悪い時などは普段移乗介助が不要な方に対しても見守り、介助を行う。認知症状もあり、危険認識も低く、ご自身で動く為、身体状態が落ち着くまでは床センサーを検討する。

2020年度（令和2年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
5月29日	センサー反応があった為、居室に訪室すると、ベッドの足元あたりで、右側臥位で転倒しているのを発見する。	意識明瞭で、声かけにしっかり反応がある。二人介助でベッドへ移乗する。全身チェックし、右手首に0.5cm×0.5cmの擦り傷確認。痛みの確認行くと、右腕から肩にかけて痛みがある。その他外傷はなし。 血圧143/85、脈84、体温36.2℃ 早出看護職員が来るまで、ベッドで臥床し様子観察をする。 看護職員と共に双愛病院を受診する。 レントゲン結果にて、右上腕、右大腿骨頸部骨折との診断がある。双愛病院では手術、入院が出来ない為、宝塚第一病院へ転院し入院となる。	床センサーは継続して使用する。低床ベッドに変更を検討し、ベッド横に衝撃吸収マットを使用する。
5月31日	車いすから転倒され、右側臥位で床に倒れているのを発見する。	頭部額右側に2cm×4cmの裂傷、出血がある。「起こしてちょうだい」と大きな声で発語もある。 血圧140/70、脈82、体温36.9℃ ベッド上にて身体チェックを行い、右額の裂傷の他に左前腕部に2cm×9cmの内出血、両膝に2cm×2cmの内出血を確認する。看護職員が額の処置を行う。頭部クーリングを実施。 翌朝11:00看護職員付き添いにて宝塚病院の救急外来へ受診する。 頭部CT、レントゲン等の検査せず、右額創部は、現在の処置のファスナート処置でよいと医師より指示がある。	夜間眠れない時は職員の傍で過ごす対応を再度周知する。
6月27日	入浴の更衣時に、腰を持ち上げ立位を直した時にヒザ折れがあり、カーテンの止め具に目蓋の端の辺りをぶつける。	目蓋の端の辺りに1.8cmの出血を伴う傷を確認する。止血後に更衣を終わらせ、看護職員に報告する。ファスナートとガーゼ保護にて処置する。 《6月28日》 傷口が深い為、第一病院を受診する旨をご家族様に報告する。医師より、縫合はしなくてよいとの事で傷口をテープで固定し、ガーゼ保護する。3日間は傷口は触らず、入浴は清拭対応する。	手摺の横にあるカーテンの止め具を外して、窓枠の角をクッション材で保護する。今後、浴室でも移乗用リフトの使用を検討する。
6月2日	昼食前の離床時に、右肩の痛みの訴えがあった。	腫脹を確認する。第一病院を受診し、鎖骨に小さなはがれ、ひびが入っていると事で三角巾固定。痛み止め（ロキソプロフェン、テプレノンカプセル）処方あり。	夕方に不穏状態になられており、その際にベッドに端座位になられていたことから、自分で起き上がった時に打撲した可能性がある。 朝方の排泄交換時にベッド中央に移動した際にひねった可能性もあるので、不穏なときは時間を空けて対応する。 ベッド上で端座位になる様子があれば離床する。体位変換する際にも、無理に行わず、声掛けし、ご自分でなるべく動いて頂く。

2020年度（令和2年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
7月30日	入浴時に、ズボンを脱ぐと右足の足首から上部にかけて腫脹伴う内出血を発見した。	<p>看護職員と外傷の確認をする。右足の後下退部（足首から上部にかけて）5cm×8cmの腫脹伴う内出血。強い痛みもあり、動かすと大声がある。</p> <p>14：00 宝塚第一病院（整形外科）受診。レントゲン、CTにて骨折はなし。陈旧性骨折の跡はある。患部に血が溜まっており、切開し圧迫にて血（200cc）、コアグラの排出がある。完全に排出されず。切開部は毎日ゲンタマイシン塗布し、大量のガーゼにて保護の処置が必要。出血は2.3日は続く、腫脹あれば受診の指示がある。</p> <p>17：40帰園後に顔色不良、冷汗、意識レベル低下。血圧64/44 脈80 看護職員にて吸引すると顔に若干動きがある。</p> <p>18：00 救急搬送宝塚病院搬送ご家族と一緒に医師より説明をうける。異常はなく帰園される。</p>	右側に麻痺があるため、移乗の際には、右足に無理な負荷がかかっているかを目視で確認した上で、細心の注意を払いながら移乗介助を行なう。
8月16日	車いすが後ろに倒れた状態で、車いすから1mほど離れた場所に仰臥位で倒れているのを発見する。	<p>意識あり。看護職員に報告。 血圧94/74、脈拍68、体温36.6℃</p> <p>痛みを確認すると左大腿骨付近に強い痛みがある。ベッドに臥床し全身チェックを行うが外傷なし。自力での左下肢の伸展、屈曲は可能。湿布を塗布し、臥床対応にて様子観察する。</p> <p>12：00の身体チェック時に痛みがあるが腫脹なし。昼食は全量摂取。</p> <p>16：00痛み継続しているが、左膝関節の痛みの訴え。左下肢の伸展、屈曲は可能。腫脹、発赤はなし。看護職員よりご家族様に連絡し、経過報告をする。当日は日曜日の為、翌日受診となる。夜間は体動時に痛みの訴えがある。</p> <p>【8/17】 右下肢の痛みが強く伸展不可。看護職員付き添いにて受診。レントゲン結果にて左大転子頸部骨折の診断。入院となる。</p>	今回の転倒時に便失禁があった。不快感があり立ち上がったが、バランスを崩して転倒した可能性がある。起床時に軟便がある時は、排便が続く事が多いので、下剤の使用量を検討する。立ち上がりセンサーの電源がOFFになっていたため、本人から離れる際は、電源が入っているか確認する。当日は、体調不良の職員が出たので、調整対応などで、いつもより見守りが手薄になっていたため、そのような場合は、他ユニット、部署からの見守りの依頼をする。
9月7日	センサーコールがあり、居室に訪室すると、トイレ前でご本人様が立っておられた。「さっきなつまずいたんよ」と仰られる。	<p>発見直後、血圧161/89脈68体温36.3℃。介護職員にて全身チェックを行う。右目の充血、右膝に赤み、右頬に腫れと熱感を確認する。胸の痛みと右頬の痛みを訴えがある。意識ははっきりしており歩行時ふらつきは無し。右目が見えるか確認し見えることを確認。夜間待機の看護職員にオンコールし、右頬のクーリング対応と様子観察の指示がある。</p> <p>8：40にご家族様に事故報告をする。</p> <p>10時病院受診され、胸骨骨折の診断を受け、様子観察の指示がある。相談員より居宅ケアマネージャーに事故報告、経過を報告した。</p>	夜間帯はトイレのみ電気がついていたので、ご本人様と相談し、足元が分かりやすいように、居室に足元の電気をつけておく。少し扉を開け1時間おきの巡視を行う。
9月25日	センサーマットに反応があり、訪室するとベッドに端座位になっており、痛みがある。その際に、前頭部に4×4cmの腫脹を確認する。	<p>介護職員へ応援を呼び、臥床する。 体温36.2℃、血圧141/57、脈拍58。</p> <p>左下腿部に痛みの訴えがみられたがすぐ消失し、頭部の腫脹以外の痛み・外傷はなし。夜間待機の看護職員へオンコールする。患部のクーリングを行い様子観察の指示がある。</p> <p>翌朝、ご家族様へ事故報告する。</p> <p>12：30第一病院受診。頭部CTの結果異常なし。</p>	転倒を繰り返しており、歩行時には伝い歩きができるよう居室の設えは変更している。センサーマットを飛び越えるように移動した経緯がありセンサーマットはベッドに横付けではなく動線上に設置しているが、現状も飛び越える危険性がある為、同じ状態でセンサーマットは継続して使用する。



2020年度（令和2年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
9月29日	居室よりドンと音がし、「起こしてー！」と声がしたため訪室する。居室扉前にて仰臥位で転倒しているのを発見する。	職員に応援要請し、3人介助でベッドへ移乗する。 左足と腰に痛みの訴えがある。 血圧158/107脈66体温36.5℃。 看護職員に連絡し、骨折している可能性もあり、病院受診まで安静対応との指示がある。 ご家族様に事故報告し、病院受診の連絡をした。 9時40分発宝塚第一病院受診し、複雑骨折の為入院となる。	車いすのブレーキが片方かかっておらず、ご本人様から「踏み外した」と話もある。車いすの座り方が浅いまま、ご自身で座り直したが、車いすにブレーキがかかっていなかった為、勢いよく床に転落したと思われる。認知症もあるご利用者様の為、車いすのブレーキをかけ忘れがないように、注意喚起の声掛けを継続して行い、車いすに浅く座っている際は座面深く座って頂くよう対応する。 センサーマットを使用する。
10月4日	就寝介助の際、居室から「痛い、痛い」と聞こえた為、訪室する。洗面台前で左側臥位で転倒しているのを発見する。	右側の額から出血があり、タオルで止血をする。 介護職員に応援要請し、看護職員に報告する。 血圧123/79、脈拍66、体温36.7℃。 看護職員にて、患部をガーゼ保護をする。 二人介助でリクライニング車いすへ移乗し、病院受診する。 骨折はなく、右眉横を2針ナートの処置をし帰園される。	PHSを持たずに介助をしており、確認の為に目を離してしまった為、就寝介助を行う職員は必ずPHSを持ち歩く。 車いすのブレーキをかけておらず、立ち上がった際にバランスを崩した可能性がある為、車いすのブレーキをかける。 また、ナースコールやセンサーが鳴った際は、就寝介助中のご利用者様を共同室へ誘導し対応する。もしくは、PHSの通話機能を使い対応する。
10月17日	共同室の本棚前で、左側臥位で倒れているのを発見する。	痛みの有無を確認すると「頭が少し痛い」との事。確認すると、頭頂部に腫れがあり、左側頭部に赤みがある。 血圧150/82 脈73 体温37.0℃。 職員3人介助で車いすへ移乗し、その後ベッドへ移乗する。全身チェックを行うも、外傷はなし。看護職員の指示で頭部クーリング開始する。 ご家族様へ連絡する。 こだま病院受診し、CTの結果は問題ないが、頭を打っているため24時間は経過観察するよう医師から指示がある。	職員がその場を離れる際は、本や塗り絵を目の前に用意する等、ご本人様が集中できるものを用意する。または、ご本人様も一緒に行動をする。見守りができないときは一度臥床して頂く。
10月27日	大きな音がして居室に訪室すると、トイレ内で左側臥位で転倒しているのを発見する。	意識明瞭を確認する。応援要請し、看護職員に報告する。 血圧181/76、脈拍60、体温37.3度。 身体チェックを行い、顔面左側に腫れと痛みを確認する。リクライニング車いすに移乗し、第一病院整形外科を受診する。CTの結果、頭部出血と骨折はなしと医師より説明がある。経過観察、安静対応の指示がある。また、脳神経外科の受診の指示がある。一旦帰園する。 翌日11:30 第一病院脳神経外科に看護師付き添いにて受診。右側頭部小さいクモ膜下出血があり、今後徐々に硬膜下などへ出血の可能性もあるので、2週間後に再受診が必要と医師より説明があり、通院対応となる。	以前に転落事故があり、対応策として、トイレ時には付添い対応となっていたが、今回その場を離れてしまった。ケア計画書の内容を確認し、注意点や介助方法を再確認し、センサーマットを使用しているご利用者様の為、危険認識について周知する。 センサーマット、自動ブレーキ付車いすは継続して使用し、トイレ時には付添いし、どうしても離れる場合は、車いすを便座横に設置し、声掛けを行ったうえでその場を離れる。

2020年度（令和2年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
10月31日	自操して居室に戻ろうされており、居室に入った際に、居室から物音がしたため訪室すると、車いすから転落し右側臥位で倒れているのを発見する。	右目尻に1か所切り傷、右眉尻に2か所切り傷を確認する。看護職員に報告し、止血を行なう。翌日11時40分頃に宝塚第一病院で脳外科と外科に受診し異常なし。	日中の時間帯は起きて過ごされている時間が多く、体力の低下や疲れなどから、以前のように車いすの自操が思うように出来ておらず、うまく前に進まない様子もあった。体の負担を減らす為に、ベッド上で安静に過ごしてもらう時間を増やす。
11月5日	居室から「誰か来てください」と声が聞こえ、訪室すると車椅子から床へ転倒されているのを発見する。	看護職員とベッドに移乗し、身体チェックを行う。 血圧153/103、脈拍56、体温36.0℃酸素飽和度96% 左前腕に2.5cm×3cmの剥離があり処置をする。頭部と臀部を打ったとの事で、嘔気もある。ご家族様へ報告し、宝塚病院に受診する。頭部CTにて出血はなし。腕の骨折もなし。点滴し、帰園される。	転倒発見時には車いすにブレーキがかかっておらず、ご本人様より眼鏡を取ろうとしたとの話もあり、眼鏡を取ろうとしたが、立ち上がり時、または座ろうとした時にバランスを崩し転落したと考えられる。身体介助ができる職員の見ていない間に自操された際には、生活援助も声掛けを行い、内容を聞き対応ができる内容であれば対応する。座位が崩れやすいので座り直しは継続し実施する。居室の机の上に新聞などが積み上げた状態で整理されていなかったもので、物を取りやすいようにご本人様が集めた新聞を少しずつ片付け整理整頓する。（全部一気に片付けるとご本人様が不安になる恐れがあるため）
11月30日	共同室のテレビ前で車いすから転落され左側臥位で横たわっているのを発見する。	痛みはなく様子観察を行う。 血圧72/62、脈拍99、体温36.6℃。 12/4外科受診時に整形外科に受診する事となり、それまで経過観察する。 【12/4】レントゲン結果にて、左恥骨骨折。医師から骨折箇所は手術適応ではない為、経過観察の指示がある。	自操時に座位がずれやすいので、転落しやすい姿勢になるので、車いす用クッションに前ずれ防止の介護用品を使用する。
12月8日	昼食時、訪室した際にトイレ内で座り込んでいるのを発見する。（トイレ内設置してある椅子の横に壁を背に座り込んでいた）	左前額部に約2cm×2cm程の腫脹を確認する。左足首から左下腿にかけて痛みがある。ベッドへ臥床する。 体温36.5℃ 血圧144/69 脈拍53 血中酸素濃度94% 腫脹はケリング対応し様子を見る。ご家族様に報告する。 14：00 再度観察、腫脹は治まり、内出血あり。 15：00 受診し検査にて異常なし。	業務引継ぎ時に所在確認をする。トイレ内に設置してある椅子（一時休憩や転倒時につかまれる目的で設置していた）にバスタオルが敷いてあった。立ち上がり、又は座ったときに滑落したと思われる。一度椅子に座るとトイレにこもってしまわれるので、トイレからベッドの導線を短くすることを検討する。現在センサーマットを使用しており継続して使用する。



2020年度（令和2年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
1月5日	共同室にて尻もちをついているのを発見する。左足が後方になった状態であった。	二人介助で車いすへ移乗する。痛みもあり、確認すると左大転子部から太ももにかけて痛みがある。ベッドへ臥床し、看護職員へ報告する。血圧149/74 脈50 体温36.4℃ 左足の動きが悪く、触れると強い痛みを確認する。朝食は中止し、ベッドにて安静対応する。 9:30 第一病院へ看護職員付添にて受診する。左大転子粉碎骨折にて入院となる。	転倒時に失便も確認していることから、トイレに行こうとされ、キッチンを伝って歩行したがバランスを崩して転倒したと思われる。認知症の為、危険認識が低く、立ち上がりもあり見守りを強化をしており、朝にトイレ誘導を実施していた。今回、ソファで過ごして頂き、他ご利用者様の介助の為10分の間目を離れた間に転倒されている。ソファは椅子で過ごすより立ち上がりが見られる為、起床・就寝時などの職員の見守り対応が難しい時には、椅子に座って過ごして頂き、集中して実施できる家事などを提供し、転倒防止に努める。
1月10日	居室から「どん」という音がし、「誰か来て」との大きな声がした。居室に駆けつけるとトイレの便座と車いすの間に左側臥位で倒れているのを発見する。	意識明瞭を確認する。頭部を打撲したとの事で、看護職員にすぐに報告する。血圧177/86 脈拍82 体温36.3℃ 全身チェックし、頭部に赤みや腫れは無し。外傷なし。立位も安定している。ベッドへ臥床し様子観察とする。排泄はポータブルトイレをベッド横に置き対応する。トイレに行く際は、必ずナースコールを押していただくよう伝える。 14:30 左肩の痛み脳の訴えあり。内出血斑、熱感なし。挙上可能。湿布塗付して経過観察する。 【1/11】 痛み継続しており、芍薬甘草湯を服用。 【1/12】 痛みは継続しているが、軽減見られる。ご家族様へ連絡し受診の相談をする。付き添いできない為、翌日に看護職員付添いにて受診となる。 【1/13】 10:00 こだま病院整形外科受診する。左鎖骨骨折の診断があり、通院対応となる。	朝食時になかなか起きて来られないことが増えている。体調不良が見られた際は、居室の扉を開けて、様子を確認できるようにする。トイレに行く際は、できるだけ職員が付き添う。特に朝食、起きて来られるのが遅れたり、体調不良が見られた際には注意する。転倒が続いている為、センサーマット使用する。
1月12日	居室から咳が聞こえ、訪室すると茶碗一杯分の水溶性の嘔吐があった。吐物から食器用洗剤の匂いがし、食器用洗剤を飲んだと思われる。	血圧178/91脈86体温36.6℃ 水分を勧めるも「いらない」とのことで、臥床対応した。 「洗剤を飲んだか」や「何か口にしたらか」等伺ったが、ご本人は覚えていなかった。 【1/12】 第一病院受診するが、発熱があり、新型コロナウイルス対策の為、当日受診できず、嘱託医へ相談する。抗生剤処方があり経過観察。 【1/13】 第一病院発熱外来を受診し、細菌性肺炎にて入院となる。	口にすると危険な可能性のあるもの（食器用洗剤・アルコール等）は、職員がキッチンを離れる場合、必ず所定の場所へ保管する。

2020年度（令和2年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
1月13日	看護職員が居室を訪室した際に、左額の腫れと内出血を発見する。訪室時はベッド臥床中。	看護職員によりバイタル測定、全身確認を行う。 体温36.4℃ 血圧148/84 脈79 血中酸素濃度94% 左額に腫れ（縦8cm×横5cm）内出血（縦4cm×横2.5cm）を確認する。 ご本人様より「老人会に行ってきた」「ベッドから落ちた」「ムチで叩かれた」と訴えがある。 8：45 腫れ左額（縦8cm×横7cm）内出血（縦6cm×横4cm）クーリングを行う。 9：20 伊丹恒生病院に受診する。検査にて異常なし。3ヶ月は経過観察が必要と医師より指示がある。	幻視もあり、落ち着きがない時は見守り、付き添い、または傾聴する。リスパダールの服薬を検討。夜間に眠れるように、日中に生活のリズムを作るために軽作業を実施する。
1月18日	入浴時に左脇に12cm×8cmの内出血、左胸部に5cm×5cmの瘤を発見する。	瘤に触れると痛みがある。両腕の可動域の確認し、自身で動かす事は可能。看護職員より様子観察の指示がある。 【1/19】 痛み継続。 【1/22】 こだま病院受診し、リンパ液が溜まったの痛み。骨折はなしとの事。	内出血の状態から、ベッドと車いす間の移乗で両脇に手を入れて脇を持つ方法で介助を行ったと考えられる。移乗時は2人介助で行う。再度指導を行い移乗方法を統一する。
2月12日	ナースコールがあり訪室すると、ベッド横に長座位で倒れているのを発見する。	意識明瞭。右の大転子部のあたりを押さえながら痛みの訴えがある。転倒直後は痛みと興奮状態の為、血圧測定出来ず。 3：30 夜間待機の看護職員へオンコールする。看護職員と共に身体チェックを実施し、右臀部に7cm×5cmの内出血と血腫を確認する。痛みも強く、右下肢の可動不可。 体温36.6度 血圧147/70 脈90 血中酸素濃度99% 4：12 救急要請し第一病院へ搬送となる。レントゲン結果にて、右大腿転子部骨折と診断があり入院となる。	歩行は不安定であり手引の歩行介助が必要。転倒時には「トイレに行って、戻るときに足が滑った」と仰っており、歩行時にバランスを崩して転倒されたと思われる。 認知症の診断があるが、トイレなど用事がある時にはナースコールを押して頂いていた。1月末に居室が変わり、その後から帰宅願望や不穏な状況、独歩での歩行が見られていた。 今後は、頻尿なこともあり、トイレの回数も多いので、トイレ時にナースコールを押して頂くよう、声掛け、張り紙をし、居室の設えもベッドからトイレまでの距離が短くなるような設えに変更する。センサーマット使用も検討する。また、環境が変わった時には、安心した関係が出来るよう積極的に声かけし配慮する。
2月23日	入浴の際に、右上腕から右脇にかけて黄色くなっている皮下出血、胸部に縦15cm×横13cmの黄色くなっている皮下出血を発見する。	痛みが無く経過観察する。 【2/27】 右脇部に腫脹があり、看護職員に報告する。8×8.5cmの硬結。肩の動き正常である。様子を観察の指示がある。 【3/3】 第一病院に受診する。骨折はなく、経過観察となる。	移乗介助で介助者が脇に手を入れて抱えた際に圧がかかった可能性がある。車いすにて座位がずれた際も引き上げるように座り直した為、一点に強い圧がかかったと思われる。移乗介助ではスライディングボードを使用し平行移動または、リフトを使用する。座り直しの際には二人介助にて行い、引き上げない。

2020年度（令和2年度）苦情受付処理報告（特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
4月1日	更衣時にセーターが縮んでいる事に気づく。乾燥機使用不可の衣類に乾燥機を使用していた。	ご家族様に連絡する。 面会時に確認していただくことになる。	洗濯表示を確認し、わからないときは他の職員、または洗濯機前にある洗濯表示表を確認する。乾燥機へもっていく前に洗濯籠の中を確認する。
4月4日	食洗機を使用後に確認すると、スプーンの柄のプラスチック部分が溶けていた。	緊急以外はメールでの対応の為、相談員より長女へメールにて物損報告をする。	箸などを入れるカゴにスプーンが入っておらず、落ちたスプーンの柄が電熱部に触れて溶けた。食洗機に入れる際、所定のところに食器類を入れるよう、焦らずに業務を行なう。
4月22日	洗濯業者から戻ってきた服の中に縮んだ財布が入っているのを発見する。	ご家族様に報告、謝罪をする。 後日、新しい財布を持参して頂く。	洗濯マニュアルを徹底する。洗濯をする前に、2名以上の職員で、洗濯表示とポケットの中を確認する。
6月29日	相談員が居室を訪室した際、ご本人様より「命令口調で言ってくる職員がいるの。」と相談がある。	相談員から事情を聞き、謝罪を行った。ご家族様に電話で報告と謝罪をする。 居宅ケアマネージャーに報告及び謝罪をする。	ご利用者様に対しての口調や接し方などをもう一度考え直す。利用者様が過ごしやすい環境作りをする。
6月27日	介護職員が居室を訪室した際に「男性職員の口調が荒く、きつい言い方をされ、えらいめにあった」と訴えがある。	ご本人様に謝罪を行い、「いいよいいよ」とお返事を頂く。 相談員より、居宅ケアマネージャーに報告及び謝罪をする。 【6/29】 当事者より内容確認し、再度ご家族様に連絡とお詫びをする。今後の対応についてしっかり指導をするとお伝えし「わざわざ有難うございます。」との返答を受ける。	職員のご利用者様への対応及び言葉遣いについて考え直す。ご利用者様に不快感を与えない対応を心掛け、実施していく。
7月6日	車いす用クッションの中身が便汚染した為、洗浄する。クッション材のスポンジが水を大量に吸っていたので乾燥の為に洗濯機で1分脱水にかけると終わった後に真っ二つに割れていた。	ご家族様に報告、謝罪する。 他のクッションにて代用する。	クッションはカバーをつけて使用する。 汚染した場合、洗濯機の脱水には掛けず風呂場など濡れても構わないところで乾燥させる。
7月17日	ハイターで色落ちした衣類を着ているのを発見する。	ご家族様に報告・謝罪する。「わかりました。他の衣類があるならそれを使ってください」とのこと。	衣類用のバケツと、ハイター消毒用のバケツが区別されておらず、間違えた為起こった。バケツを使用する方法によって色分けして使用する。
7月18日	ベッドへ臥床の際に、ハイターで色落ちしている靴下を履いているを発見した。	ご家族様に報告、謝罪する。「わかりました。いつもお世話になりありがとうございます。今あるもので足りるなら弁償は結構です」とのこと。	
7月20日	衣類がハイターで色落ちしているの発見した。	ご家族様に報告、謝罪する。「本人が気にならないのであれば、そのまま使ってください」とのこと。	
7月21日	シャツに1円玉程度、ズボンに10cm程度の箇所がハイターで色落ちしているの発見した。	ご家族様に報告、謝罪する。「わかりました」とお返事頂いています。	
9月21日	ショートステイの迎え時に、家の場所が分からず迷う。送迎予定時間より1時間遅れる。	施設へ連絡し、住所の確認（町名から確認）を行うと共に場所の確認を行っている時に運転手が間違っていることに気づき迎えに行く。 出来るだけ早く迎えに行けるよう、施設からも迎えの対応をする。	新規ご利用者様の自宅は事前に相談員と設備運転手で確認に行く。（契約が施設契約のため） 定期利用者、不定期利用者については、担当運転手が地図で調べ、ダブルチェックで設備リーダーが間違いがないか確認指導する。

## 2020年度（令和2年度）苦情受付処理報告（特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ）

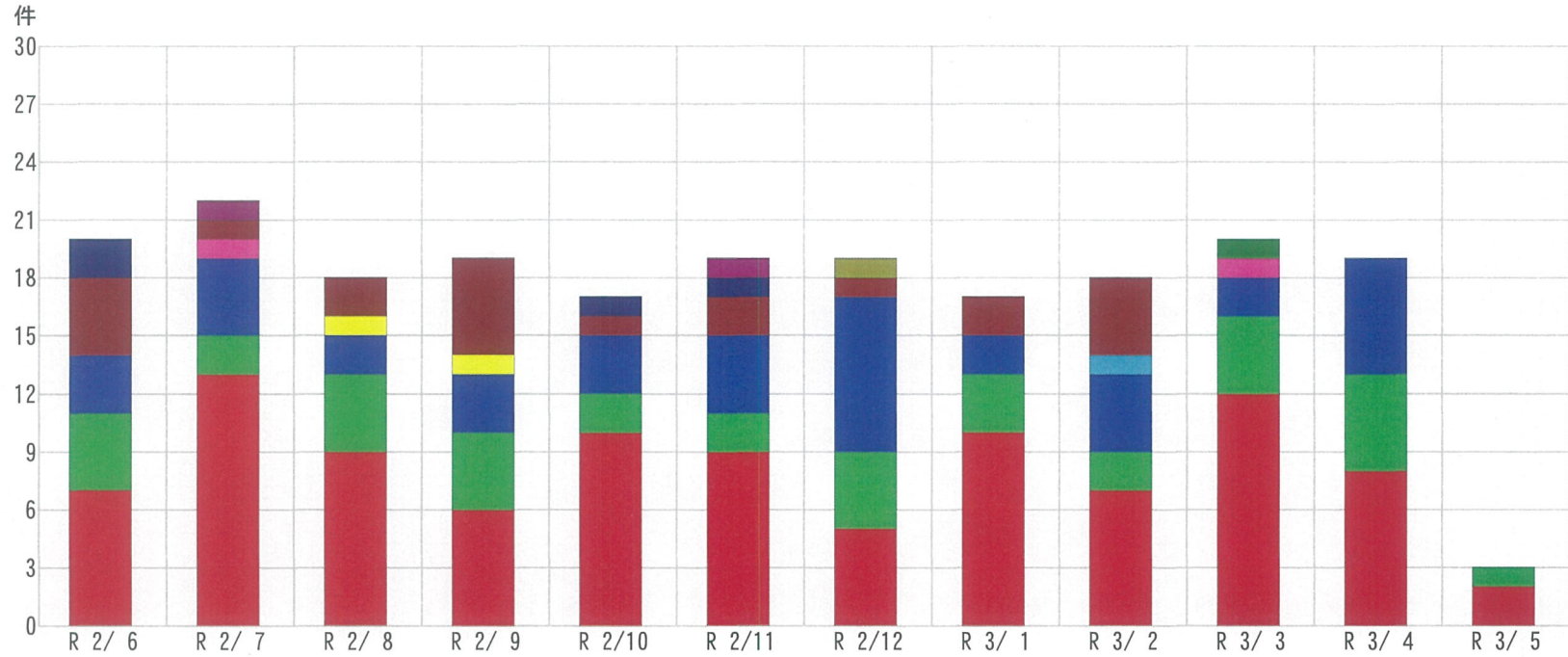
発生日	内容	対応内容	今後の対応
9月30日	ショートステイ利用後の居宅ケアマネジャー訪問の際に「ショートステイから帰ったときに、おむつから排尿が漏れるくらい濡れていたが、おむつを交換していたのか？」と話があった。 居宅ケアマネジャーより確認がある。	当日出勤のケアに携わった介護職員にご本人様の様子も含め、排泄介助をどのように行っていたか聞き取りと排泄記録、ケース記録を確認する。 【10/1】 14時にご家族様に相談員より、排泄介助を行っていなかった報告とお詫び、介護職員の指導の徹底をご連絡する。ご家族様からは、「どんなに介護抵抗があってもおむつは交換するように指導してほしい。」と意向あり。	バルーン留置ご利用者様の排泄介助が必要な理由を知る。介護抵抗が強いため、ご本人様の不安の軽減に努め、ケガなく確実な排泄介助を行えるように二人以上の介護職員でケアを行う。左右から介助ができるようにベッドの向きや配置を行う。サービス担当者の開催を居宅ケアマネに依頼し、担当医、訪問看護職員、デイサービス、福祉用具、介護職員、相談員、ご家族で情報の共有や課題解決に向けた話し合いを実施する。
10月16日	「入院時に他の利用者様の衣服を着ていた」と退院時にご家族様から報告を受ける。	報告を受けた時点で、謝罪をする。	洗濯物を各居室に戻す時に、混ざらない様に籠ごとで分ける。氏名が消えそうになっている衣類は氏名を書く。氏名が消えている衣類は、ご家族様に確認する。
11月11日	散髪時、他のご利用者とは勘違いしてカットをしていた。（バリカンがNGであったが、バリカンを使用してカットをしていた。）	ご本人様の皮膚状態の確認を行う。痛み、赤みなし。ご家族様に連絡し、状況報告と皮膚状態に変わりないことを伝え、謝罪する。	理美容のスタッフはご利用者様の顔が分かっておらず、口頭での確認であった。誘導した職員に名前を口頭で確認すると頷かれたので、人間違いが起った。理美容の利用時には名札を車いす、杖、歩行器などにつける。又は持っていた名札と口頭での確認を行う。
11月22日	入浴表のチェックを行った際、ショートご利用中に、一度も入浴ができていない事に気づいた。	発見直後、介護職員より、ご家族様に電話にて報告と謝罪を行う。ご家族様より「やっぱりそうだったんですね。お電話ありがとうございます」との事。 【11/27】 14時頃、相談員、介護職員にて自宅へ伺い、経緯の説明と謝罪を行う。	ショートステイは日々変更がある為、毎日夜勤者が入浴表とショートステイ利用表を照らし合わせて確認する。退所する際に、最終排便日と最終入浴日を送迎職員に伝えるよう再度徹底する。また、緊急でショートステイの利用が始まる場合は、申送票受け取り職員が夜勤者が入浴表の調整を行う。
11月26日	ご家族様より、請求書は7248円だが、振込用紙に7428円だったのを見て7428円振り込んだと連絡がある。	確認後折り返し電話するようお願いする。相談員よりご家族様に電話し、謝罪、次回利用時に現金での返金を了承していただいた。	振込用紙記載時、入力時再度確認する。また封入時はダブルチェックの際名前だけでなく金額も確認する。
11月26日	「16:10に送迎の時間となっているが、マンションのエントランスで30分以上待っても送って来ない。疲れたので部屋まで帰ってきました」とご家族様より連絡がある。	謝罪し、マンションの部屋まで送迎するので、自宅でお待ち頂くようお願いする。	次回利用表記入後、ショートステイ利用表と相違がないか確認し、お帰りの際に、宙組職員もダブルチェックする。
11月28日	眼科受診の予約をしており9時10分までに自宅到着の依頼を受け、8時50分に出発したが道に迷い到着が9時25分になってしまった。	ご家族様にお約束時間が遅れることを連絡し、謝罪する。	事前を送迎場所の確認を行う。（慣れるまでは地図は設備リーダーが準備）直接の下見も含める。
12月1日	ズボンに数か所の色落ちを発見する。	ご家族様へ謝罪する。	洗濯前に洗濯機の中を確認してから洗濯する。漂白剤と一緒に付けないよう、漂白剤に浸けている洗濯物はわかりやすいように目印の付いた容器に入れておく。
12月12日	居室トイレに座ろうとした時に胸ポケットに入っていた時刻音声器が便器内に落ちて水没する。	水没した事をご本人様に謝罪する。水没した機器は分解して、乾燥する。ご家族様に電話連絡し、水没した物は破棄し、予備を使用する事となる。	排泄前に必要のない物品、機器は出して置く。

2020年度（令和2年度）苦情受付処理報告（特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
3月17日	入院時に下着にシミがあり、全体的に汚れていた。 更衣や他必要なケアが実施されていないのではないかご家族様より相談がある。	相談員より謝罪し、事実確認後に報告となる。 【3/22】ご家族様、相談員、ケアマネジャー、介護リーダーにて話し合いを行い、今後の対応策等は書面で報告する事となる。 【4/9】行政（県民局、宝塚市介護保険課）へ苦情報告する。 【4/13】臨時の介護主任リーダー会議を開催し、問題点、対策について周知する。 【4/20】ご家族様へ書面にて報告する。 【5/1】今回の件について、対策を施設内に掲示する。	衣類の更衣・洗濯 ・食べこぼしがある方にはエプロンを使用し、就寝介助時に下着の汚れを確認する。更衣を実施した記録チェック表に記載して見える化を行う。 排泄について ・陰部洗浄の実施をチェック表に記載し、誰でも確認できるよう見える化を行う。排泄手順はリーダーが個別に口頭説明、実際のケア方法も個別に確認する。陰部洗浄の仕方について、マニュアル記載が不明確なため見直しする。
3月29日	歯科受診の為、義歯ケースを確認すると、義歯にかびが生えていた。	ご家族様へ謝罪し、新しい義歯を弁償対応する。	義歯ケースを職員の目の届かないキッチンに保管しており、義歯洗浄が実施出来ていなかった。義歯を預かるご利用者様は、寮母室の所定の場所で一括保管し、当日のBユニット就寝介助者が義歯洗浄を行う。

# 事故分析

処理日：令和 2年 6月 1日 ~ 令和 3年 5月31日 利用者：全  
集計対象：全











	R 2/ 6	R 2/ 7	R 2/ 8	R 2/ 9	R 2/10	R 2/11	R 2/12	R 3/ 1	R 3/ 2	R 3/ 3	R 3/ 4	R 3/ 5
転倒	7	13	9	6	10	9	5	10	7	12	8	2
その他	4	2	4	4	2	2	4	3	2	4	5	1
転落	3	4	2	3	3	4	8	2	4	2	6	
異食			1	1								
誤薬									1			
誤嚥・誤飲		1								1		
落薬	4	1	2	5	1	2	1	2	4			
異食										1		

## 事故分析

処理日：令和 2年 6月 1日 ~ 令和 3年 5月31日 利用者：全

集計対象：全

	R 2/ 6	R 2/ 7	R 2/ 8	R 2/ 9	R 2/10	R 2/11	R 2/12	R 3/ 1	R 3/ 2	R 3/ 3	R 3/ 4	R 3/ 5
薬剤 	2				1	1						
抜去 							1					
接遇 												
自傷行為 		1				1						
車両事故 												
施設外徘徊 												
自傷行為 												
車両事故 												



2020年度（令和2年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホーム神戸まどか園・神戸まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
5月3日	17時50分、食事介助中に喉に物を詰まらせた様子あり。タッピングを試みるが改善見られず。チアノーゼ見られたので看護師に連絡。	タッピング継続し、ソファに移乗。看護師に連絡する。吸引行くと共に救急車を要請する。応援職員を呼び胸骨圧迫と吸引によりチアノーゼ改善する。救急車到着し対応代わる。ご家族に状態を連絡し状態説明。病院へと搬送される。病院にて検査をされるが意識レベルは普段と変わりなく改善している。ご家族到着後、状態説明し謝罪を行う。病院では、吸引は1回口腔内の唾液を引いた程度で痰は上がってきていない様子とのこと。誤嚥をされているので、今後誤嚥性肺炎を起こされ、発熱する可能性あり、その時には、受診するように指示あり。帰園して様子を見るように言われ、施設へと戻っています。	嚥下状態の低下により、食事形態の変更を検討する。より一層、咀嚼確認と嚥下確認を徹底し、異変に早く気付く。
6月18日	9時半、以前の右上腕の皮下出血を確認しようとした時に、ご利用者より「そっちじゃないで、こっち(左上腕)や」と話される。右上腕の皮下出血はきれいに治癒している。左上腕を確認すると湿布を貼付しており、少しずれた位置にうっすらと皮下出血が確認できる。湿布はご自身で貼られた様子。看護師と介護職員と共に湿布を外すと、左上腕に7×10cmの比較的新しい皮下出血を発見する。	ご利用者曰く「今朝こけたんや。床で滑ってこけた。靴が滑るんや。」等、話される。夜勤職員に確認するが、転倒の形跡等はなかったとの申し送りあり。転倒した可能性は低いと考えられる。居室にて確認すると、ベッドで端座位になり、立ち上がりの際にバランスを崩しL字柵で打撲した可能性が高いと思われる。他に外傷がないか左膝等も確認するが特になし。全身状態を確認してもらい特に痛みもなく様子観察とした。 6/19入浴時にも全身状態確認するが異常なく、ご利用者からも痛みはなかった。 6/20脇腹付近に痛みが訴えが開始。6/21には脇腹付近にうっすらと皮下出血があり、痛みが増強してきている様子あり。ご家族に連絡し状態説明を行い、6/22受診を検討する事となる。ご家族も付き添って頂き、整形外科へ受診しレントゲン撮影した所、肋骨にヒビが入っておりバスとバンドで固定が必要と診断を受ける。ご利用者は体動時のみ痛みがある様子。ご家族に6/18からの経緯を説明させて頂きました。	以前にも右上腕や右膝、右臀部に皮下出血ができてしまっていた。その際も予測でしか原因が分からなかった状況。今回も予測でしか状況が不明な為、再度居室環境や夜間の動き、立ち上がりの状況等をセンサーを設置し巡回回数を増やし見直していく。
10月13日	7時半、リビングでドンという物音を聞きトイレへ行くと、右側面から扉に向けて崩れ落ちておられるところを発見しました。	バイタルは異常ないものの、右足の痛み有り。車イスに乗っていただき過ごしていただく。その後の朝食も車イス上で食べられ、全量食べられる。車イスに座られている際、看護師の確認では痛み無し。9時20分頃、居室に伺うとベッドに端座位になられている。ご利用者の状態をあらためて確認。外傷は無し。右大腿部の痛み有り。動かすと強い痛み有り。骨折の可能性も考え、整形外科の受診をさせて頂きたくこととする。 14時、整形外科受診。右肩と右大腿部のレントゲン撮影を行う。レントゲン結果、右大腿骨頸部の骨折。医師の診察を受け、右大腿骨頸部骨折であると診断。骨折箇所の人工骨頭置換術施行の為、入院となる。ご家族にも電話にて状況説明し謝罪しました。	起床後のトイレの際は、職員が付き添い歩行状態を確認する。 退院後、あらためてショートを受ける可能性が高い。ADLの変化等が考えられるので、サービス利用の際は転倒防止に向けた再アセスメントを行う。



2020年度（令和2年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホーム神戸まどか園・神戸まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
11月12日	<p>17時45分、夕食摂取時、おしぼりで口を押え、ご利用者が喉に詰まった事を訴えられる。近くにいた職員がすぐに気づき、タッピングで吐き出させようとするが、口唇チアノーゼ出現、目の焦点が合わなくなり掛けており、早急に看護師へ報告。2分程で看護師が到着し状態確認を行いました。</p>	<p>リビングで椅子に座り、顔面蒼白、口唇チアノーゼとなっておられ、歯を喰いしばって、タッピングにても咳嗽反射なし。口腔内に指を入れ、喉の刺激にて咽頭反射あり。吸引施行し食物残渣が多量に引けました。多量に吸引するが、顔色戻らず、SpO2=50%台。酸素5L投与しながら吸引続けました。意識はあり、呼びかけに反応や若干の返答もありました。18時、酸素送気するもSP02が上がらず、顔面蒼白。救急要請必要と判断し、18時に救急通報しました。通報時に救急の指示に従い、状態を伝えました。通報時、酸素5L送気SP02=50%台。通報途中で70%台まで上昇。目を強くつむり「痛い」等話をされ、呼びかけに対しても反応、言葉あり。意識ははっきりとしていました。途中小指の第1関節ほどの大きさのような物が引け、溜息のような呼吸をされ、徐々に顔色回復されました。18時9分、救急隊員が到着。状態説明を行いました。吸引にて食物残渣が多量に引けており、野菜等を引いた事を伝え、SP02が徐々に上昇している事を伝えました。酸素送気し現在看護師が対応中である事を報告。18時10分、救急隊員が確認。SP02=90%台に上昇。酸素送気を中止するが、SP02安定。両目ともにしっかりと開け、理路整然と救急隊員の呼びかけに返答される。ご自身でしっかりと咳を出され、痰も出されています。病院への搬送を促しましたが、ご利用者は「病院は(行かなくて)良い。大丈夫」と仰られていました。急変のリスクもあるので、説得しストレッチャーに移られました。18時20分、施設玄関に向かう際、ご家族が施設へ来園されました。ご利用者は救急車に乗り込まれる。18時30分、救急車に乗り込むが、ご利用者が病院に行くことを拒否され、結局搬送は中止となりました。ゴロ音ありますが、SP02=94%まで上昇していました。ご家族様にリスクについてしっかりと説明を行った上で、夜間何かあれば、すぐに駆けつけて下さるとお話あり。様子観察する事となりました。</p>	<p>どの食材で喉を詰めたか、現場職員と看護師と確認をしました。吸引時に引けた食物残渣物は、「キャベツ、ピーマン、にら」等が細かくなり、多量に引けていました。それとは別で、ワカメも引けてた。鶏肉では詰めておられなかった様子でした。ご家族の情報では、野菜類はあまり食べない方であった、麺類等を良く食べていた。とのお話もありました。食事形態を検討していく。</p>

## 2020年度（令和2年度）苦情受付処理報告（特別養護老人ホーム神戸まどか園・神戸まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
2月22日	18日の夜間帯、日付が変わり19日0時50分にご利用者がナースコールにて体調不良を訴えた。そこから救急搬送し病院に到着したのが10時であった。必要な対応がされていなかったのではないか？経過を知りたいと共に、本人の今後の生活はどうしていくか？今後の対応も聞きたい。またどう責任を取ってもらえるのかも聞きたい。とのお話を受ける。	夜間帯のご利用者の様子、介護職員、看護職員の動きや連携等、詳細確認を行った上で、ご家族にお話させて頂くと共に、不十分な対応であった所の謝罪を行った。	今後ご利用者のADLに合わせたケアの必要性、退院前にカンファレンスを行い、状態についての周知徹底を行い、退院後は関係部署でカンファレンスを行い、ケアの方向性をご家族にも相談しながら決めていく。体調不良者の対応について、マニュアルの見直しもを行い、全職員に周知徹底を図る

2020年度  
決算報告書

(自) 2020年4月 1日

(至) 2021年3月31日

## 計算書類及び財産目録

- 法人単位資金収支計算書(第一号第一様式)
- 社会福祉事業区分資金収支内訳表(第一号第三様式)
- 法人単位事業活動計算書(第二号第一様式)
- 社会福祉事業区分事業活動内訳表(第二号第三様式)
- 法人単位貸借対照表(第三号第一様式)
- 社会福祉事業区分貸借対照表内訳表(第三号第三様式)
- 注記(法人全体)
- 財産目録(別紙4)
  
- 拠点区分資金収支計算書(第一号第四様式)
- 拠点区分事業活動計算書(第二号第四様式)
- 拠点区分貸借対照表(第三号第四様式)
- 注記(拠点区分)

法人単位資金収支計算書  
(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	1,634,613,000	1,637,510,923	△2,897,923
		借入金利息補助金収入	2,263,000	2,263,194	△194
		経常経費寄附金収入	430,000	490,000	△60,000
		受取利息配当金収入	102,000	1,132,372	△1,030,372
		その他の収入	5,360,000	5,343,350	16,650
		流動資産評価益等による資金増加額	19,789,000	38,022,771	△18,233,771
		事業活動収入計(1)	1,662,557,000	1,684,762,610	△22,205,610
	支出	人件費支出	1,038,234,000	1,026,647,824	11,586,176
		事業費支出	223,054,000	215,325,471	7,728,529
		事務費支出	176,798,000	158,461,194	18,336,806
		利用者負担軽減額	4,610,000	4,536,068	73,932
		支払利息支出	14,443,000	13,979,269	463,731
		その他の支出	6,144,000	6,106,671	37,329
流動資産評価損等による資金減少額		2,694,000	2,693,905	95	
事業活動支出計(2)	1,465,977,000	1,427,750,402	38,226,598		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		196,580,000	257,012,208	△60,432,208	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	128,000	0	128,000
		その他の施設整備等による収入	0	272,196	△272,196
		施設整備等収入計(4)	128,000	272,196	△144,196
	支出	設備資金借入金元金償還支出	118,635,000	118,635,000	0
		固定資産取得支出	29,425,000	27,536,139	1,888,861
		ファイナンス・リース債務の返済支出	1,333,000	1,333,200	△200
その他の施設整備等による支出	1,159,000	1,172,592	△13,592		
施設整備等支出計(5)	150,552,000	148,676,931	1,875,069		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△150,424,000	△148,404,735	△2,019,265	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	7,343,000	3,887,251	3,455,749
		その他の活動収入計(7)	7,343,000	3,887,251	3,455,749
	支出	長期貸付金支出	3,717,000	3,101,250	615,750
		積立資産支出	35,883,000	35,812,320	70,680
		その他の活動支出計(8)	39,600,000	38,913,570	686,430
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△32,257,000	△35,026,319	2,769,319
予備費支出(10)		18,378,000	—	2,370,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		11,529,000	73,581,154	△62,052,154	
前期末支払資金残高(12)		328,133,000	357,466,208	△29,333,208	
当期末支払資金残高(11)+(12)		339,662,000	431,047,362	△91,385,362	

予備費支出△16,008,000円は、人件費支出に1,371,000円、事業費支出に36,000円、事務費支出に157,000円、その他の支出に4,000円、流動資産評価損等による資金減少額に1,170,000円、固定資産取得支出に3,315,000円、その他の施設整備等による支出に1,159,000円、長期貸付金支出に117,000円充当使用した額である。

尚、差額△8,679,000円は内部取引消去で拠点区分間繰入金支出に法人本部拠点区分で3,804,000円、一宮キャンパス拠点区分で4,448,000円、宝塚キャンパス拠点区分で427,000円充当使用した額である。

社会福祉事業区分資金収支内訳表  
(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		社会福祉事業				合計	内部取引消去	事業区分合計	
		法人本部拠点	一宮キャンパス拠点	宝塚キャンパス拠点	神戸キャンパス拠点				
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	427,500	509,394,005	651,541,811	476,147,607	1,637,510,923	0	1,637,510,923
		借入金利息補助金収入	0	0	0	2,263,194	2,263,194	0	2,263,194
		経常経費寄附金収入	100,000	288,000	102,000	0	490,000	0	490,000
		受取利息配当金収入	1,129,249	1,979	809	335	1,132,372	0	1,132,372
		その他の収入	666,600	1,572,320	1,018,300	2,086,130	5,343,350	0	5,343,350
		流動資産評価益等による資金増加額	38,022,771	0	0	0	38,022,771	0	38,022,771
		事業活動収入計(1)	40,346,120	511,256,304	652,662,920	480,497,266	1,684,762,610	0	1,684,762,610
	支出	人件費支出	1,305,750	339,445,332	394,949,874	290,946,868	1,026,647,824	0	1,026,647,824
		事業費支出	3,541,420	67,815,385	83,614,916	60,353,750	215,325,471	0	215,325,471
		事務費支出	6,016,300	25,328,589	63,098,324	64,017,981	158,461,194	0	158,461,194
		利用者負担軽減額	0	1,229,467	3,095,832	210,769	4,536,068	0	4,536,068
		支払利息支出	60,787	1,066,033	2,301,148	10,551,301	13,979,269	0	13,979,269
		その他の支出	0	1,855,773	1,110,310	3,140,588	6,106,671	0	6,106,671
		流動資産評価損等による資金減少額	2,693,905	0	0	0	2,693,905	0	2,693,905
事業活動支出計(2)	13,618,162	436,740,579	548,170,404	429,221,257	1,427,750,402	0	1,427,750,402		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		26,727,958	74,515,725	104,492,516	51,276,009	257,012,208	0	257,012,208	
施設整備等による収支	収入	その他の施設整備等による収入	8,892	90,600	172,704	0	272,196	0	272,196
		施設整備等収入計(4)	8,892	90,600	172,704	0	272,196	0	272,196
	支出	設備資金借入金元金償還支出	4,308,000	10,332,000	50,508,000	53,487,000	118,635,000	0	118,635,000
		固定資産取得支出	1,789,602	11,265,322	14,087,195	394,020	27,536,139	0	27,536,139
		ファイナンス・リース債務の返済支出	1,333,200	0	0	0	1,333,200	0	1,333,200
		その他の施設整備等による支出	25,380	21,798	13,328	1,112,086	1,172,592	0	1,172,592
施設整備等支出計(5)	7,456,182	21,619,120	64,608,523	54,993,106	148,676,931	0	148,676,931		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△7,447,290	△21,528,520	△64,435,819	△54,993,106	△148,404,735	0	△148,404,735	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	14,054	2,697,845	976,623	198,729	3,887,251	0	3,887,251
		拠点区分間繰入金収入	37,526,960	27,083,170	15,974,944	0	80,585,074	△80,585,074	0
		その他の活動収入計(7)	37,541,014	29,781,015	16,951,567	198,729	84,472,325	△80,585,074	3,887,251
	支出	長期貸付金支出	2,322,300	30,000	668,950	80,000	3,101,250	0	3,101,250
		積立資産支出	3,738,240	18,984,113	10,056,994	3,032,973	35,812,320	0	35,812,320
		拠点区分間繰入金支出	42,958,114	16,591,296	21,035,664	0	80,585,074	△80,585,074	0
		その他の活動支出計(8)	49,018,654	35,605,409	31,761,608	3,112,973	119,498,644	△80,585,074	38,913,570
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△11,477,640	△5,824,394	△14,810,041	△2,914,244	△35,026,319	0	△35,026,319
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)		7,803,028	47,162,811	25,246,656	△6,631,341	73,581,154	0	73,581,154	
前期末支払資金残高(11)		128,701,304	162,958,571	151,330,172	△85,523,839	357,466,208	0	357,466,208	
当期末支払資金残高(10)+(11)		136,504,332	210,121,382	176,576,828	△92,155,180	431,047,362	0	431,047,362	

法人単位事業活動計算書  
(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	1,637,510,923	1,545,718,637	91,792,286
		経常経費寄附金収益	490,000	562,236	△72,236
		サービス活動収益計(1)	1,638,000,923	1,546,280,873	91,720,050
	費用	人件費	1,035,790,957	990,241,687	45,549,270
		事業費	215,325,471	205,187,743	10,137,728
		事務費	158,461,194	161,947,011	△3,485,817
		利用者負担軽減額	4,536,068	4,124,122	411,946
		減価償却費	128,003,067	130,641,879	△2,638,812
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△35,605,065	△36,893,622	1,288,557
		徴収不能引当金繰入	849,979	1,818,537	△968,558
サービス活動費用計(2)	1,507,361,671	1,457,067,357	50,294,314		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		130,639,252	89,213,516	41,425,736	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	2,263,194	2,351,802	△88,608
		受取利息配当金収益	1,132,372	17,180	1,115,192
		有価証券評価益	12,802,897	0	12,802,897
		有価証券売却益	22,731,784	2,096,560	20,635,224
		その他のサービス活動外収益	9,185,810	8,971,614	214,196
	サービス活動外収益計(4)	48,116,057	13,437,156	34,678,901	
	費用	支払利息	13,979,269	15,439,909	△1,460,640
		有価証券評価損	1,169,479	4,009,804	△2,840,325
		有価証券売却損	1,361,142	0	1,361,142
		その他のサービス活動外費用	8,567,487	10,355,587	△1,788,100
サービス活動外費用計(5)		25,077,377	29,805,300	△4,727,923	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		23,038,680	△16,368,144	39,406,824	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		153,677,932	72,845,372	80,832,560	
特別増減の部	収益	固定資産売却益	0	100,000	△100,000
		その他の特別収益	1,818,537	23,854,846	△22,036,309
		特別収益計(8)	1,818,537	23,954,846	△22,136,309
	費用	固定資産売却損・処分損	935,244	15	935,229
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△548,475	0	△548,475
		特別費用計(9)	386,769	15	386,754
特別増減差額(10)=(8)-(9)		1,431,768	23,954,831	△22,523,063	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		155,109,700	96,800,203	58,309,497	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		1,162,815,586	1,068,843,383	93,972,203
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		1,317,925,286	1,165,643,586	152,281,700
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		0	0	0
	その他の積立金積立額(16)		21,800,000	2,828,000	18,972,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		1,296,125,286	1,162,815,586	133,309,700

社会福祉事業区分事業活動内訳表  
(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		社会福祉事業				合計	内部取引消去	事業区分合計	
		法人本部拠点	一宮キャンパス拠点	宝塚キャンパス拠点	神戸キャンパス拠点				
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	427,500	509,394,005	651,541,811	476,147,607	1,637,510,923	0	1,637,510,923
		経常経費寄附金収益	100,000	288,000	102,000	0	490,000	0	490,000
		サービス活動収益計(1)	527,500	509,682,005	651,643,811	476,147,607	1,638,000,923	0	1,638,000,923
	費用	人件費	10,644,808	335,486,724	396,478,558	293,180,867	1,035,790,957	0	1,035,790,957
		事業費	3,541,420	67,815,385	83,614,916	60,353,750	215,325,471	0	215,325,471
		事務費	6,016,300	25,328,589	63,098,324	64,017,981	158,461,194	0	158,461,194
		利用者負担軽減額	0	1,229,467	3,095,832	210,769	4,536,068	0	4,536,068
		減価償却費	5,517,580	41,016,248	31,735,534	49,733,705	128,003,067	0	128,003,067
		国庫補助金等特別積立金取崩額	0	△11,530,746	△13,064,446	△11,009,873	△35,605,065	0	△35,605,065
		徴収不能引当金繰入	0	212,516	304,383	333,080	849,979	0	849,979
サービス活動費用計(2)	25,720,108	459,558,183	565,263,101	456,820,279	1,507,361,671	0	1,507,361,671		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△25,192,608	50,123,822	86,380,710	19,327,328	130,639,252	0	130,639,252		
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	0	0	0	2,263,194	2,263,194	0	2,263,194
		受取利息配当金収益	1,129,249	1,979	809	335	1,132,372	0	1,132,372
		有価証券評価益	12,802,897	0	0	0	12,802,897	0	12,802,897
		有価証券売却益	22,731,784	0	0	0	22,731,784	0	22,731,784
		その他のサービス活動外収益	3,972,886	1,943,836	1,182,958	2,086,130	9,185,810	0	9,185,810
	サービス活動外収益計(4)	40,636,816	1,945,815	1,183,767	4,349,659	48,116,057	0	48,116,057	
	費用	支払利息	60,787	1,066,033	2,301,148	10,551,301	13,979,269	0	13,979,269
		有価証券評価損	1,169,479	0	0	0	1,169,479	0	1,169,479
		有価証券売却損	1,361,142	0	0	0	1,361,142	0	1,361,142
		その他のサービス活動外費用	255,776	2,592,091	1,661,850	4,057,770	8,567,487	0	8,567,487
サービス活動外費用計(5)		2,847,184	3,658,124	3,962,998	14,609,071	25,077,377	0	25,077,377	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	37,789,632	△1,712,309	△2,779,231	△10,259,412	23,038,680	0	23,038,680		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	12,597,024	48,411,513	83,601,479	9,067,916	153,677,932	0	153,677,932		
特別増減の部	収益	拠点区分間繰入金収益	37,526,960	27,083,170	15,974,944	0	80,585,074	△80,585,074	0
		拠点区分間固定資産移管収益	1,646,759	426,906	613,216	81,092	2,767,973	△2,767,973	0
		その他の特別収益	0	345,913	225,637	1,246,987	1,818,537	0	1,818,537
		特別収益計(8)	39,173,719	27,855,989	16,813,797	1,328,079	85,171,584	△83,353,047	1,818,537
	費用	固定資産売却損・処分損	1	4	935,239	0	935,244	0	935,244
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	0	△548,475	0	△548,475	0	△548,475
		拠点区分間繰入金費用	42,958,114	16,591,296	21,035,664	0	80,585,074	△80,585,074	0
		拠点区分間固定資産移管費用	423,924	1,766,091	0	577,958	2,767,973	△2,767,973	0
		特別費用計(9)	43,382,039	18,357,391	21,422,428	577,958	83,739,816	△83,353,047	386,769
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	△4,208,320	9,498,598	△4,608,631	750,121	1,431,768	0	1,431,768
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	8,388,704	57,910,111	78,992,848	9,818,037	155,109,700	0	155,109,700		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	160,369,040	296,538,743	779,489,806	△73,582,003	1,162,815,586	0	1,162,815,586	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	168,757,744	354,448,854	858,482,654	△63,763,966	1,317,925,286	0	1,317,925,286	
	基本金取崩額(14)	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の積立金積立額(16)	0	15,800,000	6,000,000	0	21,800,000	0	21,800,000	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	168,757,744	338,648,854	852,482,654	△63,763,966	1,296,125,286	0	1,296,125,286	



法人単位貸借対照表  
2021年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	536,656,762	452,441,022	84,215,740	流動負債	266,120,705	268,848,455	△2,727,750
現金預金	194,109,620	144,716,280	49,393,340	事業未払金	31,611,138	26,586,166	5,024,972
有価証券	84,013,091	47,649,482	36,363,609	その他の未払金	62,241,384	58,715,270	3,526,114
事業未収金	248,215,419	254,486,898	△6,271,479	1年以内返済予定設備資金借入金	107,640,000	118,635,000	△10,995,000
未収金	244,903	651,516	△406,613	1年以内返済予定リース債務	666,600	1,333,200	△666,600
未収補助金	4,532,492	3,707,245	825,247	預り金	73,818	27,780	46,038
貯蔵品	1,016,757	459,409	557,348	職員預り金	12,453,039	11,464,135	988,904
立替金	1,387,331	2,132,677	△745,346	賞与引当金	51,434,726	52,086,904	△652,178
前払費用	3,802,468	446,424	3,356,044	固定負債	1,257,274,472	1,355,785,761	△98,511,289
1年以内回収予定長期貸付金	80,000	0	80,000	設備資金借入金	1,162,394,000	1,270,034,000	△107,640,000
仮払金	104,660	9,628	95,032	リース債務	0	666,600	△666,600
徴収不能引当金	△849,979	△1,818,537	968,558	退職給付引当金	78,105,732	71,761,061	6,344,671
固定資産	3,141,426,161	3,207,924,780	△66,498,619	役員退職慰労引当金	16,774,740	13,324,100	3,450,640
基本財産	2,721,122,174	2,820,978,220	△99,856,046	負債の部合計	1,523,395,177	1,624,634,216	△101,239,039
土地	967,370,677	967,370,677	0	純資産の部			
建物	3,139,666,164	3,139,043,586	622,578	基本金	89,298,929	89,298,929	0
建物減価償却累計額	△1,385,914,667	△1,285,436,043	△100,478,624	国庫補助金等特別積立金	618,115,531	654,269,071	△36,153,540
その他の固定資産	420,303,987	386,946,560	33,357,427	その他の積立金	151,148,000	129,348,000	21,800,000
土地	21,803,685	21,803,685	0	運営資金積立金	151,148,000	129,348,000	21,800,000
建物	93,082,294	92,829,294	253,000	次期繰越活動増減差額	1,296,125,286	1,162,815,586	133,309,700
構築物	39,482,656	39,482,656	0	(うち当期活動増減差額)	155,109,700	96,800,203	58,309,497
車輛運搬具	51,275,932	45,868,548	5,407,384				
器具及び備品	189,054,119	172,375,211	16,678,908				
有形リース資産	6,641,740	6,593,270	48,470				
建物減価償却累計額	△49,697,808	△46,294,178	△3,403,630				
構築物減価償却累計額	△31,336,043	△29,082,302	△2,253,741				
車輛運搬具減価償却累計額	△41,542,122	△38,073,111	△3,469,011				
器具及び備品減価償却累計額	△138,996,506	△129,939,199	△9,057,307				
有形リース資産減価償却累計額	△5,864,040	△4,482,370	△1,381,670				
権利	2	2	0				
ソフトウェア	7,521,801	11,890,330	△4,368,529				
投資有価証券	1,120,000	1,120,000	0				
長期貸付金	3,111,250	90,000	3,021,250				
退職給付引当資産	69,299,207	63,855,540	5,443,667				
保険積立資産	52,023,840	48,285,600	3,738,240				
運営資金積立資産	151,148,000	129,348,000	21,800,000				
差入保証金	200,000	200,000	0				
長期前払費用	1,975,980	1,075,584	900,396				
資産の部合計	3,678,082,923	3,660,365,802	17,717,121	純資産の部合計	2,154,687,746	2,035,731,586	118,956,160
				負債及び純資産の部合計	3,678,082,923	3,660,365,802	17,717,121

社会福祉事業区分貸借対照表内訳表

2021年 3月31日現在

(単位：円)

勘定科目	社会福祉事業				合計	内部取引消去	事業区分合計
	法人本部拠点	一宮キャンパス拠点	宝塚キャンパス拠点	神戸キャンパス拠点			
流動資産	338,620,421	217,786,981	199,606,642	126,948,624	882,962,668	△346,305,906	536,656,762
現金預金	31,880,494	31,179,849	73,303,224	57,746,053	194,109,620	0	194,109,620
有価証券	84,013,091	0	0	0	84,013,091	0	84,013,091
事業未収金	0	79,671,378	103,720,877	64,823,164	248,215,419	0	248,215,419
未収金	0	180,141	52,192	12,570	244,903	0	244,903
未収補助金	0	358,593	1,088,705	3,085,194	4,532,492	0	4,532,492
貯蔵品	0	317,970	280,836	417,951	1,016,757	0	1,016,757
立替金	0	618,494	626,114	142,723	1,387,331	0	1,387,331
前払費用	1,168,776	631,056	978,587	1,024,049	3,802,468	0	3,802,468
1年以内回収予定長期貸付金	0	30,000	20,000	30,000	80,000	0	80,000
拠点区分間貸付金	221,555,860	104,909,556	19,840,490	0	346,305,906	△346,305,906	0
仮払金	2,200	102,460	0	0	104,660	0	104,660
徴収不能引当金	0	△212,516	△304,383	△333,080	△849,979	0	△849,979
固定資産	98,139,682	571,298,783	1,168,456,811	1,303,530,885	3,141,426,161	0	3,141,426,161
基本財産	0	367,650,950	1,073,284,779	1,280,186,445	2,721,122,174	0	2,721,122,174
土地	0	38,391,773	490,728,904	438,250,000	967,370,677	0	967,370,677
建物	0	925,286,680	1,150,733,284	1,063,646,200	3,139,666,164	0	3,139,666,164
建物減価償却累計額	0	△596,027,503	△568,177,409	△221,709,755	△1,385,914,667	0	△1,385,914,667
その他の固定資産	98,139,682	203,647,833	95,172,032	23,344,440	420,303,987	0	420,303,987
土地	0	21,803,685	0	0	21,803,685	0	21,803,685
建物	0	93,082,294	0	0	93,082,294	0	93,082,294
構築物	0	38,632,656	0	850,000	39,482,656	0	39,482,656
車輛運搬具	0	26,634,032	16,471,900	8,170,000	51,275,932	0	51,275,932
器具及び備品	8,144,360	74,309,136	73,359,294	33,241,329	189,054,119	0	189,054,119
有形リース資産	6,641,740	0	0	0	6,641,740	0	6,641,740
建物減価償却累計額	0	△49,697,808	0	0	△49,697,808	0	△49,697,808
構築物減価償却累計額	0	△31,245,873	0	△90,170	△31,336,043	0	△31,336,043
車輛運搬具減価償却累計額	0	△21,198,297	△13,504,477	△6,839,348	△41,542,122	0	△41,542,122
器具及び備品減価償却累計額	△2,946,950	△59,581,657	△50,933,808	△25,534,091	△138,996,506	0	△138,996,506
有形リース資産減価償却累計額	△5,864,040	0	0	0	△5,864,040	0	△5,864,040
権利	0	0	2	0	2	0	2
ソフトウェア	5,940,000	347,720	347,720	886,361	7,521,801	0	7,521,801
投資有価証券	1,090,000	30,000	0	0	1,120,000	0	1,120,000
長期貸付金	2,322,300	30,000	678,950	80,000	3,111,250	0	3,111,250
退職給付引当資産	8,646,009	25,867,292	23,317,633	11,468,273	69,299,207	0	69,299,207
保険積立資産	52,023,840	0	0	0	52,023,840	0	52,023,840
運営資金積立資産	22,000,000	83,948,000	45,200,000	0	151,148,000	0	151,148,000
差入保証金	100,000	0	100,000	0	200,000	0	200,000
長期前払費用	42,423	686,653	134,818	1,112,086	1,975,980	0	1,975,980
資産の部合計	436,760,103	789,085,764	1,368,063,453	1,430,479,509	4,024,388,829	△346,305,906	3,678,082,923
流動負債	211,833,428	33,001,322	92,969,855	274,622,006	612,426,611	△346,305,906	266,120,705
事業未払金	2,647,802	7,848,115	12,400,211	8,715,010	31,611,138	0	31,611,138
その他の未払金	62,241,384	0	0	0	62,241,384	0	62,241,384

社会福祉事業区分貸借対照表内訳表  
2021年 3月31日現在

(単位：円)

勘定科目	社会福祉事業				合計	内部取引消去	事業区分合計
	法人本部拠点	一宮キャンパス拠点	宝塚キャンパス拠点	神戸キャンパス拠点			
1年以内返済予定設備資金借入金	4,308,000	10,332,000	50,508,000	42,492,000	107,640,000	0	107,640,000
1年以内返済予定リース債務	666,600	0	0	0	666,600	0	666,600
預り金	73,818	0	0	0	73,818	0	73,818
職員預り金	12,403,039	0	50,000	0	12,453,039	0	12,453,039
拠点区分間借入金	124,750,046	0	10,863,986	210,691,874	346,305,906	△346,305,906	0
賞与引当金	4,742,739	14,821,207	19,147,658	12,723,122	51,434,726	0	51,434,726
固定負債	34,168,931	98,175,408	92,740,303	1,032,189,830	1,257,274,472	0	1,257,274,472
設備資金借入金	4,611,000	65,524,000	69,261,000	1,022,998,000	1,162,394,000	0	1,162,394,000
退職給付引当金	12,783,191	32,651,408	23,479,303	9,191,830	78,105,732	0	78,105,732
役員退職慰労引当金	16,774,740	0	0	0	16,774,740	0	16,774,740
負債の部合計	246,002,359	131,176,730	185,710,158	1,306,811,836	1,869,701,083	△346,305,906	1,523,395,177
基本金	0	89,298,929	0	0	89,298,929	0	89,298,929
国庫補助金等特別積立金	0	146,013,251	284,670,641	187,431,639	618,115,531	0	618,115,531
その他の積立金	22,000,000	83,948,000	45,200,000	0	151,148,000	0	151,148,000
運営資金積立金	22,000,000	83,948,000	45,200,000	0	151,148,000	0	151,148,000
次期繰越活動増減差額	168,757,744	338,648,854	852,482,654	△63,763,966	1,296,125,286	0	1,296,125,286
(うち当期活動増減差額)	8,388,704	57,910,111	78,992,848	9,818,037	155,109,700	0	155,109,700
純資産の部合計	190,757,744	657,909,034	1,182,353,295	123,667,673	2,154,687,746	0	2,154,687,746
負債及び純資産の部合計	436,760,103	789,085,764	1,368,063,453	1,430,479,509	4,024,388,829	△346,305,906	3,678,082,923

## 計算書類に対する注記（法人全体用）

### 1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

##### ①満期保有目的の債券

・償却原価法（定額法）によっている。

##### ②満期保有目的の債券以外の有価証券

・市場価格のあるものについては、会計年度末における時価をもって評価

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ①平成19年3月31日以前に取得した固定資産・・・旧定額法

##### ②平成19年4月1日以降に取得した固定資産・・・定額法

##### ③リース資産

・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

#### (3) 引当金の計上基準

##### ①賞与引当金

・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

##### ②徴収不能引当金

・債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率法により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

##### ③退職給付引当金

・兵庫県社会福祉協議会退職共済制度に基づき、期末要支給額を計上している。

##### ④役員退職慰労引当金

・役員退職慰労金の支給に備えるため、給与規程細則に基づく期末における支給見込額を計上している。

#### (4) たな卸資産の評価基準及び評価方法

・貯蔵品は介護用品等について期末棚卸を行い、拠点区分毎の最終仕入原価法に基づき計上している。

#### (5) 消費税等の会計処理

・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

#### (6) リース会計基準適用開始前の所有権移転外ファイナンスリース取引

・引き続き通常の賃貸借処理にかかる方法に準じた会計処理を適用している。

### 3. 重要な会計方針の変更

(表示方法の変更)

前会計年度において各資産の金額から直接控除して表示しておりました有形固定資産の「減価償却累計額」はより明瞭に表示するため、当会計年度より各資産科目に対する控除科目として独立掲記する方法に変更しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前会計年度の計算関係書類の組替えを行っております。

この結果、前会計年度において各資産の金額から直接控除して表示しておりました有形固定資産の「減価償却累計額」は、各資産科目に対する控除科目として独立掲記しております。

### 4. 法人で採用する退職給付制度

・社会福祉施設職員退職手当共済制度

- ・兵庫県民間社会福祉事業職員退職金制度
- ・給与規程細則

## 5. 法人が作成する計算書類等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の計算書類（会計基準省令第1号第1様式、第2号第1様式、第3号第1様式）
- (2) 事業区分別内訳表（会計基準省令第1号第2様式、第2号第2様式、第3号第2様式）  
当法人では、公益事業及び収益事業を実施していないため作成していない。
- (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表（会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式）
- (4) 公益事業及び収益事業における拠点区分別内訳表（会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式）  
当法人では、公益事業及び収益事業を実施していないため作成していない。
- (5) 各拠点区分におけるサービス区分の内容
  - ①法人本部拠点区分（社会福祉事業）
    - ・法人本部サービス区分
  - ②一宮キャンパス拠点区分（社会福祉事業）
    - ・特別養護老人ホームまどか園サービス区分
    - ・まどか園ショートステイサービス区分
    - ・まどか園デイサービスセンターサービス区分
    - ・まどか園在宅介護支援センターサービス区分
    - ・まどか園ヘルパーステーションサービス区分
    - ・グループホームまどか園サービス区分
  - ③宝塚キャンパス拠点区分（社会福祉事業）
    - ・特別養護老人ホーム宝塚まどか園サービス区分
    - ・宝塚まどか園ショートステイサービス区分
    - ・宝塚まどか園ヘルパーステーションサービス区分
    - ・宝塚まどか園居宅介護支援事業所サービス区分
  - ④神戸キャンパス拠点区分（社会福祉事業）
    - ・特別養護老人ホーム神戸まどか園サービス区分
    - ・神戸まどか園ショートステイサービス区分
    - ・神戸まどか園デイサービスセンターサービス区分
    - ・神戸まどか園ヘルパーステーションサービス区分
    - ・神戸まどか園居宅介護支援事業所サービス区分

## 6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	967,370,677	0	0	967,370,677
建物	1,853,607,543	622,578	100,478,624	1,753,751,497
合 計	2,820,978,220	622,578	100,478,624	2,721,122,174

## 7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

(単位：円)

建物（基本財産）	1,724,504,089
土地（基本財産）	960,985,424

合 計	2,685,489,513
-----	---------------

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

(単位：円)

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	1,212,464,000
-----------------------	---------------

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

間接控除法のため記載なし

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

間接控除法のため記載なし

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

(1) リース取引関係

①所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他の固定資産

車輻運搬具

社会福祉法人 正久福社会  
**財 産 目 録**

2021年 3月 31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
<b>I 資産の部</b>						
<b>1 流動資産</b>						
現金預金						194,109,620
預 金	ハリマ農業協同組合	普通預金	—	運転資金として	—	304,496,814
	西兵庫信用金庫	普通預金	—	〃	—	11,884,549
	但馬銀行	普通預金	—	〃	—	5,338,267
	ゆうちょ銀行	普通預金	—	〃	—	1,243,642
	商工組合中央金庫	普通預金	—	〃	—	294,348
	上記のうち運営資金積立資産	—	—	上記のうち運営資金積立資産	—	△ 129,148,000
	小 計					194,109,620
有価証券	三菱UFJモルガンスタンレー証券	—	—	運転資金として	—	106,013,091
	上記のうち運営資金積立資産	—	—	上記のうち運営資金積立資産	—	△ 22,000,000
	小 計					84,013,091
事業未収金	国保連、利用者、市町村等	—	—	介護報酬、利用者負担等	—	248,215,419
未収金	職員等	—	—	職員立替分等	—	244,903
未収補助金	宍粟市、神戸市、兵庫県等	—	—	減免補助金、利息補助金等	—	4,532,492
貯蔵品	紙オムツ、パット等	—	—	期末棚卸高	—	1,016,757
立替金	利用者立替金	—	—	利用者立替金等	—	1,387,331
前払費用	あいおいニッセイ同和損害保険等	—	—	火災保険料等	—	3,802,468
1年以内回収予定 長期貸付金	職員	—	—	職員貸付金	—	80,000
仮払金	三木産業	—	—	ガス代	—	104,660
徴収不能引当金	徴収不能引当金	—	—	徴収不能引当額	—	△ 849,979
<b>流 動 資 産 合 計</b>						<b>536,656,762</b>
<b>2 固定資産</b>						

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額	
(1) 基本財産							
土地	(一宮キャンパス拠点)						
	宍粟市一宮町福知寺坂576番1	740.00㎡	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している		3,700,000	
	宍粟市一宮町福知寺坂578番7	5.66㎡	—	〃		100,000	
	宍粟市一宮町福知寺坂595番3	240.00㎡	—	〃		727,273	
	宍粟市一宮町福知字河原1030番1	3,401.00㎡	—	〃		16,894,000	
	宍粟市一宮町西深字川戸476番2	204.00㎡	—	〃		2,890,500	
	宍粟市一宮町福知字河原1029番	674.00㎡	—	〃		2,200,000	
	宍粟市一宮町福知字河原1029番2	60.43㎡	—	〃		108,713	
	宍粟市一宮町福知字河原1030番2	296.00㎡	—	〃		1,184,000	
	宍粟市一宮町福知字河原1032番	50.00㎡	—	〃		120,000	
	宍粟市一宮町福知字河原1033番	44.00㎡	—	〃		150,000	
	宍粟市一宮町福知字河原1036番3	612.54㎡	—	〃		1,850,000	
	宍粟市一宮町福知字河原1036番4	143.00㎡	—	〃		150,000	
	宍粟市一宮町福知字河原1038番	917.00㎡	—	〃		2,022,835	
	宍粟市一宮町福知字河原1038番2	102.19㎡	—	〃		184,812	
	宍粟市一宮町福知字河原1039番	234.00㎡	—	〃		360,000	
	宍粟市一宮町福知字河原1063番1	572.00㎡	—	〃		1,827,945	
	宍粟市一宮町福知字河原1064	27.00㎡	—	〃		59,535	
	宍粟市一宮町福知字河原1065番1	648.87㎡	—	〃		3,789,685	
	宍粟市一宮町福知字河原1065番3	40.49㎡	—	〃		72,475	
	(宝塚キャンパス拠点)						
	宝塚市美座2丁目186	540.00㎡	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している			56,255,702
	宝塚市美座2丁目187	879.00㎡	—	〃			91,571,781
	宝塚市美座2丁目185	495.00㎡	—	〃			51,567,727
	宝塚市美座2丁目179	2,092.56㎡	—	〃			217,997,095
	宝塚市美座2丁目215	19.00㎡	—	〃			1,979,367



貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額	
建物	宝塚市美座2丁目27番8	64.35㎡	—	〃		6,703,804	
	宝塚市美座2丁目205	13.49㎡	—	〃		1,405,351	
	宝塚市美座2丁目213	28.00㎡	—	〃		2,916,962	
	宝塚市美座2丁目178	393.12㎡	—	〃		40,954,151	
	宝塚市美座2丁目210番2	173.00㎡	—	〃		18,022,660	
	宝塚市美座2丁目210番3	13.00㎡	—	〃		1,354,304	
	(神戸キャンパス拠点)						
	神戸市長田区大丸町一丁目6番47	5,674.75㎡	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している			438,250,000
	小 計						967,370,677
	(一宮キャンパス拠点)						
	宍粟市一宮町福知字河原1030番1、1029番地2、1032番地、1036番地3、1038番地、1038番地2、同所同字寺坂576番地1所在						
	鉄筋コンクリート造ルーフィング葺平屋建老人ホーム	1,499.29㎡	1987年度	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している	346,993,066	272,453,910	74,539,156
	鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺2階建老人ホーム	1,149.89㎡	2001年度	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している	265,879,950	155,982,299	109,897,651
	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建ボイラー室	10.50㎡	2011年度	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している	22,248,500	12,512,655	9,735,845
	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建浴室	42.05㎡	2011年度	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している	24,784,543	7,951,707	16,832,836
宍粟市一宮町西深字川戸476番2所在							
鉄筋コンクリート造ルーフィング葺2階建寄宿舎	114.00㎡	1990年度	職員宿舎に使用している	21,090,000	13,064,614	8,025,386	
宍粟市一宮町福知字寺坂595番3所在							
鉄筋コンクリート造ルーフィング葺4階建集会所	264.33㎡	1994年度	地域交流ホームに使用している	69,572,000	48,349,978	21,222,022	
宍粟市一宮町福知字河原1030番地1、1036番地3所在							
鉄筋コンクリート造陸屋根平屋建宿直室、倉庫	54.00㎡	1999年度	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している	371,498	205,336	166,162	
宍粟市一宮町福知字河原1065番1所在							
鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建事務所	119.85㎡	1999年度	第2種社会福祉事業である老人介護支援センター等に使用している	27,840,000	14,893,542	12,946,458	
宍粟市一宮町福知字河原1065番1、1065番地3所在							
鉄筋コンクリート造陸屋根平屋建デイサービスセンター	131.25㎡	2001年度	第2種社会福祉事業である老人デイサービスに使用している	33,688,508	18,351,450	15,337,058	

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
	宍粟市一宮町福知字河原1029番地、1029番地2、1030番地1、1030番地2、1038番地2、1065番地1所在 鉄骨造スレート葺2階部分グループホーム 437.55㎡	2011年度	第2種社会福祉事業である認知症対応型老人共同生活援助事業に使用している	112,818,615	52,262,012	60,556,603
	(宝塚キャンパス拠点) 宝塚市美座二丁目179番地、185番地、186番地、187番地所在 鉄筋コンクリート造陸屋根4階建老人ホーム 5,685.18㎡	2004年度	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している	1,150,733,284	568,177,409	582,555,875
	(神戸キャンパス拠点) 神戸市長田区大丸町一丁目6番地47所在 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建老人ホーム 4,112.76㎡	2016年度	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している	1,063,646,200	221,709,755	841,936,445
	小 計					1,753,751,497
<b>基本財産合計</b>						<b>2,721,122,174</b>
<b>(2)その他の固定資産</b>						
土地	(一宮キャンパス拠点)					
	宍粟市一宮町西深字川戸503番2 139.00㎡		職員の駐車場等に使用している			1,240,000
	宍粟市一宮町福知字河原1063番3 51.00㎡		〃			244,100
	宍粟市一宮町福知字河原1061番2 31.00㎡		〃			30,000
	宍粟市一宮町福知字河原1062番1 55.00㎡		〃			130,000
	宍粟市一宮町福知字河原1046番2 223.00㎡		〃			640,000
	宍粟市一宮町福知字河原1047番2 66.00㎡		〃			140,000
	宍粟市一宮町福知字河原1060番1 1,879.00㎡		〃			13,767,585
	宍粟市一宮町福知字神子垣内1160-3 364.65㎡		〃			3,300,000
	宍粟市一宮町西深字川戸503-1 953.00㎡		利用者用の果樹園に使用している			2,312,000
	小 計					21,803,685
建物	(一宮キャンパス拠点)					
	宍粟市一宮町福知字河原1029番地、1029番地2、1030番地1、1030番地2、1038番地2、1065番地1所在 鉄骨造スレート葺1階部分老人ホーム 310.25㎡	2006年度	職員寄宿舎に使用している。	92,829,294	49,692,495	43,136,799
	宍粟市一宮町福知字河原1030番1、1029番地2、1032番地、1036番地3、1038番地、1038番地2、同所同字寺坂576番地1所在					

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
	鉄筋コンクリート造ルーフィング葺平屋建老人ホーム 1,499.29㎡	1987年度	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している	253,000	5,313	247,687
	小 計					43,384,486
構築物	擁壁水路修繕、駐車場舗装工事等	—	社会福祉事業等に使用	39,482,656	31,336,043	8,146,613
車輛運搬具	トヨタハイエース他31台	—	利用者送迎用、利用者宅移動用、職員移動用等に使用	51,275,932	41,542,122	9,733,810
器具及び備品	電動ベッド、冷蔵庫、パソコン等	—	社会福祉事業等に使用	189,054,119	138,996,506	50,057,613
有形リース資産	公用車リース契約	—	法人本部の車輛として使用	6,641,740	5,864,040	777,700
権利	水道分担金等	—	社会福祉事業等に使用	7,683,300	7,683,298	2
ソフトウェア	介護ソフト等	—	社会福祉事業等に使用	21,443,594	13,921,793	7,521,801
投資有価証券	ハリマ農業協同組合、西兵庫信用金庫等	—	出資金	—	—	1,120,000
長期貸付金	職員	—	職員貸付金	—	—	3,111,250
退職給付引当資産	兵庫県社会福祉協議会	—	退職年金共済掛金事業主負担分	—	—	69,299,207
保険積立資産	ソニー生命 積立利率変動型終身保険	—	将来における役員退職慰労金・債務保証のための保険積立金	—	—	52,023,840
運営資金積立資産	ハリマ農業協同組合(普通預金)、三菱UFJモルガンスタンレー証券(有価証券)等	—	将来における施設・設備の整備、大規模修繕の目的のために積み立てている資産	—	—	151,148,000
差入保証金	保証金	—	社宅保証金	—	—	200,000
長期前払費用	あいおいニッセイ同和損害保険等	—	火災保険料等	—	—	1,975,980
その他の固定資産合計						420,303,987
固定資産合計						3,141,426,161
資 産 合 計						3,678,082,923
<b>II 負債の部</b>						
<b>1 流動負債</b>						
事業未払金	3月分業者支払等	—		—	—	31,611,138
その他の未払金	3月分給与等	—		—	—	62,241,384
1年以内返済予定 設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構他	—		—	—	107,640,000
1年以内返済予定 リース債務	住友三井オートサービス	—		—	—	666,600

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
預り金	源泉所得税他	—		—	—	73,818
職員預り金	社会保険料、源泉所得税等	—		—	—	12,453,039
賞与引当金	賞与支給見込額のうち当期帰属額	—		—	—	51,434,726
流動負債合計						266,120,705
<b>2 固定負債</b>						
設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構他	—		—	—	1,162,394,000
退職給付引当金	退職年金共済掛金要支給額	—		—	—	78,105,732
役員退職慰労引当金	役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額	—		—	—	16,774,740
固定負債合計						1,257,274,472
負債合計						1,523,395,177
差引純資産						2,154,687,746

法人本部拠点区分資金収支計算書  
(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	428,000	427,500	500	
		その他の事業収入	428,000	427,500	500	
		補助金事業収入(公費)	428,000	427,500	500	
		経常経費寄附金収入	100,000	100,000	0	
		経常経費寄附金収入	100,000	100,000	0	
		受取利息配当金収入	92,000	1,129,249	△1,037,249	
		受取利息配当金収入	92,000	1,129,249	△1,037,249	
		その他の収入	667,000	666,600	400	
		雑収入	667,000	666,600	400	
		流動資産評価益等による資金増加額	19,789,000	38,022,771	△18,233,771	
	有価証券売却益	18,213,000	22,731,784	△4,518,784		
	有価証券評価益	0	12,802,897	△12,802,897		
	為替差益	1,576,000	2,488,090	△912,090		
	事業活動収入計(1)	21,076,000	40,346,120	△19,270,120		
	支出	人件費支出	1,316,000	1,305,750	10,250	
		役員報酬支出	278,000	268,196	9,804	
		退職給付支出	1,038,000	1,037,554	446	
		事業費支出	3,581,000	3,541,420	39,580	
		保健衛生費支出	1,000	1,000	0	
		水道光熱費支出	734,000	729,839	4,161	
燃料費支出		8,000	8,640	△640		
保険料支出		229,000	216,812	12,188		
車輛費支出		2,609,000	2,585,129	23,871		
事務費支出		8,260,000	6,016,300	2,243,700		
福利厚生費支出		450,000	124,938	325,062		
職員被服費支出		20,000	39,490	△19,490		
旅費交通費支出		1,000,000	800	999,200		
研修研究費支出		137,000	46,486	90,514		
事務消耗品費支出		2,300,000	2,057,122	242,878		
印刷製本費支出		288,000	226,377	61,623		
修繕費支出		347,000	267,035	79,965		
通信運搬費支出		1,152,000	1,056,594	95,406		
会議費支出		222,000	202,255	19,745		
広報費支出		160,000	135,000	25,000		
業務委託費支出		10,000	△10,000	20,000		
手数料支出		700,000	597,865	102,135		
土地・建物賃借料支出		200,000	200,000	0		
租税公課支出		59,000	30,850	28,150		
保守料支出		535,000	586,551	△51,551		
渉外費支出		139,000	63,937	75,063		
諸会費支出		541,000	391,000	150,000		
支払利息支出		61,000	60,787	213		
支払利息支出		61,000	60,787	213		
流動資産評価損等による資金減少額	2,694,000	2,693,905	95			
有価証券売却損	1,361,000	1,361,142	△142			
資産評価損	1,170,000	1,169,479	521			
有価証券評価損	1,170,000	1,169,479	521			
為替差損	163,000	163,284	△284			
事業活動支出計(2)	15,912,000	13,618,162	2,293,838			
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	5,164,000	26,727,958	△21,563,958			
施設整備等による収支	収入	その他の施設整備等による収入	0	8,892	△8,892	
		その他の収入	0	8,892	△8,892	
		施設整備等収入計(4)	0	8,892	△8,892	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	4,308,000	4,308,000	0	
		設備資金借入金元金償還支出	4,308,000	4,308,000	0	
		固定資産取得支出	1,800,000	1,789,602	10,398	
		器具及び備品取得支出	1,800,000	1,789,602	10,398	
		ファイナンス・リース債務の返済支出	1,333,000	1,333,200	△200	
		ファイナンス・リース債務の返済支出	1,333,000	1,333,200	△200	
		その他の施設整備等による支出	26,000	25,380	620	
その他の支出	26,000	25,380	620			
施設整備等支出計(5)	7,467,000	7,456,182	10,818			
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△7,467,000	△7,447,290	△19,710			
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	0	14,054	△14,054	
		退職給付引当資産取崩収入	0	14,054	△14,054	
		拠点区分間繰入金収入	32,661,000	37,526,960	△4,865,960	
		拠点区分間繰入金収入	32,661,000	37,526,960	△4,865,960	
		その他の活動収入計(7)	32,661,000	37,541,014	△4,880,014	
	支出	長期貸付金支出	3,600,000	2,322,300	1,277,700	
		長期貸付金支出	3,600,000	2,322,300	1,277,700	
		積立資産支出	3,739,000	3,738,240	760	
		保険積立資産支出	3,739,000	3,738,240	760	
		拠点区分間繰入金支出	10,304,000	42,958,114	△32,654,114	
拠点区分間繰入金支出	10,304,000	42,958,114	△32,654,114			
その他の活動支出計(8)	17,643,000	49,018,654	△31,375,654			

法人本部拠点区分資金収支計算書  
 (自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位：円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	15,018,000	△11,477,640	26,495,640	
予備費支出(10)	5,000,000 △5,000,000	—	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	12,715,000	7,803,028	4,911,972	

前期末支払資金残高(12)	128,701,000	128,701,304	△304	
当期末支払資金残高(11)+(12)	141,416,000	136,504,332	4,911,668	

予備費支出△5,000,000円は、有価証券評価損に1,170,000円、その他の支出に26,000円、拠点区分間繰入金支出に3,804,000円充当使用した額である。

法人本部拠点区分事業活動計算書  
(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
収益	介護保険事業収益	427,500	133,393	294,107	
	その他の事業収益	427,500	133,393	294,107	
	補助金事業収益(公費)	427,500	133,393	294,107	
	経常経費寄附金収益	100,000	0	100,000	
	経常経費寄附金収益	100,000	0	100,000	
	サービス活動収益計(1)	527,500	133,393	394,107	
サービス活動増減の部	費用	人件費	10,644,808	5,168,674	5,476,134
		役員報酬	268,196	288,820	△20,624
		役員退職慰労引当金繰入	3,450,640	3,270,640	180,000
		賞与引当金繰入	4,106,463	0	4,106,463
		退職給付費用	2,183,233	1,609,214	574,019
		法定福利費	636,276	0	636,276
		事業費	3,541,420	4,556,191	△1,014,771
		保健衛生費	1,000	0	1,000
		水道光熱費	729,839	785,201	△55,362
		燃料費	8,640	1,780	6,860
		保険料	216,812	294,034	△77,222
		賃借料	0	3,686	△3,686
		車両費	2,585,129	3,471,490	△886,361
		事務費	6,016,300	9,700,888	△3,684,588
		福利厚生費	124,938	448,646	△323,708
		職員被服費	39,490	0	39,490
		旅費交通費	800	629,146	△628,346
		研修研究費	46,486	448,209	△401,723
		事務消耗品費	2,057,122	561,313	1,495,809
		印刷製本費	226,377	659,334	△432,957
		修繕費	267,035	102,954	164,081
		通信運搬費	1,056,594	643,927	412,667
		会議費	202,255	275,045	△72,790
		広報費	135,000	1,408,472	△1,273,472
		業務委託費	△10,000	0	△10,000
		手数料	597,865	245,166	352,699
		土地・建物賃借料	200,000	180,000	20,000
		租税公課	30,850	39,440	△8,590
		保守料	586,551	509,955	76,596
		渉外費	63,937	88,821	△24,884
		諸会費	391,000	426,000	△35,000
		雑費	0	3,034,460	△3,034,460
		減価償却費	5,517,580	5,396,992	120,588
減価償却費	5,517,580	5,396,992	120,588		
サービス活動費用計(2)	25,720,108	24,822,745	897,363		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		△25,192,608	△24,689,352	△503,256	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	1,129,249	14,537	1,114,712
		受取利息配当金収益	1,129,249	14,537	1,114,712
		有価証券評価益	12,802,897	0	12,802,897
		有価証券評価益	12,802,897	0	12,802,897
		有価証券売却益	22,731,784	2,096,560	20,635,224
		有価証券売却益	22,731,784	2,096,560	20,635,224
		その他のサービス活動外収益	3,972,886	564,227	3,408,659
		為替差益	2,488,090	0	2,488,090
		雑収益	1,484,796	564,227	920,569
		サービス活動外収益計(4)	40,636,816	2,675,324	37,961,492
	費用	支払利息	60,787	83,789	△23,002
		支払利息	60,787	83,789	△23,002
		有価証券評価損	1,169,479	4,009,804	△2,840,325
		有価証券評価損	1,169,479	4,009,804	△2,840,325
有価証券売却損	1,361,142	0	1,361,142		
有価証券売却損	1,361,142	0	1,361,142		
その他のサービス活動外費用	255,776	145,152	110,624		
為替差損	163,284	0	163,284		
雑損失	92,492	145,152	△52,660		
サービス活動外費用計(5)	2,847,184	4,238,745	△1,391,561		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		37,789,632	△1,563,421	39,353,053	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		12,597,024	△26,252,773	38,849,797	
収益	拠点区分間繰入金収益	37,526,960	43,336,060	△5,809,100	
	拠点区分間繰入金収益	37,526,960	43,336,060	△5,809,100	
	拠点区分間固定資産移管収益	1,646,759	2,645,419	△998,660	
	拠点区分間固定資産移管収益	1,646,759	2,645,419	△998,660	

法人本部拠点区分事業活動計算書  
(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
特別増減の部	Ⅲ				
	その他の特別収益	0	21,193,000	△21,193,000	
	その他の特別収益	0	21,193,000	△21,193,000	
	特別収益計(8)	39,173,719	67,174,479	△28,000,760	
	費用	固定資産売却損・処分損	1	0	1
		器具及び備品売却損・処分損	1	0	1
		拠点区分間繰入金費用	42,958,114	0	42,958,114
		拠点区分間繰入金費用	42,958,114	0	42,958,114
		拠点区分間固定資産移管費用	423,924	348,594	75,330
		拠点区分間固定資産移管費用	423,924	348,594	75,330
特別費用計(9)	43,382,039	348,594	43,033,445		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△4,208,320	66,825,885	△71,034,205		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	8,388,704	40,573,112	△32,184,408		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	160,369,040	119,795,928	40,573,112	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	168,757,744	160,369,040	8,388,704	
	基本金取崩額(14)	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0	
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	168,757,744	160,369,040	8,388,704	



法人本部拠点区分貸借対照表  
2021年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	338,620,421	271,972,475	66,647,946	流動負債	211,833,428	148,912,371	62,921,057
現金預金	31,880,494	19,957,533	11,922,961	事業未払金	2,647,802	1,722,967	924,835
有価証券	84,013,091	47,649,482	36,363,609	その他の未払金	62,241,384	58,715,270	3,526,114
前払費用	1,168,776	8,892	1,159,884	1年以内返済予定設備資金借入金	4,308,000	4,308,000	0
拠点区分間貸付金	221,555,860	204,346,940	17,208,920	1年以内返済予定リース債務	666,600	1,333,200	△666,600
仮払金	2,200	9,628	△7,428	預り金	73,818	27,780	46,038
固定資産	98,139,682	96,057,765	2,081,917	職員預り金	12,403,039	11,480,923	922,116
その他の固定資産	98,139,682	96,057,765	2,081,917	拠点区分間借入金	124,750,046	71,324,231	53,425,815
器具及び備品	8,144,360	6,538,385	1,605,975	賞与引当金	4,742,739	0	4,742,739
有形リース資産	6,641,740	6,593,270	48,470	固定負債	34,168,931	36,748,829	△2,579,898
器具及び備品減価償却累計額	△2,946,950	△2,510,197	△436,753	設備資金借入金	4,611,000	8,919,000	△4,308,000
有形リース資産減価償却累計額	△5,864,040	△4,482,370	△1,381,670	リース債務	0	666,600	△666,600
ソフトウェア	5,940,000	9,504,000	△3,564,000	退職給付引当金	12,783,191	13,839,129	△1,055,938
投資有価証券	1,090,000	1,090,000	0	役員退職慰労引当金	16,774,740	13,324,100	3,450,640
長期貸付金	2,322,300	0	2,322,300	負債の部合計	246,002,359	185,661,200	60,341,159
退職給付引当資産	8,646,009	8,913,142	△267,133	純 資 産 の 部			
保険積立資産	52,023,840	48,285,600	3,738,240	その他の積立金	22,000,000	22,000,000	0
運営資金積立資産	22,000,000	22,000,000	0	運営資金積立金	22,000,000	22,000,000	0
差入保証金	100,000	100,000	0	次期繰越活動増減差額	168,757,744	160,369,040	8,388,704
長期前払費用	42,423	25,935	16,488	(うち当期活動増減差額)	8,388,704	40,573,112	△32,184,408
				純資産の部合計	190,757,744	182,369,040	8,388,704
資産の部合計	436,760,103	368,030,240	68,729,863	負債及び純資産の部合計	436,760,103	368,030,240	68,729,863

## 計算書類に対する注記（法人本部拠点区分）

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

##### ①満期保有目的の債券

・償却原価法（定額法）によっている。

##### ②満期保有目的の債券以外の有価証券

・市場価格のあるものについては、会計年度末における時価をもって評価

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ①平成19年3月31日以前に取得した固定資産・・・旧定額法

##### ②平成19年4月1日以降に取得した固定資産・・・定額法

##### ③リース資産

・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

#### (3) 引当金の計上基準

##### ①賞与引当金

・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

##### ②徴収不能引当金

・債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率法により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

##### ③退職給付引当金

・兵庫県社会福祉協議会退職共済制度に基づき、期末要支給額を計上している。

##### ④役員退職慰労引当金

・役員退職慰労金の支給に備えるため、給与規程細則に基づく期末における支給見込額を計上している。

#### (4) たな卸資産の評価基準及び評価方法

・貯蔵品は介護用品等について期末棚卸を行い、拠点区分毎の最終仕入原価法に基づき計上している。

#### (5) 消費税等の会計処理

・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

#### (6) リース会計基準適用開始前の所有権移転外ファイナンスリース取引

・引き続き通常の賃貸借処理にかかる方法に準じた会計処理を適用している。

### 2. 重要な会計方針の変更

（表示方法の変更）

前会計年度において各資産の金額から直接控除して表示しておりました有形固定資産の「減価償却累計額」はより明瞭に表示するため、当会計年度より各資産科目に対する控除科目として独立掲記する方法に変更しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前会計年度の計算関係書類の組替えを行っております。この結果、前会計年度において各資産の金額から直接控除して表示しておりました有形固定資産の「減価償却累計額」は、各資産科目に対する控除科目として独立掲記しております。

### 3. 採用する退職給付制度

- ・社会福祉施設職員退職手当共済制度
- ・兵庫県民間社会福祉事業職員退職金制度
- ・給与規程細則

### 4. 作成する計算書類等とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

(1) 法人本部拠点計算書類（会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式）

(2) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（⑩））

サービス区分が1つのため作成を省略している。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

間接控除法のため記載なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

間接控除法のため記載なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

(1) リース取引関係

①所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他の固定資産

車輛運搬具

一宮キャンパス拠点区分資金収支計算書  
(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	504,041,000	509,394,005	△5,353,005	
	施設介護料収入	231,831,000	235,135,656	△3,304,656	
	介護報酬収入	208,278,000	211,301,865	△3,023,865	
	利用者負担金収入(公費)	258,000	278,755	△20,755	
	利用者負担金収入(一般)	23,295,000	23,555,036	△260,036	
	居宅介護料収入	77,979,000	79,278,490	△1,299,490	
	(介護報酬収入)	69,035,000	70,100,038	△1,065,038	
	介護報酬収入	68,195,000	69,337,522	△1,142,522	
	介護予防報酬収入	840,000	762,516	77,484	
	(利用者負担金収入)	8,944,000	9,178,452	△234,452	
	介護負担金収入(公費)	116,000	115,983	17	
	介護負担金収入(一般)	8,728,000	8,977,745	△249,745	
	介護予防負担金収入(一般)	100,000	84,724	15,276	
	地域密着型介護料収入	71,367,000	71,323,420	43,580	
	(介護報酬収入)	64,140,000	64,099,430	40,570	
	介護報酬収入	64,140,000	64,099,430	40,570	
	(利用者負担金収入)	7,227,000	7,223,990	3,010	
	介護負担金収入(一般)	7,227,000	7,223,990	3,010	
	居宅介護支援介護料収入	16,690,000	16,810,470	△120,470	
	居宅介護支援介護料収入	15,850,000	15,976,650	△126,650	
	介護予防支援介護料収入	840,000	833,820	6,180	
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	3,429,000	3,380,060	48,940	
	事業費収入	3,074,000	3,031,333	42,667	
	事業負担金収入(公費)	0	7,751	△7,751	
	事業負担金収入(一般)	355,000	340,976	14,024	
	利用者等利用料収入	94,330,000	94,832,222	△502,222	
	地域密着型介護サービス利用料収入	21,277,000	21,374,507	△97,507	
	食費収入(公費)	107,000	129,934	△22,934	
	食費収入(一般)	28,855,000	28,817,931	37,069	
	食費収入(特定)	15,631,000	15,820,892	△189,892	
	居住費収入(一般)	19,139,000	19,071,843	67,157	
	居住費収入(特定)	9,321,000	9,617,115	△296,115	
	その他の事業収入	8,415,000	8,633,687	△218,687	
	補助金事業収入(公費)	6,894,000	7,491,587	△597,587	
	補助金事業収入(一般)	0	82,500	△82,500	
	受託事業収入(公費)	934,000	949,530	△15,530	
	受託事業収入(一般)	587,000	110,070	476,930	
	経常経費寄附金収入	198,000	288,000	△90,000	
	経常経費寄附金収入	198,000	288,000	△90,000	
	受取利息配当金収入	2,000	1,979	21	
	受取利息配当金収入	2,000	1,979	21	
	その他の収入	1,679,000	1,572,320	106,680	
	受入研修費収入	165,000	15,000	150,000	
	利用者等外給食費収入	1,031,000	1,044,150	△13,150	
雑収入	483,000	513,170	△30,170		
事業活動収入計(1)	505,920,000	511,256,304	△5,336,304		
支出					
人件費支出	346,095,000	339,445,332	6,649,668		
職員給料支出	152,660,000	150,929,504	1,730,496		
職員賞与支出	25,910,000	25,224,520	685,480		
非常勤職員給与支出	115,041,000	114,285,261	755,739		
退職給付支出	10,654,000	7,815,345	2,838,655		
法定福利費支出	41,830,000	41,190,702	639,298		
事業費支出	71,131,000	67,815,385	3,315,615		
給食費支出	29,072,000	28,093,755	978,245		
介護用品費支出	9,697,000	9,674,615	22,385		
医薬品費支出	110,000	82,529	27,471		
診療・療養等材料費支出	339,000	254,611	84,389		
保健衛生費支出	2,601,000	2,101,040	499,960		
医療費支出	24,000	3,540	20,460		
被服費支出	15,000	△6,000	21,000		
教養娯楽費支出	997,000	893,319	103,681		
日用品費支出	2,353,000	2,125,378	227,622		
水道光熱費支出	16,517,000	16,903,657	△386,657		
燃料費支出	1,135,000	1,042,150	92,850		
消耗器具備品費支出	1,149,000	1,051,483	97,517		
保険料支出	3,239,000	2,391,520	847,480		
賃借料支出	1,553,000	1,146,553	406,447		
車輛費支出	2,323,000	2,050,175	272,825		
地域貢献活動費支出	2,000	2,000	0		
雑支出	5,000	5,060	△60		
事務費支出	32,954,000	25,328,589	7,625,411		
福利厚生費支出	2,828,000	2,138,793	689,207		
職員被服費支出	260,000	291,678	△31,678		

一宮キャンパス拠点区分資金収支計算書  
 (自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
	旅費交通費支出	33,000	2,680	30,320	
	研修研究費支出	728,000	449,260	278,740	
	事務消耗品費支出	1,456,000	1,289,054	166,946	
	印刷製本費支出	393,000	288,561	104,439	
	修繕費支出	6,153,000	4,534,307	1,618,693	
	通信運搬費支出	1,696,000	1,616,911	79,089	
	広報費支出	483,000	38,960	444,040	
	業務委託費支出	11,744,000	8,998,848	2,745,152	
	手数料支出	1,497,000	482,700	1,014,300	
	土地・建物賃借料支出	113,000	112,500	500	
	租税公課支出	435,000	281,850	153,150	
	保守料支出	4,318,000	4,133,162	184,838	
	渉外費支出	313,000	183,025	129,975	
	諸会費支出	467,000	460,700	6,300	
	雑支出	37,000	25,600	11,400	
	利用者負担軽減額	1,275,000	1,229,467	45,533	
	利用者負担軽減額	1,275,000	1,229,467	45,533	
	支払利息支出	1,068,000	1,066,033	1,967	
	支払利息支出	1,068,000	1,066,033	1,967	
	その他の支出	1,909,000	1,855,773	53,227	
利用者等外給食費支出	1,909,000	1,855,773	53,227		
事業活動支出計(2)	454,432,000	436,740,579	17,691,421		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		51,488,000	74,515,725	△23,027,725	
施設整備等による収支	収入				
	その他の施設整備等による収入	0	90,600	△90,600	
	その他の収入	0	90,600	△90,600	
	施設整備等収入計(4)	0	90,600	△90,600	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	10,332,000	10,332,000	0	
	設備資金借入金元金償還支出	10,332,000	10,332,000	0	
	固定資産取得支出	11,284,000	11,265,322	18,678	
	建物取得支出	753,000	750,178	2,822	
	車両運搬具取得支出	5,300,000	5,181,884	118,116	
器具及び備品取得支出	5,231,000	5,333,260	△102,260		
その他の施設整備等による支出	20,000	21,798	△1,798		
その他の支出	20,000	21,798	△1,798		
施設整備等支出計(5)	21,636,000	21,619,120	16,880		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△21,636,000	△21,528,520	△107,480	
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	5,920,000	2,697,845	3,222,155	
	退職給付引当資産取崩収入	5,920,000	2,697,845	3,222,155	
	拠点区分間繰入金収入	0	27,083,170	△27,083,170	
	拠点区分間繰入金収入	0	27,083,170	△27,083,170	
	その他の活動収入計(7)	5,920,000	29,781,015	△23,861,015	
	支出				
	長期貸付金支出	30,000	30,000	0	
	長期貸付金支出	30,000	30,000	0	
	積立資産支出	19,053,000	18,984,113	68,887	
退職給付引当資産支出	3,253,000	3,184,113	68,887		
運営資金積立資産支出	15,800,000	15,800,000	0		
拠点区分間繰入金支出	16,593,000	16,591,296	1,704		
拠点区分間繰入金支出	16,593,000	16,591,296	1,704		
その他の活動支出計(8)	35,676,000	35,605,409	70,591		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△29,756,000	△5,824,394	△23,931,606	
予備費支出(10)		4,910,000	—	0	
		△4,910,000			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		96,000	47,162,811	△47,066,811	
前期末支払資金残高(12)		133,625,000	162,958,571	△29,333,571	
当期末支払資金残高(11)+(12)		133,721,000	210,121,382	△76,400,382	

予備費支出△4,910,000円は、水道光熱費支出に36,000円、手数料支出に157,000円、利用者等外給食費支出に4,000円、器具及び備品取得支出に215,000円、その他の支出に20,000円、長期貸付金支出に30,000円、拠点区分間繰入金支出に4,448,000円に充当使用した額である。

一宮キャンパス拠点区分事業活動計算書  
(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
収益	介護保険事業収益	509,394,005	506,729,913	2,664,092	
	施設介護料収益	235,135,656	226,615,605	8,520,051	
	介護報酬収益	211,301,865	203,740,707	7,561,158	
	利用者負担金収益(公費)	278,755	216,234	62,521	
	利用者負担金収益(一般)	23,555,036	22,658,664	896,372	
	居宅介護料収益	79,278,490	75,893,328	3,385,162	
	(介護報酬収益)	70,100,038	67,551,469	2,548,569	
	介護報酬収益	69,337,522	67,072,381	2,265,141	
	介護予防報酬収益	762,516	479,088	283,428	
	(利用者負担金収益)	9,178,452	8,341,859	836,593	
	介護負担金収益(公費)	115,983	98,213	17,770	
	介護負担金収益(一般)	8,977,745	8,196,103	781,642	
	介護予防負担金収益(一般)	84,724	47,543	37,181	
	地域密着型介護料収益	71,323,420	84,608,130	△13,284,710	
	(介護報酬収益)	64,099,430	75,958,739	△11,859,309	
	介護報酬収益	64,099,430	75,958,739	△11,859,309	
	(利用者負担金収益)	7,223,990	8,649,391	△1,425,401	
	介護負担金収益(一般)	7,223,990	8,649,391	△1,425,401	
	居宅介護支援介護料収益	16,810,470	17,038,580	△228,110	
	居宅介護支援介護料収益	15,976,650	16,338,600	△361,950	
	介護予防支援介護料収益	833,820	699,980	133,840	
	介護予防・日常生活支援総合事業収益	3,380,060	3,158,230	221,830	
	事業費収益	3,031,333	2,814,941	216,392	
	事業負担金収益(公費)	7,751	0	7,751	
	事業負担金収益(一般)	340,976	343,289	△2,313	
	利用者等利用料収益	94,832,222	95,572,010	△739,788	
	施設サービス利用料収益	0	247,200	△247,200	
	居宅介護サービス利用料収益	0	40,800	△40,800	
	地域密着型介護サービス利用料収益	21,374,507	21,333,320	41,187	
	食費収益(公費)	129,934	126,865	3,069	
	食費収益(一般)	28,817,931	29,850,632	△1,032,701	
	食費収益(特定)	15,820,892	15,312,509	508,383	
	居住費収益(一般)	19,071,843	19,532,889	△461,046	
	居住費収益(特定)	9,617,115	9,127,795	489,320	
	その他の事業収益	8,633,687	3,844,030	4,789,657	
	補助金事業収益(公費)	7,491,587	2,106,950	5,384,637	
	補助金事業収益(一般)	82,500	141,750	△59,250	
	受託事業収益(公費)	949,530	1,428,340	△478,810	
	受託事業収益(一般)	110,070	166,990	△56,920	
	経常経費寄附金収益	288,000	434,236	△146,236	
	経常経費寄附金収益	288,000	434,236	△146,236	
	サービス活動収益計(1)	509,682,005	507,164,149	2,517,856	
	サービス活動増減の部	人件費	335,486,724	343,319,303	△7,832,579
		職員給料	150,929,504	154,210,764	△3,281,260
		職員賞与	8,066,321	8,966,564	△900,243
賞与引当金繰入		12,774,470	17,158,199	△4,383,729	
非常勤職員給与		114,285,261	111,111,602	3,173,659	
退職給付費用		8,916,058	10,688,545	△1,772,487	
法定福利費		40,515,110	41,183,629	△668,519	
事業費		67,815,385	69,253,978	△1,438,593	
給食費		28,093,755	29,031,090	△937,335	
介護用品費		9,674,615	9,145,031	529,584	
医薬品費		82,529	100,571	△18,042	
診療・療養等材料費		254,611	83,535	171,076	
保健衛生費		2,101,040	1,500,358	600,682	
医療費		3,540	5,760	△2,220	
被服費		△6,000	1,140	△7,140	
教養娯楽費		893,319	1,453,729	△560,410	
日用品費		2,125,378	2,426,037	△300,659	
水道光熱費		16,903,657	16,875,300	28,357	
燃料費		1,042,150	1,233,061	△190,911	
消耗器具備品費		1,051,483	238,034	813,449	
保険料		2,391,520	3,402,545	△1,011,025	
賃借料		1,146,553	1,063,806	82,747	
車輛費		2,050,175	2,693,706	△643,531	
地域貢献活動費		2,000	0	2,000	
雑費		5,060	275	4,785	
事務費		25,328,589	28,172,844	△2,844,255	

用	福利厚生費	2,138,793	1,965,095	173,698	
	職員被服費	291,678	187,211	104,467	
	旅費交通費	2,680	258,159	△255,479	
	研修研究費	449,260	944,280	△495,020	
	事務消耗品費	1,289,054	331,186	957,868	
	印刷製本費	288,561	308,021	△19,460	
	修繕費	4,534,307	4,616,753	△82,446	
	通信運搬費	1,616,911	1,776,589	△159,678	
	広報費	38,960	224,499	△185,539	
	業務委託費	8,998,848	9,964,560	△965,712	
	手数料	482,700	1,290,807	△808,107	
	土地・建物賃借料	112,500	192,000	△79,500	
	租税公課	281,850	376,950	△95,100	
	保守料	4,133,162	4,862,494	△729,332	
	渉外費	183,025	360,040	△177,015	
	諸会費	460,700	490,200	△29,500	
	雑費	25,600	24,000	1,600	
	利用者負担軽減額	1,229,467	1,140,432	89,035	
	利用者負担軽減額	1,229,467	1,140,432	89,035	
	減価償却費	41,016,248	42,031,132	△1,014,884	
	減価償却費	41,016,248	42,031,132	△1,014,884	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△11,530,746	△11,801,605	270,859	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△11,530,746	△11,801,605	270,859	
	徴収不能引当金繰入	212,516	345,913	△133,397	
徴収不能引当金繰入	212,516	345,913	△133,397		
サービス活動費用計(2)	459,558,183	472,461,997	△12,903,814		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	50,123,822	34,702,152	15,421,670		
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	1,979	1,806	173
		受取利息配当金収益	1,979	1,806	173
		その他のサービス活動外収益	1,943,836	3,217,346	△1,273,510
		受入研修費収益	15,000	39,570	△24,570
		利用者等外給食収益	1,044,150	1,047,300	△3,150
		雑収益	884,686	2,130,476	△1,245,790
	サービス活動外収益計(4)	1,945,815	3,219,152	△1,273,337	
	費用	支払利息	1,066,033	1,204,999	△138,966
		支払利息	1,066,033	1,204,999	△138,966
		その他のサービス活動外費用	2,592,091	3,461,202	△869,111
利用者等外給食費		1,855,773	2,048,639	△192,866	
雑損失	736,318	1,412,563	△676,245		
サービス活動外費用計(5)	3,658,124	4,666,201	△1,008,077		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△1,712,309	△1,447,049	△265,260		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	48,411,513	33,255,103	15,156,410		
特別増減の部	収益	固定資産売却益	0	100,000	△100,000
		車両運搬具売却益	0	100,000	△100,000
		拠点区分間繰入金収益	27,083,170	0	27,083,170
		拠点区分間繰入金収益	27,083,170	0	27,083,170
		拠点区分間固定資産移管収益	426,906	1,133,361	△706,455
		拠点区分間固定資産移管収益	426,906	1,133,361	△706,455
		その他の特別収益	345,913	519,653	△173,740
		徴収不能引当戻入益	345,913	519,653	△173,740
	特別収益計(8)	27,855,989	1,753,014	26,102,975	
	費用	固定資産売却損・処分損	4	10	△6
		器具及び備品売却損・処分損	4	10	△6
		拠点区分間繰入金費用	16,591,296	17,569,344	△978,048
		拠点区分間繰入金費用	16,591,296	17,569,344	△978,048
		拠点区分間固定資産移管費用	1,766,091	2,785,660	△1,019,569
拠点区分間固定資産移管費用		1,766,091	2,785,660	△1,019,569	
特別費用計(9)	18,357,391	20,355,014	△1,997,623		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	9,498,598	△18,602,000	28,100,598		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	57,910,111	14,653,103	43,257,008		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	296,538,743	284,713,640	11,825,103	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	354,448,854	299,366,743	55,082,111	
	基本金取崩額(14)	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0	
	その他の積立金積立額(16)	15,800,000	2,828,000	12,972,000	
	運営資金積立金積立額	15,800,000	2,828,000	12,972,000	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	338,648,854	296,538,743	42,110,111		

一宮キャンパス拠点区分貸借対照表  
2021年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	217,786,981	170,244,104	47,542,877	流動負債	33,001,322	37,843,974	△4,842,652
現金預金	31,179,849	25,147,475	6,032,374	事業未払金	7,848,115	4,977,871	2,870,244
事業未収金	79,671,378	82,759,464	△3,088,086	1年以内返済予定設備資金借入金	10,332,000	10,332,000	0
未収金	180,141	21,000	159,141	職員預り金	0	50,000	△50,000
未収補助金	358,593	505,716	△147,123	拠点区分間借入金	0	2,603,575	△2,603,575
貯蔵品	317,970	223,074	94,896	賞与引当金	14,821,207	19,880,528	△5,059,321
立替金	618,494	1,171,760	△553,266	固定負債	98,175,408	103,640,553	△5,465,145
前払費用	631,056	264,828	366,228	設備資金借入金	65,524,000	75,856,000	△10,332,000
1年以内回収予定長期貸付金	30,000	0	30,000	退職給付引当金	32,651,408	27,784,553	4,866,855
拠点区分間貸付金	104,909,556	60,496,700	44,412,856	負債の部合計	131,176,730	141,484,527	△10,307,797
仮払金	102,460	0	102,460				
徴収不能引当金	△212,516	△345,913	133,397	純 資 産 の 部			
固定資産	571,298,783	582,770,092	△11,471,309	基本金	89,298,929	89,298,929	0
基本財産	367,650,950	397,178,371	△29,527,421	国庫補助金等特別積立金	146,013,251	157,543,997	△11,530,746
土地	38,391,773	38,391,773	0	その他の積立金	83,948,000	68,148,000	15,800,000
建物	925,286,680	924,789,502	497,178	運営資金積立金	83,948,000	68,148,000	15,800,000
建物減価償却累計額	△596,027,503	△566,002,904	△30,024,599	次期繰越活動増減差額	338,648,854	296,538,743	42,110,111
その他の固定資産	203,647,833	185,591,721	18,056,112	(うち当期活動増減差額)	57,910,111	14,653,103	43,257,008
土地	21,803,685	21,803,685	0				
建物	93,082,294	92,829,294	253,000				
構築物	38,632,656	38,632,656	0				
車輛運搬具	26,634,032	21,452,148	5,181,884				
器具及び備品	74,309,136	70,042,508	4,266,628				
建物減価償却累計額	△49,697,808	△46,294,178	△3,403,630				
構築物減価償却累計額	△31,245,873	△29,049,082	△2,196,791				
車輛運搬具減価償却累計額	△21,198,297	△19,778,444	△1,419,853				
器具及び備品減価償却累計額	△59,581,657	△56,858,327	△2,723,330				
ソフトウェア	347,720	529,138	△181,418				
投資有価証券	30,000	30,000	0				
長期貸付金	30,000	30,000	0				
退職給付引当資産	25,867,292	23,318,868	2,548,424				
運営資金積立資産	83,948,000	68,148,000	15,800,000				
長期前払費用	686,653	755,455	△68,802	純資産の部合計	657,909,034	611,529,669	46,379,365
資産の部合計	789,085,764	753,014,196	36,071,568	負債及び純資産の部合計	789,085,764	753,014,196	36,071,568



## 計算書類に対する注記（一宮キャンパス拠点区分）

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

##### ①満期保有目的の債券

・償却原価法（定額法）によっている。

##### ②満期保有目的の債券以外の有価証券

・市場価格のあるものについては、会計年度末における時価をもって評価

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ①平成19年3月31日以前に取得した固定資産・・・旧定額法

##### ②平成19年4月1日以降に取得した固定資産・・・定額法

##### ③リース資産

・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

#### (3) 引当金の計上基準

##### ①賞与引当金

・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

##### ②徴収不能引当金

・債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率法により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

##### ③退職給付引当金

・兵庫県社会福祉協議会退職共済制度に基づき、期末要支給額を計上している。

#### (4) たな卸資産の評価基準及び評価方法

・貯蔵品は介護用品等について期末棚卸を行い、拠点区分毎の最終仕入原価法に基づき計上している。

#### (5) 消費税等の会計処理

・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

#### (6) リース会計基準適用開始前の所有権移転外ファイナンスリース取引

・引き続き通常の賃貸借処理にかかる方法に準じた会計処理を適用している。

### 2. 重要な会計方針の変更

（表示方法の変更）

前会計年度において各資産の金額から直接控除して表示しておりました有形固定資産の

「減価償却累計額」はより明瞭に表示するため、当会計年度より各資産科目に対する

控除科目として独立掲記する方法に変更しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前会計年度の計算関係書類の組替えを行っております。

この結果、前会計年度において各資産の金額から直接控除して表示しておりました有形固定資産の

「減価償却累計額」は、各資産科目に対する控除科目として独立掲記しております。

### 3. 採用する退職給付制度

・社会福祉施設職員退職手当共済制度

・兵庫県民間社会福祉事業職員退職金制度

### 4. 作成する計算書類等とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

(1) 一宮キャンパス拠点計算書類（会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式）

(2) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（㉠））

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	38,391,773	0	0	38,391,773
建物	358,786,598	497,178	30,024,599	329,259,177
合 計	397,178,371	497,178	30,024,599	367,650,950

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

(単位：円)

建物（基本財産）	300,011,769
土地（基本財産）	32,006,520
合 計	332,018,289

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

(単位：円)

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	32,249,000
-----------------------	------------

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

間接控除法のため記載なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

間接控除法のため記載なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

宝塚キャンパス拠点区分資金収支計算書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
収入	介護保険事業収入	652,090,000	651,541,811	548,189	
	施設介護料収入	407,401,000	403,242,362	4,158,638	
	介護報酬収入	361,887,000	358,144,848	3,742,152	
	利用者負担金収入(公費)	1,863,000	1,932,189	△69,189	
	利用者負担金収入(一般)	43,651,000	43,165,325	485,675	
	居宅介護料収入	62,422,000	65,931,582	△3,509,582	
	(介護報酬収入)	55,512,000	58,617,493	△3,105,493	
	介護報酬収入	55,303,000	58,528,535	△3,225,535	
	介護予防報酬収入	209,000	88,958	120,042	
	(利用者負担金収入)	6,910,000	7,314,089	△404,089	
	介護負担金収入(公費)	539,000	360,883	178,117	
	介護負担金収入(一般)	6,348,000	6,943,321	△595,321	
	介護予防負担金収入(一般)	23,000	9,885	13,115	
	居宅介護支援介護料収入	17,650,000	17,833,426	△183,426	
	居宅介護支援介護料収入	15,327,000	15,486,084	△159,084	
	介護予防支援介護料収入	2,323,000	2,347,342	△24,342	
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	2,346,000	2,297,147	48,853	
	事業費収入	2,111,000	2,067,381	43,619	
	事業負担金収入(公費)	72,000	68,354	3,646	
	事業負担金収入(一般)	163,000	161,412	1,588	
	利用者等利用料収入	154,815,000	154,393,975	421,025	
	施設サービス利用料収入	591,000	596,750	△5,750	
	居宅介護サービス利用料収入	2,874,000	2,931,993	△57,993	
	食費収入(公費)	532,000	537,266	△5,266	
	食費収入(一般)	33,858,000	33,694,599	163,401	
	食費収入(特定)	22,905,000	22,444,959	460,041	
	居住費収入(一般)	69,916,000	70,348,492	△432,492	
	居住費収入(特定)	23,535,000	23,229,666	305,334	
	その他の利用料収入	604,000	610,250	△6,250	
	その他の事業収入	7,456,000	7,843,319	△387,319	
	補助金事業収入(公費)	7,040,000	7,283,194	△243,194	
補助金事業収入(一般)	0	148,725	△148,725		
受託事業収入(公費)	376,000	411,400	△35,400		
受託事業収入(一般)	40,000	0	40,000		
経常経費寄附金収入	132,000	102,000	30,000		
経常経費寄附金収入	132,000	102,000	30,000		
受取利息配当金収入	7,000	809	6,191		
受取利息配当金収入	7,000	809	6,191		
その他の収入	984,000	1,018,300	△34,300		
受入研修費収入	137,000	155,000	△18,000		
利用者等外給食費収入	533,000	529,200	3,800		
雑収入	314,000	334,100	△20,100		
事業活動収入計(1)	653,213,000	652,662,920	550,080		
事業活動による収支	人件費支出	399,876,000	394,949,874	4,926,126	
	職員給料支出	208,792,000	207,101,406	1,690,594	
	職員賞与支出	28,360,000	28,335,393	24,607	
	非常勤職員給与支出	95,434,000	94,681,571	752,429	
	派遣職員費支出	14,369,000	12,148,425	2,220,575	
	退職給付支出	8,229,000	7,963,123	265,877	
	法定福利費支出	44,692,000	44,719,956	△27,956	
	事業費支出	87,048,000	83,614,916	3,433,084	
	給食費支出	35,642,000	35,408,988	233,012	
	介護用品費支出	16,578,000	16,341,691	236,309	
	医薬品費支出	228,000	177,712	50,288	
	診療・療養等材料費支出	581,000	489,700	91,300	
	保健衛生費支出	3,402,000	3,067,208	334,792	
	医療費支出	38,000	8,940	29,060	
	教養娯楽費支出	855,000	710,856	144,144	
	日用品費支出	1,451,000	1,484,721	△33,721	
	水道光熱費支出	19,769,000	19,492,366	276,634	
	消耗器具備品費支出	5,245,000	3,740,949	1,504,051	
	保険料支出	1,771,000	1,754,006	16,994	
	賃借料支出	314,000	276,732	37,268	
	車輛費支出	1,098,000	660,678	437,322	
	地域貢献活動費支出	75,000	0	75,000	
雑支出	1,000	369	631		
事務費支出	68,440,000	63,098,324	5,341,676		
福利厚生費支出	2,424,000	2,296,350	127,650		
職員被服費支出	390,000	388,157	1,843		
旅費交通費支出	70,000	50,740	19,260		
研修研究費支出	862,000	482,040	379,960		
事務消耗品費支出	3,532,000	2,794,996	737,004		
印刷製本費支出	535,000	513,454	21,546		
支出					

宝塚キャンパス拠点区分資金収支計算書  
(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
	修繕費支出	5,574,000	4,010,257	1,563,743		
	通信運搬費支出	1,827,000	1,750,316	76,684		
	広報費支出	151,000	60,800	90,200		
	業務委託費支出	43,099,000	41,651,404	1,447,596		
	手数料支出	3,264,000	2,645,906	618,094		
	土地・建物賃借料支出	2,423,000	2,474,830	△51,830		
	租税公課支出	84,000	83,950	50		
	保守料支出	3,654,000	3,415,800	238,200		
	渉外費支出	219,000	197,324	21,676		
	諸会費支出	322,000	282,000	40,000		
	雑支出	10,000	0	10,000		
	利用者負担軽減額	3,132,000	3,095,832	36,168		
	利用者負担軽減額	3,132,000	3,095,832	36,168		
	支払利息支出	2,303,000	2,301,148	1,852		
	支払利息支出	2,303,000	2,301,148	1,852		
	その他の支出	1,138,000	1,110,310	27,690		
	利用者等外給食費支出	1,128,000	1,109,310	18,690		
雑支出	10,000	1,000	9,000			
事業活動支出計(2)	561,937,000	548,170,404	13,766,596			
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	91,276,000	104,492,516	△13,216,516			
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	128,000	0	128,000	
		施設整備等補助金収入	128,000	0	128,000	
		その他の施設整備等による収入	0	172,704	△172,704	
		その他の収入	0	172,704	△172,704	
	施設整備等収入計(4)	128,000	172,704	△44,704		
	支出	設備資金借入金元金償還支出	50,508,000	50,508,000	0	
		設備資金借入金元金償還支出	50,508,000	50,508,000	0	
		固定資産取得支出	15,947,000	14,087,195	1,859,805	
		建物取得支出	7,001,000	125,400	6,875,600	
		車輛運搬具取得支出	226,000	225,500	500	
器具及び備品取得支出		8,720,000	13,736,295	△5,016,295		
その他の施設整備等による支出	0	13,328	△13,328			
その他の支出	0	13,328	△13,328			
施設整備等支出計(5)	66,455,000	64,608,523	1,846,477			
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△66,327,000	△64,435,819	△1,891,181			
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	1,237,000	976,623	260,377	
		退職給付引当資産取崩収入	1,237,000	976,623	260,377	
		拠点区分間繰入金収入	6,600,000	15,974,944	△9,374,944	
		拠点区分間繰入金収入	6,600,000	15,974,944	△9,374,944	
		その他の活動収入計(7)	7,837,000	16,951,567	△9,114,567	
	支出	長期貸付金支出	7,000	668,950	△661,950	
		長期貸付金支出	7,000	668,950	△661,950	
		積立資産支出	10,050,000	10,056,994	△6,994	
		退職給付引当資産支出	4,050,000	4,056,994	△6,994	
		運営資金積立資産支出	6,000,000	6,000,000	0	
拠点区分間繰入金支出	21,043,000	21,035,664	7,336			
拠点区分間繰入金支出	21,043,000	21,035,664	7,336			
その他の活動支出計(8)	31,100,000	31,761,608	△661,608			
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△23,263,000	△14,810,041	△8,452,959			
予備費支出(10)	3,534,000	—	0			
	△3,534,000					
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	1,686,000	25,246,656	△23,560,656			
前期末支払資金残高(12)	151,331,000	151,330,172	828			
当期末支払資金残高(11)+(12)	153,017,000	176,576,828	△23,559,828			

予備費支出△3,534,000円は、建物取得支出に3,100,000円、長期貸付金支出に7,000円、拠点区分間繰入金支出に427,000円に充当使用した額である。

宝塚キャンパス拠点区分事業活動計算書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収益	介護保険事業収益	651,541,811	636,708,522	14,833,289
	施設介護料収益	403,242,362	391,336,994	11,905,368
	介護報酬収益	358,144,848	348,009,248	10,135,600
	利用者負担金収益(公費)	1,932,189	1,425,750	506,439
	利用者負担金収益(一般)	43,165,325	41,901,996	1,263,329
	居宅介護料収益	65,931,582	66,826,170	△894,588
	(介護報酬収益)	58,617,493	59,474,202	△856,709
	介護報酬収益	58,528,535	59,226,605	△698,070
	介護予防報酬収益	88,958	247,597	△158,639
	(利用者負担金収益)	7,314,089	7,351,968	△37,879
	介護負担金収益(公費)	360,883	786,442	△425,559
	介護負担金収益(一般)	6,943,321	6,538,012	405,309
	介護予防負担金収益(一般)	9,885	27,514	△17,629
	居宅介護支援介護料収益	17,833,426	23,908,559	△6,075,133
	居宅介護支援介護料収益	15,486,084	21,837,606	△6,351,522
	介護予防支援介護料収益	2,347,342	2,070,953	276,389
	介護予防・日常生活支援総合事業収益	2,297,147	2,077,805	219,342
	事業費収益	2,067,381	1,831,491	235,890
	事業負担金収益(公費)	68,354	58,073	10,281
	事業負担金収益(一般)	161,412	188,241	△26,829
	利用者等利用料収益	154,393,975	149,725,590	4,668,385
	施設サービス利用料収益	596,750	547,500	49,250
	居宅介護サービス利用料収益	2,931,993	1,920,508	1,011,485
	食費収益(公費)	537,266	422,700	114,566
	食費収益(一般)	33,694,599	32,668,582	1,026,017
	食費収益(特定)	22,444,959	22,580,166	△135,207
	居住費収益(一般)	70,348,492	68,101,788	2,246,704
	居住費収益(特定)	23,229,666	22,807,096	422,570
	その他の利用料収益	610,250	677,250	△67,000
	その他の事業収益	7,843,319	2,833,404	5,009,915
	補助金事業収益(公費)	7,283,194	2,189,168	5,094,026
	補助金事業収益(一般)	148,725	78,200	70,525
	受託事業収益(公費)	411,400	561,036	△149,636
受託事業収益(一般)	0	5,000	△5,000	
経常経費寄附金収益	102,000	28,000	74,000	
経常経費寄附金収益	102,000	28,000	74,000	
サービス活動収益計(1)	651,643,811	636,736,522	14,907,289	
サービス活動増減の部	人件費	396,478,558	395,126,516	1,352,042
	職員給料	207,101,406	199,156,411	7,944,995
	職員賞与	10,855,887	10,080,406	775,481
	賞与引当金繰入	16,514,988	17,479,506	△964,518
	非常勤職員給与	94,681,571	93,923,851	757,720
	派遣職員費	12,148,425	20,865,144	△8,716,719
	退職給付費用	10,597,860	10,873,634	△275,774
	法定福利費	44,578,421	42,747,564	1,830,857
	事業費	83,614,916	77,486,152	6,128,764
	給食費	35,408,988	34,559,962	849,026
	介護用品費	16,341,691	13,788,232	2,553,459
	医薬品費	177,712	386,121	△208,409
	診療・療養等材料費	489,700	108,662	381,038
	保健衛生費	3,067,208	1,429,415	1,637,793
	医療費	8,940	2,560	6,380
	教養娯楽費	710,856	790,350	△79,494
	日用品費	1,484,721	1,322,879	161,842
	水道光熱費	19,492,366	19,477,453	14,913
	消耗器具備品費	3,740,949	1,923,128	1,817,821
	保険料	1,754,006	1,708,590	45,416
	賃借料	276,732	490,722	△213,990
	車輛費	660,678	1,204,553	△543,875
	地域貢献活動費	0	228,910	△228,910
	雑費	369	64,615	△64,246
	事務費	63,098,324	64,017,543	△919,219
	福利厚生費	2,296,350	2,994,848	△698,498
	職員被服費	388,157	310,623	77,534
旅費交通費	50,740	572,260	△521,520	
研修研究費	482,040	1,065,966	△583,926	
事務消耗品費	2,794,996	532,629	2,262,367	
印刷製本費	513,454	578,625	△65,171	
費用				

宝塚キャンパス拠点区分事業活動計算書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
	修繕費	4,010,257	3,181,610	828,647	
	通信運搬費	1,750,316	1,731,423	18,893	
	広報費	60,800	89,648	△28,848	
	業務委託費	41,651,404	42,965,594	△1,314,190	
	手数料	2,645,906	3,170,660	△524,754	
	土地・建物賃借料	2,474,830	2,433,230	41,600	
	租税公課	83,950	181,450	△97,500	
	保守料	3,415,800	3,663,283	△247,483	
	渉外費	197,324	220,794	△23,470	
	諸会費	282,000	324,900	△42,900	
	利用者負担軽減額	3,095,832	2,872,979	222,853	
	利用者負担軽減額	3,095,832	2,872,979	222,853	
	減価償却費	31,735,534	33,176,704	△1,441,170	
	減価償却費	31,735,534	33,176,704	△1,441,170	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△13,064,446	△14,082,144	1,017,698	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△13,064,446	△14,082,144	1,017,698	
	徴収不能引当金繰入	304,383	225,637	78,746	
	徴収不能引当金繰入	304,383	225,637	78,746	
	サービス活動費用計(2)	565,263,101	558,823,387	6,439,714	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	86,380,710	77,913,135	8,467,575	
	サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	809	575
受取利息配当金収益			809	575	234
その他のサービス活動外収益			1,182,958	3,540,801	△2,357,843
受入研修費収益			155,000	78,160	76,840
利用者等外給食収益			529,200	869,950	△340,750
雑収益			498,758	2,592,691	△2,093,933
サービス活動外収益計(4)		1,183,767	3,541,376	△2,357,609	
費用		支払利息	2,301,148	3,100,093	△798,945
		支払利息	2,301,148	3,100,093	△798,945
		その他のサービス活動外費用	1,661,850	2,409,629	△747,779
	利用者等外給食費	1,109,310	1,065,788	43,522	
雑損失	552,540	1,343,841	△791,301		
サービス活動外費用計(5)	3,962,998	5,509,722	△1,546,724		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△2,779,231	△1,968,346	△810,885		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	83,601,479	75,944,789	7,656,690		
特別増減の部	収益	拠点区分間繰入金収益	15,974,944	0	15,974,944
		拠点区分間繰入金収益	15,974,944	0	15,974,944
		拠点区分間固定資産移管収益	613,216	580,952	32,264
		拠点区分間固定資産移管収益	613,216	580,952	32,264
		その他の特別収益	225,637	837,515	△611,878
		徴収不能引当金戻入益	225,637	837,515	△611,878
		特別収益計(8)	16,813,797	1,418,467	15,395,330
	費用	固定資産売却損・処分損	935,239	5	935,234
		車両運搬具売却損・処分損	0	2	△2
		器具及び備品売却損・処分損	935,239	3	935,236
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△548,475	0	△548,475
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△548,475	0	△548,475
		拠点区分間繰入金費用	21,035,664	25,766,716	△4,731,052
		拠点区分間繰入金費用	21,035,664	25,766,716	△4,731,052
		拠点区分間固定資産移管費用	0	2	△2
		拠点区分間固定資産移管費用	0	2	△2
		特別費用計(9)	21,422,428	25,766,723	△4,344,295
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△4,608,631	△24,348,256	19,739,625		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	78,992,848	51,596,533	27,396,315		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	779,489,806	727,893,273	51,596,533	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	858,482,654	779,489,806	78,992,848	
	基本金取崩額(14)	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0	
	その他の積立金積立額(16)	6,000,000	0	6,000,000	
	運営資金積立金積立額	6,000,000	0	6,000,000	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	852,482,654	779,489,806	72,992,848		

宝塚キャンパス拠点区分貸借対照表  
2021年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	199,606,642	173,529,733	26,076,909	流動負債	92,969,855	93,186,909	△217,054
現金預金	73,303,224	53,900,851	19,402,373	事業未払金	12,400,211	11,664,443	735,768
事業未収金	103,720,877	106,656,908	△2,936,031	1年以内返済予定設備資金借入金	50,508,000	50,508,000	0
未収金	52,192	346,210	△294,018	職員預り金	50,000	5,500	44,500
未収補助金	1,088,705	754,417	334,288	拠点区分間借入金	10,863,986	10,755,255	108,731
貯蔵品	280,836	200,759	80,077	賞与引当金	19,147,658	20,253,711	△1,106,053
立替金	626,114	895,990	△269,876	固定負債	92,740,303	142,977,474	△50,237,171
前払費用	978,587	172,704	805,883	設備資金借入金	69,261,000	119,769,000	△50,508,000
1年以内回収予定長期貸付金	20,000	0	20,000	退職給付引当金	23,479,303	23,208,474	270,829
拠点区分間貸付金	19,840,490	10,827,531	9,012,959	負債の部合計	185,710,158	236,164,383	△50,454,225
徴収不能引当金	△304,383	△225,637	△78,746				
固定資産	1,168,456,811	1,179,608,018	△11,151,207	純資産の部			
基本財産	1,073,284,779	1,099,271,453	△25,986,674	国庫補助金等特別積立金	284,670,641	298,283,562	△13,612,921
土地	490,728,904	490,728,904	0	その他の積立金	45,200,000	39,200,000	6,000,000
建物	1,150,733,284	1,150,607,884	125,400	運営資金積立金	45,200,000	39,200,000	6,000,000
建物減価償却累計額	△568,177,409	△542,065,335	△26,112,074	次期繰越活動増減差額	852,482,654	779,489,806	72,992,848
その他の固定資産	95,172,032	80,336,565	14,835,467	(うち当期活動増減差額)	78,992,848	51,596,533	27,396,315
車輛運搬具	16,471,900	16,246,400	225,500				
器具及び備品	73,359,294	62,947,009	10,412,285				
車輛運搬具減価償却累計額	△13,504,477	△12,564,198	△940,279				
器具及び備品減価償却累計額	△50,933,808	△48,820,816	△2,112,992				
権利	2	2	0				
ソフトウェア	347,720	529,138	△181,418				
長期貸付金	678,950	30,000	648,950				
退職給付引当資産	23,317,633	22,374,836	942,797				
運営資金積立資産	45,200,000	39,200,000	6,000,000				
差入保証金	100,000	100,000	0				
長期前払費用	134,818	294,194	△159,376				
資産の部合計	1,368,063,453	1,353,137,751	14,925,702	純資産の部合計	1,182,353,295	1,116,973,368	65,379,927
				負債及び純資産の部合計	1,368,063,453	1,353,137,751	14,925,702

## 計算書類に対する注記（宝塚キャンパス拠点区分）

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

##### ①満期保有目的の債券

・償却原価法（定額法）によっている。

##### ②満期保有目的の債券以外の有価証券

・市場価格のあるものについては、会計年度末における時価をもって評価

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ①平成19年3月31日以前に取得した固定資産・・・旧定額法

##### ②平成19年4月1日以降に取得した固定資産・・・定額法

##### ③リース資産

・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

#### (3) 引当金の計上基準

##### ①賞与引当金

・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

##### ②徴収不能引当金

・債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率法により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

##### ③退職給付引当金

・兵庫県社会福祉協議会退職共済制度に基づき、期末要支給額を計上している。

#### (4) たな卸資産の評価基準及び評価方法

・貯蔵品は介護用品等について期末棚卸を行い、拠点区分毎の最終仕入原価法に基づき計上している。

#### (5) 消費税等の会計処理

・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

#### (6) リース会計基準適用開始前の所有権移転外ファイナンスリース取引

・引き続き通常の賃貸借処理にかかる方法に準じた会計処理を適用している。

### 2. 重要な会計方針の変更

（表示方法の変更）

前会計年度において各資産の金額から直接控除して表示しておりました有形固定資産の

「減価償却累計額」はより明瞭に表示するため、当会計年度より各資産科目に対する

控除科目として独立掲記する方法に変更しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前会計年度の計算関係書類の組替えを行っております。

この結果、前会計年度において各資産の金額から直接控除して表示しておりました有形固定資産の

「減価償却累計額」は、各資産科目に対する控除科目として独立掲記しております。

### 3. 採用する退職給付制度

・社会福祉施設職員退職手当共済制度

・兵庫県民間社会福祉事業職員退職金制度

### 4. 作成する計算書類等とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

(1) 宝塚キャンパス拠点計算書類（会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式）

(2) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（㉠））



5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	490,728,904	0	0	490,728,904
建物	608,542,549	125,400	26,112,074	582,555,875
合 計	1,099,271,453	125,400	26,112,074	1,073,284,779

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

(単位：円)

建物（基本財産）	582,555,875
土地（基本財産）	490,728,904
合 計	1,073,284,779

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

(単位：円)

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	114,725,000
-----------------------	-------------

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

間接控除法のため記載なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

間接控除法のため記載なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

神戸キャンパス拠点区分資金収支計算書  
(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
収入	介護保険事業収入	478,054,000	476,147,607	1,906,393	
	施設介護料収入	304,582,000	303,270,398	1,311,602	
	介護報酬収入	271,370,000	270,246,286	1,123,714	
	利用者負担金収入(公費)	1,942,000	1,978,288	△36,288	
	利用者負担金収入(一般)	31,270,000	31,045,824	224,176	
	居宅介護料収入	51,909,000	50,610,466	1,298,534	
	(介護報酬収入)	45,279,000	44,172,990	1,106,010	
	介護報酬収入	43,874,000	42,880,371	993,629	
	介護予防報酬収入	1,405,000	1,292,619	112,381	
	(利用者負担金収入)	6,630,000	6,437,476	192,524	
	介護負担金収入(公費)	202,000	160,914	41,086	
	介護負担金収入(一般)	6,214,000	6,067,620	146,380	
	介護予防負担金収入(一般)	214,000	208,942	5,058	
	利用者等利用料収入	116,399,000	115,663,648	735,352	
	居宅介護サービス利用料収入	1,513,000	1,311,148	201,852	
	食費収入(一般)	27,781,000	27,631,530	149,470	
	食費収入(特定)	18,203,000	18,222,088	△19,088	
	居住費収入(一般)	49,837,000	49,482,716	354,284	
	居住費収入(特定)	19,065,000	19,016,166	48,834	
	その他の事業収入	5,164,000	6,603,095	△1,439,095	
	補助金事業収入(公費)	4,936,000	6,213,480	△1,277,480	
	補助金事業収入(一般)	152,000	309,005	△157,005	
	受託事業収入(公費)	76,000	80,610	△4,610	
	借入金利息補助金収入	2,263,000	2,263,194	△194	
	借入金利息補助金収入	2,263,000	2,263,194	△194	
	受取利息配当金収入	1,000	335	665	
	受取利息配当金収入	1,000	335	665	
その他の収入	2,030,000	2,086,130	△56,130		
利用者等外給食費収入	1,779,000	1,817,130	△38,130		
雑収入	251,000	269,000	△18,000		
事業活動収入計(1)	482,348,000	480,497,266	1,850,734		
事業活動による収支	人件費支出	290,947,000	290,946,868	132	
	職員給料支出	151,704,000	151,873,051	△169,051	
	職員賞与支出	19,374,000	19,380,445	△6,445	
	非常勤職員給与支出	69,147,000	69,427,859	△280,859	
	派遣職員費支出	12,805,000	11,657,429	1,147,571	
	退職給付支出	4,850,000	5,627,729	△777,729	
	法定福利費支出	33,067,000	32,980,355	86,645	
	事業費支出	61,294,000	60,353,750	940,250	
	給食費支出	29,186,000	28,414,340	771,660	
	介護用品費支出	12,841,000	12,365,971	475,029	
	医薬品費支出	13,000	14,564	△1,564	
	診療・療養等材料費支出	130,000	133,673	△3,673	
	保健衛生費支出	1,680,000	1,693,003	△13,003	
	医療費支出	0	500	△500	
	教養娯楽費支出	516,000	508,654	7,346	
	日用品費支出	1,880,000	1,928,320	△48,320	
	水道光熱費支出	12,346,000	13,005,109	△659,109	
	消耗器具備品費支出	263,000	153,797	109,203	
	保険料支出	902,000	924,944	△22,944	
	賃借料支出	498,000	270,930	227,070	
	車輛費支出	1,004,000	904,945	99,055	
	雑支出	35,000	35,000	0	
	事務費支出	67,144,000	64,017,981	3,126,019	
	福利厚生費支出	1,325,000	1,492,017	△167,017	
	職員被服費支出	12,000	12,603	△603	
	旅費交通費支出	496,000	496,111	△111	
	研修研究費支出	336,000	441,896	△105,896	
	事務消耗品費支出	525,000	400,971	124,029	
	印刷製本費支出	220,000	239,856	△19,856	
	修繕費支出	998,000	1,084,500	△86,500	
	通信運搬費支出	858,000	893,984	△35,984	
	広報費支出	107,000	0	107,000	
	業務委託費支出	47,468,000	45,180,612	2,287,388	
手数料支出	10,079,000	9,118,610	960,390		
土地・建物賃借料支出	2,071,000	2,087,400	△16,400		
租税公課支出	18,000	25,300	△7,300		
保守料支出	2,186,000	2,107,427	78,573		
渉外費支出	62,000	58,314	3,686		
諸会費支出	383,000	378,380	4,620		
利用者負担軽減額	203,000	210,769	△7,769		
利用者負担軽減額	203,000	210,769	△7,769		
支払利息支出	11,011,000	10,551,301	459,699		

	支払利息支出	11,011,000	10,551,301	459,699	
	その他の支出	3,097,000	3,140,588	△43,588	
	利用者等外給食費支出	3,097,000	3,140,588	△43,588	
	事業活動支出計(2)	433,696,000	429,221,257	4,474,743	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	48,652,000	51,276,009	△2,624,009	
施設整備等による収支	収入				
		施設整備等収入計(4)	0	0	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	53,487,000	53,487,000	0
		設備資金借入金元金償還支出	53,487,000	53,487,000	0
		固定資産取得支出	394,000	394,020	△20
		器具及び備品取得支出	394,000	394,020	△20
		その他の施設整備等による支出	1,113,000	1,112,086	914
その他の支出		1,113,000	1,112,086	914	
	施設整備等支出計(5)	54,994,000	54,993,106	894	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△54,994,000	△54,993,106	△894	
その他の活動による収支	収入				
		積立資産取崩収入	186,000	198,729	△12,729
		退職給付引当資産取崩収入	186,000	198,729	△12,729
		その他の活動収入計(7)	186,000	198,729	△12,729
	支出	長期貸付金支出	80,000	80,000	0
		長期貸付金支出	80,000	80,000	0
		積立資産支出	3,041,000	3,032,973	8,027
退職給付引当資産支出		3,041,000	3,032,973	8,027	
	その他の活動支出計(8)	3,121,000	3,112,973	8,027	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△2,935,000	△2,914,244	△20,756	
	予備費支出(10)	4,934,000	—	2,370,000	
		△2,564,000			
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△11,647,000	△6,631,341	△5,015,659	

	前期末支払資金残高(12)	△85,524,000	△85,523,839	△161
	当期末支払資金残高(11)+(12)	△97,171,000	△92,155,180	△5,015,820

予備費支出△2,564,000円は、退職給付支出に1,371,000円、その他の支出に1,113,000円、長期貸付金支出に80,000円充当使用した額である。

神戸キャンパス拠点区分事業活動計算書  
(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収益	介護保険事業収益	476,147,607	402,146,809	74,000,798
	施設介護料収益	303,270,398	283,854,348	19,416,050
	介護報酬収益	270,246,286	252,878,912	17,367,374
	利用者負担金収益(公費)	1,978,288	1,928,504	49,784
	利用者負担金収益(一般)	31,045,824	29,046,932	1,998,892
	居宅介護料収益	50,610,466	15,782,343	34,828,123
	(介護報酬収益)	44,172,990	14,042,298	30,130,692
	介護報酬収益	42,880,371	13,600,041	29,280,330
	介護予防報酬収益	1,292,619	442,257	850,362
	(利用者負担金収益)	6,437,476	1,740,045	4,697,431
	介護負担金収益(公費)	160,914	142,553	18,361
	介護負担金収益(一般)	6,067,620	1,548,349	4,519,271
	介護予防負担金収益(一般)	208,942	49,143	159,799
	利用者等利用料収益	115,663,648	101,800,741	13,862,907
	居宅介護サービス利用料収益	1,311,148	769,297	541,851
	食費収益(一般)	27,631,530	23,905,989	3,725,541
	食費収益(特定)	18,222,088	16,658,459	1,563,629
	居住費収益(一般)	49,482,716	43,479,028	6,003,688
	居住費収益(特定)	19,016,166	16,987,968	2,028,198
	その他の事業収益	6,603,095	709,377	5,893,718
	補助金事業収益(公費)	6,213,480	525,257	5,688,223
	補助金事業収益(一般)	309,005	98,210	210,795
	受託事業収益(公費)	80,610	85,910	△5,300
経常経費寄附金収益	0	100,000	△100,000	
経常経費寄附金収益	0	100,000	△100,000	
サービス活動収益計(1)	476,147,607	402,246,809	73,900,798	
サービス活動増減の部 費用	人件費	293,180,867	246,627,194	46,553,673
	職員給料	151,873,051	126,072,910	25,800,141
	職員賞与	9,053,379	5,910,153	3,143,226
	賞与引当金繰入	10,990,009	10,327,066	662,943
	非常勤職員給与	69,427,859	62,541,199	6,886,660
	派遣職員費	11,657,429	8,472,960	3,184,469
	退職給付費用	7,091,271	5,038,206	2,053,065
	法定福利費	33,087,869	28,264,700	4,823,169
	事業費	60,353,750	53,891,422	6,462,328
	給食費	28,414,340	25,034,601	3,379,739
	介護用品費	12,365,971	10,255,827	2,110,144
	医薬品費	14,564	19,003	△4,439
	診療・療養等材料費	133,673	161,737	△28,064
	保健衛生費	1,693,003	1,082,817	610,186
	医療費	500	25,060	△24,560
	教養娯楽費	508,654	654,144	△145,490
	日用品費	1,928,320	1,474,179	454,141
	水道光熱費	13,005,109	11,961,212	1,043,897
	消耗器具備品費	153,797	804,195	△650,398
	保険料	924,944	1,053,337	△128,393
	賃借料	270,930	278,672	△7,742
	車輛費	904,945	1,081,638	△176,693
	地域貢献活動費	0	5,000	△5,000
	雑費	35,000	0	35,000
	事務費	64,017,981	60,055,736	3,962,245
	福利厚生費	1,492,017	1,513,734	△21,717
	職員被服費	12,603	0	12,603
	旅費交通費	496,111	1,166,127	△670,016
	研修研究費	441,896	994,501	△552,605
	事務消耗品費	400,971	203,434	197,537
	印刷製本費	239,856	165,489	74,367
	修繕費	1,084,500	714,752	369,748
	通信運搬費	893,984	867,616	26,368
	広報費	0	483,690	△483,690
業務委託費	45,180,612	39,800,446	5,380,166	
手数料	9,118,610	8,977,217	141,393	
土地・建物賃借料	2,087,400	2,471,634	△384,234	
租税公課	25,300	60,200	△34,900	
保守料	2,107,427	2,141,286	△33,859	
渉外費	58,314	87,470	△29,156	
諸会費	378,380	408,140	△29,760	
利用者負担軽減額	210,769	110,711	100,058	

神戸キャンパス拠点区分事業活動計算書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
	利用者負担軽減額	210,769	110,711	100,058	
	減価償却費	49,733,705	50,037,051	△303,346	
	減価償却費	49,733,705	50,037,051	△303,346	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△11,009,873	△11,009,873	0	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△11,009,873	△11,009,873	0	
	徴収不能引当金繰入	333,080	1,246,987	△913,907	
	徴収不能引当金繰入	333,080	1,246,987	△913,907	
	サービス活動費用計(2)	456,820,279	400,959,228	55,861,051	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	19,327,328	1,287,581	18,039,747	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	2,263,194	2,351,802	△88,608
		借入金利息補助金収益	2,263,194	2,351,802	△88,608
		受取利息配当金収益	335	262	73
		受取利息配当金収益	335	262	73
		その他のサービス活動外収益	2,086,130	1,649,240	436,890
		利用者等外給食収益	1,817,130	1,462,180	354,950
		雑収益	269,000	187,060	81,940
		サービス活動外収益計(4)	4,349,659	4,001,304	348,355
	費用	支払利息	10,551,301	11,051,028	△499,727
		支払利息	10,551,301	11,051,028	△499,727
		その他のサービス活動外費用	4,057,770	4,339,604	△281,834
		利用者等外給食費	3,140,588	2,672,575	468,013
		雑損失	917,182	1,667,029	△749,847
		サービス活動外費用計(5)	14,609,071	15,390,632	△781,561
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△10,259,412	△11,389,328	1,129,916	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	9,067,916	△10,101,747	19,169,663	
特別増減の部	収益	拠点区分間固定資産移管収益	81,092	0	81,092
		拠点区分間固定資産移管収益	81,092	0	81,092
		その他の特別収益	1,246,987	1,304,678	△57,691
		徴収不能引当金戻入益	1,246,987	1,304,678	△57,691
		特別収益計(8)	1,328,079	1,304,678	23,401
	費用	拠点区分間固定資産移管費用	577,958	1,225,476	△647,518
		拠点区分間固定資産移管費用	577,958	1,225,476	△647,518
		特別費用計(9)	577,958	1,225,476	△647,518
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	750,121	79,202	670,919	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	9,818,037	△10,022,545	19,840,582	
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	△73,582,003	△63,559,458	△10,022,545
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	△63,763,966	△73,582,003	9,818,037
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
		その他の積立金積立額(16)	0	0	0
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	△63,763,966	△73,582,003	9,818,037

神戸キャンパス拠点区分貸借対照表  
2021年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	126,948,624	112,365,881	14,582,743	流動負債	274,622,006	264,576,372	10,045,634
現金預金	57,746,053	45,710,421	12,035,632	事業未払金	8,715,010	8,220,885	494,125
事業未収金	64,823,164	65,070,526	△247,362	1年以内返済予定設備資金借入金	42,492,000	53,487,000	△10,995,000
未収金	12,570	284,306	△271,736	職員預り金	0	△72,288	72,288
未収補助金	3,085,194	2,447,112	638,082	拠点区分間借入金	210,691,874	190,988,110	19,703,764
貯蔵品	417,951	35,576	382,375	賞与引当金	12,723,122	11,952,665	770,457
立替金	142,723	64,927	77,796	固定負債	1,032,189,830	1,072,418,905	△40,229,075
前払費用	1,024,049	0	1,024,049	設備資金借入金	1,022,998,000	1,065,490,000	△42,492,000
1年以内回収予定長期貸付金	30,000	0	30,000	退職給付引当金	9,191,830	6,928,905	2,262,925
徴収不能引当金	△333,080	△1,246,987	913,907	負債の部合計	1,306,811,836	1,336,995,277	△30,183,441
固定資産	1,303,530,885	1,349,488,905	△45,958,020	純 資 産 の 部			
基本財産	1,280,186,445	1,324,528,396	△44,341,951	国庫補助金等特別積立金	187,431,639	198,441,512	△11,009,873
土地	438,250,000	438,250,000	0	次期繰越活動増減差額	△63,763,966	△73,582,003	9,818,037
建物	1,063,646,200	1,063,646,200	0	(うち当期活動増減差額)	9,818,037	△10,022,545	19,840,582
建物減価償却累計額	△221,709,755	△177,367,804	△44,341,951				
その他の固定資産	23,344,440	24,960,509	△1,616,069				
構築物	850,000	850,000	0				
車輛運搬具	8,170,000	8,170,000	0				
器具及び備品	33,241,329	32,847,309	394,020				
構築物減価償却累計額	△90,170	△33,220	△56,950				
車輛運搬具減価償却累計額	△6,839,348	△5,730,469	△1,108,879				
器具及び備品減価償却累計額	△25,534,091	△21,749,859	△3,784,232				
ソフトウェア	886,361	1,328,054	△441,693				
長期貸付金	80,000	30,000	50,000				
退職給付引当資産	11,468,273	9,248,694	2,219,579				
長期前払費用	1,112,086	0	1,112,086	純資産の部合計	123,667,673	124,859,509	△1,191,836
資産の部合計	1,430,479,509	1,461,854,786	△31,375,277	負債及び純資産の部合計	1,430,479,509	1,461,854,786	△31,375,277

## 計算書類に対する注記（神戸キャンパス拠点区分）

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

##### ①満期保有目的の債券

・償却原価法（定額法）によっている。

##### ②満期保有目的の債券以外の有価証券

・市場価格のあるものについては、会計年度末における時価をもって評価

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ①平成19年3月31日以前に取得した固定資産・・・旧定額法

##### ②平成19年4月1日以降に取得した固定資産・・・定額法

##### ③リース資産

・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

#### (3) 引当金の計上基準

##### ①賞与引当金

・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

##### ②徴収不能引当金

・債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率法により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

##### ③退職給付引当金

・兵庫県社会福祉協議会退職共済制度に基づき、期末要支給額を計上している。

#### (4) たな卸資産の評価基準及び評価方法

・貯蔵品は介護用品等について期末棚卸を行い、拠点区分毎の最終仕入原価法に基づき計上している。

#### (5) 消費税等の会計処理

・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

#### (6) リース会計基準適用開始前の所有権移転外ファイナンスリース取引

・引き続き通常の賃貸借処理にかかる方法に準じた会計処理を適用している。

### 2. 重要な会計方針の変更

（表示方法の変更）

前会計年度において各資産の金額から直接控除して表示しておりました有形固定資産の

「減価償却累計額」はより明瞭に表示するため、当会計年度より各資産科目に対する

控除科目として独立掲記する方法に変更しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前会計年度の計算関係書類の組替えを行っております。

この結果、前会計年度において各資産の金額から直接控除して表示しておりました有形固定資産の

「減価償却累計額」は、各資産科目に対する控除科目として独立掲記しております。

### 3. 採用する退職給付制度

・社会福祉施設職員退職手当共済制度

・兵庫県民間社会福祉事業職員退職金制度

### 4. 作成する計算書類等とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

(1) 神戸キャンパス拠点計算書類（会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式）

(2) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（㉠））

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	438,250,000	0	0	438,250,000
建物	886,278,396	0	44,341,951	841,936,445
合 計	1,324,528,396	0	44,341,951	1,280,186,445

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

(単位：円)

建物（基本財産）	841,936,445
土地（基本財産）	438,250,000
合 計	1,280,186,445

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

(単位：円)

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	1,065,490,000
-----------------------	---------------

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

間接控除法のため記載なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

間接控除法のため記載なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし



## 附属明細書

- 借入金明細書(別紙3 (①))
- 寄附金収益明細書(別紙3 (②))
- 補助金事業等収益明細書(別紙3 (③))
- 事業区分間及び拠点区分間繰入金明細書(別紙3 (④))
- 事業区分間及び拠点区分間貸付金(借入金)明細書(別紙3 (⑤))
- 基本金明細書(別紙3 (⑥))
- 国庫補助金等特別積立金明細書(別紙3 (⑦))
- 基本財産及びその他の固定資産の明細書(別紙3 (⑧))
- 引当金明細書(別紙3 (⑨))
- 拠点区分事業活動明細書(別紙3 (⑩))
- 積立金積立資産明細書(別紙3 (⑫))

## 借入金明細書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福祉会

(単位:円)

区分	借入先	拠点区分	期首残高 ①	当期借入金 ②	当期償還額 ③	差引期末残高 ④=①+②-③ (うち1年以内償還予定額)	元金償還 補助金	利率 %	支払利息		返済 期限	用途	担保資産			
									当期支出額	利息補助金収入			種類	地番または内容	帳簿価額	
設備 資金 借入金	医療機構	一宮キャンパス	35,501,000		3,252,000	32,249,000 ( 3,252,000 )		1.600%	544,164		2031.2.10	グループホーム整備	建物	宍粟市一宮町福知1030番1	211,005,488	
						( )							建物	宍粟市一宮町福知1030番1の2	166,162	
						( )								建物	宍粟市一宮町福知1029番	60,556,603
						( )								建物	宍粟市一宮町福知1065番1	12,946,458
						( )								建物	宍粟市一宮町福知1065番1の2	15,337,058
						( )								土地	宍粟市一宮町福知寺坂576番1	3,700,000
						( )								土地	宍粟市一宮町福知字河原1030番1	16,894,000
						( )								土地	宍粟市一宮町福知字河原1029番	2,200,000
						( )								土地	宍粟市一宮町福知字河原1029番2	108,713
						( )								土地	宍粟市一宮町福知字河原1030番2	1,184,000
						( )								土地	宍粟市一宮町福知字河原1036番3	1,850,000
						( )								土地	宍粟市一宮町福知字河原1038番	2,022,835
						( )								土地	宍粟市一宮町福知字河原1038番2	184,812
						( )								土地	宍粟市一宮町福知字河原1065番1	3,789,685
						( )								土地	宍粟市一宮町福知字河原1065番3	72,475
		西兵庫信用金庫	一宮キャンパス	27,512,000		4,608,000	22,904,000 ( 4,608,000 )		1.150%	287,744		2026.3.1	特養ユニット増床			
		西兵庫信用金庫	一宮キャンパス	18,324,000		1,668,000	16,656,000 ( 1,668,000 )		1.150%	200,353		2031.3.1	グループホーム整備			
		医療機構	宝塚キャンパス	164,225,000		49,500,000	114,725,000 ( 49,500,000 )		1.600%	2,264,592		2023.7.10	宝塚まどか園	建物	宝塚市美座二丁目179番	582,555,875
							( )							土地	宝塚市美座二丁目185番	51,567,727
							( )							土地	宝塚市美座二丁目186番	56,255,702
						( )							土地	宝塚市美座二丁目187番	91,571,781	
						( )							土地	宝塚市美座二丁目179番	217,997,095	
						( )							土地	宝塚市美座二丁目215番	1,979,367	
						( )							土地	宝塚市美座二丁目27番8	6,703,804	
						( )							土地	宝塚市美座二丁目205番	1,405,351	

## 借入金明細書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福祉会

(単位:円)

区分	借入先	拠点区分	期首残高 ①	当期借入金 ②	当期償還額 ③	差引期末残高 ④=①+②-③ (うち1年以内償還予定額)	元金償還 補助金	利率 %	支払利息		返済 期限	用途	担保資産		
									当期支出額	利息補助金収入			種類	地番または内容	帳簿価額
						-							土地	宝塚市美座二丁目213番	2,916,962
						-							土地	宝塚市美座二丁目178番	40,954,151
						-							土地	宝塚市美座二丁目210番2	18,022,660
						-							土地	宝塚市美座二丁目210番3	1,354,304
	医療機構	神戸キャンパス	575,952,000		22,152,000	553,800,000 ( 22,152,000 )		0.800%	4,526,388	2,263,194	2046.3.10	神戸まどか園整備	土地	神戸市長田区大丸町一丁目6番47	438,250,000
	西兵庫信用金庫	神戸キャンパス	532,030,000		20,340,000	511,690,000 ( 20,340,000 )		1.150%	5,991,931		2046.5.1	土地購入資金	建物	神戸市長田区大丸町一丁目6番47	841,936,445
	西兵庫信用金庫	本部拠点	9,000,000		3,600,000	5,400,000 ( 3,600,000 )		0.500%	35,267		2022.9.1	介護ソフト			
	商工組合中央金庫	一宮キャンパス	4,851,000		804,000	4,047,000 ( 804,000 )		0.650%	33,772		2026.3.1	LED工事			
	商工組合中央金庫	本部拠点	4,227,000		708,000	3,519,000 ( 708,000 )		0.650%	25,520		2026.3.1	LED工事			
	商工組合中央金庫	宝塚キャンパス	6,052,000		1,008,000	5,044,000 ( 1,008,000 )		0.650%	36,556		2026.3.1	LED工事			
	商工組合中央金庫	神戸キャンパス	10,995,000		10,995,000	-		0.650%	32,982		2021.3.1	神戸初度調弁			
	計		1,388,669,000	-	118,635,000	1,270,034,000 ( 107,640,000 )	-		13,979,269	2,263,194					2,685,489,513
	合計		1,388,669,000	-	118,635,000	1,270,034,000 ( 107,640,000 )	-		13,979,269	2,263,194					

## 寄附金収益明細書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福祉会

(単位:円)

寄附者の属性	区分	件数	寄附金額	うち基本金 組入額	寄附金額の拠点区分ごとの内訳			
					法人本部	一宮キャンパス	宝塚キャンパス	神戸キャンパス
法人の役職員	経常		—					
利用者本人			—					
利用者の家族		10件	248,000			228,000	20,000	
取引業者			—					
その他		5件	242,000		100,000	60,000	82,000	
区分小計		15件	490,000	—	100,000	288,000	102,000	—
合 計		15件	490,000	—	100,000	288,000	102,000	—

## 補助金事業等収益明細書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福祉会

(単位:円)

交付団体及び交付の目的	区分	交付金額	補助金事業に係る利用者からの収益	交付金額等合計	うち国庫補助金等特別積立金積立額	交付金額等合計の拠点区分ごとの内訳			
						法人本部	一宮キャンパス	宝塚キャンパス	神戸キャンパス
高齢障害求職者雇用支援機構 障害者雇用調整金	介護事業	243,000		243,000			137,348	105,652	
兵庫県 新型コロナ感染対策費用助成事業		14,350,000		14,350,000			5,245,000	5,274,000	3,831,000
兵庫県 新型コロナ再開環境整備助成事業		1,600,000		1,600,000			800,000	600,000	200,000
兵庫県 結核定期健康診断実施補助金		184,946		184,946			71,858	113,088	
兵庫労働局 キャリアアップ助成金		1,935,000		1,935,000		427,500	427,500		1,080,000
兵庫労働局 特定求職者雇用開発助成金		330,000		330,000					330,000
兵庫労働局 人材確保等支援助成金		128,212		128,212				128,212	
宍粟市 感染症対応支援事業交付金		470,000		470,000			470,000		
宍粟市 社福軽減補助金		338,281		338,281			338,281		
宍粟市 敬老会お祝い助成金		1,600		1,600			1,600		
宝塚市 社福軽減補助金		826,892		826,892				826,892	
宝塚市 地域密着型拠点等整備補助金		196,000		196,000				196,000	
宝塚市 国勢調査委託料		39,350		39,350				39,350	
神戸市 新型コロナウイルス感染症対策福祉サービス事業所給付金		400,000		400,000					400,000
神戸市 新規採用介護職員住宅棟補助事業		282,000		282,000					282,000
神戸市 結核予防費補助金		90,480		90,480					90,480
神戸市社会福祉協議会 施設賠償責任保険料助成金		2,700		2,700					2,700
兵庫県シルバーサービス事業者協議会 人材確保定着支援事業補助金		537,530		537,530			82,500	148,725	306,305
区分小計		21,955,991	—	21,955,991	—	427,500	7,574,087	7,431,919	6,522,485
神戸市 社会福祉施設整備資金利子補助金	利息	2,351,802		2,351,802					2,351,802
区分小計		2,351,802	—	2,351,802	—	—	—	—	2,351,802
合計		24,307,793	—	24,307,793	—	427,500	7,574,087	7,431,919	8,874,287

## 事業区分間及び拠点区分間繰入金明細書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月 31日

### 社会福祉法人名 正久福祉会

#### 1) 事業区分間繰入金明細書

(単位:円)

事業区分名		繰入金の財源(注)	金額	使用目的等
繰入元	繰入先			

(注) 繰入金の財源には、介護保険収入、運用収入、前期末支払資金残高等の別を記入すること。

#### 2) 拠点区分間繰入金明細書

(単位:円)

拠点区分名		繰入金の財源(注)	金額	使用目的等
繰入元	繰入先			
一宮キャンパス	法人本部	介護保険事業収入	16,591,296	法人本部運営費
宝塚キャンパス	法人本部	介護保険事業収入	20,935,664	法人本部運営費
宝塚キャンパス	一宮キャンパス	介護保険事業収入	100,000	一宮キャンパス運営費
法人本部	一宮キャンパス	運用収入	27,083,170	一宮キャンパス運営費
法人本部	宝塚キャンパス	運用収入	15,874,944	宝塚キャンパス運営費

(注) 繰入金の財源には、介護保険収入、運用収入、前期末支払資金残高等の別を記入すること。

## 事業区分間及び拠点区分間貸付金(借入金)残高明細書

2021年 3月 31日現在

## 社会福祉法人名 正久福祉会

## 1) 事業区分間貸付金(借入金)明細書

(単位:円)

	貸付事業区分名	借入事業区分名	金額	使用目的等
短期				
	小計		—	
長期				
	小計		—	
	合計		—	

## 2) 拠点区分間貸付金(借入金)明細書

(単位:円)

	貸付拠点区分名	借入拠点区分名	金額	使用目的等
	法人本部	宝塚キャンパス	10,863,986	施設運営費等
	法人本部	神戸キャンパス	210,691,874	施設運営費等
	一宮キャンパス	法人本部	104,909,556	施設運営費等
	宝塚キャンパス	法人本部	19,840,490	施設運営費等
	小計		346,305,906	
長期				
	小計		—	
	合計		346,305,906	

## 基本金明細書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福社会

(単位:円)

区分並びに組入れ及び 取崩しの事由	合 計	各拠点区分ごとの内訳			
		法人本部	一宮キャン パス	宝塚キャン パス	神戸キャン パス
前年度末残高	89,298,929	-	89,298,929	-	-
第一号基本金	89,298,929		89,298,929		
第二号基本金	-				
第三号基本金	-				
当期末残高	89,298,929	-	89,298,929	-	-
第一号基本金	89,298,929	-	89,298,929	-	-
第二号基本金	-	-	-	-	-
第三号基本金	-	-	-	-	-



## 国庫補助金等特別積立金明細書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福社会

(単位:円)

区分並びに積立て 及び取崩しの事由		補助金の種類			合 計	各拠点区分の内訳			
		国庫補助金	地方公共団体 補助金	その他の団体 からの補助金		法人本部	一宮キャンパス	宝塚キャンパス	神戸キャンパス
前期繰越額					654,269,071		157,543,997	298,283,562	198,441,512
当 期 積 立 額				-	-				
	当期積立額合計	-	-	-	-	-	-	-	-
当 期 取 崩 額	サービス活動費用の 控除科目として計上 する取崩額				35,605,065		11,530,746	13,064,446	11,009,873
	特別費用の控除項目 として計上する取崩額				548,475			548,475	
	当期取崩額合計				36,153,540	-	11,530,746	13,612,921	11,009,873
当期末残高					618,115,531	-	146,013,251	284,670,641	187,431,639

基本財産及びその他固定資産（有形・無形固定資産）の明細書

自 2020年4月1日 至 2020年3月31日

別紙3 (8)  
 (単位：円)

資産の種類及び名称	期首帳簿価額 (A)		当期増加額 (B)		当期減価償却 (C)		当期減少額 (D)		期末帳簿価額 (E)		減価償却累計 (F)		期末取得原価 (G=E+F)		摘要
		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額	(E=A+B-C-D)	うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額	
<b>【その他の固定資産（有形固定資産）】</b>															
器具備品	4,028,188	0	1,789,603	0	620,380	0	1	0	5,197,410	0	2,946,950	0	8,144,360	0	
有形リース資産	2,110,900	0	0	0	1,333,200	0	0	0	777,700	0	5,864,040	0	6,641,740	0	
※ その他の固定資産（有形固定資産）計 ※	6,139,088	0	1,789,603	0	1,953,580	0	1	0	5,975,110	0	8,810,990	0	14,786,100	0	
<b>【その他の固定資産（無形固定資産）】</b>															
ソフトウェア	9,504,000	0	0	0	3,564,000	0	0	0	5,940,000	0	11,880,000	0	17,820,000	0	
差入保証金	100,000	0	0	0	0	0	0	0	100,000	0	0	0	100,000	0	
※ その他の固定資産（無形固定資産）計 ※	9,604,000	0	0	0	3,564,000	0	0	0	6,040,000	0	11,880,000	0	17,920,000	0	
※ その他の固定資産計 ※	15,743,088	0	1,789,603	0	5,517,580	0	1	0	12,015,110	0	20,690,990	0	32,706,100	0	
※ 基本財産及びその他の固定資産計 ※	15,743,088	0	1,789,603	0	5,517,580	0	1	0	12,015,110	0	20,690,990	0	32,706,100	0	
将来入金予定の償還補助金の額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
差 引	15,743,088	0	1,789,603	0	5,517,580	0	1	0	12,015,110	0	20,690,990	0	32,706,100	0	

基本財産及びその他固定資産（有形・無形固定資産）の明細書

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日

別紙3 (8)  
(単位：円)

資産の種類及び名称	期首帳簿価額 (A)		当期増加額 (B)		当期減価償却 (C)		当期減少額 (D)		期末帳簿価額 (E)		減価償却累計 (F)		期末取得原価		摘要
		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額	(E=A+B-C-D)	うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額	(G=E+F)	うち国庫補助等の額	
<b>【基本財産(有形固定資産)】</b>															
土地(基)	38,391,773	0	0	0	0	0	0	0	38,391,773	0	0	0	38,391,773	0	
建物(基)	358,786,598	155,064,708	16,593,630	9,989,720	30,024,599	11,077,191	16,096,452	9,989,720	329,259,177	143,987,517	596,027,503	302,185,556	925,286,680	446,173,073	
※ 基本財産合計 ※	397,178,371	155,064,708	16,593,630	9,989,720	30,024,599	11,077,191	16,096,452	9,989,720	367,650,950	143,987,517	596,027,503	302,185,556	963,678,453	446,173,073	
<b>【その他の固定資産(有形固定資産)】</b>															
土地(固)	21,803,685	0	0	0	0	0	0	0	21,803,685	0	0	0	21,803,685	0	
建物(固)	46,535,116	0	253,000	0	3,403,630	0	0	0	43,384,486	0	49,697,808	0	93,082,294	0	
構築物(固)	9,583,574	0	147,443	0	2,196,791	0	147,443	0	7,386,783	0	31,245,873	0	38,632,656	0	
車両運搬具	1,673,704	0	6,385,222	0	1,419,853	0	1,203,338	0	5,435,735	0	21,198,297	1,875,000	26,634,032	1,875,000	
器具備品	13,184,181	2,479,289	5,496,034	56,926	3,789,957	453,555	162,779	56,926	14,727,479	2,025,734	59,581,657	9,811,584	74,309,136	11,837,318	
※ その他の固定資産(有形固定資産)計 ※	92,780,260	2,479,289	12,281,699	56,926	10,810,231	453,555	1,513,560	56,926	92,738,168	2,025,734	161,723,635	11,686,584	254,461,803	13,712,318	
<b>【その他の固定資産(無形固定資産)】</b>															
ソフトウェア	529,138	0	0	0	181,418	0	0	0	347,720	0	559,372	0	907,092	0	
※ その他の固定資産(無形固定資産)計 ※	529,138	0	0	0	181,418	0	0	0	347,720	0	559,372	0	907,092	0	
※ その他の固定資産計 ※	93,309,398	2,479,289	12,281,699	56,926	10,991,649	453,555	1,513,560	56,926	93,085,888	2,025,734	162,283,007	11,686,584	255,368,895	13,712,318	
※ 基本財産及びその他の固定資産計 ※	490,487,769	157,543,997	28,875,329	10,046,646	41,016,248	11,530,746	17,610,012	10,046,646	460,736,838	146,013,251	758,310,510	313,872,140	1,219,047,348	459,885,391	
将来入金予定の償還補助金の額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
差 引	490,487,769	157,543,997	28,875,329	10,046,646	41,016,248	11,530,746	17,610,012	10,046,646	460,736,838	146,013,251					

基本財産及びその他固定資産（有形・無形固定資産）の明細書

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日

別紙3 (8)  
 (単位：円)

資産の種類及び名称	期首帳簿価額 (A)		当期増加額 (B)		当期減価償却 (C)		当期減少額 (D)		期末帳簿価額 (E)		減価償却累計 (F)		期末取得原価		摘要
		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額	(E=A+B-C-D)	うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額	(G=E+F)	うち国庫補助等の額	
<b>【基本財産(有形固定資産)】</b>															
土地(基)	490,728,904	0	0	0	0	0	0	0	490,728,904	0	0	0	490,728,904	0	
建物(基)	608,542,549	295,629,470	125,400	0	26,112,074	12,554,246	0	0	582,555,875	283,075,224	568,177,409	278,351,776	1,150,733,284	561,427,000	
※ 基本財産合計 ※	1,099,271,453	295,629,470	125,400	0	26,112,074	12,554,246	0	0	1,073,284,779	283,075,224	568,177,409	278,351,776	1,641,462,188	561,427,000	
<b>【その他の固定資産(有形固定資産)】</b>															
車輜運搬具	3,682,202	2,012,917	225,500	0	940,279	417,500	0	0	2,967,423	1,595,417	13,504,477	5,130,958	16,471,900	6,726,375	
器具備品	14,126,193	641,175	13,736,295	0	4,501,763	92,700	935,239	548,475	22,425,486	0	50,933,808	11,788,890	73,359,294	11,788,890	
※ その他の固定資産(有形固定資産)計 ※	17,808,395	2,654,092	13,961,795	0	5,442,042	510,200	935,239	548,475	25,392,909	1,595,417	64,438,285	16,919,848	89,831,194	18,515,265	
<b>【その他の固定資産(無形固定資産)】</b>															
権利(固)	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	7,683,298	0	7,683,300	0	
ソフトウェア	529,138	0	0	0	181,418	0	0	0	347,720	0	559,372	0	907,092	0	
差入保証金	100,000	0	0	0	0	0	0	0	100,000	0	0	0	100,000	0	
※ その他の固定資産(無形固定資産)計 ※	629,140	0	0	0	181,418	0	0	0	447,722	0	8,242,670	0	8,690,392	0	
※ その他の固定資産計 ※	18,437,535	2,654,092	13,961,795	0	5,623,460	510,200	935,239	548,475	25,840,631	1,595,417	72,680,955	16,919,848	98,521,586	18,515,265	
※ 基本財産及びその他の固定資産計 ※	1,117,708,988	298,283,562	14,087,195	0	31,735,534	13,064,446	935,239	548,475	1,099,125,410	284,670,641	640,858,364	295,271,624	1,739,983,774	579,942,265	
将来入金予定の償還補助金の額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
差 引	1,117,708,988	298,283,562	14,087,195	0	31,735,534	13,064,446	935,239	548,475	1,099,125,410	284,670,641					

基本財産及びその他固定資産（有形・無形固定資産）の明細書

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日

別紙3 (8)  
 (単位：円)

資産の種類及び名称	期首帳簿価額 (A)		当期増加額 (B)		当期減価償却 (C)		当期減少額 (D)		期末帳簿価額 (E)		減価償却累計 (F)		期末取得原価		摘要
		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額	(E=A+B-C-D)	うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額	(G=E+F)	うち国庫補助等の額	
<b>【基本財産(有形固定資産)】</b>															
土地(基)	438,250,000	0	0	0	0	0	0	0	438,250,000	0	0	0	438,250,000	0	
建物(基)	886,278,396	192,339,164	0	0	44,341,951	8,915,209	0	0	841,936,445	183,423,955	221,709,755	44,576,045	1,063,646,200	228,000,000	
※ 基本財産合計 ※	1,324,528,396	192,339,164	0	0	44,341,951	8,915,209	0	0	1,280,186,445	183,423,955	221,709,755	44,576,045	1,501,896,200	228,000,000	
<b>【その他の固定資産(有形固定資産)】</b>															
構築物(固)	816,780	0	0	0	56,950	0	0	0	759,830	0	90,170	0	850,000	0	
車輛運搬具	2,439,531	0	0	0	1,108,879	0	0	0	1,330,652	0	6,839,348	0	8,170,000	0	
器具備品	11,097,450	6,102,348	394,020	0	3,784,232	2,094,664	0	0	7,707,238	4,007,684	25,534,091	15,864,261	33,241,329	19,871,945	
※ その他の固定資産(有形固定資産)計 ※	14,353,761	6,102,348	394,020	0	4,950,061	2,094,664	0	0	9,797,720	4,007,684	32,463,609	15,864,261	42,261,329	19,871,945	
<b>【その他の固定資産(無形固定資産)】</b>															
ソフトウェア	1,328,054	0	0	0	441,693	0	0	0	886,361	0	923,049	0	1,809,410	0	
※ その他の固定資産(無形固定資産)計 ※	1,328,054	0	0	0	441,693	0	0	0	886,361	0	923,049	0	1,809,410	0	
※ その他の固定資産計 ※	15,681,815	6,102,348	394,020	0	5,391,754	2,094,664	0	0	10,684,081	4,007,684	33,386,658	15,864,261	44,070,739	19,871,945	
※ 基本財産及びその他の固定資産計 ※	1,340,210,211	198,441,512	394,020	0	49,733,705	11,009,873	0	0	1,290,870,526	187,431,639	255,096,413	60,440,306	1,545,966,939	247,871,945	
将来入金予定の償還補助金の額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
差 引	1,340,210,211	198,441,512	394,020	0	49,733,705	11,009,873	0	0	1,290,870,526	187,431,639					

## 引当金明細書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福祉会  
拠点区分 法人本部

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
賞与引当金		4,742,739 ( )	—	( )	4,742,739	
退職給付引当金	13,839,129	2,632,995 ( 1,473,262 )	14,054	3,674,879 ( 3,674,879 )	12,783,191	
役員退職慰労引当金	13,324,100	3,450,640 ( )		( )	16,774,740	
計	27,163,229	10,826,374 ( 1,473,262 )	14,054	3,674,879 ( 3,674,879 )	34,300,670	

(注)

1. 退職給付引当金の使用目的以外の減少額は、拠点間の異動によるものである。

## 引当金明細書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福祉会  
 拠点区分 一宮キャンパス

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
賞与引当金	19,880,528	14,821,207 ( )	19,880,528	( )	14,821,207	
退職給付引当金	27,784,553	12,662,697 ( 8,864,139 )	2,697,845	5,097,997 ( )	32,651,408	
徴収不能引当金	345,913	212,516 ( )		345,913 ( )	212,516	
計	48,010,994	27,696,420 ( 8,864,139 )	22,578,373	5,443,910 ( - )	47,685,131	

(注)

1. 退職給付引当金の使用目的以外の減少額は、拠点間の異動によるものである。
2. 徴収不能引当金の使用目的以外の減少額は、洗い替えによるものである。

## 引当金明細書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福祉会  
 拠点区分 宝塚キャンパス

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
賞与引当金	20,253,711	19,147,658 ( )	20,253,711	( )	19,147,658	
退職給付引当金	23,208,474	3,611,360 ( )	976,623	2,363,908 ( 2,363,408 )	23,479,303	
徴収不能引当金	225,637	304,383 ( )		225,637 ( )	304,383	
計	43,687,822	23,063,401 ( - )	21,230,334	2,589,545 ( 2,363,408 )	42,931,344	

(注)

1. 退職給付引当金の使用目的以外の減少額は、拠点間の異動によるものである。
2. 徴収不能引当金の使用目的以外の減少額は、洗い替えによるものである。



## 引当金明細書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福社会  
 拠点区分 神戸キャンパス

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
賞与引当金	11,952,665	12,723,122 ( )	11,952,665	( )	12,723,122	
退職給付引当金	6,928,905	3,940,950 ( 2,278,679 )	198,729	1,479,296 ( 1,479,296 )	9,191,830	
徴収不能引当金	1,246,987	333,080 ( )		1,246,987 ( )	333,080	
計	20,128,557	16,997,152 ( 2,278,679 )	12,151,394	2,726,283 ( 1,479,296 )	22,248,032	

(注)

1. 退職給付引当金の使用目的以外の減少額は、拠点間の異動によるものである。
2. 徴収不能引当金の使用目的以外の減少額は、洗い替えによるものである。

一宮キャンパス拠点区分事業活動明細書  
(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		特別養護老人ホームまどか園	まどか園ショートステイ	まどか園デイサービスセンター	まどか園在宅介護支援センター	まどか園ヘルパーステーション	グループホームまどか園	合計	内部取引消去	拠点区分合計	
収益	介護保険事業収益	298,140,573	71,234,668	7,505,653	18,283,070	27,378,666	87,331,375	509,874,005	△480,000	509,394,005	
	施設介護料収益	235,135,656	0	0	0	0	0	235,135,656	0	235,135,656	
	介護報酬収益	211,301,865	0	0	0	0	0	211,301,865	0	211,301,865	
	利用者負担金収益(公費)	278,755	0	0	0	0	0	278,755	0	278,755	
	利用者負担金収益(一般)	23,555,036	0	0	0	0	0	23,555,036	0	23,555,036	
	居宅介護料収益	0	56,208,940	0	0	23,069,550	0	79,278,490	0	79,278,490	
	(介護報酬収益)	0	49,496,364	0	0	20,603,674	0	70,100,038	0	70,100,038	
	介護報酬収益	0	48,733,848	0	0	20,603,674	0	69,337,522	0	69,337,522	
	介護予防報酬収益	0	762,516	0	0	0	0	762,516	0	762,516	
	(利用者負担金収益)	0	6,712,576	0	0	2,465,876	0	9,178,452	0	9,178,452	
	介護負担金収益(公費)	0	3,375	0	0	112,608	0	115,983	0	115,983	
	介護負担金収益(一般)	0	6,624,477	0	0	2,353,268	0	8,977,745	0	8,977,745	
	介護予防負担金収益(一般)	0	84,724	0	0	0	0	84,724	0	84,724	
	地域密着型介護料収益	0	0	6,772,500	0	0	64,550,920	71,323,420	71,323,420	0	71,323,420
	(介護報酬収益)	0	0	6,095,250	0	0	58,004,180	64,099,430	64,099,430	0	64,099,430
	介護報酬収益	0	0	6,095,250	0	0	58,004,180	64,099,430	64,099,430	0	64,099,430
	(利用者負担金収益)	0	0	677,250	0	0	6,546,740	7,223,990	7,223,990	0	7,223,990
	介護負担金収益(一般)	0	0	677,250	0	0	6,546,740	7,223,990	7,223,990	0	7,223,990
	居宅介護支援介護料収益	0	0	0	16,810,470	0	0	16,810,470	0	16,810,470	
	居宅介護支援介護料収益	0	0	0	15,976,650	0	0	15,976,650	0	15,976,650	
	介護予防支援介護料収益	0	0	0	833,820	0	0	833,820	0	833,820	
	介護予防・日常生活支援総合事業収益	0	0	0	0	3,380,060	0	3,380,060	0	3,380,060	
	事業費収益	0	0	0	0	3,031,333	0	3,031,333	0	3,031,333	
	事業負担金収益(公費)	0	0	0	0	7,751	0	7,751	0	7,751	
	事業負担金収益(一般)	0	0	0	0	340,976	0	340,976	0	340,976	
	利用者等利用料収益	58,810,705	14,047,010	611,410	0	0	21,363,097	94,832,222	94,832,222	0	94,832,222
	地域密着型介護サービス利用料収益	0	0	11,410	0	0	21,363,097	21,363,097	21,363,097	0	21,363,097
	食費収益(公費)	129,934	0	0	0	0	0	129,934	0	129,934	
	食費収益(一般)	22,287,694	5,930,237	600,000	0	0	0	28,817,931	0	28,817,931	
	食費収益(特定)	13,189,754	2,631,138	0	0	0	0	15,820,892	0	15,820,892	
	居住費収益(一般)	15,298,768	3,773,075	0	0	0	0	19,071,843	0	19,071,843	
	居住費収益(特定)	7,904,555	1,712,560	0	0	0	0	9,617,115	0	9,617,115	
	その他の事業収益	4,194,212	978,718	121,743	1,472,600	929,056	1,417,358	9,113,687	△480,000	8,633,687	
	補助金事業収益(公費)	3,738,137	872,293	121,743	418,000	924,056	1,417,358	7,491,587	0	7,491,587	
	補助金事業収益(一般)	66,891	15,609	0	0	0	0	82,500	0	82,500	
	受託事業収益(公費)	0	0	0	949,530	0	0	949,530	0	949,530	
受託事業収益(一般)	389,184	90,816	0	105,070	5,000	0	590,070	△480,000	110,070		
経常経費寄附金収益	164,592	38,408	4,351	0	30,000	50,649	288,000	0	288,000		
経常経費寄附金収益	164,592	38,408	4,351	0	30,000	50,649	288,000	0	288,000		
サービス活動収益計(1)	298,305,165	71,273,076	7,510,004	18,283,070	27,408,666	87,382,024	510,162,005	△480,000	509,682,005		
サービス活動増減の部	人件費	182,504,407	43,047,735	5,978,975	14,505,537	21,086,719	68,363,351	335,486,724	0	335,486,724	
	職員給料	86,835,357	20,263,011	2,461,423	7,774,353	4,938,914	28,656,446	150,929,504	0	150,929,504	
	職員賞与	2,504,004	3,328,061	419,298	620,605	60,312	1,134,041	8,066,321	0	8,066,321	
	賞与引当金繰入	9,392,352	0	0	531,850	511,218	2,339,050	12,774,470	0	12,774,470	
	非常勤職員給与	56,149,517	13,102,477	2,276,593	3,162,292	13,089,779	26,504,603	114,285,261	0	114,285,261	
	退職給付費用	5,193,420	1,037,928	124,793	495,644	222,452	1,841,821	8,916,058	0	8,916,058	
	法定福利費	22,429,757	5,316,258	696,868	1,920,793	2,264,044	7,887,390	40,515,110	0	40,515,110	
	事業費	43,916,985	10,248,017	838,752	1,110,980	1,935,697	9,764,954	67,815,385	0	67,815,385	
	給食費	18,413,645	4,296,820	425,818	0	0	4,957,472	28,093,755	0	28,093,755	
	介護用品費	6,973,661	1,627,302	61,885	0	291,290	720,477	9,674,615	0	9,674,615	
	医薬品費	66,915	15,614	0	0	0	0	82,529	0	82,529	
	診療・療養等材料費	206,439	48,172	0	0	0	0	254,611	0	254,611	
	保健衛生費	1,269,543	296,247	31,084	79,702	62,580	361,884	2,101,040	0	2,101,040	
	医療費	2,870	670	0	0	0	0	3,540	0	3,540	
	被服費	△2,432	△568	△237	0	0	△2,763	△6,000	0	△6,000	
	教養娯楽費	591,746	138,084	12,191	9,367	0	141,931	893,319	0	893,319	
	日用品費	1,473,181	343,767	24,397	0	0	284,033	2,125,378	0	2,125,378	
	水道光熱費	10,895,039	2,542,355	219,503	387,139	304,116	2,555,505	16,903,657	0	16,903,657	
	燃料費	820,833	191,541	2,355	0	0	27,421	1,042,150	0	1,042,150	
	消耗器具備品費	699,257	163,171	12,794	0	27,313	148,948	1,051,483	0	1,051,483	
	保険料	1,097,252	256,043	28,344	315,413	364,476	329,992	2,391,520	0	2,391,520	
	賃借料	754,549	176,074	2,462	66,000	118,800	28,668	1,146,553	0	1,146,553	

一宮キャンパス拠点区分事業活動明細書  
(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		特別養護老人ホームまどか園	まどか園ショートステイ	まどか園デイサービスセンター	まどか園在宅介護支援センター	まどか園ヘルパーステーション	グループホームまどか園	合計	内部取引消去	拠点区分合計	
費用	車輻費	654,487	152,725	17,598	253,359	767,122	204,884	2,050,175	0	2,050,175	
	地域貢献活動費	0	0	158	0	0	1,842	2,000	0	2,000	
	雑費	0	0	400	0	0	4,660	5,060	0	5,060	
	事務費	15,872,136	3,703,760	308,618	1,210,536	1,120,543	3,592,996	25,808,589	△480,000	25,328,589	
	福利厚生費	1,208,191	281,931	38,144	64,551	101,901	444,075	2,138,793	0	2,138,793	
	職員被服費	230,263	53,732	608	0	0	7,075	291,678	0	291,678	
	旅費交通費	2,173	507	0	0	0	0	2,680	0	2,680	
	研修研究費	298,099	69,561	6,296	1,000	1,000	73,304	449,260	0	449,260	
	事務消耗品費	616,159	143,781	16,554	186,401	133,430	192,729	1,289,054	0	1,289,054	
	印刷製本費	20,151	4,702	11,508	26,455	91,770	133,975	288,561	0	288,561	
	修繕費	3,031,570	707,416	24,028	187,374	304,175	279,744	4,534,307	0	4,534,307	
	通信運搬費	715,486	166,959	21,356	314,704	149,772	248,634	1,616,911	0	1,616,911	
	広報費	31,589	7,371	0	0	0	0	38,960	0	38,960	
	業務委託費	6,429,655	1,500,358	102,379	118,282	136,257	1,191,917	9,478,848	△480,000	8,998,848	
	手数料	138,147	32,237	17,860	36,968	49,564	207,924	482,700	0	482,700	
	土地・建物賃借料	91,215	21,285	0	0	0	0	112,500	0	112,500	
	租税公課	199,051	46,449	16	13,800	22,350	184	281,850	0	281,850	
	保守料	2,379,955	555,362	67,015	259,001	91,620	780,209	4,133,162	0	4,133,162	
	渉外費	91,005	21,236	2,696	0	36,704	31,384	183,025	0	183,025	
	諸会費	368,671	86,029	158	2,000	2,000	1,842	460,700	0	460,700	
	雑費	20,756	4,844	0	0	0	0	25,600	0	25,600	
	利用者負担軽減額	862,814	201,337	2,238	0	137,019	26,059	1,229,467	0	1,229,467	
	利用者負担軽減額	862,814	201,337	2,238	0	137,019	26,059	1,229,467	0	1,229,467	
	減価償却費	32,381,281	0	0	1,072,981	32,018	7,529,968	41,016,248	0	41,016,248	
	減価償却費	32,381,281	0	0	1,072,981	32,018	7,529,968	41,016,248	0	41,016,248	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△8,910,852	0	0	△551,093	0	△2,068,801	△11,530,746	0	△11,530,746	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△8,910,852	0	0	△551,093	0	△2,068,801	△11,530,746	0	△11,530,746	
徴収不能引当金繰入	198,092	0	0	0	2,404	12,020	212,516	0	212,516		
徴収不能引当金繰入	198,092	0	0	0	2,404	12,020	212,516	0	212,516		
サービス活動費用計(2)	266,824,863	57,200,849	7,128,583	17,348,941	24,314,400	87,220,547	460,038,183	△480,000	459,558,183		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	31,480,302	14,072,227	381,421	934,129	3,094,266	161,477	50,123,822	0	50,123,822		
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	1,425	332	11	36	41	134	1,979	0	1,979
		受取利息配当金収益	1,425	332	11	36	41	134	1,979	0	1,979
		その他のサービス活動外収益	1,621,151	297,483	0	0	25,202	0	1,943,836	0	1,943,836
		受入研修費収益	12,162	2,838	0	0	0	0	15,000	0	15,000
		利用者等外給食収益	846,597	197,553	0	0	0	0	1,044,150	0	1,044,150
		雑収益	762,392	97,092	0	0	25,202	0	884,686	0	884,686
	サービス活動外収益計(4)	1,622,576	297,815	11	36	25,243	134	1,945,815	0	1,945,815	
	費用	支払利息	260,685	60,831	58,891	0	0	685,626	1,066,033	0	1,066,033
		支払利息	260,685	60,831	58,891	0	0	685,626	1,066,033	0	1,066,033
		その他のサービス活動外費用	1,813,802	311,049	16,749	16,767	21,150	412,574	2,592,091	0	2,592,091
利用者等外給食費		1,332,974	311,049	16,749	0	0	195,001	1,855,773	0	1,855,773	
雑損失	480,828	0	0	16,767	21,150	217,573	736,318	0	736,318		
サービス活動外費用計(5)	2,074,487	371,880	75,640	16,767	21,150	1,098,200	3,658,124	0	3,658,124		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△451,911	△74,065	△75,629	△16,731	4,093	△1,098,066	△1,712,309	0	△1,712,309		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	31,028,391	13,998,162	305,792	917,398	3,098,359	△936,589	48,411,513	0	48,411,513		

宝塚キャンパス拠点区分事業活動明細書  
 (自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		特別養護老人ホーム宝塚まどか園	宝塚まどか園ショートステイ	宝塚まどか園ヘルパーステーション	宝塚まどか園居宅介護支援事業所	合計	内部取引消去	拠点区分合計
収益	介護保険事業収益	540,974,972	76,671,843	15,302,170	18,592,826	651,541,811	0	651,541,811
	施設介護料収益	403,242,362	0	0	0	403,242,362	0	403,242,362
	介護報酬収益	358,144,848	0	0	0	358,144,848	0	358,144,848
	利用者負担金収益(公費)	1,932,189	0	0	0	1,932,189	0	1,932,189
	利用者負担金収益(一般)	43,165,325	0	0	0	43,165,325	0	43,165,325
	居宅介護料収益	0	56,096,613	9,834,969	0	65,931,582	0	65,931,582
	(介護報酬収益)	0	49,786,323	8,831,170	0	58,617,493	0	58,617,493
	介護報酬収益	0	49,697,365	8,831,170	0	58,528,535	0	58,528,535
	介護予防報酬収益	0	88,958	0	0	88,958	0	88,958
	(利用者負担金収益)	0	6,310,290	1,003,799	0	7,314,089	0	7,314,089
	介護負担金収益(公費)	0	98,791	262,092	0	360,883	0	360,883
	介護負担金収益(一般)	0	6,201,614	741,707	0	6,943,321	0	6,943,321
	介護予防負担金収益(一般)	0	9,885	0	0	9,885	0	9,885
	居宅介護支援介護料収益	0	0	0	17,833,426	17,833,426	0	17,833,426
	居宅介護支援介護料収益	0	0	0	15,486,084	15,486,084	0	15,486,084
	介護予防支援介護料収益	0	0	0	2,347,342	2,347,342	0	2,347,342
	介護予防・日常生活支援総合事業収益	0	0	2,297,147	0	2,297,147	0	2,297,147
	事業費収益	0	0	2,067,381	0	2,067,381	0	2,067,381
	事業負担金収益(公費)	0	0	68,354	0	68,354	0	68,354
	事業負担金収益(一般)	0	0	161,412	0	161,412	0	161,412
	利用者等利用料収益	132,180,876	19,777,045	2,436,054	0	154,393,975	0	154,393,975
	施設サービス利用料収益	596,750	0	0	0	596,750	0	596,750
	居宅介護サービス利用料収益	0	1,106,189	1,825,804	0	2,931,993	0	2,931,993
	食費収益(公費)	537,266	0	0	0	537,266	0	537,266
	食費収益(一般)	29,177,600	4,516,999	0	0	33,694,599	0	33,694,599
	食費収益(特定)	20,115,950	2,329,009	0	0	22,444,959	0	22,444,959
	居住費収益(一般)	61,112,678	9,235,814	0	0	70,348,492	0	70,348,492
	居住費収益(特定)	20,640,632	2,589,034	0	0	23,229,666	0	23,229,666
	その他の利用料収益	0	0	610,250	0	610,250	0	610,250
	その他の事業収益	5,551,734	798,185	734,000	759,400	7,843,319	0	7,843,319
	補助金事業収益(公費)	5,421,704	779,490	734,000	348,000	7,283,194	0	7,283,194
補助金事業収益(一般)	130,030	18,695	0	0	148,725	0	148,725	
受託事業収益(公費)	0	0	0	411,400	411,400	0	411,400	
経常経費寄附金収益	89,179	12,821	0	0	102,000	0	102,000	
経常経費寄附金収益	89,179	12,821	0	0	102,000	0	102,000	
サービス活動収益計(1)	541,064,151	76,684,664	15,302,170	18,592,826	651,643,811	0	651,643,811	
サービス活動増減の部	人件費	318,231,800	45,572,210	12,043,465	20,631,083	396,478,558	0	396,478,558
	職員給料	169,215,991	24,328,547	3,734,456	9,822,412	207,101,406	0	207,101,406
	職員賞与	6,964,916	3,325,035	78,613	487,323	10,855,887	0	10,855,887
	賞与引当金繰入	15,143,123	0	442,625	929,240	16,514,988	0	16,514,988
	非常勤職員給与	71,764,562	10,317,746	6,399,629	6,199,634	94,681,571	0	94,681,571
	派遣職員費	10,621,368	1,527,057	0	0	12,148,425	0	12,148,425
	退職給付費用	9,039,578	950,622	147,660	460,000	10,597,860	0	10,597,860
	法定福利費	35,482,262	5,123,203	1,240,482	2,732,474	44,578,421	0	44,578,421
	事業費	71,802,655	10,323,223	579,089	909,949	83,614,916	0	83,614,916
	給食費	30,958,078	4,450,910	0	0	35,408,988	0	35,408,988
	介護用品費	14,287,540	2,054,151	0	0	16,341,691	0	16,341,691
	医薬品費	155,374	22,338	0	0	177,712	0	177,712
	診療・療養等材料費	428,145	61,555	0	0	489,700	0	489,700
	保健衛生費	2,562,053	368,352	50,963	85,840	3,067,208	0	3,067,208
医療費	7,816	1,124	0	0	8,940	0	8,940	

宝塚キャンパス拠点区分事業活動明細書  
(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		特別養護老人ホーム宝塚まどか園	宝塚まどか園ショートステイ	宝塚まどか園ヘルパーステーション	宝塚まどか園居宅介護支援事業所	合計	内部取引消去	拠点区分合計	
費用	教養娯楽費	621,501	89,355	0	0	710,856	0	710,856	
	日用品費	1,298,092	186,629	0	0	1,484,721	0	1,484,721	
	水道光熱費	16,330,338	2,347,848	340,172	474,008	19,492,366	0	19,492,366	
	消耗器具備品費	3,270,712	470,237	0	0	3,740,949	0	3,740,949	
	保険料	1,284,812	184,720	50,790	233,684	1,754,006	0	1,754,006	
	賃借料	234,959	33,781	7,992	0	276,732	0	276,732	
	車輛費	362,912	52,177	129,172	116,417	660,678	0	660,678	
	雑費	323	46	0	0	369	0	369	
	事務費	53,395,487	7,676,785	979,017	1,047,035	63,098,324	0	63,098,324	
	福利厚生費	1,856,864	266,965	100,533	71,988	2,296,350	0	2,296,350	
	職員被服費	330,667	47,541	0	9,949	388,157	0	388,157	
	旅費交通費	44,362	6,378	0	0	50,740	0	50,740	
	研修研究費	291,247	41,873	0	148,920	482,040	0	482,040	
	事務消耗品費	1,722,559	247,656	481,240	343,541	2,794,996	0	2,794,996	
	印刷製本費	438,334	63,020	12,100	0	513,454	0	513,454	
	修繕費	3,345,487	480,988	108,472	75,310	4,010,257	0	4,010,257	
	通信運搬費	1,258,854	180,988	140,580	169,894	1,750,316	0	1,750,316	
	広報費	53,157	7,643	0	0	60,800	0	60,800	
	業務委託費	36,266,031	5,214,046	65,894	105,433	41,651,404	0	41,651,404	
	手数料	2,252,742	323,882	26,950	42,332	2,645,906	0	2,645,906	
	土地・建物賃借料	2,163,744	311,086	0	0	2,474,830	0	2,474,830	
	租税公課	43,234	6,216	0	34,500	83,950	0	83,950	
	保守料	2,909,132	418,252	43,248	45,168	3,415,800	0	3,415,800	
	渉外費	172,520	24,804	0	0	197,324	0	197,324	
	諸会費	246,553	35,447	0	0	282,000	0	282,000	
	利用者負担軽減額	2,695,920	387,598	12,314	0	3,095,832	0	3,095,832	
	利用者負担軽減額	2,695,920	387,598	12,314	0	3,095,832	0	3,095,832	
	減価償却費	31,295,791	0	221,979	217,764	31,735,534	0	31,735,534	
	減価償却費	31,295,791	0	221,979	217,764	31,735,534	0	31,735,534	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△13,064,446	0	0	0	△13,064,446	0	△13,064,446	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△13,064,446	0	0	0	△13,064,446	0	△13,064,446	
徴収不能引当金繰入	304,383	0	0	0	304,383	0	304,383		
徴収不能引当金繰入	304,383	0	0	0	304,383	0	304,383		
サービス活動費用計(2)	464,661,590	63,959,816	13,835,864	22,805,831	565,263,101	0	565,263,101		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	76,402,561	12,724,848	1,466,306	△4,213,005	86,380,710	0	86,380,710		
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	618	89	54	48	809	0	809
		受取利息配当金収益	618	89	54	48	809	0	809
		その他のサービス活動外収益	1,033,974	124,984	24,000	0	1,182,958	0	1,182,958
		受入研修費収益	135,516	19,484	0	0	155,000	0	155,000
		利用者等外給食収益	462,680	66,520	0	0	529,200	0	529,200
		雑収益	435,778	38,980	24,000	0	498,758	0	498,758
	サービス活動外収益計(4)	1,034,592	125,073	24,054	48	1,183,767	0	1,183,767	
	費用	支払利息	2,011,894	289,254	0	0	2,301,148	0	2,301,148
		支払利息	2,011,894	289,254	0	0	2,301,148	0	2,301,148
		その他のサービス活動外費用	1,495,162	139,566	17,058	10,064	1,661,850	0	1,661,850
利用者等外給食費		969,870	139,440	0	0	1,109,310	0	1,109,310	
雑損失	525,292	126	17,058	10,064	552,540	0	552,540		
サービス活動外費用計(5)	3,507,056	428,820	17,058	10,064	3,962,998	0	3,962,998		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△2,472,464	△303,747	6,996	△10,016	△2,779,231	0	△2,779,231		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	73,930,097	12,421,101	1,473,302	△4,223,021	83,601,479	0	83,601,479		

神戸キャンパス拠点区分事業活動明細書  
 (自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		特別養護老人ホーム神戸まどか園	神戸まどか園ショートステイ	神戸まどか園デイサービスセンター	神戸まどか園ヘルパーステーション	神戸まどか園居宅介護支援事業所	合計	内部取引消去	拠点区分合計
収益	介護保険事業収益	406,535,109	69,612,498	0	0	0	476,147,607	0	476,147,607
	施設介護料収益	303,270,398	0	0	0	0	303,270,398	0	303,270,398
	介護報酬収益	270,246,286	0	0	0	0	270,246,286	0	270,246,286
	利用者負担金収益(公費)	1,978,288	0	0	0	0	1,978,288	0	1,978,288
	利用者負担金収益(一般)	31,045,824	0	0	0	0	31,045,824	0	31,045,824
	居宅介護料収益	0	50,610,466	0	0	0	50,610,466	0	50,610,466
	(介護報酬収益)	0	44,172,990	0	0	0	44,172,990	0	44,172,990
	介護報酬収益	0	42,880,371	0	0	0	42,880,371	0	42,880,371
	介護予防報酬収益	0	1,292,619	0	0	0	1,292,619	0	1,292,619
	(利用者負担金収益)	0	6,437,476	0	0	0	6,437,476	0	6,437,476
	介護負担金収益(公費)	0	160,914	0	0	0	160,914	0	160,914
	介護負担金収益(一般)	0	6,067,620	0	0	0	6,067,620	0	6,067,620
	介護予防負担金収益(一般)	0	208,942	0	0	0	208,942	0	208,942
	利用者等利用料収益	97,632,272	18,031,376	0	0	0	115,663,648	0	115,663,648
	居宅介護サービス利用料収益	0	1,311,148	0	0	0	1,311,148	0	1,311,148
	食費収益(一般)	22,727,054	4,904,476	0	0	0	27,631,530	0	27,631,530
	食費収益(特定)	16,474,450	1,747,638	0	0	0	18,222,088	0	18,222,088
	居住費収益(一般)	41,510,580	7,972,136	0	0	0	49,482,716	0	49,482,716
	居住費収益(特定)	16,920,188	2,095,978	0	0	0	19,016,166	0	19,016,166
	その他の事業収益	5,632,439	970,656	0	0	0	6,603,095	0	6,603,095
補助金事業収益(公費)	5,300,098	913,382	0	0	0	6,213,480	0	6,213,480	
補助金事業収益(一般)	263,581	45,424	0	0	0	309,005	0	309,005	
受託事業収益(公費)	68,760	11,850	0	0	0	80,610	0	80,610	
サービス活動収益計(1)	406,535,109	69,612,498	0	0	0	476,147,607	0	476,147,607	
サービス活動増減の部 費用	人件費	250,411,678	42,769,189	0	0	0	293,180,867	0	293,180,867
	職員給料	129,547,712	22,325,339	0	0	0	151,873,051	0	151,873,051
	職員賞与	6,204,454	2,848,925	0	0	0	9,053,379	0	9,053,379
	賞与引当金繰入	10,990,009	0	0	0	0	10,990,009	0	10,990,009
	非常勤職員給与	59,221,964	10,205,895	0	0	0	69,427,859	0	69,427,859
	派遣職員費	9,943,787	1,713,642	0	0	0	11,657,429	0	11,657,429
	退職給付費用	6,263,995	827,276	0	0	0	7,091,271	0	7,091,271
	法定福利費	28,239,757	4,848,112	0	0	0	33,087,869	0	33,087,869
	事業費	51,481,748	8,872,002	0	0	0	60,353,750	0	60,353,750
	給食費	24,237,432	4,176,908	0	0	0	28,414,340	0	28,414,340
	介護用品費	10,548,173	1,817,798	0	0	0	12,365,971	0	12,365,971
	医薬品費	12,423	2,141	0	0	0	14,564	0	14,564
	診療・療養等材料費	114,023	19,650	0	0	0	133,673	0	133,673
	保健衛生費	1,444,132	248,871	0	0	0	1,693,003	0	1,693,003
	医療費	426	74	0	0	0	500	0	500
	教養娯楽費	433,882	74,772	0	0	0	508,654	0	508,654
	日用品費	1,644,857	283,463	0	0	0	1,928,320	0	1,928,320
	水道光熱費	11,093,358	1,911,751	0	0	0	13,005,109	0	13,005,109
	消耗器具備品費	131,189	22,608	0	0	0	153,797	0	153,797
	保険料	788,977	135,967	0	0	0	924,944	0	924,944
	賃借料	231,103	39,827	0	0	0	270,930	0	270,930
	車輛費	771,918	133,027	0	0	0	904,945	0	904,945
	雑費	29,855	5,145	0	0	0	35,000	0	35,000
	事務費	54,607,336	9,410,645	0	0	0	64,017,981	0	64,017,981
	福利厚生費	1,272,691	219,326	0	0	0	1,492,017	0	1,492,017
	職員被服費	10,750	1,853	0	0	0	12,603	0	12,603
	旅費交通費	423,183	72,928	0	0	0	496,111	0	496,111
研修研究費	376,937	64,959	0	0	0	441,896	0	441,896	
事務消耗品費	342,028	58,943	0	0	0	400,971	0	400,971	
印刷製本費	204,597	35,259	0	0	0	239,856	0	239,856	
修繕費	925,078	159,422	0	0	0	1,084,500	0	1,084,500	
通信運搬費	762,568	131,416	0	0	0	893,984	0	893,984	

神戸キャンパス拠点区分事業活動明細書  
(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		特別養護老人ホーム神戸まどか園	神戸まどか園ショートステイ	神戸まどか園デイサービスセンター	神戸まどか園ヘルパーステーション	神戸まどか園居宅介護支援事業所	合計	内部取引消去	拠点区分合計	
	業務委託費	38,539,062	6,641,550	0	0	0	45,180,612	0	45,180,612	
	手数料	7,778,174	1,340,436	0	0	0	9,118,610	0	9,118,610	
	土地・建物賃借料	1,780,552	306,848	0	0	0	2,087,400	0	2,087,400	
	租税公課	21,581	3,719	0	0	0	25,300	0	25,300	
	保守料	1,797,635	309,792	0	0	0	2,107,427	0	2,107,427	
	渉外費	49,742	8,572	0	0	0	58,314	0	58,314	
	諸会費	322,758	55,622	0	0	0	378,380	0	378,380	
	利用者負担軽減額	179,786	30,983	0	0	0	210,769	0	210,769	
	利用者負担軽減額	179,786	30,983	0	0	0	210,769	0	210,769	
	減価償却費	49,733,705	0	0	0	0	49,733,705	0	49,733,705	
	減価償却費	49,733,705	0	0	0	0	49,733,705	0	49,733,705	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△11,009,873	0	0	0	0	△11,009,873	0	△11,009,873	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△11,009,873	0	0	0	0	△11,009,873	0	△11,009,873	
	徴収不能引当金繰入	333,080	0	0	0	0	333,080	0	333,080	
	徴収不能引当金繰入	333,080	0	0	0	0	333,080	0	333,080	
	サービス活動費用計(2)	395,737,460	61,082,819	0	0	0	456,820,279	0	456,820,279	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	10,797,649	8,529,679	0	0	0	19,327,328	0	19,327,328	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	1,930,504	332,690	0	0	0	2,263,194	0	2,263,194
		借入金利息補助金収益	1,930,504	332,690	0	0	0	2,263,194	0	2,263,194
		受取利息配当金収益	286	49	0	0	0	335	0	335
		受取利息配当金収益	286	49	0	0	0	335	0	335
		その他のサービス活動外収益	1,779,469	306,661	0	0	0	2,086,130	0	2,086,130
		利用者等外給食収益	1,550,012	267,118	0	0	0	1,817,130	0	1,817,130
		雑収益	229,457	39,543	0	0	0	269,000	0	269,000
		サービス活動外収益計(4)	3,710,259	639,400	0	0	0	4,349,659	0	4,349,659
	費用	支払利息	9,000,260	1,551,041	0	0	0	10,551,301	0	10,551,301
		支払利息	9,000,260	1,551,041	0	0	0	10,551,301	0	10,551,301
		その他のサービス活動外費用	3,596,104	461,666	0	0	0	4,057,770	0	4,057,770
		利用者等外給食費	2,678,922	461,666	0	0	0	3,140,588	0	3,140,588
		雑損失	917,182	0	0	0	0	917,182	0	917,182
サービス活動外費用計(5)	12,596,364	2,012,707	0	0	0	14,609,071	0	14,609,071		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△8,886,105	△1,373,307	0	0	0	△10,259,412	0	△10,259,412		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	1,911,544	7,156,372	0	0	0	9,067,916	0	9,067,916		

## 積立金・積立資産明細書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福社会  
拠点区分 法人本部

(単位:円)

区分	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
運営資金積立金	22,000,000			22,000,000	
計	22,000,000	-	-	22,000,000	

(単位:円)

区分	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
退職給付引当資産	8,913,142	1,867,534	2,134,667	8,646,009	退職給付引当金に対応し積立
保険積立資産	48,285,600	3,738,240		52,023,840	役員退職慰労引当金に対応し積立
運営資金積立資産	22,000,000			22,000,000	
計	79,198,742	5,605,774	2,134,667	82,669,849	



## 積立金・積立資産明細書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福社会  
拠点区分 一宮キャンパス

(単位:円)

区分	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
運営資金積立金	68,148,000	15,800,000		83,948,000	
計	68,148,000	15,800,000	-	83,948,000	

(単位:円)

区分	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
退職給付引当資産	23,318,868	10,099,914	7,551,490	25,867,292	退職給付引当金に対応し積立
運営資金積立資産	68,148,000	15,800,000		83,948,000	
計	91,466,868	25,899,914	7,551,490	109,815,292	

## 積立金・積立資産明細書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福社会  
拠点区分 宝塚キャンパス

(単位:円)

区分	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
運営資金積立金	39,200,000	6,000,000		45,200,000	
計	39,200,000	6,000,000	-	45,200,000	

(単位:円)

区分	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
退職給付引当資産	22,374,836	4,221,652	3,278,855	23,317,633	退職給付引当金に対応し積立
運営資金積立資産	39,200,000	6,000,000		45,200,000	
計	61,574,836	10,221,652	3,278,855	68,517,633	

## 積立金・積立資産明細書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福社会  
拠点区分 神戸キャンパス

(単位:円)

区分	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
	-			-	
計	-	-	-	-	

(単位:円)

区分	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
退職給付引当資産	9,248,694	4,733,694	2,514,115	11,468,273	退職給付引当金に対応し積立
計	9,248,694	4,733,694	2,514,115	11,468,273	


# 監査報告書

2021年6月8日


社会福祉法人正久福社会

理事長 上田 芳史 殿

監事

左賀孝介 

監事

上垣博 

私たち監事は、2020年（令和2年）4月1日から2021年（令和3年）3月31日までの2020年度（令和2年度）の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

## 2 監査の結果

### （1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### （2）計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

# 独立監査人の監査報告書


2021年6月4日

社会福祉法人正久福祉会  
理事長 上田 芳史 殿


## R S M 清 和 監 査 法 人

神戸事務所

指定社員  
業務執行社員 公認会計士

坂井 浩史 

指定社員  
業務執行社員 公認会計士

高橋 潔弘 

### <計算関係書類監査>

#### 監査意見

当監査法人は、社会福祉法第45条の28第2項第1号及び社会福祉法施行規則第2条の30第1項の規定に基づく監査に準じて、社会福祉法人正久福祉会の2020年4月1日から2021年3月31日までの2020会計年度の計算関係書類（社会福祉法人会計基準第7条の2第1項第1号イに規定する法人単位貸借対照表、同項第2号イ（1）に規定する法人単位資金収支計算書、同号ロ（1）に規定する法人単位事業活動計算書及び社会福祉法人会計基準第29条第1項に規定する法人全体についての計算書類に対する注記並びにそれらに対応する附属明細書（社会福祉法人会計基準第30条第1項第1号から第3号まで及び第6号並びに第7号に規定する書類に限る。）の項目をいう。以下同じ。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算関係書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠して、当該計算関係書類に係る期間の財産、収支及び純資産の増減の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算関係書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 計算関係書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠して計算関係書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算関係書類を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算関係書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算関係書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

#### 計算関係書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算関係書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算関係書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算関係書類の利

用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算関係書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として計算関係書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算関係書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算関係書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算関係書類の表示、構成及び内容、並びに計算関係書類が基礎となる取引や会計事象を適切に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

## ＜財産目録に対する意見＞

### 財産目録に対する監査意見

当監査法人は、社会福祉法第45条の19第2項及び社会福祉法施行規則第2条の22の規定に基づく監査に準じて、社会福祉法人正久福祉会の2021年3月31日現在の2020会計年度の財産目録（社会福祉法人会計基準第7条の2第1項第1号イに規定する法人単位貸借対照表に対応する項目に限る。以下同じ。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財産目録が、全ての重要な点において、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠しており、法人単位貸借対照表と整合して作成されているものと認める。

### 財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠するとともに、法人単位貸借対照表と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

### 財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠しており、法人単位貸借対照表と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

### 利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。



2021年度（令和3年度）事業計画

部門		法人本部（1）
所在地		兵庫県宍粟市一宮町福知571番地
会議・委員会の種類		・評議員会 ・評議員選任解任委員会 ・理事会 ・運営執行会議 ・業績評価委員会 ・育成評価委員会 ・各専門部会 (ケアマネ・相談・介護・給食・看護・事務)
基本事業		収支差額・増減差額目標の策定。
財務の視点	財政再建への対応	一宮キャンパス建て替えに向けた積立金目標指標の策定を行う。
		収支差額・増減差額目標の策定。
顧客の視点	重要事項説明書・契約書の見直し	改正内容の把握と法令遵守の徹底。
業務プロセスの視点	本部組織のスリム化	肥大化している本部組織をスリム化することで、業務効率化及びキャンパス人件費減に寄与する。
	介護報酬改正への対応	各キャンパスの報酬改正の把握と遵守の確認。
	人事評価（業績評価、育成評価）制度の再構築	人事評価（業績評価、育成評価）制度の見直しを行う。
学習と成長の視点	働き方改革への対応	給与規程・非常勤給与規程の見直しを行う。



経営計画(2021年4月～2022年3月末)  
法人本部(1)

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
財務の視点	目標指標策定	一宮キャンパス建て替えに向けた積立金目標指標の策定を行う。	目標計画作成	作成実績	仁尾	仁尾	4月～随時実行	
	目標指標策定	収支差額・増減差額目標の策定。	目標計画作成	作成実績	仁尾	仁尾	4月～随時実行	
顧客の視点	重要事項説明書・契約書の見直し	各事業の重要事項説明書・契約書について、3キャンパス統一様式で全面改訂行う。	法人内様式・手続統一		高尾	制度政策係 相談部会	相談員部会において4月～原案をもとに検討行い、年度内に改訂	
業務プロセスの視点	タイムリーな介護報酬情報の収集と共有	日々の情報収集・各担当者へタイムリーな情報提供・提案を行う。	法人内様式・手続統一		高尾	制度政策係	4月～随時実行	
	介護報酬改正に伴う法令遵守事項の確認	改正内容の把握と法令遵守の徹底。	介護報酬の解釈		岩崎・高尾	法令遵守係 制度政策係	4月～随時実行	
	人事評価(業績評価、育成評価)制度の再構築	昨年度に引き続き、人事評価(業績評価、育成評価)制度の見直しを行う。	人事評価制度再構築	構築実績	白井	業務評価 育成評価 委員会	4月委員会の再編 4月～随時実行	
学習の視点と成長	働き方改革への対応	給与規程・非常勤給与規程の見直しを行う。	規程見直し	改定案理事会上程	仁尾	仁尾	4月～随時実行	

2021年度（令和3年度）事業計画

部門		法人本部（2）
所在地		兵庫県宍粟市一宮町福知571
会議・委員会の種類		職員採用（求人活動会議・外国人対策会議）
		育成・研修会議（新卒・外国人労働者《技能・生活》）
		外国人対策会議（技能実習・介護留学・特定技能）
基本事業		独自実施事業
地域貢献の 視点	福祉人材の育成	中学校、高等学校、大学等教育機関において、人の暮らしや生活を支える仕事の重要性を福祉現場から発信する。
		兵庫県福祉人材センターとの連絡調整を行い福祉体験学習受け入れ施設として地域の福祉人材の育成に貢献する。
	外国人人材の研究と対策	外国人労働者が介護分野で就労する実態調査を行い介護人材の確保に繋げる。また、受け入れ先国に対して、日本の福祉や介護の専門性を要請に応じて対応できる準備を行う。
財務の視点	財政再建への対応	本部一体的運用。
顧客の視点	標準的介護能力の育成	育成担当で積み上げてきた職員育成システムを稼働させて、指導される側と指導する側が同一の指導指標によってコミュニケーションを取りながら育成・評価を可視化によって納得して貰える育成に努める。
業務プロセスの視点	人材育成体制の構築	育成・研修部と各キャンパスが研修内容、協力体制、役割分担を明確化や情報の共有によって新たな育成・指導体制の構築を目指す。
学習と成長の視点	スキルアップ支援	介護福祉士国家試験対策に向けて、対象者に対する受験支援を行う。また、介護能力のスキルアップに向けた情報提供を行う。
		外国人労働者に対して、各種検定試験等の支援を行う。

経営計画(2021年4月～2022年3月末)  
法人本部(2)

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
地域の 視点 貢献	福祉教育	中学校のトライやるウィークの受入れや高等専門学校及び大学等と連携して福祉教育に携わる。また、福祉体験学習受入施設登録を行う。	依頼内容	関り件数	出口	※	4月から随時	
	福祉人材確保とグローバル活動	ベトナム共和国をはじめ近隣国の送り出し機関と良好な関係づくりを行い、特定技能介護制度での人材確保を目指す。	依頼内容	関り件数	出口	※	随時調整	
		外国人労働者の受け入れ制度の研究とアジアを中心に人材確保の情報収集を現地視察を含めて調査活動を行う。	研究・調査内容	提言の作成	出口	※	インドネシア、ネパール、ミャンマー、フィリピン等の調査	
財務 の 視点		(本部一体的運用)						
顧客 の 視点	標準的介護能力の育成	法人の育成計画に基づく介護人材の育成を行う。	年間計画	計画執行状況	小林	各施設チーフ 担当者	4月から随時	
		法人独自の育成・評価システムを活用して技術取得状況を把握する。	Gまでかで、3・6・10ヶ月で評価	Gまでか	小林	各施設チーフ 担当者	6月から随時	
		外国人労働者が、介護人材として標準的な能力の習得に対する指導・育成・評価を行う。	Gまでかで、3・6・10ヶ月で評価	Gまでか及び チェックリスト	出口	小林	配属から1年	
業務 プロ セス の 視点	人材の育成の体制の構築	施設指導リーダーの育成を含めた指導者支援を行う。	担当者会議	進捗状況	小林	各施設チーフ 担当者	4月から通年	
		法人全体計画の進捗調整と施設指導・育成活動への助言を行う。	担当者会議	進捗状況	小林	各施設チーフ 担当者	4月から通年	
		外国人労働者の採用に関する計画や指導・育成に関する情報の共有を行う。	担当者会議	進捗状況	出口	小林	4月から通年	
学 習 と 成 長 の 視点	資格取得支援	介護福祉士国家試験の受験支援(過去問等の準備・配布)を行う。	受験者への資料提供	10回程度	※	※	6月から1月	
		専門職としてのスキルアップを支援する。	キャンパスへの情報提供	随時	※	※	4月から通年	
		技能実習生の初級試験及び専門試験受験支援を行う。	過去問題と技術指導	検定試験合格	出口	施設実習責任 者	受験申請後3ヶ月	

## 2021年度（令和3年度）事業計画

部門	特別養護老人ホームまどか園 まどか園ショートステイ	
所在地	兵庫県宍粟市一宮町福知1030番地1	
会議・委員会の種類	運営委員会、接遇向上委員会、苦情解決委員会、個人情報保護委員会、感染症対策、衛生委員会、フェスティバル実行委員会、広報委員会、リーダー会議、給食会議、適正化委員会、口腔ケア委員会、入所計画委員会、サービス担当者会議	
基本事業	独自実施事業	
地域貢献の視点	自然災害時、感染症拡大時の事業継続	災害時、感染症蔓延時の双方に対応した事業継続計画の見直し。  事業継続計画の周知と試行。（事業所内及び地域に対して）
	地域行事への参加と盆会の開催	近隣で開催される行事への参加。 新しいスタイルの盆会を各団体と協議し実施する。
財務の視点	収入安定の為の稼働率維持	相談員の調整力向上による新規SS利用者の獲得。 新館の顧客対応力強化。（デイ棟の活用を含め）
	介護用品費の削減	リフレのパット使用に関する研修研究と費用削減。
	栄養マネジメント強化加算算定	科学的介護記録の活用と算定開始。
顧客の視点	オンライン面会の充実	オンライン面会の対応者を増やし、相談、介護、看護の情報を引受人と共有する機会とする。
	衣(医)食住の基本生活の向上	居室への入室時のマナー再構築と離床後の寝具、衣類の整理整頓。
		調理のこだわりを利用者に伝え、食べる楽しみを増やす。  歯科医・看護・介護が共同で口腔ケアを推進し、高リスク者への対応を強化する。 基礎疾患の把握と体調変化への対応強化。
業務プロセスの視点	「ほのぼの」の活用範囲拡大	居室担当による生活記録拡大とモニタリング実践。 食事量、服薬情報、体重の入力開始。
	働き方改革の推進とシフト毎の役割の明確化	勤務表作成時の人員の過不足による業務量調整と夜勤の必要時間帯の再検討。
	業績評価・育成評価の実現	業績評価、育成評価の仕組みを理解し、公平かつ適切な職員評価の実施。
学習と成長の視点	介護福祉士と介護支援専門員への受験に向けたサポート	介護福祉士受験に向けたサポート。 介護支援専門員の受験に向けたサポート。
	サブリーダーの育成	サブリーダーを育成し、4名体制を維持する。
	園内研修の修正	メディパスアカデミーの試験的導入による研修体制の再検討。 （新人研修と協調した上で）
	日本語教育の仕組みを作り	職員や地域の協力による日本語教育の仕組みを作り、2期生の早期自立と1期生の特定技能移行を推進する。

経営計画(2021年4月～2022年3月末)  
特別養護老人ホームまどか園・まどか園ショートステイ

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
地域の 視点 貢献	自然災害時、感染症拡大時の 事業継続	災害時、感染症蔓延時の双方に対応した事業継続 計画の見直し。	計画見直し時期	7月末完了	上山施設長	小田設備	感染症対応を再度整理し、BCPと連携させる。 緊急時訓練実施後、必要事項を修正。	
		事業継続計画の周知と試行。(事業所内と地域)	説明回数	園内2回 地域の会議1回 緊急時訓練1回	上山施設長	濱田栄養士 小田設備	完成後に運営委員への周知を実施。(下期中) 地域への説明。(8月) 弁当配膳訓練と間仕切り設置訓練実施。(5月)	
	地域行事への参加と盆会の開 催	近隣で開催される行事への参加。 新しいスタイルの盆会を各団体と協議し実施する。	参加回数 盆会の実施	年間3回以上 盆会8月	上山施設長	和田相談員 中島相談員	運営推進会議にて地域行事開催情報を収集(2か月に1回) 地域行事への職員、利用者の参加	
財務 の 視点	収入安定の為の稼働率維持	相談員の調整力向上による新規SS利用者の獲得。 新館の顧客対応力強化。(デイ棟の活用を含め)	合算稼働率	年間97.2%	上山施設長	中島相談員 上川サブ 西浦介護員	ケアマネへの空き情報の定期的情報提供開始。(4月～) デイサービスのレクリエーション技術を導入。(4月～) デイサービスの浴室の活用開始。(上期～)	
	介護用品費の削減	リフレのパット使用に関する研修研究と費用削減。	介護用品費削減 額(前年比)	オムツ費用 (-50万)	武田主任	サブリーダー	リフレ講師によるサポート研修の開催と参加。(年間を通じて) 4半期ごとの経費確認の実施。	
	栄養マネジメント強化加算算定	科学的介護記録の活用と算定開始。	加算算定	下期から算定 (特養)	上山施設長	船積栄養士 和田相談員 川上主任	食事代変更の時期に合わせて算定開始。(8月頃)	
顧客 の 視点	オンライン面会の充実	オンライン面会の対応者を増やし、相談、介護、看護 の情報を引受人と共有する機会とする。	Wi-Fi整備箇所 対応者数	2か所 8名以上	上山施設長	下川事務 サブリーダー	新館・別館のWi-Fi整備を7月までに実施。(7月まで) サブリーダーのオンライン面会練習。(10月末まで)	
	衣(医)食住の基本生活の向上	居室への入室時のマナー再構築と離床後の寝具、衣 類の整理整頓。	職員アンケート	改善の実感 (上期6割以上 下期8割以上)	武田主任	平山主任 サブリーダー	全介護職員への説明を実施。(4月) 年間2回のアンケート実施と評価。	
		調理のこだわりを利用者に伝え、食べる楽しみを増や す。	館内放送回数 広報誌掲載回数	放送年間30回 広報誌2回	船積栄養士	中本サブ	行事食を中心に、食事前に館内放送にて発信。(年間30回以上) 広報誌紙面にてご家族へ発信。(上期下期に1回ずつ)	
	歯科医・看護・介護が共同で口腔ケアを推進し、高リ スク者への対応を強化する。 基礎疾患の把握と体調変化への対応強化。	①委員会の開催 ②高リスク対象者 数	①月2回 ②平均月15名	川上主任	全看護師	口腔ケア委員会の定期開催。(月2回、うち一回は勉強会含む) 体調悪化の高リスク者をリスト化し重点ケア実施。(8月～)		
業務 プ ロ セ ス の 視 点	「ほのぼの」の活用範囲拡大	居室担当による生活記録拡大とモニタリング実践。 食事量、服薬情報、体重の入力開始。	各記録の入力状 況	6月から開始	上山施設長	和田相談員 川上主任 武田主任	居室担当者による中間モニタリング実施。(6月～) 生活記録(ケース、食事量、服薬情報、体重)の入力拡大。(上期～)	
	働き方改革の推進とシフト毎の 役割の明確化	勤務表作成時の人員の過不足による業務量調整と夜 勤の必要時間帯の再検討。	職員アンケート	改善の実感 (6割以上)	上山施設長	武田主任 サブリーダー 下川事務	職員過不足がわかるように勤務表の書式を修正。(上期中) 最低限の業務と人員を意識した勤務表作成開始。(上期中) 夜勤者への職員アンケートの実施と評価。(下期)	
	業績評価・育成評価の実現	業績評価、育成評価の仕組みを理解し、公平かつな 適切な職員評価の実施。	評価者への研修	年間6回	上山施設長	武田主任 平山主任	部下を持つ職員全員が年間で2回以上参加。	
学 習 と 成 長 の 視 点	介護福祉士と介護支援専門員 への受験に向けたサポート	介護福祉士受験に向けたサポート。 介護支援専門員の受験に向けたサポート。	合格者	介護福祉士2名 支援専門員1名	上山施設長	武田主任	介護福祉士受験希望者への支援を実施。(下期に5回以上) 介護支援専門員受験者への支援を実施。(9月までに3回以上)	
	サブリーダーの育成	サブリーダーを育成し、4名体制を維持する。	新サブリーダーの 育成	1名以上	上山施設長	武田主任	リーダー研修を実施し、上期1名、下期1名を育成する。	
	園内研修の修正	メディパスアカデミーの試験的導入による研修体制の 再検討。(新人研修と協調した上で)	研修の実施	下期に1回	上山施設長	中野サブ	宝塚と協力し、下期中に試験実施し、園内研修の基礎を再構築す る。	
	日本語教育の実施と職員交流 を促進し、外国人労働者の生 活力向上を図る。	職員や地域の協力による日本語教育を実施。 社内報を活用し、職員情報を広める。	①特定技能移行者 ②夜勤実習開始者 ③社内報発行	①2名以上 ②3名 ③年間4回	上山施設長	村上サブ 平山主任	地域の協力者の発掘。(6月まで) 職員が実施する日本語教育の仕組み作り。(上期中) キャンパス内への職員紹介を進める。	

## 2021年度（令和3年度）事業計画

部門		まどか園在宅介護支援センター
所在地		兵庫県宍粟市一宮町福知1065番地
会議・委員会の種類		部署長会議、運営委員会、衛生管理委員会、感染症対策委員会、育成評価委員会、居宅事業所会議、盆会委員会、地域包括ケア会議、自立支援サポート会議、事業所連絡会、介護支援専門員部会、宍粟市ケアマネ連絡会
基本事業		独自実施事業
地域貢献の視点	地域包括ケアシステムの推進	多様な主体等が提供する生活支援のサービス（インフォーマルサービスを含む）が提供できる包括的な居宅サービス計画を作成し、住み慣れた地域で安心して在宅生活が継続できるようにします。
	日頃からの周辺地域や近隣住民との連携	災害への対応については地域との連携が不可欠であることを踏まえ、事業所周辺の地域行事の参加などによる交流、利用者の住む近隣住民へ協力を依頼するなど、日頃からの関係づくりをします。
財務の視点	財政再建への対応	特定事業所加算Ⅲを取得できる体制づくりをします。
		感染予防対策をとりながら、ミニデイサービス定期利用者の利用人数を増やしていきいます。
		物品購入や修繕の際に、複数業者価格・品質・内容比較し、コストパフォーマンスが高いものを選択していきます。
顧客の視点	公平中立なケアプランの策定	公平中立性の確保を図る観点からケアプランにおける訪問介護、通所介護、地域密着型通所介護、福祉用具貸与の各サービスの利用割合と同一事業者によって提供されたものの割合を情報公開、利用者へ説明していきいます。特別地域居宅介護支援加算を受けており特定事業所集中減算対象ではないが紹介率が80%を超えている場合は他法人事業所の紹介を行い80%を超えないようにします。
	感染症や災害が発生した場合の必要なサービス継続提供できる体制の構築	キャンパス内の災害時の事業継続計画をもとに、事業所内の事業継続計画の策定・研修実施・訓練、地域包括支援センターと連携して個別行動要支援者のための個別支援計画を居宅サービス計画にいれこみます。
業務プロセスの視点	総合的な支援で在宅生活継続	課業の確認を行い、利用者が在宅生活を継続できる最適で、丁寧な居宅サービス計画が作成調整できるようにします。
	感染症対策の強化	感染症対策委員会の参加、事業所内会議により情報共有し、指針の整備や研修を行います。利用者・家族にも情報提供し、感染症や災害発生時でも生活が継続できるよう日頃から相談・対応の検討をします。
学習と成長の視点	研修への積極的な参加	地域包括支援センター、宍粟市保健福祉課、宍粟市ケアマネ会が主催する研修に積極的に参加します。
	事例検討等によりスキルアップ	必要に応じて利用者に関する情報またはサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした事業所内会議を開催します。

経営計画(2021年4月～2022年3月末)  
まどか園在宅介護支援センター

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
地域の視点	包括的な居宅サービス計画作成	利用者・家族にさせていただくことやインフォーマルサービスを含む居宅サービス計画書を作成。	計画書作成数	計画書見直し毎月	平岩	ケアマネ全員	担当者会議、計画書見直しの際に利用者・家族にさせていただくことやインフォーマルサービスを確認する。	
	事業所内会議で計画書評価	事業所内会議開催。	開催数	月1回	平岩	ケアマネ全員	事業所内会議で各担当の計画書のサービス内容を確認し包括的なサービス計画ができていくかを評価。	
	自治会交流	自治会行事参加、キャンパス行事参加。	行事参加数	年2回	平岩	平岩、中本	行事参加し日頃から顔の見える関係づくり。	
	利用者近隣住民の協力的体制づくり	計画作成、見直し毎に必要に応じて近隣住民の協力的体制づくりの必要性を検討し、必要であれば協力的体制づくり。	計画書作成数	計画書見直し毎月	平岩	ケアマネ全員	利用者近隣住民へ家族より協力的体制づくりを依頼していただき、必要に応じてケアマネからも協力的体制づくりを依頼する。	
財務の視点	財政再建への対応	特定事業所加算Ⅲを取得できる体制を整えます。	体制確認	体制確認	平岩	ケアマネ全員	来年度に向けて体制を整えます。	
	ミニデイ利用者数確保	ミニデイ定期利用者数増。	利用者数	月38名参加	平岩	ケアマネ全員	感染症が落ち着けば訪問ミニデイ参加呼びかけ、休みが続いている方を地域包括ケアマネに報告し参加呼びかけ。	
	経費削減	事業費を予算内で実行。	予算内運営	物品購入・修繕など都度	平岩	ケアマネ全員	物品購入、修繕時のコストパフォーマンス比較。	
	公平中立なケアプランの策定	情報公開、利用者へ説明。	紹介率が80%を超えないよう調整	年2回	平岩	ケアマネ全員	訪問介護、通所介護、地域密着型通所介護、福祉用具貸与の各サービスの利用割合と同一事業者によって提供されたものの割合を情報公開、利用者へ説明。	
顧客の視点	感染症や災害への対応	感染症や災害が発生した場合であっても必要なサービスが継続的に提供できる体制の構築。	計画策定	年度内計画策定	平岩	平岩	事業所内の事業継続計画の策定・研修実施・訓練。	
	居宅サービス計画の見直し	課業確認、居宅サービス計画書の確認。	計画書作成数	計画書見直し毎月	平岩	ケアマネ全員	担当利用者には地域包括支援センターと連携して個別行動要支援者のための個別支援計画を居宅サービス計画に入れ込む。	
業務の視点	居宅サービス計画の見直し	利用者や家族と平時から感染症や災害発生時でも生活が継続できるよう相談や対応の検討を行う。	新規計画作成数	月1回	平岩	新規計画作成者	課業の確認、事業所内会議で業務が適正に行え、包括的な居宅サービス計画が作成出来ているかの確認。	
	居宅サービス計画の見直し	利用者や家族と平時から感染症や災害発生時でも生活が継続できるよう相談や対応の検討を行う。	計画書作成数	計画書見直し毎月	平岩	ケアマネ全員	感染状況などの情報共有・情報提供。事業所内の事業継続計画の策定・研修実施。日頃から利用者・家族と感染症や災害発生時相談・対応の検討。	
学習の視点	基礎知識の向上	介護支援専門員としての基礎的な研修を受ける。	研修開催数	年3回	平岩	ケアマネ全員	地域包括支援センター、茨城県保健福祉課、茨城県ケアマネ協会が主催する研修に参加。	
	情報共有、介護支援専門員としてのスキルアップ	介護支援専門員としての資質の向上。	計画書作成数	月1回	平岩	ケアマネ全員	事業所内会議で情報共有、留意事項や伝達、事例検討などをします。	

2021年度（令和3年度）事業計画

部門		まどか園ヘルパーステーション
所在地		兵庫県宍粟市一宮町福知1030番地1
会議・委員会の種類		部署長会議・運営委員会・衛生委員会・感染症対策委員会
基本事業		独自実施事業
地域貢献の 視点	事業継続計画の早期作成	感染症の影響が少ない事業継続計画を作成し、在宅生活を支援する。
	地域交流行事への参加	盆会、福知自治会行事等への参加を行い、地域交流を図る。
財務の視点	財政再建への対応	時間帯による訪問件数差を減らす。
		公用車のメンテナンスを強化し、修繕費軽減を図る。
顧客の視点	看取り介護を強化	看取り介護に対応できる職員を増やす。
	利用者の意向の実現	地域特有の不便さを解消する為、可能な限り意向に寄り添う。
業務プロセスの視点	登録ヘルパーの遠方訪問	遠方の訪問に対応出来るよう要領の見直し。
	計画的な有給消化	長期休暇が取得できる勤務への体制作りを目指す。
学習と成長 の視点	高齢者虐待防止法・個人情報保護法の法令遵守の徹底	高齢者虐待・個人情報保護に関する研修の徹底。携帯使用時の注意事項の徹底。
	看取り介護研修を増やす	外部の訪問看護へ依頼し研修を行う事で、看取り介護に強い職員を増やす。
	研修を受ける環境を整える	空き時間での研修を止め開催日時を守り勤務表と訪問調整を行う。



経営計画(2021年4月～2022年3月末)  
まどか園ヘルパーステーション

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
地域の 視点 貢献	事業継続計画の早期実現	事業継続計画の作成。	作成	6月	檀山	檀山	4月ひな形に添って作成、5月助言を仰ぎ修正、6月完成を目指す。	
	地域交流行事への参加	盆会、福知もみじ祭り開催時に参加。	参加回数	開催回数	檀山	春田	8月盆会、11月福知もみじ祭りがあれば参加し、地域の方との交流を図る。	
財務 の 視点	財政再建への対応	時間帯による訪問件数差を減らす。	訪問件数	空き時間の減少	檀山	檀山	月の中旬に近隣事業所へ空き情報を送り訪問を増やす。	
		公用車の修繕費軽減。	経費削減	予算以下	檀山	使用職員	設備の点検とは別に、使用職員が日程を調整し3ヶ月に1回、点検の為に運転を依頼し早期発見に繋げる。	
顧客 の 視点	看取り介護を強化	対応出来る職員を増やす。	職員数	職員全員	檀山	春田	現在対応出来る職員で訪問を受け付け、同行を増やし実践を積む。	
	利用者の意向を実現	可能な限り利用者の意向を実現。	訪問件数	訪問件数	檀山	檀山	買い物支援、処方薬の受け取り、デイの送り出しなど対応を断らない。	
業務 の 視点 プロセ	登録ヘルパーの遠方訪問	遠方の訪問へ対応出来るよう要領の見直し。	要領の変更	交通費の設定	檀山	檀山	市内他事業所を参考に、助言を仰ぎながら年内の設定を目指す。	
	計画的な有給消化	長期休暇の実現。	有給消化率	4日以上	檀山	檀山	職員への聞き取りを行い、早期に計画し、訪問など調整をしていく。	
学習 の 視点 成長	高齢者虐待防止法・個人情報保護法の法令遵守の徹底	高齢者虐待防止研修、個人情報保護研修の徹底。	研修参加	全員参加	檀山	檀山	ヘルパー研修を活用し職員全員で学ぶ。	
	看取り介護研修を増やす	看取り介護に強い職員を増やす。	研修参加	全員参加	檀山	春田	年2回、外部講師(コスモス訪問看護ステーション)を依頼し利用者や家族の思いを学ぶ。	
	研修を受ける環境を整える	勤務表と訪問の調整。	設定に開催	第3水曜日開催	檀山	檀山	勤務表作成時、全職員の出勤を調整し、可能な限り訪問を調整する。	

2021年度（令和3年度）事業計画

部門		グループホームまどか園 まどか園デイサービスセンター（休止中）
所在地		兵庫県宍粟市一宮町福知1029番地
会議・委員会の種類		<ul style="list-style-type: none"> <li>・西担当者会議</li> <li>・東担当者会議</li> <li>・全体会議</li> <li>・運営推進会議（身体拘束適正化委員会）</li> <li>・運営委員会</li> <li>・衛生委員会</li> <li>・感染症対策委員会</li> <li>・口腔ケア委員会</li> <li>・給食会議</li> </ul>
基本事業		独自実施事業
地域貢献の視点	効率的なサービス利用促進	GH利用者で特養移動可能者の順位付けを行い、特養担当者と調整する流れを実行する。
	地域交流の促進	福知運動会・ふれあい喫茶・秋祭り・入所者出身地域行事参加など、コロナ禍が終息した時に再開する。
	サービス利用の情報提供	市内4箇所のGHでの連携を続け、情報の交換・発信にて、地域への情報提供へ繋げる。
財務の視点	財政再建への対応	稼働率を安定させるため、待機者確保と特養との連携移動を積極的に実施し、稼働率安定を図る。
		常勤職員・夜勤専従職員の確保する。
		介護報酬の改定に伴い、算定できる加算は、積極的に申請する。
顧客の視点	4DASの促進	ご家族面会時に情報収集・提供を行う。
	GHに最適な対象者への情報提供	地域のケアマネの全事業所へグループホームまどか園の情報を持って訪問する。
	キャンパス内の情報共有	入所待機者・潜在利用者情報をキャンパス内で情報共有を行う。
業務プロセスの視点	緊急時対応の整備	一宮キャンパス事業継続計画に積極的に参画して、入居者が安心して暮らせる体制作りを行う。
	介護関連無資格者に資格取得の奨励	介護保険制度に基づき、積極的に介護関連資格取得の支援を行う。
	業務の見直しの実施	シフト表の見直しを行うと併に業務の見直しを行う。
学習と成長の視点	認知症研修の継続実施	GH内での認知症勉強会を隔月に開催する。
	介護福祉士の養成	実務者研修への受講支援と育成・研修部と呼応した介護福祉士資格取得支援を行う。
	外部の認知症研修への参加	研修部の行う高齢者虐待・個人情報保護関連の研修に全員が年2回以上参加する。

経営計画(2021年4月～2022年3月末)  
グループホームまどか園・まどか園デイサービスセンター(休止中)

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
地域の 視点 貢献	効率的なサービス利用促進	GH利用者で特養移動可能者の順位付けを行い、特養担当者調整する流れを実行する。	入れ替え回数	年間3名	岩崎	栢橋	GH利用者で特養移動可能者の順位付けを行い、特養待機者やロングショート利用者との入れ替えを積極的に行う。	
	地域交流の促進	コロナ禍が終息した時に施設行事・担当利用者行事単位で地域行事などに参加する。	実施回数	5回	栢橋	居室担当	福知運動会・ふれあい喫茶・秋祭り・入所者出身地域行事参加など。	
	サービス利用の情報提供	市内4箇所のGHでの連携を続け、情報の交換・発信にて、地域への情報提供へ繋げる。	実施回数	6回	岩崎	栢橋	宍粟市GH連絡会に参加し、情報交換や情報発信を行い、地域への情報提供につなげていく。	
財務 の 視点	財政再建への対応	稼働率を安定させるため、待機者確保と特養との連携移動を積極的に実施する。	GH稼働率	平均稼働率 99.4%	岩崎	栢橋	体調変化が出た場合には、速やかに医療へつなげる。特養との利用者入れ替えを空きベッドなしで行う。	
		常勤職員又は、夜勤専従職員の確保する。	人員	1名	岩崎	栢橋	常勤職員又は、夜勤専従職員を採用し、シフトの安定を図る。	
		介護報酬の改定に伴い、算定できる加算は、積極的に申請する。	加算数	1回以上	岩崎	栢橋	R3.4の介護報酬改正に伴い、新たな加算を1以上申請する。	
顧客 の 視点	4DASの促進	ご家族面会時に情報収集・提供を行う。	4DASシート	全利用者作成	栢橋	居室担当	ご家族面会時に居室担当者が、GHの暮らしの様子の提供時に情報収集・提供を行う。	
	GHに最適な対象者への情報提供	地域のケアマネの全事業所へグループホームまどか園の情報を持って訪問する。	実施回数	1回	岩崎	栢橋	地域のケアマネの全事業所へグループホームまどか園の情報を持って訪問を行う。	
	キャンパス内の情報共有	入所待機者・潜在利用者情報をキャンパス内で情報共有を行う。	待機者管理	有効待機者2名	岩崎	栢橋	順番が来ればすぐ入所可能な待機者を常時2名確保する。	
業務 プロセス の 視点	緊急時対応の整備	一宮キャンパス事業継続計画に積極的に参画して、入居者が安心して暮らせる体制作りを行う。	計画参画	年4回	岩崎	栢橋	年4回、計画の周知と防火訓練時に再度確認をする。	
	介護関連無資格者に資格取得の奨励	介護保険制度に基づき、積極的に介護関連資格取得の支援を行う。	資格取得数	1名以上	岩崎	栢橋	3年間の経過措置があるが、シフトや行事などを考慮して、順次実施していく。国の研修と初任者研修とを比較して、良い方に参加する。	
	業務の見直しの実施	シフト表の見直しを行うと共に業務の見直しを行う。	回数	12回	栢橋	岩崎	多様なシフトの作成や見直しを行うと同時に業務の見直しも行っていく。	
学習 の 視点 と 成長	認知症研修の継続実施	GH内での認知症勉強会を隔月開催する。	回数	2か月に1回	栢橋	栢橋	隔月に定期開催。	
	介護福祉士の養成	実務者研修への受講支援と育成・研修部と呼応した介護福祉士資格取得支援を行う。	人数	2名	栢橋	岩崎	2名以上の職員が介護福祉士受験できるように支援。	
	外部の認知症研修への参加	研修部の行う高齢者虐待・個人情報保護関連の研修に全員が年2回以上参加する。	全員	2回以上	栢橋	柴原	①何が不適切ケアに該当するかを学び、②スマホ等の使用を含め個人情報の漏洩の危険を知る。③不適切ケアの広がりの本質を学び、蔓延を阻止する風土を作る。	

2021年度（令和3年度）事業計画

部門		特別養護老人ホーム宝塚まどか園 宝塚まどか園ショートステイ
所在地		兵庫県宝塚市美座2丁目22番2号
会議・委員会の種類		<ul style="list-style-type: none"> <li>●会議 運営委員会、主任会議、リーダー会議</li> <li>●委員会 入居計画委員会、感染症対策委員会、事故防止委員会、身体的拘束適正化推進委員会、高齢者虐待防止委員会、安全対策委員会、給食会議、褥瘡対策委員会、広報委員会</li> <li>●外部 県老協（阪神ブロック）、宝塚市介護保険事業者協会、社会福祉法人連絡協議会、ボランティアセンター（社会福祉協議会）、美座コミュニティ運営委員会、防災対策委員会（コミュニティ美座）、ネットワーク会議、福祉避難所連絡協議会</li> </ul>
基本事業		独自実施事業
地域貢献の視点	まどかブランドの構築	①コロナ禍終息後の安心ほっとステーションとしての機能回復。 ②各種団体（自治会・コミュニティ・学校・老人会・子ども会）との連携を深める。
	地域住民の居場所作り	①こども食堂の実施。 ②いきいき百歳体操の会場提供。 ③トライやるウィークの受入れ。
財務の視点	重要加算の取得	栄養ケアマネジメント強化加算等の栄養士にかかる加算算定要件を満たす。
	稼働率の安定化	①新規顧客の開拓。 ②緊急ショート受け入れへの整備。
	経費の節減	①利用者重度化のなか事業費支出の維持への取り組み。（介護用品、日用品、水道光熱費の見直しによるコスト削減） ②事務費支出の削減への取り組み。（事務消耗品の見直しによるコスト削減）
顧客の視点	科学的介護への取り組み	「ほのぼの」のLIFEに必要項目の入力を行い、専門職による評価によるケアマネジメントサイクルを作る。
	褥瘡予防の強化	褥瘡予防機器を導入し、褥瘡予防計画に基づき褥瘡患者の減少を図る。
	介護記録の充実・発展	家族への記録の送付内容の見直し。
業務プロセスの視点	業務効率化の実施	日常の業務を見直し業務削減できるものを検討し、業務削減及び適正な職員配置を行う。
	事業継続計画（BCP）の作成	自然災害やパンデミックによる脅威に対して事業継続計画を作成する。
	ノーリフティングケアの導入	介護機器を導入し、業務の改善。 ①入浴リフトの導入。 ②移乗リフト導入の体系化。

学習と成長 の視点	介護基礎知識の向上	①OJTトレーナー研修実施による、OJTトレーナーの育成。 ②新人職員が学ぶレベルの知識について全職員へ再研修の実施。
	Eラーニングを活用した、 園内研修の体系化	メディパスアカデミーのEラーニングシステムを活用し、年間研修計画を策定のうえ、年間を通じてWEB上で進捗管理を実施する。
	資格取得者の増加	キャリアアップにつながる資格取得の推進。 (①介護福祉士・介護職員初任者研修・介護福祉士実務者研修等・介護支援専門員・②ユニットリーダー研修)
	財務知識の向上	相談部門に対する施設財務に関する研修会の定期開催。

経営計画(2021年4月～2022年3月末)  
特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
地域の視 点	まどかブランドの構築	①コロナ禍終息後の安心ほっとステーションとしての機能回復。 ②各種団体(自治会・コミュニティ・学校・老人会・子ども会)との連携を深める。	各種会議、行事参加回数	会議、行事への参加	出水施設長	川元サブリーダー	・各種団体と連携した地域交流事業の継続的実施:通年(コロナ禍終息後) ・美座コミュニティ会議、こども食堂運営会議等定例会議、防災ネットワーク会議等に参加:通年(コロナ禍終息後)	
	地域住民の居場所作り	①こども食堂の実施。 ②いきいき百歳体操の会場提供。 ③トライやるウィークの受入れ。	①②実施回数 ③受入学校数	①月1回 ②毎週1回 ③受入2校	出水施設長	戴喫茶担当 植村栄養士 北野サブリーダー	①こども食堂を月1回、土曜日に開催し、運営する ②いきいき百歳体操:毎週月曜日、1階ホール提供 ③トライやるウィークを5・6月に2校から受入れ	
財務の視 点	重要加算の取得	栄養ケアマネジメント強化加算等の栄養士にかかる加算算定要件を満たす。	加算の算定	栄養ケアマネジメント強化加算の取得	出水施設長	植村栄養士	算定要件の課題調整:4月～6月 栄養士の採用:7月 加算の算定:9月	
	稼働率の安定化	①新規顧客の開拓。 ②緊急ショート受け入れへの整備。	稼働率	合計稼働率 97.5%	中田主任	北野サブリーダー	①営業(電話連絡含)の実施:半期に1回 ②緊急受入態勢の強化:通年	
		入院者減少への取り組み。	入院者数	年1000人以下	出水施設長	山下フサブリーダー 飯屋サブリーダー	誤嚥性肺炎予防のチェックリストの配布:4月 チェックリストの理解度テストの実施:5月 毎月医務で入院原因の分析を実施し、運営委員会にて報告する:通年	
経費の節減	①利用者重度化のなか事業費支出の維持への取り組み。(介護用品、日用品、水道光熱費の見直しによるコスト削減) ②事務費支出の削減への取り組み。(事務消耗品の見直しによるコスト削減)	①5か年比較による削減額 ②前年度比較による削減額	①前年比の維持 ②前年比2%削減	出水施設長	川元リーダー 高村主任	①・5か年の比較表の継続作成:通年 ・組ごとの使用量について認識浸透:毎月の運営会議 ②・定期使用の事務消耗品の使用状況の比較表作成:通年 ・事務用品等の見直しの実施:通年		
顧客の視 点	科学的介護への取り組み	「ほのぼの」のLIFEに必要な項目の入力を行い、専門職による評価によるケアマネジメントサイクルを作る。	加算の算定	科学的介護推進体制加算の取得	三枝ケアマネ 宇都ケアマネ	原一主任 植村栄養士 土屋機能訓練 細川看護職員	LIFEに係る記録関連の調査:4月 記録関係の整備:4月～7月 記録実施内容の見直し:8月 加算の取得:9月	
	褥瘡予防の強化	褥瘡予防機器を導入し、褥瘡予防計画に基づき褥瘡患者の減少を図る。	褥瘡者数	昨年対比5%減	山下リーダー	山下和看護職員 引間看護職員 土屋機能訓練	自動体位変換エアマットの使用評価:4月～7月 体位変換シートの使用定着:4月～7月 褥瘡予防ケアマネジメントの実施:通年	
	介護記録の充実・発展	家族への記録の送付内容の見直し。	暮らしのご様子	発送記録の見直し	中田主任	北野サブリーダー 宇都ケアマネ	家族への記録送付内容について検討:上期 家族への案内を行い記録内容の変更:下期	
業務プロ セスの視 点	業務効率化の実施	日常の業務を見直し業務削減できるものを検討し、業務削減及び適正な職員配置を行う。	時間外労働の削減	月の時間外労働費用20万円以下削減	出水施設長	原主任 山下フサブリーダー 中田主任	新人職員育成し、業務内容の見直しを検討:5月～9月 新たに検討した業務体制を試行:10月～3月	
	事業継続計画(BCP)の作成	自然災害やパンデミックによる脅威に対して事業継続計画を作成する。	事業継続計画	事業継続計画作成	出水施設長	川元サブリーダー 山下サブリーダー	上期、他施設の事業継続計画の情報収集を行い、下期に資料を参考に、事業継続計画の作成を行う。	
	ノーリフティングケアの導入	介護機器を導入し、業務の改善。 ①入浴リフトの導入。 ②移乗リフト導入の体系化。	①入浴リフト導入・評価 ②移乗リフト導入体系化	①入浴リフト導入・評価 ②移乗リフト導入マニュアル完成	北野リーダー	原拓サブリーダー 阪本リーダー	①プロジェクトにより、入浴機器導入計画を作成:4月 導入機器の検討:5月～8月 導入:9月～11月 ②移乗リフトの導入の体系化を行い将来の導入に向け準備:通年	

経営計画(2021年4月～2022年3月末)  
特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
学習と成長の視点	介護基礎知識の向上	①OJTトレーナー研修実施による、OJTトレーナーの育成。 ②新人職員が学ぶレベルの知識について全職員へ再研修の実施。	①OJTトレーナー研修実施者数 ②研修受講修了者数	①4人以上 ②介護正規職員全員	原主任	原介護主任 研修担当	①OJTトレーナー研修を介護主任中心に実施 ・OJT実施のための資料作成、OJTトレーナー研修:4月 ・グローイングまどかでの評価:8月 ②メディパスアカデミーのEラーニングシステムの活用 ・研修計画を策定:4月 ・独り立ちするまでに必要な知識を全介護職員理解チェック:7月以降	
	Eラーニングを活用した、園内研修の体系化	メディパスアカデミーのEラーニングシステムを活用し、年間研修計画を策定のうえ、年間を通じてWEB上で進捗管理を実施する。	研修の実施	介護正規職員全員の実施	出水施設長	原介護主任 中村リーダー	年間計画作成:4月 研修実施:4月～10月 研修理解度テスト実施:11月 以降再学習	
	資格取得者の増加	キャリアアップにつながる資格取得の推進。 (①介護福祉士・介護職員初任者研修・介護福祉士実務者研修等・介護支援専門員・②ユニットリーダー研修)	①資格保持者比率 ②ユニットリーダー研修修了者数	①介護職員資格保有75%以上 ②1名以上	原主任	高村主任 介護リーダー	①介護資格保有者作表:4月 無資格者資格保有計画作成(3カ年計画):5月 計画に基づき研修受講推進:通年 ②ユニットリーダー研修:後期研修1名受講	
	財務知識の向上	相談部門に対する施設財務に関する研修会の定期開催。	研修開催回数	毎月1回開催	出水施設長	中田主任 井上事務職員	施設財務研修会の月毎の研修内容策定:4月～5月 研修会の定期開催:6月以降、毎月1回1時間不定期開催(講師井上)	

2021年度（令和3年度）事業計画

部門		宝塚まどか園ヘルパーステーション
所在地		兵庫県宝塚市美座2丁目22番2号
会議・委員会の種類		運営委員会、衛生委員会、介護技術講習会、ヘルパー職員会議
基本事業		独自実施事業
地域貢献の視点	介護技術講習会の開催	介護技術講習会を、宝塚居宅介護事業所と共同で開催をする。 （コロナ禍終息後）
	地域ニーズの把握	美座っ子祭り、花の道自治会祭り等の地域行事に積極的に参加し、地域との連携を深め、地域ニーズの把握に努める。（コロナ禍終息後）
財務の視点	財政再建への対応	要介護25名・総合事業15名（自費3名を含む）合計40名のご利用者を獲得し、総合的に収益が出る体制を作る。
	介護保険外事業の推進	医療機関受診付き添いなど介護保険対象外のサービス提供を推進し、自費契約（有料サービス）を必要とするご利用者を獲得して、増収を図る。
顧客の視点	定期的かつ迅速なサービスの見直しと対応	常に適切なモニタリングを行い、必要に応じて迅速に介護計画書を修正する。
	安定したサービス提供の確保	1人のご利用者に対して複数の職員が関わることにより、安定したサービス提供を確保するために、登録ヘルパーの増員を図る。
業務プロセスの視点	情報の共有化	事業所内会議を定期的で開催し、居宅介護支援事業所とも会議を共同で開催する。
	働きやすい環境作り	同地区の訪問先を同じ日に集めるなど、効率の良いシフトを組むことを工夫するなどして、職員の業務負担を減らす。
学習と成長の視点	ヘルパー研修の充実	登録ヘルパーの力量向上の為に、毎月のヘルパー研修を充実させる。
	サービス提供責任者の力量アップ	外部研修、訪問介護事業所部会研修を積極的に受講して、サービス提供責任者としての知識を深め、力量アップに繋げる。



経営計画(2021年4月～2022年3月末)  
宝塚まどか園ヘルパーステーション

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
地域の 視点 貢献	介護技術講習会の開催	介護技術講習会を、宝塚居宅介護事業所と共同で開催をする。(コロナ禍終息後)	開催回数	2回	宮本	矢木	介護技術講習会を上半期と下半期に分けて年2回開催する。(コロナ禍終息後)	
	地域のニーズの把握	美美座っ子祭り、花の道自治会祭り等の地域行事に積極的に参加し、地域との連携を深め、地域ニーズの把握に努める。(コロナ禍終息後)	地域行事への参加回数	2回	宮本	矢木	美座っ子祭り、花の道自治会祭りに参加する。(コロナ禍終息後) ※時期未定	
財務の 視点	財政再建への対応	要介護25名・総合事業15名(自費3名を含む)合計40名のご利用者を獲得し、総合的に収益が出る体制を作る。	ご利用者数	40名	宮本	矢木	年度末までに要介護25名・総合事業15名(自費3名を含む)合計40名のご利用者を獲得する。	
	介護保険外事業の推進	医療機関受診付き添いなど介護保険対象外のサービス提供を推進し、自費契約(有料サービス)を必要とするご利用者を獲得して、増収を図る。	契約者数	3名	宮本	矢木	自費契約者(有料サービス)を3名獲得する:通年	
顧客の 視点	定期的かつ迅速なサービスの見直しと対応	常に適切なモニタリングを行い、必要に応じて迅速に介護計画書を修正する。	見直し提案件数	毎月7件	宮本	矢木	モニタリング、提案を計画対象期間毎、又は半年毎に行う。	
	安定したサービス提供の確保	1人のご利用者利用者に対して複数の職員が関わることにより、安定したサービス提供を確保するために、登録ヘルパーの増員を図る。	新規登録ヘルパー数	2名以上	宮本	矢木	ハローワーク等への求人により、登録ヘルパーの獲得を行う:通年	
業務 プロセスの 視点	情報の共有化	事業所内会議を定期的で開催し、居宅介護支援事業所とも会議を共同で開催する。	会議開催回数	12回	宮本	矢木	毎月1回定期開催を行う。	
	働きやすい環境作り	同地区の訪問先を同じ日に集めるなど、効率の良いシフトを組むことを工夫するなどして、職員の業務負担を減らす。	シフト見直し回数	12回	宮本	矢木	シフトの見直しを通年を通して行う。	
学習と 成長 の 視点	ヘルパー研修の充実	既存登録ヘルパーの力量の向上を目的とした研修を行う。	研修会開催回数	12回	宮本	矢木	ヘルパー研修を毎月開催する。	
	サービス提供責任者の力量アップ	外部研修、訪問介護事業所部会研修を積極的に受講して、サービス提供責任者としての知識を深め、力量アップに繋げる。	受講回数	6回	宮本	矢木	訪問介護事業所部会の研修(基本2か月に1回)に参加する。	

2021年度（令和3年度）事業計画		
部門		宝塚まどか園居宅介護支援事業所
所在地		兵庫県宝塚市美座2丁目22番2号
会議・委員会の種類		運営委員会、衛生委員会、居宅内定例会議 宝塚市介護認定審査会、宝塚市介護保険事業者協会居宅部会 介護技術講習会（コロナ終息後）
基本事業		独自実施事業
地域貢献の 視点	介護技術講習会の開催	介護技術講習会を、宝塚ヘルパー事業所と共同で開催をします。（コロナ禍終息後）
	地域に開かれた場所作り	コロナ禍終息後、月1回（第4土曜日）、オレンジカフェ（認知症カフェ）を開催します。
	地域社会との連携	地域連携として会議への出席や行事への参加を通じ、相互の活動・業務の理解を進め、地域関係者との顔の見える関係づくりを図ります。
財務の視点	収支の安定	特定事業所加算Ⅲの再取得を行い、収支の安定（黒字化）を図ります。  特定事業所加算がなくても黒字化できる基盤を構築します。介護支援専門員1人当たり要介護26人を目指します。
	介護保険以外での収入獲得	月2回介護認定審査会、各市町村の認定調査を実施します。
	専門性を発揮した相談援助の実践	サービス提供状況の把握とモニタリングを行い、ケアプランの改善や新たなサービス導入に向けて提案します。
顧客の視点	連携強化、信頼性の強化	法人内、外の事業所を利用することで連携をとり、ご利用者がより安心できる環境を提供していきます。
	災害時の体制作り	災害時などを含めた担当者不在のフォロー体制の確立をします。
業務プロセスの視点	他の関連事業についての理解を深める	関連する他事業についての知識を深め、チームケアの体制の強化に繋がります。
	居宅内の連携強化	居宅内で定例会議を行うことで、職員間の情報交換、課題の共有を行い、利用者や家族が抱える問題を多方面から捉えることで、より良い解決策を導くことができるように図ります。
学習と成長の視点	介護支援専門員更新研修等の受講	介護支援専門員更新研修を4名受講予定です。

経営計画(2021年4月～2022年3月末)  
宝塚まどか園居宅介護支援事業所

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
地域の視 点 の 視 点 の 視 点	介護技術講習会の開催	介護技術講習会を、宝塚ヘルパー事業所と共同で開催する。(コロナ禍終息後)	開催回数	2回	梶田	小原	介護技術講習会を上半期と下半期に分けて年2回開催する。(コロナ禍終息後)	
	地域に開かれた場所作り	コロナ禍終息後、オレンジカフェを開催する。	開催回数	月1回	喜多	梶田、安原	コロナ禍後オレンジカフェを月1回開催する。	
	地域社会との連携	会議への出席や行事への参加を通じ、相互の活動・業務の理解を進める。	参加回数	年6回	喜多	梶田	2か月に1回ケアマネ交流会に参加し、行政の動向、求められるサービスや取り組みの情報収集を行う。	
財務の視 点 の 視 点 の 視 点	収支の安定	特定事業所加算Ⅲの再取得を行い、収支の安定(黒字化)を図る。	特定事業所加算Ⅲの再取得	特定事業所加算Ⅲの再取得	安原	喜多	7月に特定事業所加算Ⅲを取得し収支の安定を図る。	
		特定事業所加算がなくても黒字化できる基盤を構築するため、介護支援専門員1人当たり要介護の給付管理数26人を目指す。	要介護の給付管理数	1人当たり26人	安原	喜多	月1.5人増の新規要介護者になるよう、給付管理数を月2回チェックをする。	
	介護保険以外での収入獲得	月2回介護認定審査会、各市町村の認定調査を実施する。	実施回数	年20回/月2件	安原、時吉	喜多、小原 梶田	介護認定審査会を月1.5回、認定調査を月1.5回受け、介護保険以外の収入を確保します。	
顧客の視 点 の 視 点 の 視 点	専門性を発揮した相談援助の実践	サービス提供状況の把握とモニタリングを行い、ケアプランの改善や新たなサービス導入に向けて提案する。	実施回数	年2回	時吉	梶田	モニタリングの結果、改善が必要と思われる利用者について検証・提案、導入、見直しをして6か月に1人行う。	
	連携強化、信頼性の強化	法人内、外の事業所を利用することで連携をとり、利用者がより安心できる環境を提供していく。	参加回数	年3回	安原	時吉、喜多	研修に参加し他事業についての知識を深めチームケアの体制の強化に繋げる。	
業務プロ セスの 視 点 の 視 点 の 視 点	災害時の体制作り	災害時などを含めた担当者不在のフォロー体制を確立する。	進捗確認回数	年3回	梶田	時吉、安原	問題、課題の抽出:4~7月 フォロー体制の原案作成:8~11月 検証・立案:12~3月	
	他の関連事業についての理解を深める	関連する他事業についての知識を深めチームケアの体制の強化に繋げる。	居宅内開催回数	年2回	時吉	時吉	居宅部会や後見人制度の研修に参加し、居宅内で学習する機会を6か月に1回設ける。	
学習と成 長の 視 点 の 視 点 の 視 点	居宅内の連携強化	職員間の情報交換、課題の共有を行い、利用者や家族が抱える問題を多方面から捉えることでより解決策を導くことができるようにする。	開催回数	毎週の開催	喜多	喜多、時吉 小原、梶田	週1回は朝礼を行い状況報告をする。	
	介護支援専門員更新研修等の受講	介護支援専門員更新研修を4名受講する。	研修修了	全員の研修修了	梶田	安原、時吉 小原	年度内に更新研修を受講修了する。	

2021年度（令和3年度）事業計画

部門		特別養護老人ホーム神戸まどか園 神戸まどか園ショートステイ
所在地		兵庫県神戸市長田区大丸町1丁目5番1号
会議・委員会の種類		会議：運営会議 主任リーダー会議 ユニット会議 衛生会議
		委員会：身体拘束廃止 高齢者虐待防止 感染症対策 リスク マネジメント 入所検討 食事 口腔ケア
基本事業		独自実施事業
地域貢献の 視点	地域との共生	「KOBEシニア元気ポイント」制度に活動受入登録し、地域と連携を図り、交流の足掛かりを作っていく。また、毎年実施されていた長田区の一七市や介護相談会（長田区駅前）等に参加し、神戸まどか園の認知度を高める。
	災害時福祉避難所の強化	福祉避難所マニュアルに基づき、福祉避難所間との連携を行う。また、福祉避難所の役割を担い、地域と防災の強化を図る。
財務の視点	介護報酬改定に向けた加算等の見直しと稼働率の安定	介護報酬改定を経て、算定可能な加算登録と食費、居住費等の基本報酬の見直しを行う。また、各居宅介護支援事業所、安心すこやかセンター等との連携を密に行い、稼働率の向上、安定化を図る。
	業務の見直しによる残業時間の減少	職員間の連携と業務内容を再度把握し、業務引継ぎがスムーズに行える体制を構築する。
顧客の視点	介護業務の評価と省力化	個別ケア内容を数値化し、新しく創設された加算や報酬改定に伴う施設ケア方針を元に見直し、質を向上させる。
	ユニットケアの実践と評価	アセスメントの重要性・必要性を理解し、充実したケアプランに反映していく。また、担当者の役割を整理と入居者の生活リズムと個性を理解し、必要な施設ケアを実施する。
業務プロセスの視点	働きやすい環境づくり	働き方改革や労働基準法の理解と実例を交えながら、正しい判断能力と知識を身につける。また、多国籍による文化の違いを共有し、神戸まどか園で安心して働き、暮らしていけるように受け入れ体制を作っていく。
	ケアプランと介護業務の一体化	PDCAサイクルの中で各担当者が役割を果たし、一連の流れを作っていく。
学習と成長の視点	個々のスキルアップとキャリアアップ	人事考課制度を理解し、各々に必要な目標や課題を認識し、効果的に実施していく。また、初任者研修、実務者研修、介護福祉士、介護支援専門員等職員ひとりひとりに合わせたキャリア形成を行う。
	介護技術等の習得	コロナ禍での研修の体系を作り直し、介護保険制度に則った研修を行っていく。

経営計画(2021年4月～2022年3月末)  
特別養護老人ホーム神戸まどか園・神戸まどか園ショートステイ

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
地域の 視点 貢献	地域との共生	地域のニーズを知り、地域住民と交流できる機会を作る。	登録	登録	上田施設長	生活相談員	「KOBEシニア元気ポイント」制度に活動受入登録し、地域と連携を図り、交流の足掛かりを作っていく。	
		行政、区、市との関わりを深めていく。	参加回数	2回	上田施設長	事務所職員	毎年実施されていた長田区の一七市や介護相談会(長田区駅前)等に参加し、神戸まどか園をアピールし、認知度を高める。	
	災害時福祉避難所の強化	災害時福祉避難所として強化を図る。	会議数	会議参加回数	上田施設長	岡崎施設長補佐 深蔵管理栄養士	福祉避難所マニュアルに基づき、福祉避難所間の連携を行う。福祉避難所の役割を担い、地域と防災の強化を図る。	
財務 の 視点	介護報酬改定に向けた加算等の見直しと稼働率の安定	介護報酬改定に向けた基本報酬や加算の見直しを行う。	1人単価	単価の増収	上田施設長	岡崎施設長補佐 生活相談員	介護報酬改定を経て、算定可能な加算登録と食費、居住費等の基本報酬の見直しを行う。	
		稼働率の安定に向けて、受け入れ体制の強化を図る。	稼働率	特養98% 短期入所90% 合算96.5%	上田施設長	生活相談員	各居宅介護支援事業所、安心すこやかセンター等との連携を密に行い、稼働率の向上、安定化を図る。	
	業務の見直しによる残業時間の減少	業務の柔軟な体制を作り、時間内業務を行う。	時間数	年間残業時間数の減少	上田施設長	運営委員 労務事務員	職員間の連携と業務内容を再度把握し、業務引継ぎがスムーズに行える体制を構築する。	
顧客 の 視点	介護業務の評価と省力化	介護の数値化を検討し、業務の省力化に繋げていく。	加算算定への準備	年6回	真砂相談員	中岡看護主任 恒松相談員	個別ケア内容を数値化し、新しく創設された加算や報酬改定に伴う施設ケア方針を元に見直し、質を向上させる。	
	ユニットケアの実践と評価	アセスメントとケアプランの充実を図る。	回数	月2回	岡崎施設長補佐	沼本 介護支援専門員	アセスメントの重要性・必要性を理解し、充実したケアプランに反映していく。	
		居室担当者を継続的に配置し、個別ケアの充実を図る。	常時の配置	継続的な配置	岡崎施設長補佐	ユニットリーダー	担当者の役割を整理と入居者の生活リズムと個性を理解し、必要な施設ケアを実施する。	
業務 プ ロ セ ス の 視	働きやすい環境づくり	運営委員会に社会労務士を加え、必要な知識と役割を認識する。	研修回数	年3回	上田施設長	運営委員	働き方改革や労働基準法の理解と実例を交えながら、正しい判断能力と知識を身につける。	
		多様な文化を知り、学習のフォローを行う。	回数	毎月	上田施設長	恒松相談員 深蔵管理栄養士	多国籍による文化の違いを共有し、神戸まどか園で安心して働き、暮らしていけるように受け入れ体制を作っていく。	
	ケアプランと介護業務の一体化	ケアプラン作成に向けてのプロセスにおいて、居室担当との連携を図る。	回数	年24回	岡崎施設長補佐	沼本 介護支援専門員 ユニットリーダー	PDCAサイクルの中で各担当者が役割を果たし、一連の流れを作っていく。	
学 習 と 成 長 の 視 点	個々のスキルアップとキャリアアップ	人事考課制度を活用し、個々に必要な能力を身につける。	実施	年2回	上田施設長	運営委員	人事考課制度を理解し、各々に必要な目標や課題を認識し、効果的に実施していく。	
		キャリアアップ制度に基づき、研修を企画する。	回数	年3回	上田施設長	岡崎施設長補佐	初任者研修、実務者研修、介護福祉士、介護支援専門員等職員ひとりひとりに合わせたキャリア形成を行う。	
	介護技術等の習得	楽技等の研修を実施する。	回数	年2回	岡崎施設長補佐	各研修担当者	コロナ禍での研修の体系を作り直し、介護保険制度に則った研修を行っていく。	

2021年度（令和3年度）事業計画

部門		神戸まどか園居宅介護支援事業所
所在地		兵庫県神戸市長田区大丸町1丁目5番1号
会議・委員会の種類		会議：運営会議 主任リーダー会議 ユニット会議 衛生会議
		委員会：身体拘束廃止 高齢者虐待防止 感染症対策 リスクマネジメント 入所検討 口腔ケア
基本事業		独自実施事業
地域貢献の 視点	地域に根ざした事業所を作る	法人の理念を学び、職員の一人一人が地域に開かれた事業所を意識し、神戸まどか園ブランドを作っていく。
	地域の福祉拠点を作っていく	福祉の拠点作りを目指し、長田区の地域から選ばれる事業所を作る。
財務の視点	財政への視点	利用者の確保や神戸まどか園、安心すこやかセンター等と連携を行い、契約件数を増やす。
	神戸まどか園との連動	神戸まどか園と常に連携を取り、情報を共有していく。
顧客の視点	地域で暮らしていける支援体制を作る	インフォーマルサービス、フォーマルサービス等を提案し、地域で自立した生活が出来るように支援をしていく。
	行政、医療機関、サービス事業所等の連携作り	連携を基本に考え、相互に理解できる環境を作る。
業務プロセスの視点	各キャンパスの居宅運営を学ぶ	ほのぼののソフトを利用し、効率的に運営を行う。
	必要書類、押印等時代に求められる管理を行う	電子媒体等を活用し、効率的且つ介護保険制度に即した運営を行う。
学習と成長の視点	理念、運営方針等を学ぶ	理念、運営方針を学ぶことにより、法人の職員としての自覚を持つ。
	介護支援専門員としてマネジメント力を学ぶ	介護支援専門員として基本的なマネジメント力を学ぶ。

経営計画(2021年4月～2022年3月末)  
神戸まどか園居宅介護支援事業所

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
地域の視 点 の 視 点 の 視 点	地域に根ざした事業所を作る	地域交流の機会を作る。	回数	1回	岡崎施設長補佐	岡崎施設長補佐	地域のニーズを知るために開催を計画し、実行する。	
	地域の福祉拠点を作っていく	介護相談会、福祉展示会を行う。	回数	各1回	岡崎施設長補佐	岡崎施設長補佐	地域のニーズを知り、企画を行い、開催する。	
財務の視 点 の 視 点	財政への視点を持つ	給付管理数の増加に努める。	契約者数	10人	岡崎施設長補佐	岡崎施設長補佐	神戸まどか園と連動し、給付管理数を増やしていく。	
	神戸まどか園と連動する	短期入所、入所部門と協力し、情報を共有する。	参加数	12回	岡崎施設長補佐	岡崎施設長補佐	入所検討委員会の情報を共有することにより、迅速に対応を行う。	
顧客の視 点 の 視 点	地域で暮らしていける支援体制を作る	地域行事に参加する。	参加数	1回	岡崎施設長補佐	岡崎施設長補佐	参加できるように、関係を作っていく。	
	行政、医療機関、サービス事業所等と連携を作る	行政、医療機関、サービス事業所等と情報を共有し、講習会等を企画していく。	回数	1回	岡崎施設長補佐	岡崎施設長補佐	地域ケア会議等に積極的に参加し、地域のニーズを知る。	
業務プロ セスの 視 点 の 視 点	一宮、宝塚まどか園の居宅の運営を学ぶ	ほのぼのの運用方法等を学び、効率的に運営する。	回数	毎月	岡崎施設長補佐	岡崎施設長補佐	ズーム会議を実施し、運用方法を学ぶ。	
	必要書類、押印等時代に求められる管理を行う	電磁媒体を使用し、介護保険法に基づき運営を行う。	回数	毎月	岡崎施設長補佐	岡崎施設長補佐	改正された介護保険制度を学び、効率的な運用を行う。	
学習と成 長の 視 点 の 視 点	理念、運営方針を学ぶ	理念、運営方針を学び、正久福祉会の一員としての自覚を持つ。	回数	年2回	岡崎施設長補佐	岡崎施設長補佐	理念・運営方針等を学ぶことにより法人職員の自覚を持つ。	
	介護支援専門員として、マネージメント力を学ぶ	介護支援専門員として基礎のマネージメント力を学び、実践する。	回数	年6回	岡崎施設長補佐	岡崎施設長補佐	介護支援専門員としての基礎的なスキルを学ぶ。	

## 社会福祉法人正久福祉会 役員等名簿

区分	No.	氏名	任期
理事	1	上田 芳史	2019年6月26日～ 2020年度に関する 定時評議員会終結の時まで
	2	上田 崇	
	3	出口 博久	
	4	山川 義光	
	5	出水 賢也	
	6	岩崎 政己	
監事	1	上垣 博	
	2	在賀 孝介	

区分	No.	氏名	任期
評議員	1	飯田 吉則	2017年4月1日～ 2020年度に関する 定時評議員会終結の時まで
	2	大谷 彰	
	3	大谷 忠子	
	4	岡崎 耕三	
	5	段林 繁	
	6	村上 貞治	
	7	下川 洋一	2018年12月26日～ 2020年度に関する 定時評議員会終結の時まで



# 社会福祉法人正久福祉会 役員等報酬規程

## (目的)

第1条 この規程は、社会福祉法人正久福祉会（以下「当法人」という。）の定款第9条及び第23条の規定に基づき、役員（理事及び監事）及び評議員（以下「役員等」という。）の報酬等について定めることを目的とする。

## (報酬等の支給)

第2条 役員等には、勤務形態に応じて、次のとおり報酬等を支給する。

- (1) 常勤役員については、報酬並びに賞与及び退職手当を支給する。
- (2) 非常勤役員等については、業務に応じた報酬及び退職手当を支給することとし、賞与は支給しない。
- 2 常勤役員に対する退職手当は、役員等として円満に任期を満了、又は辞任、死亡により退任した者に支給するものとし、死亡により退任した者については、その遺族に支払うものとする。
- 3 当法人の理事に対する報酬等の支給額は、各年度の総額が一人当り1,500万円以下とする。ただし、退職手当を除く。
- 4 当法人の監事に対する報酬等の支給額は、各年度の総額が52万円を超えない範囲とする。

## (常勤役員の報酬等の算定方法)

第3条 常勤役員に対する報酬等の額は、次の各号による報酬等の区分に応じて定めるものとする。

- (1) 報酬については、評議員会が定める額
- (2) 常勤役員が会務のために出張をしたときは、旅費規程に基づき、旅費（交通費、宿泊料）を支給する。
- (3) 通勤手当については、職員給与規程の規定に準ずる額。但し、職員給与で支給している場合は支給しない。
- (4) 退職手当については、役員報酬を支給するものを対象とし、評議員会が認めた額を支給する。

## (非常勤役員等の報酬等の算定方法)

第4条 非常勤役員等に対する報酬等の額は、次の各号による報酬等の区分に応じて定めるものとする。

- (1) 報酬については、別表1に定める額
- (2) 非常勤役員等が職務のために出張をしたときは、旅費規程に基づき、旅費（交通費、宿泊料）を支給する。
- (3) 退職手当については、10万円以内で記念品を支給するものとし、支給については都度評議員会の決議を要する。

2 理事会及び評議員会等の会議に出席した場合の交通費については、職員旅費規程に基づき、実費相当額を支給する。

(役員を兼務する職員)

第5条 当法人の職員が、役員として選任された場合は、職員として処遇し、役員報酬等は支給しない。

(支給の方法)

第6条 常勤役員に対する報酬等の支給時期は、次の各号による報酬等の区分に応じて定める時期とする。

- (1) 報酬については、毎月15日とする。ただし、その日が土曜日及び休日に当たるときは、翌営業日に支払うものとする。
- 2 非常勤役員等に対する報酬は、次の各号による報酬等の区分に応じて定める時期とする。
  - (1) 報酬については、会務に従事した都度、支給する。
- 3 報酬等の支払いは、現金支給又は銀行振込みとする。
- 4 報酬等は、法令の定めるところにより控除すべき金額及び本人から申し出があったときには、立替金、積立金等を控除して支給する。
- 5 退職手当については、任期の満了、辞任または死亡により退職した後、評議員会の決議後2か月以内に支給する。

(報酬等の日割り計算)

第7条 新たに常勤役員に就任した者には、その日から報酬を支給する。

- 2 常勤役員が退任し、又は解任された場合は、前日までの報酬を支給する。
- 3 月の中途における就任、退任、又は解任の場合の報酬額については、その月の総日数から日曜日及び土曜日の日数を差し引いた日数を基礎として日割りによって計算する。
- 4 第2項の規定にかかわらず、常勤役員が死亡によって退任した場合、その月までの報酬を支給する。

(端数の処理)

第8条 この規程により、計算金額に1円未満の端数が生じたときには、次のとおり端数処理を行う。

- (1) 50銭未満の端数については、これを切り捨てる。
- (2) 50銭以上1円未満の端数については、これを1円に切り上げる。

(公表)

第9条 当法人は、この規定をもって、社会福祉法第59条の2第3項に定める報酬等の支給の基準として公表する。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、評議員会の決議によって行う。

(補足)

第11条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事長が理事会の承認を経て、別に定めるものとする。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

別表1 非常勤役員等の報酬（第4条関係）

（1）評議員

	日額（源泉徴収後）
評議員会への出席	1万円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤 （会務が4時間以上）	1万円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤 （会務が4時間未満）	5千円

（2）理事

	日額（源泉徴収後）
理事会等会議への出席	1万円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤 （会務が4時間以上）	1万円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤 （会務が4時間未満）	5千円

（3）監事

	日額（源泉徴収後）
監事監査等への出席	1万円
理事会、評議員会、評議員選任解任委員会等会議への出席	1万円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤 （会務が4時間以上）	1万円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤 （会務が4時間未満）	5千円

沿革

平成31年3月28日 役員報酬規程・役員退職慰労金規程

平成31年3月31日廃止

役員等報酬規程 平成31年4月1日施行